2025年度

学修ガイド

商学部第二部

Faculty of Commerce Evening School

B

福岡大學

2025年度新入生(25台)の皆さんへ

この学修ガイドは、卒業まで

使用します。大切に保管してください。

※学修ガイドの内容は、FU ポータルでも閲覧できます。

この学修ガイドには、履修登録、授業、試験など、学修をすすめるうえでの重要事項や情報を掲載しています。よく読み、理解するようにしてください。

なお、掲載内容に変更が発生した場合は、FU ポータル等でお知らせします。

＜注意＞

入学後の各種ガイダンスでこの学修ガイドを使用しますので、必ず持参して参加してください。

2025年度

学修ガイド

商学部第二部

Faculty of Commerce Evening School

B



福岡大学

目次

Ⅰ 学部教育の理念と目標

003 学部教育の理念と目標
004 教育上のポリシー等

Ⅱ 学年ごよみ・事務窓口

011 2025年度学年ごよみ
013 2025年度年間カレンダー
015 事務窓口案内
◎教務関係事務部署について
◎各種証明書の発行・諸届・諸願の事務窓口
◎窓口事務時間
◎事務休業日

Ⅲ 授業・試験

019 大学からの連絡
021 単位と授業時間
022 休講および補講
022 振替授業日および休日授業日
023 出席の確認
023 欠席届
024 教室の表示等
024 テキスト（教科書）の購入
025 試験
028 成績・進級
030 在学の年限
030 卒業
030 交通機関の乱れや台風・積雪等による授業の休講等

Ⅳ 履修の手引

033 諸規程と履修登録
034 シラバス
035 FU プラスアップ授業
036 履修登録上の注意事項
044 履修登録等の日程
046 全学部共通留意事項
077 商学部第二部留意事項
089 会計専門職プログラム
097 クリエイティブ・マネジメント・プログラム
102 高校商業・情報科教員育成プログラム
109 地域ビジネスデザインプログラム
113 各種課程の履修について
115 外国語科目クラス別担当者一覧

Ⅴ その他

119 大学院受験（飛び級制度）
119 特待生制度
120 国際交流・海外留学支援

Ⅵ 諸規程

127 福岡大学学則〔新入生（令和７年度入学生）適用〕
148 授業科目の履修等について
170 福岡大学学科履修規程
177 福岡大学成績考査規程
180 その他諸規程

Ⅶ オフィス・アワー

197 オフィス・アワー

Ⅷ 学籍について

229 学籍について
◎学籍とは
◎休学
◎復学
◎退学
◎除籍
◎再入学
◎転部・転科
◎氏名・性別・国籍等の学籍情報変更
◎住所変更・保証人変更

巻末 履修登録の手引

CONTENTS

I

学部教育の理念と目標

- 学部教育の理念と目標
- 教育上のポリシー等

学部教育の理念と目標

商学部第二部主事 ◉村　上　剛　人

商学部は激変する社会・経済に対応する理論やその実践を学生に提供し、何が問題でどう解決していけば良いのか新たな知識とスキルを身につけた人材を送り出すことを目指しています。商学部第二部は基本的に商学部の目標を目指しながらも、さらに、社会人に対してリカレント教育を、そしてシニア世代には生涯教育の場を提供し、あらゆる人材層で地域社会をリードする人材育成を目指しています。その点で同じ科目を学びながら、多様な学生が学び・交流することによって、多面的な視点から問題を考察できる知識とスキルを持った学生を輩出していきたいと取り組んでいます。

◎商学部第二部ではどのような教育を行おうとしているのか

商学部第二部はある社会現象を多面的に考察できるように、広範な領域の商学の科目群を提供しています。何が問題なのか、それを見抜く知識を身につけるとともに、論理力、プレゼン力、コミュニケーション力といった社会で協働して新たなことに挑戦していくスキルも同時に習得することで、社会をリードしていく人材を育成したいと取り組んでいます。先にも述べましたが、多様な学生が学び合える場が商学部第二部にはあります。社会人やシニア、そして一般学生との共創的な活動が展開されることによって、自分では気づけなかった新たな自分を見つけ、よりチャレンジングに活動していくことで、多くの卒業生と同様、地元九州・福岡の経済と社会を支える人材として成長されることを願っています。

◎商学部第二部の教育にはどのような特徴があるのか

①幅広い分野の科目が履修できる

商学部第二部は広範な商学の科目群を提供しています。多様な学生が自分の関心領域から学べるように、学べる入り口をたくさん用意しています。まずはあなたが将来何を目指したいのか、そして何に興味があるのか、そこから学習をスタートさせてください。

②昼間部の科目も履修できる

商学部第二部は基本的には月曜日～金曜日で１日２科目の履修という制約を緩和するため、卒業に必要な単位数のうち、40単位まで自分が学びたい科目が履修できるように昼間部で履修できるようにしています。計画的に履修を進めてください。

③学生のダイバーシティ（多様性）

商学部第二部の醍醐味は本来多様な学生が学び合うという点にあります。それゆえ、そうした学生達が互いに交流し学び合うことによって新しい知見を身につけることもできてきます。互いに声掛け合いながら様々な視点から自分を見つける場を作っていってください。

④少人数で学修するゼミナール

就活環境の変化に対応して一般の学生が中期や長期の企業のインターンシップに対応できるようなスキルを身につける場、また社会人にとってもグループワークを通して、専門的な知識の習得だけでなく、チーム活動のスキルを磨く場を１年次から提供し、４年間にわたって学習できる環境を整えています。少数の仲間で、特定のテーマについて議論し合う醍醐味を是非味わい、社会で使えるスキルを磨きましょう。

⑤特定分野の学修を強化するプログラムの設置

商学部及び商学部第二部には、将来社会に貢献するための資格取得や技能習得を支援するため、「会計専門職プログラム」「クリエイティブ・マネジメント・プログラム」「高校商業・情報科教員育成プログラム」が設置されています。さらには、商学部第二部独自のプログラム「地域ビジネスデザインプログラム」も設置されています。いずれも魅力的なプログラムです。自分の目的に合わせて、積極的に参加しましょう。

商学部第二部は、原則として授業時間数が一日２コマと少ないので、４年間で卒業するためには、それなりの勉学上の努力と覚悟が必要です。しっかりと目標や学修計画を立て、将来必要とする知識や能力を身につけましょう。福岡大学が提供する様々なサービス（図書館、情報関連施設、キャリアセンターなど）も積極的に活用して、有意義な学生生活を送ってください。

教育上のポリシー等

学位（教育）プログラムとは

学位を授与するために編成された教育課程のことを指します。

ディプロマ・ポリシー（DP）「学位授与の方針」とは

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものをディプロマ・ポリシー（学位授与方針）といいます。

カリキュラム・ポリシー（CP）「教育課程編成・実施の方針」とは

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針をカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）といいます。

カリキュラム・マップとは

カリキュラム・マップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表であり、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかを示します。

カリキュラム・ツリーとは

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の対応関係や履修・学修における道筋を示したものをカリキュラム・ツリーといいます。

学位（教育）プログラムにおけるディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、カリキュラムツリーを次ページより掲載します。なお FU ポータルにはカリキュラムマップも掲載しています。合わせて確認してください。

【掲載場所】

FU ポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラムツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶履修系統図（令和 7 年度入学生）▶商学科（商学（第二部））

［商学部第二部］

◎ディプロマ・ポリシー（DP）

商学部および商学部第二部の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の知識、能力および資質を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1．商学に関する理論、知識および技能ならびに幅広い教養を身につけている。
2．修得した理論、知識および技能を活用して企業や組織だけではなく地域や世界の問題発見および問題解決に当たることができる。
3．他者と協働して企業、地域等の発展に貢献することができる。

【共通教育】

共通教育の DP に関しては別に定める。
共通教育に関する DP をもって学位（教育）プログラム DP を構成する。

◎カリキュラム・ポリシー（CP）

商学部および商学部第二部では、ディプロマ・ポリシーで掲げた知識、能力および資質を養うことができるように、講義科目および演習科目を体系的かつ段階的に編成します。

１年次には、各学科の基礎知識を学ぶために入門科目を設置します。また、大学における学び方を身につけるために少人数クラスの基礎ゼミナールを配置し、各人に適した指導を行います。さらに、実学である商学に必要な多種多様な知識、見識を修得するために、経済学、法学等の関連教育科目を１年次から配置します。

２年次以降は学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。併せて、修得した知識およびコミュニケーション能力を活用して主体的かつ協働して問題発見・解決に当たる力を高めるために少人数クラスによる専門演習科目を配置します。３年次および４年次には、この専門演習科目を中心として専門教育科目および関連教育科目の履修計画を立てます。

【共通教育】

共通教育の CP に関しては別に定める。
共通教育に関する CP をもって学位（教育）プログラム CP を構成する。

［商学部第二部商学科］

◎ディプロマ・ポリシー（DP）

【知識・理解】

Ａ－１　流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の基礎的な知識を身につけている。
Ａ－２　流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の高度な知識を身につけている。
Ａ－３　地域的または国際的な流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の知識を身につけている。

【技能】

Ｂ－１　商学の知識および理論を用いて、企業および地域社会における課題を発見することができる。
Ｂ－２　商学の知識および理論を用いて、企業および地域社会における課題の解決策を提案することができる。
Ｂ－３　企業および地域における問題の解決やその発展に貢献するためにコミュニケーション能力を活用することができる。
Ｂ－４　企業および地域社会における問題の解決やその発展に貢献するために協働することができる。

【態度・志向性】

Ｃ－１　企業および地域社会の問題発見や課題解決に取り組む社会的責任感を持っている。
Ｃ－２　他者と協働して企業、地域等の発展に貢献する姿勢を持っている。
Ｃ－３　授業の範囲を超えて学ぶ姿勢を持っている。

【共通教育】

共通教育の DP に関しては別に定める。
共通教育に関する DP をもって学位（教育）プログラム DP を構成する。

◎カリキュラム・ポリシー（CP）

本プログラムでは、ディプロマ・ポリシーで掲げた「知識・理解」「技能」「態度・志向性」を修得することができるように、講義および演習を体系的かつ段階的に編成します。

１年次には、商学に関する理論的・歴史的・実践的な知識を学ぶ基礎的専門教育科目として、「情報」「商業（流通・金融・保険・交通・歴史）」「経営」「会計」の領域の入門科目を配置します。また、少人数クラスで、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高める基礎ゼミナールを配置します。さらに、実学である商学に必要な多種多様な知識、見識を修得するために、法学、経済学等の関連教育科目を１年次から配置します。

２年次以降は、「情報」「商業（流通・金融・保険・交通・歴史）」「経営」「会計」「国際」の領域に関して、学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。併せて、企業および地域社会に貢献できるの能力と態度を養成するために、２年次から、少人数クラスによる商学、経営学および会計学に関する少人数クラスによる専門演習科目を配置します。この専門演習科目は、一般講義とは異なりディスカッションを中心に授業が進められることから、各受講者に応じたアドバイスを担当教員から受けることができ、より深く専門領域を学修することができます。また、この専門演習科目を中心に履修計画を組み立てることによって、より体系的な学修も可能となります。

【共通教育】

共通教育の CP に関しては別に定める。
共通教育に関する CP をもって学位（教育）プログラム CP を構成する。

◎学位（教育）プログラム【商学（第二部)】カリキュラムツリー（令和７年度以降入学生適用）

		1年次に修得すべき科目	2年次に修得すべき科目	3年次に修得すべき科目	4年次に修得すべき科目
ゼミナール		基礎ゼミナール	▲ビジネスデザインゼミナール ▲商学ゼミナールA ▲金融ゼミナールA ▲経営ゼミナールA ▲会計ゼミナールA ▲国際ゼミナールA	 ▲商学ゼミナールB ▲金融ゼミナールB ▲経営ゼミナールB ▲会計ゼミナールB ▲国際ゼミナールB	▲論文ゼミナール
特別講義		特別講義A 特別講義B	特別講義C 特別講義D		
外書講読			海外交流ゼミナール		
			外書講読ⅠA 外書講読ⅠB	外書講読ⅡA 外書講読ⅡB	外書講読上級A 外書講読上級B
情報		情報表現技術 情報倫理	情報処理入門 情報処理基礎 情報社会論	マルチメディア概論 情報システム論	情報産業論
商学	流通・マーケティング	△流通・マーケティング入門	マーケティング戦略論 消費者行動論 マーケティングリサーチ サービスマーケティング 地域商業論		
	金融	△金融入門	金融論 証券市場論	金融システム論	
	保険		保険論	生活保障論 リスクマネジメント論	
	交通		交通経済論	海運と航空	
	商業史		近代日本商業史 近代西洋商業史	商業史概論	
経営		△経営入門	経営学総論 経営管理論 中小企業論 ヒューマンリソースマネジメント 経営史	生産管理論 経営財務論 経営心理学 経営組織論	経営戦略論 オペレーションズリサーチ 国際経営論
会計		△簿記原理 原価計算論	会社簿記 会計学総論	監査論 国際会計論 経営分析論 税と生活 財務会計論	会計学特論 会計情報システム論 管理会計論
国際			国際貿易論 グローバル経済事情	国際物流論 国際マーケティング論	貿易実務
関連教育科目			概説哲学		
		民法A 民法B	マクロ経済学 ミクロ経済学	商事法 経済法	労働法 財政学
		※商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目は、別表で示す			

（注）△は選択必修科目１群
（注）▲は選択必修科目２群
（注）共通教育科目については、共通教育科目部分のみを対象とした別のカリキュラムツリーで詳細を示す

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ・カリキュラムツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラムツリーおよびカリキュラム・マップ）▶履修系統図（令和７年度入学生）▶共通教育

Ⅱ

学年ごよみ・事務窓口

- 2025年度 学年ごよみ
- 2025年度 年間カレンダー
- 事務窓口案内

2025年度 学年ごよみ

前期		後期	
期　日	事　項	期　日	事　項
7．3．21（金）	在学生履修登録開始	7．9．1（月）	後期集中講義開始
3．28（金）	在学生履修登録終了	9．3（水）	後期履修登録変更開始（12時）
		9．5（金）	後期履修登録変更終了（16時）
		〃	後期集中講義終了
4．1（火）	学年開始・前期開始	9．8（月）	FU プラスアップ視聴開始
〃	入学式	9．12（金）	FU プラスアップ視聴終了
4．2（水）	新入生ガイダンス	9．14（日）	後期開始
〃	FU プラスアップ視聴開始	9．15（月）	後期授業開始
4．3（木）	新入生履修登録開始	〃	「敬老の日」（授業日）
4．6（日）	新入生履修登録終了	11．4（火）	学園祭に伴う休講日
4．9（水）	FU プラスアップ視聴終了	12．25（木）	月曜日の振替授業日
4．11（金）	前期授業開始	12．27（土）	冬季休業開始
4．29（火）	「昭和の日」（授業日）		
5．21（水）	創立記念日	8．1．4（日）	冬季休業終了
7．4（金）	火曜日の振替授業日	1．5（月）	後期授業再開
7．21（月）	「海の日」（授業日）		
7．22（火）	前期授業終了（全体補講日）	1．13（火）	後期授業終了（全体補講日）
7．23（水）	前期試験開始	1．14（水）	後期試験開始
8．1（金）	前期試験終了（予備日含む）	1．27（火）	後期試験終了（予備日含む）
8．4（月）	夏季休業開始	2．12（木）	４年次生等成績発表開始
〃	前期集中講義開始	〃	医学部医学科第１学年成績発表予定
8．8（金）	前期集中講義終了	2．20（金）	追・再試験開始
8．27（水）	前期追試験開始	2．27（金）	追・再試験終了
8．31（日）	前期追試験終了（予備日含む）	3．13（金）	１～３年次生成績発表開始
9．1（月）	前期成績発表開始	3．19（木）	卒業式
9．3（水）	前期成績（追試含む）発表開始	3．21（土）	在学生履修登録開始
9．13（土）	夏季休業終了	3．30（月）	在学生履修登録終了
9．27（土）	前期卒業式	3．31（火）	学年終了

［試　　験］　前期試験期間中の土曜日は、試験を実施する。

［補　講　日］

	指定する土曜日（１～５時限）	指定する（補講可能な）週（６時限のみ）※１	前・後期試験前の指定する日　※２	その他指定する日（１～５時限）
前期	５月24日（土） ６月28日（土） ７月12日（土）	５月19日（月）～23日（金） ６月23日（月）～27日（金） ７月７日（月）～11日（金）	７月22日（火）	
後期	11月８日（土）	10月20日（月）～24日（金） 11月10日（月）～14日（金） 12月15日（月）～19日（金）	１月13日（火）	12月24日（水） 12月26日（金） １月７日（水） １月８日（木） １月９日（金）

※１　商学部第二部は、指定する週の６時限目の補講は実施しない。
※２　昼間部は１～５時限、商学部第二部は夜１，２時限に補講を実施する。

［振替授業日］　振替前と同じ時限・教室で実施

前期	火曜日の振替授業日　７月４日（金）
後期	月曜日の振替授業日　12月25日（木）

［休日授業日］　通常の曜日の授業を実施

前期	４月29日（火）「昭和の日」 ７月21日（月）「海の日」
後期	９月15日（月）「敬老の日」

※医学部医学科（第２学年以上）については、学年暦が異なる場合がある。

2025年度　年間カレンダー

日	曜	4　月	日	曜	5　月	日	曜	6　月	日	曜	7　月	日	曜	8　月	日	曜	9　月	日	曜	10　月	日	曜	11　月	日	曜	12　月	日	曜	1　月	日	曜	2　月	日	曜	3　月
1	火	学年開始・前期開始 入学式	1	木③		1	日		1	火⑪		1	金	定期試験	1	月	後期集中講義開始 前期成績発表開始 （追試験分９／３～）	1	水③		1	土	学園祭	1	月⑨		1	木	元日	1	日		1	日	
2	水	新入生 ガイダンス	2	金④		2	月⑦		2	水⑫		2	土		2	火		2	木③		2	日		2	火⑩		2	金		2	月		2	月	
3	木	新入生 履修登録開始	3	土	憲法記念日	3	火⑦		3	木⑫		3	日		3	水	後期履修登録変更開始 （12時～）	3	金③		3	月	文化の日	3	水⑫		3	土		3	火		3	火	
4	金		4	日	みどりの日	4	水⑧		4	金	火曜日の振替授業日 （火⑫）	4	月	夏季休業開始 前期集中講義開始	4	木		4	土		4	火	学園祭に伴う 休講日	4	木⑫		4	日	冬季休業終了	4	水		4	水	
5	土		5	月	こどもの日	5	木⑧		5	土		5	火		5	金	後期集中講義終了 後期履修登録変更終了 （～16時）	5	日		5	水⑧		5	金⑫		5	月⑭		5	木		5	木	
6	日	新入生 履修登録終了	6	火	振替休日	6	金⑨		6	日		6	水		6	土		6	月④		6	木⑧		6	土		6	火⑭		6	金		6	金	
7	月		7	水④		7	土		7	月⑫	補講週 6時限目	7	木		7	日		7	火③		7	金⑧		7	日		7	水	全体補講日 （１～５限）	7	土		7	土	
8	火		8	木④		8	日		8	火⑬		8	金	前期集中講義終了	8	月	FUプラスアップ授業 視聴期間	8	水④		8	土	全体補講日 （１～５限）	8	月⑩		8	木	全体補講日 （１～５限）	8	日		8	日	
9	水		9	金⑤		9	月⑧		9	水⑬		9	土		9	火		9	木④		9	日		9	火⑪		9	金	全体補講日 （１～５限）	9	月		9	月	
10	木	教室割公開	10	土		10	火⑧		10	木⑬		10	日		10	水		10	金④		10	月⑦	補講週 6時限目	10	水⑬		10	土		10	火		10	火	
11	金①	前期授業開始	11	日		11	水⑨		11	金⑬		11	月	山の日	11	木		11	土		11	火⑦		11	木⑬		11	日		11	水	建国記念の日	11	水	
12	土		12	月④		12	木⑨		12	土	全体補講日 （１～５限）	12	火		12	金	教室割公開	12	日		12	水⑨		12	金⑬		12	月	成人の日	12	木	成績発表開始 （４年次生他）	12	木	
13	日		13	火④		13	金⑩		13	日		13	水		13	土	夏季休業終了	13	月	スポーツの日	13	木⑨		13	土		13	火	全体補講日	13	金		13	金	成績発表開始 （在学生）
14	月①		14	水⑤		14	土		14	月⑬		14	木		14	日	後期開始	14	火④		14	金⑨		14	日		14	水	定期試験	14	土		14	土	
15	火①		15	木⑤		15	日		15	火⑭		15	金		15	月①	後期授業開始 敬老の日 **（授業日）**	15	水⑤		15	土		15	月⑪		15	木		15	日		15	日	
16	水①		16	金⑥		16	月⑨		16	水⑭		16	土		16	火①		16	木⑤		16	日		16	火⑫		16	金		16	月		16	月	
17	木①		17	土		17	火⑨		17	木⑭		17	日		17	水①		17	金⑤		17	月⑧		17	水⑭		17	土		17	火		17	火	
18	金②		18	日		18	水⑩		18	金⑭		18	月		18	木①		18	土		18	火⑧		18	木⑭		18	日		18	水		18	水	
19	土		19	月⑤		19	木⑩		19	土		19	火		19	金①		19	日		19	水⑩		19	金⑭		19	月		19	木		19	木	卒業式
20	日		20	火⑤		20	金⑪		20	日		20	水		20	土		20	月⑤		20	木⑩		20	土		20	火		20	金	後期追試験	20	金	春分の日
21	月②		21	水⑥	創立記念日	21	土		21	月⑭	海の日 **（授業日）**	21	木		21	日		21	火⑤		21	金⑩		21	日		21	水		21	土		21	土	在学生 履修登録開始
22	火②		22	木⑥		22	日		22	火	全体補講日 前期授業終了	22	金		22	月②		22	水⑥		22	土		22	月⑫		22	木		22	日		22	日	
23	水②		23	金⑦		23	月⑩		23	水		23	土		23	火	秋分の日	23	木⑥		23	日	勤労感謝の日	23	火⑬		23	金		23	月	天皇誕生日	23	月	
24	木②		24	土	全体補講日 （１～５限）	24	火⑩		24	木		24	日		24	水②		24	金⑥		24	月	振替休日	24	水	全体補講日 （１～５限）	24	土		24	火		24	火	
25	金③		25	日		25	水⑪		25	金		25	月		25	木②		25	土		25	火⑨		25	木	月曜日の振替授業日 （月⑬）	25	日		25	水		25	水	
26	土		26	月⑥		26	木⑪		26	土		26	火		26	金②		26	日		26	水⑪		26	金	全体補講日 （１～５限）	26	月		26	木		26	木	
27	日		27	火⑥		27	金⑫		27	日		27	水		27	土	前期卒業式	27	月⑥		27	木⑪		27	土	冬季休業開始	27	火		27	金		27	金	
28	月③		28	水⑦		28	土	全体補講日 （１～５限）	28	月		28	木		28	日		28	火⑥		28	金⑪		28	日		28	水		28	土		28	土	
29	火③	昭和の日 **（授業日）**	29	木⑦		29	日		29	火		29	金		29	月③		29	水⑦		29	土		29	月		29	木					29	日	
30	水③		30	金⑧		30	月⑪		30	水		30	土		30	火②		30	木⑦		30	日		30	火		30	金					30	月	在学生 履修登録終了
			31	土					31	木		31	日					31	金⑦					31	水		31	土					31	火	学年終了

FUプラスアップ授業 視聴期間（注２）

（注１）①～⑭は講義回数

（注２）この期間は新入生が履修登録から第１週目の授業までに視聴する期間を示しています（２年生以上は３月のシラバス公開時から視聴可能）。FU プラスアップ授業は、履修登録時の科目選びの参考、登録科目選びの参考、登録科目の初回授業部分の視聴のほか、年間を通した予習・復習での利用など、様々な活用が可能です。詳細は p. 35をご覧ください。

事務窓口案内

1 教務関係事務部署について

所属する学部	事務部署	業務内容
	教務一課	休学、退学、転部・転科、再入学、科目等履修生、研究生に関すること
人文学部 法学部 経済学部 商学部 商学部第二部	教務二課	履修登録、授業、試験、成績、授業の欠席などの学部事務に関すること
理学部 工学部 薬学部 スポーツ科学部	教務三課	
医学部	医学部事務課	

2 各種証明書の発行・諸届・諸願の事務窓口

	こんな時は	事務窓口
各種証明書等の発行	在学証明書、成績証明書、卒業見込証明書等が必要なとき	教務二・三課 医学部事務課
	学生証を紛失・破損したとき	学生課
	通学定期券を購入したいとき	
	学割を利用して帰省や旅行をしたいとき	
	健康診断証明書が必要なとき	保健センター事務室
諸届・諸願	学費の納入などについて	会計課
	氏名などが変わったとき（p. 232参照）	教務一課
	休学、復学、退学、再入学をしたいとき（p. 229～230参照）	教務一・二・三課 医学部事務課
	1週間以上欠席するとき（p. 23参照）	教務二・三課 医学部事務課
	再試験を受験したいとき（p. 27参照）	
	追試験を受験したいとき（p. 26参照）	学生課

※商学部第二部関係の事務は2号館事務室で対応します。
※各種証明書は、次ページの場所に設置した証明書自動発行機より出力できます。

設置場所	稼働時間
文系センター棟　1階 高層棟ロビー「プラザ50」	8：50～22：00
学生部事務室棟　1階 学生課ロビー	下記窓口事務時間参照
2号館　1階 エントランス	
9号館　1階	
11号館　1階 ロビー	
医学部研究棟本館　1階 医学部事務課内	
16号館　1階 ロビー	
第二記念会堂　3階	

※証明書自動発行機は、各種証明書等発行申込書および証紙の発行も取り扱います。
※下記の事務休業日は、証明書自動発行機の利用はできません。

3 窓口事務時間

平日　8：50～16：50
（2号館事務室は8：50～20：00）
※休暇期間中は一部時間を変更することがあります。

4 事務休業日

・土曜日（定期試験実施日等を除く）
・日曜日
・国民の祝日に関する法律に規定する日（休日授業日等を除く）
・年末年始　12月28日（日）～1月4日（日）
・盆休および休業日　8月12日（火）～20日（水）
※日程は変更になることがありますので、FUポータル等で確認をしてください。

Ⅲ

授業・試験

- 大学からの連絡
- 単位と授業時間
- 休講および補講
- 振替授業日および休日授業日
- 出席の確認
- 欠　席　届
- 教室の表示等
- テキスト(教科書)の購入
- 試　　験
- 成績・進級
- 在学の年限
- 卒　　業
- 交通機関の乱れや台風・積雪等による授業の休講等

大学からの連絡

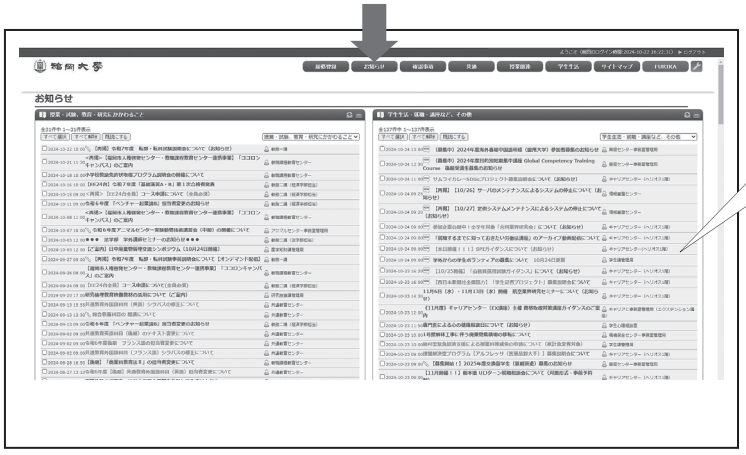
大学からの連絡事項は、**「FU ポータル」「大学が付与するメールアドレス」「掲示板」**を通じてお知らせします。

これらの告示、通知、呼び出し等を見なかったために生じる不利益は、学生本人の責任となります。常に最新の情報を確認する習慣を身につけ、責任を持って行動してください。

（1）FU ポータル

FU ポータルとは、Web 上で提供される福岡大学の様々なサービスの入口となるページです。学生一人ひとりが持つ自分専用のポータルページで、必要な情報やシステムにアクセスすることができます。

◆FU ポータル画面　**お知らせ** をクリック



（例）
学生の皆さん
成績発表に関するスケジュールを
公開します。
不明な点は窓口にお尋ねください。

○ FU ポータル

◆FU ポータルで確認できること

内　容	参照メニュー
最新のお知らせを見たい	お知らせ
シラバスを閲覧したい	授業関連 ➢ WEB シラバス
履修登録をしたい	授業関連 ➢ Web 履修登録 ➢ 履修申請
教室を確認したい	授業関連 ➢ Web 履修登録 ➢ 時間割表(教室割)照会
休講・補講情報を見たい	授業関連 ➢ 休講・補講
成績を見たい	授業関連 ➢ 教務 ➢ 成績発表
履修科目の担当教員からの連絡を見たい	授業関連 ➢ 授業支援 ➢ 授業管理（学生）
FU_box を使いたい	共　　通 ➢ 福岡大学公認クラウドストレージサービス
メールを確認したい	共　　通 ➢ Web メール

※主な機能を示しています。これら以外にも各種機能があります。

（2）大学が付与するメールアドレス（@cis メール）

入学の際、学生の皆さんへ次のようなメールアドレスを付与します。大学からの様々な連絡が届きますので、毎日確認してください。

学籍番号@cis.fukuoka-u.ac.jp（例：ee123456@cis.fukuoka-u.ac.jp）

◆FU ポータル画面



Microsoft Outlook のアプリをスマートフォンにインストールし、大学のメールアドレスを設定すると、都度ログインせずに確認することができます。

○教育用メール（@cis）

（3）掲示板

大学から学生へお知らせするにあたり、紙による掲示を併用する場合もあります。掲示板は、全学部共通の中央掲示板（A棟前）のほか、理系の各学部に設置しています。

FU ポータルとメールは必ず 1 日 1 回確認すること！

●無線 LAN（Wi-Fi）の利用

学内各所に無線 LAN（Wi-Fi）を設置しています。
ノート PC・タブレット端末・スマートフォンなどを接続して
検索や学習に活用しましょう。

○ Wi-Fi 接続について

●授業、試験、成績等の問い合わせ先

対象窓口	メールアドレス	対象窓口	メールアドレス
教務二課（人文学部）	jinbun@adm.fukuoka-u.ac.jp	医学部事務課（医学）	ijimu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課（法 学 部）	hogaku@adm.fukuoka-u.ac.jp	医学部事務課（看護学）	nurse@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課（経済学部）	keizai@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務三課（薬学部）	yaku@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課（商 学 部）	sho@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務三課（スポーツ科学部）	sport@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課（商学部第二部）	sho2@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課（教務担当）	kyomu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務三課（理 学 部）	rigaku@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課（共通教育担当）	kyotu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務三課（工 学 部）	kogaku@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課（教職担当）	kyosyoku@adm.fukuoka-u.ac.jp

単位と授業時間

1 単位制

〔単位制〕

単位制とは、授業科目にそれぞれ定められた単位があり、その授業科目を履修して、合格の評価を得ることによって、卒業に必要な単位数を修得する制度です。

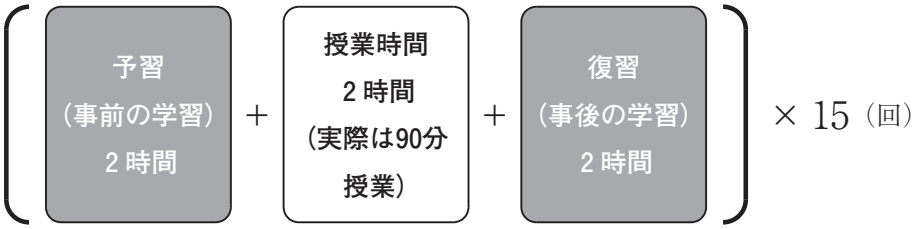
〔単位について〕

単位とは、授業科目を修得するために必要な学修の量を数値で表すものであり、１単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成されています。この45時間には、教室で行う授業時間だけではなく、予習復習等の自主学習も含まれます。

〈例〉

半期２単位の講義科目の場合

（１単位45時間のため、単位修得には90時間が必要）



※実際の授業時間は90分間です。単位計算上は１つの授業90分を２時間として計算します。

※半期２単位の講義科目の場合、本学では毎週１回の90分授業を15回実施し、それに自主学習として行う各２時間相当の予習・復習の時間を加えて単位を認めています。授業を受講するだけではなく、自主学習として、予習・復習等を行うことが重要となるため、必ず各授業科目のシラバスを確認してください。

2 授業形態

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行われます。

また、各学部が教育上有益と認めるときは、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修することのできる授業が実施される場合があります。（学則第32条の２および第32条の２第２項参照）

3 授業時間

●全学部（商学部第二部を除く）

1　時　限	9 ： 00	～	10 ： 30
2　時　限	10 ： 40	～	12 ： 10
3　時　限	13 ： 00	～	14 ： 30
4　時　限	14 ： 40	～	16 ： 10
5　時　限	16 ： 20	～	17 ： 50
6　時　限	18 ： 00	～	19 ： 30

●商学部第二部

1　時　限	18 ： 00	～	19 ： 30
2　時　限	19 ： 40	～	21 ： 10

休講および補講

授業が休講となる場合、FU ポータルでお知らせします。なお、休講の掲示が出ていないにもかかわらず授業が始まらない場合は、所属学部の事務部署の窓口まで申し出てください。

また、休講に伴い補講を実施する場合は、原則として、補講日の一週間前に FU ポータルで日時・教室等をお知らせします。詳細は「履修登録の手引」を参照してください。

※補講は、指定する土曜日、試験前の指定する日および指定する週の６時限目に実施します。
補講日については、「Ⅱ　学年ごよみ・事務窓口」の2025年度学年ごよみを参照してください。

※交通機関の大きな乱れや台風・積雪等による授業の休講や授業時間の変更等がある場合は、福岡大学公式 Web サイト、FU ポータルでお知らせします。

振替授業日および休日授業日

各曜日の授業回数を確保するため、振替授業日および休日授業日を設定しています。

[2025年度振替授業日]　振替前と同じ時限・教室で実施

前期	火曜日の振替授業日　７月４日(金)
後期	月曜日の振替授業日　12月25日(木)

[2025年度休日授業日]　通常（暦上）の曜日の授業を実施

前期	４月29日(火)「昭和の日」 ７月21日(月)「海の日」
後期	９月15日(月)「敬老の日」

※医学部医学科（第２学年以上）については、学年暦が異なる場合がある。

出席の確認

学生証を使い、センサーを設置した教室等で授業の出席状況を記録します。

この出席管理システムは、学生の皆さんが自ら生活管理を行い、着実に修学を進めていくためのものです。必ずしも成績評価に利用することを目的としたものではありませんが、担当教員によってはこの情報を成績評価に利用することもあります。また、皆さんの修学や生活指導のデータとしても活用します。本学開催の父母懇談会などでの相談の際にも、皆さんの大学での生活状況の一端としてご父母にお知らせします。

なお、授業の出席率は、修学支援新制度の適格認定（学業）時に利用されます。

出席確認は教室入室時に、教室内のセンサーに学生証をかざしてください。

【注意点】

・授業開始時刻の10分前～授業開始時刻まで ⇨ 「出席」と記録されます。
（１時限目および３時限目は授業開始の20分前～授業開始時刻まで）
・授業開始時刻以降 ⇨ ５分刻みで、開始時刻からの経過時間が記録されます。

欠　席　届

欠席に関する取扱いについては、担当教員の判断となります。授業を欠席する（した）場合は、各自で担当教員に速やかに報告して指示に従ってください。

なお、本学に公欠の制度はなく、欠席できる日数について特段の定めはありませんが、１週間以上欠席する場合は、福岡大学学生規程に基づき、次のような手続きをしてください。

① FU ポータルのカテゴリ「授業関連」にある「欠席届ダウンロード」から出力した「欠席届」に必要事項を記入のうえ捺印します。
② 記入・捺印した「欠席届」および欠席を証明する書類を添え、各自で各担当教員に報告した後、所属学部の事務部署に提出します。

証明する書類の例……診断書、医証（病気・怪我の場合）等

※詳細は、FU ポータルのカテゴリ「授業関連」にある「授業等の欠席の取扱について」を確認してください。

▶医学部の学生については、前記諸届・諸願に関する相談・取次ぎを医学部事務課で行います。

教室の表示等

●教室は、A棟・２号館から18号館までと、文系センター低層棟、医学部看護学科棟、人文学部教育・臨床心理学科棟にあります。

〔A棟・２～18号館の教室表示〕

例

A	7	13	（教室番号）	8	2	3	（教室番号）	2	3	A	（教室番号）
…	…	…		…	…	…		…	…	…	
A棟	7階	番号		8号館	2階	番号		2号館	3階	記号	

○例外的な教室表示
A棟地下１階……〔ＡＢ01、ＡＢ02〕　２号館地下１階…〔２Ｂ１〕

※授業の教室割は、開講日までにFUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「Web履修登録」の「時間割表(教室割）照会」でお知らせします。
※理系学部の教室変更・未定分については学部の掲示板に掲示します。

テキスト(教科書)の購入

授業で使用するテキスト(教科書)は、学修ガイド、シラバス(医学部医学科の専門科目は「学修要項」)等を参照し、**履修する科目のテキスト名を確認した上で、購入してください。**

なお、科目によってはテキスト不要の場合や、後期完結科目で後期開講前に販売される場合もあります。
※購入したテキスト（教科書）は、購入時に破損、欠損しているもの以外は返品はできません。
※４月11日の前期授業開始日前後は大変混み合いますので、インターネット注文を利用されるか、早めに購入するようにしてください。

1 販売日時及び販売場所

販売期間：2025年４月２日（水）～４月18日（金）　【土曜日、日曜日を除く】
販売時間：９：00～19：00（４月７日～４月16日）
　　９：00～18：00（４月２日～４月４日、４月17・18日）
販売場所：福岡大学　有朋(ゆうほう)会館２階ラウンジ

※４月21日（月）以降は、ヘリオス文庫で販売します。(休日授業日以外の土曜日・日曜日・祝日を除く。)
※後期の共通教育科目（英語）で使用するテキストは、９月開講時に販売します。
※医学部の専門教育科目については、神陵文庫（医学部研究棟別館地階）にて販売します。期間と時間については書店に確認してください。

2 インターネット注文について

インターネット経由で注文すると、宅配サービスの利用が可能です。

【福岡大学教科書販売サイト　https://fukudai-text.net】

【インターネット注文における注意点】
・『宅配サービス』の受付期間は、４月２日（水）から４月10日（木）までとなっています。なお、宅配サービスは前期のみのサービスです。
・宅配サービスの送料及び代引き手数料は別途必要となりますので、詳細については上記の福岡大学教科書販売サイトで確認してください。
・**申込みから配達まで約３～４日かかります。**特に開講日前日は申込みが集中し、配達日が遅くなることもありますので、開講日までに揃うように早めに申し込んでください。

試　　験

履修登録した授業科目については、試験に合格（60点以上）しなければ「単位」として認定されません。試験は定期試験・追試験（定期試験を受けられなかった場合の試験）・再試験（定期試験が不合格となった場合の試験）の三種類があります。

※定期試験を実施しない授業科目があります。シラバスを必ず確認し、評価方法をよく理解したうえで履修登録を行ってください。なお、上記の授業科目について、履修の手引（p. 74～76、p. 87～88）を参照してください。

1 定期試験

本学では、学期を前期（４月１日～９月13日）と後期（９月14日～３月31日）に分けており、前期・後期それぞれ試験を実施します。

通年の授業科目は、前期・後期共に受験する必要があり、一方だけ受験しても「単位」は与えられません。また、前期または後期完結の授業科目は、授業が開講された学期だけ受験すればよいことになります。

なお、授業科目の試験時間が重複していると受験できません。履修登録の際は、試験時間割表（別途配布）で試験が重複しないように注意して、授業時間割を作成してください。詳しくは、履修の手引「試験の重複」（p. 38）を参照してください。

●前期試験（７月23日～８月１日〔予備日を含む〕）

●後期試験（１月14日～１月27日〔予備日を含む〕）

●交通機関の大きな乱れや台風・積雪等による試験の取扱い

試験日あるいは試験時間の変更等がある場合は、福岡大学公式 Web サイト、FU ポータル等でお知らせします。

2 定期試験についての心得

・試験についての注意事項、教室割、試験時限などは、試験前に掲示や FU ポータルでお知らせしますので、事前に確認してください。

・試験では、各人の座席をすべて指定します。**試験は必ず自分の学籍番号の座席で受験してください。**
座席表は、教室入口近くの掲示板に掲示します。座席がない場合は試験事務室（Ａ棟地下１階）に行ってください。

・成績考査規程を十分心得ておいてください。

・学生証は常に携帯し、受験中は必ず写真面を上にして机の座席番号側の見やすいところに置いてください。
学生証を所持していない場合は受験することができません。忘れた場合は直ちに証明書自動発行機より仮学生証を出力してください。

・試験開始後20分を経過した遅刻者は受験をすることができません。
試験開始後20分経過時に合図のチャイムが鳴りますが、チャイムが鳴り始めると一切入室できません。

・試験開始後30分を経過しなければ退出を許可しません。

・試験中、学生相互の物品の貸借は禁止します。

・監督者の指示があるまで次の時限の受験者は教室に入ることはできません。

・不正行為者については成績考査規程第５条により、当該期間（前期又は後期）に完結する全授業科目及び通年で実施する全授業科目の評価を「放棄」とします。

・答案はいかなる理由でも持ち出してはなりません。答案を持ち出した者に対しては、成績考査規程第５条の２により、その受験科目の評価を「放棄」とします。

・その他、試験場では監督者の指示に従わなければなりません。

3 定期試験時間表

●全学部（商学部第二部を除く）

1　時　限	9 ： 30	～	10 ： 30
2　時　限	10 ： 50	～	11 ： 50
3　時　限	12 ： 30	～	13 ： 30
4　時　限	13 ： 50	～	14 ： 50
5　時　限	15 ： 10	～	16 ： 10
6　時　限	16 ： 30	～	17 ： 30

●商学部第二部

1　時　限	18 ： 20	～	19 ： 20
2　時　限	19 ： 50	～	20 ： 50

▶医学部医学科については、別に示されます。

4 追試験（定期試験を受けられなかった場合の試験）

追試験は、定期試験を、病気その他やむを得ない事情によって受験できなかった者に所定の手続と審議を経て許可される試験です。これには、

・受験料を必要とします。（１科目2,000円）

・願い出た者全員が許可されるとは限りません。

・欠試の理由によって、得点が制限されます。

以上の制約があり、皆さんにとって不利益ともなります。したがって、万難を排して定期試験を受けるようにしてください。

手続及び不明な点の問い合わせは学生課（医学部医学科専門教育科目は医学部事務課（医学）、看護学科専門基礎科目・専門教育科目は医学部事務課（看護学））で取り扱っています。手続の際は必ず欠試の理由を証明する書類（例：病気の場合は医師の診断書）、および印鑑を持参してください。

追試験の申込期間・実施日等の日程については、定期試験前に FU ポータル等でお知らせしますので、見落とさないように注意してください。

また追試験については、成績考査規程第６・７・８・11条を参照してください。

●前期追試験（８月27日～８月31日に実施予定〔予備日を含む〕）

●後期追試験（２月20日～２月27日に実施予定）

●定期試験を実施しない授業科目は、追試験を実施しません。

5 再試験（定期試験が不合格となった場合の試験）

定期試験で不合格となった者については、願い出により再試験を行うことがあります。しかし、次のような制限があります。

・人文・法・経済・商・商二・工・スポーツ科の各学部は４年次生以上に対して実施します。
・理学部は２・４年次生に対して実施します。
・医学部医学科は全学年の学生に対して実施します。
・医学部看護学科は１年次生および２年次生については、試験の結果、不合格の成績評価を得た者で、再試験により進級の見込みのある者、３年次生については、前期に開講する専門基礎科目及び専門教育科目について不合格の成績評価を得た者で、再試験により３年次後期に開講する看護学実習科目の履修見込みのある者および４年次生に対して実施します。
・薬学部は１年次生から５年次生に対して試験の結果、不合格の成績評価を得た者で、再試験により進級の見込のある者および６年次生に対して実施します。ただし、３年次生に対しては共通教育科目の再試験は実施しません。
　なお、専門教育科目については、再試験の結果、上位年次に進級できない者は、その再試験を無効とします。
・受験資格や受験することができる単位数は成績考査規程第12条、第13条を参照してください。
・前期に履修した授業科目が不合格となり、後期登録変更を行うことで同一科目を後期に再履修した場合の再試験の取り扱いは次のとおりです。
　⑴　前期および後期の成績がともに欠点による不合格の場合、後期に履修した授業科目のみを再試験受験の対象科目とする。
　⑵　前期の成績が欠点による不合格で、後期の成績が放棄による不合格の場合、後期に履修した授業科目のみが再試験の対象となるが、当該授業科目を放棄しているため再試験の受験資格を与えない。
・合格した場合の評点は60点となります。
・受験料（１単位1,000円）を必要とします。
・医学部医学科の時間制の専門教育科目は１科目4,000円を必要とします。

２月中旬に上記の学生を対象に成績発表を行い、その結果願い出た者について再試験を実施します。必ず成績発表の日にFUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「教務」の「成績発表」で自分の成績を確認してください。手続は成績考査規程第13条を参照してください。

●再試験（２月20日～２月27日に実施予定）
●医学部看護学科の３年次の再試験は前期開講科目について実施するため、手続や期間が異なります。
●卒業要件と課程修了要件を満たすために必要な科目が重複した場合、その再試験科目を申請する際、再試験の科目として申請できない場合がありますので注意してください。
※詳細については、教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程を履修する場合は教職課程教育センター、日本語教員課程を履修する場合は教務二課（人文学部）に確認してください。
●定期試験を実施しない授業科目は、再試験を実施しません。

成績・進級

前・後期それぞれの定期試験の成績発表日以降、FU ポータルのカテゴリ「授業関連」にある教務（学生メニュー）の「成績発表」より各自で「成績通知書」を確認することができます。

1 成績評価

・成績は100点法によって評価され、60点以上が合格となり所定の単位が与えられます。
・成績通知書には科目ごとに点数が表示されます。
・不合格者（59点以下）の場合は、点数の末尾に「F」が表示されます。
・放棄の場合は、「H」が表示されます。
※放棄「H」とは、「試験の放棄又は成績評価不能」を示しています。（福岡大学成績考査規程第３条第２項第６抜粋）
※「試験の放棄」とは、定期試験・追試験および再試験を受験しなかった場合であり、「成績評価不能」とは、試験によらず成績を評価する科目について、学生の課題等の提出状況、受講状況その他の成績評価の前提条件を満たしておらず、点数を付けることができないと担当教員が認めた場合となります。

素点範囲	成績評語
100～90	秀
89～80	優
79～70	良
69～60	可
59点以下	不可
試験の放棄又は成績評価不能	放棄

2 成績・進級

学年末には「成績通知書」を確認の上、次年度の履修登録を行うことになります。誤った履修登録を行うと、修業年限（４年間。医学部医学科および薬学部は６年間。）内で卒業できない事態を招きかねません。自分の修得科目や単位数を十分に把握し、学則や学科履修規程を熟読して慎重に履修登録をするよう心がけてください。

また、修得単位数が少ない場合、理系学部では規定により登録できる科目が制限されたり、進級できずに「留年」となる場合があります。不断の努力を重ね、修業年限内での卒業をめざしてください。

3 GPA 制度

成績通知書に、成績評価指標としての GPA を付記します。

GPA（Grade Point Average）は、次に示した算出基準・計算式で計算される履修科目の評点に単位数を加味した加重平均値です。大学での学修が、単に卒業単位を取得するのみではなく、より真剣に学ぶことにより大学教育を実質化し、大学の教育の質を保証するためのシステムの一環でもあります。途中で受講をやめたり、試験を放棄したりすると GPA が低下します。したがって、学生の皆さんには履修責任が求められることになります。

●GPA の算出基準

履修した科目の成績評価は100点満点で行います。点数に応じて科目毎に GP 評点を算出します（下表参照）。

素点範囲	成績評語	GP 評点
100～90	秀	4.0
89～80	優	3.0
79～70	良	2.0
69～60	可	1.0
59点以下	不可	0.0
試験の放棄又は成績評価不能	放棄	0.0

●GPA の計算式と対象

$$\text{GPA}=\frac{\text{【秀の修得単位数×4】＋【優の修得単位数×3】＋・・＋【不可・放棄の単位数の和×0】}}{\text{秀＋優＋良＋可＋不可＋放棄の総履修単位数}}$$

・GPA は「卒業要件に関わる履修科目」および「課程科目を含む全履修科目」について、それぞれ「当該セメスターに履修した科目」および「当該セメスターまでに履修した全科目」の括りで算出します。
・不合格となった科目を後に再履修して合格となった場合、セメスター毎の GPA は元の成績で算出しますが、通算の GPA は合格した際の成績のみを対象として算出します。
・他大学等で履修した科目の単位で、本学の履修科目として修得が認められた単位（認定単位）については GPA の対象とはなりません。

●GPA の利用

学部・学科により、特待生の選考やゼミの選考などに利用されます。なお、成績証明書には記載されません。

4 成績評価に関する問合せ制度について

成績評価は厳格かつ正確に行われるよう留意していますが、万一成績評価に疑問がある場合には、所属学部の事務部署に申し出れば、皆さんに代わって授業担当者に問合せを行います。受付期間は、成績発表開始日から 3 日間としています。詳細については、FU ポータル等により皆さんにお知らせします。

なお、この制度は成績評価の厳格さと正確さを担保するためのものです。授業担当者との評点の交渉や、成績不振者に対する救済の機会を提供するものではありません。

在学の年限

学生は、８年を超えて在学することができません。

なお、医学部医学科および薬学部の学生については、12年を超えて在学することができず、同一学年・年次に在学できる年数は２年が限度です。

上記在学期間が満了した場合は除籍になりますので、十分留意の上勉学に励んでください。

卒　　業

1 卒業の認定

修業年限および「福岡大学学科履修規程」に定められた各学部の卒業に必要な科目・単位数を満たした者には３月に卒業の認定を行います。

2 前期卒業

修業年限を満たし、前期完結科目の合格によって前期で卒業要件科目および単位を修得した場合、本人の希望により前期終了日付で卒業の認定を受けることができます。

※前期卒業については、本人による事前の手続が必要です。２月に実施する４年次生以上の成績発表後に成績を確認した上で、必ず３月の履修登録前に所属学部の事務部署の窓口で相談してください。

交通機関の乱れや台風･積雪等による授業の休講等

交通機関の大きな乱れや台風・積雪等により、授業や試験の予定に変更が生じる場合は、福岡大学公式Webサイト、FUポータル等でお知らせします。

○福岡大学公式Webサイト

Ⅳ

履修の手引

- 諸規程と履修登録
- シラバス
- FU プラスアップ授業
- 履修登録上の注意事項
- 履修登録等の日程
- 全学部共通留意事項
- 商学部第二部留意事項
- 会計専門職プログラム
- クリエイティブ・マネジメント・プログラム
- 高校商業・情報科教員育成プログラム
- 地域ビジネスデザインプログラム
- 各種課程の履修について
- 外国語科目クラス別担当者一覧

諸規程と履修登録

大学において単位を修得し卒業するためには、学則・学科履修規程ならびにそれらに準じて取り扱われる規程に従って学習を進めていかなければなりません。

履修方法を誤ったり、多くの授業科目で不合格になると、進級できなかったり、４年間（医学部医学科および薬学部は６年間）で卒業できないようなことになりかねません。

授業内容を考慮することはもちろん、規程をよく理解したうえで、履修する授業科目を選択し、学習計画を立てるようにしてください。

分からないことがあれば、所属学部の事務部署へ気軽に尋ねてください。規程の内容を確認したり、学習計画を立てるうえでの相談やアドバイスを受けたりすることができます。

1 諸規程の適用

学則・学科履修規程など履修に関する諸規程は、在学中に改正される場合もありますが、卒業のための要件は原則として入学時の規程が適用されます。

「学則」をはじめとする諸規程の中には、入学時に配付する印刷物にしか掲載していないものもあります。入学した年度の「学修ガイド」を卒業するまで大切に保管してください。

2 諸規程の改正

入学から卒業までの間に改正された学則・学科履修規程などが在学生に適用されることがあります。

この場合は、改正された内容が毎年度配付する『学修ガイド』に掲載されますので、入学時の規程と対比してどのように改正されたかを把握し、間違った履修をしないようにしてください。

3 履修登録とは

履修登録とは、各自が年間の履修計画を立て、その計画に基づき授業科目を申請する手続きのことです。

そのために、『学修ガイド』あるいは学部から配付される履修登録に関する資料などをよく読み、「授業時間割」「試験時間割」「シラバス」をもとに自分の履修計画に沿って、FU ポータルより履修登録を行ってください。

履修登録を正しく行わなかった場合、その授業科目の受講・受験は認められず、単位も修得できません。履修登録は、各自の責任において行うことを自覚してください。

シ ラ バ ス

1 シラバスとは何か

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。シラバスには、科目名だけではわからない詳細な情報が記載されています。次のように活用してください。

●履修計画を立てる時の参考とする。
大学の学修は、自分で必要な科目を選択します。関心をもった科目は、まずシラバスをよく読んで履修するかどうか決めましょう。
シラバスには、各授業科目の概要や到達目標、成績評価基準および方法等が掲載されていますので、どのような授業を受けたいのか、また授業を通してどのような知識・理解を深めたいのかを考える時の参考にしてください。

●日々の授業の予習・復習に役立てる。
シラバスには、各授業科目の授業計画やテキスト等が掲載されていますので、予習・復習等に役立ててください。

2 シラバスの項目

主な項目	内　　容
科目名	履修申請をする際に表示される科目名が記載されています。
授業形態	授業が以下のどの形態で行われるかが記載されています。 【①講義、②講義（外国語による）、③演習、④実験、⑤実習、⑥実技、⑦講義及び演習、⑧講義及び実習】
担当教員	担当教員名が記載されています。
実務経験	「有り」と表記されている場合は、担当教員が授業科目に関連する実務経験を有しており、その経験を活かした授業を行います。また、どのような実務経験を有し、どのような授業を行うのか、「概要」欄に記載されます。
科目水準	科目が以下のどの水準であるかが記載されています。 【①入門、②初級、③中級、④上級】
授業の種類	科目が「対面授業科目」であるか「遠隔授業科目」であるかが記載されています。
概要	授業内容に加えて、本科目の位置づけ、科目のねらい、授業概要等が記載されています。
授業の進行・方法	授業の具体的な進め方、学習の方法などわかりやすく記載されています。
アクティブ･ラーニング	１回でもとりいれている授業の場合は、「あり／Yes」と記載されています。
到達目標	授業を全て受けることで、みなさんが到達することのできる目標が記載されています。授業終了後には、各到達目標をどの程度達成できたかを「授業アンケート（FURIKA）」にて振り返ります。
授業時間外の学習（予習・復習）	授業の事前・事後に行う自主学習について記載されています。 ☞本書「授業・試験」→「単位と授業時間」参照（p. 21）
成績評価基準および方法	「到達目標」に対するみなさんの達成度をどういった基準で評価するのか、また、どのような方法（定期試験、平常点（小テスト、課題等）、レポート等）で評価するのかが記載されています。
テキスト、参考書	授業で使用するテキストが記載されています。テキストは授業開始日までに購入しておくようにしましょう。 ☞本書「授業・試験」→「テキストの購入」参照（p. 24）
履修上の留意点	履修するにあたっての留意点や前提となる知識・能力などが記載されています。
授業計画	15回の授業計画がわかりやすく記載されています。

※項目名は、授業科目により異なる場合があります。
※アクティブ・ラーニングとは、次のような要素を取りいれた授業方法を指します。
・PBL（課題解決型学習）　・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
・ディスカッション、ディベート　・グループワーク　・プレゼンテーション　・学習、フィールドワーク
出典：令和元年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ１- ４アクティブ・ラーニング）

3 シラバスの閲覧

●閲覧方法

シラバスは、FU ポータルから閲覧することが可能です。FU ポータルにログインし、「授業関連」タブ⇒「WEB シラバス」⇒「シラバス閲覧（学部）」にアクセスしてください。教員名、科目名、学部・学科等から検索し、閲覧することができます。詳細は「履修登録の手引」を参照してください。

> **☞FU ポータルとは？**
> 福岡大学生のためのポータルサイトで、Web 上で提供される様々なサービスの入口となります。
> 詳細は、本書「授業・試験」→「大学からの連絡（(1)「FU ポータル」）」を参照してください。
> （p. 19）

●公開日

履修登録に先立ち、３月上旬に公開します。

FU プラスアップ授業

本学の授業は、原則として半期に15回で構成されています。前期・後期ともに15回の授業のうち、授業週として14週を設定し、残り１回分は動画配信による遠隔授業で実施します。この遠隔授業のことを「FU プラスアップ授業」と称します。

「FU プラスアップ授業」は、実施時期、内容により、「スタートアップ授業」と「中間フォローアップ授業」に二分され、どちらの授業で実施されるかは科目によって異なります。自身の履修する科目がどちらの授業で実施されるかについては、各科目のシラバス内の「授業計画」で確認してください。

スタートアップ授業を行う科目では、第１回目の授業はスタートアップ授業で行われます。前期・後期ともに、第１週の授業（第２回授業）開始前までに自身が受講する科目のスタートアップ授業を必ず視聴するようにしてください（前期は３月上旬～第１週の授業まで、後期は８月下旬～第１週の授業までに受講してください）。

※「FU プラスアップ授業」は、学期開始前に、自分がどの科目を履修するかを決めるための情報源として活用したり、自分が所属する学部以外のさまざまな学部の授業動画を見て関心を広げたりできるなど、活用の仕方はさまざまです。

〈例：新入生の場合〉

視聴目的	期　　間
履修登録前に参考として視聴する場合	令和７年４月２日～令和７年４月５日
第１回目の授業として視聴する場合	令和７年４月２日～第１回の対面授業日まで
復習や自身の関心を広げるために視聴する場合	令和７年４月２日～令和８年３月31日

※在学生はシラバス公開時から、翌年３月末日まで視聴可能です。自身の目的に合わせて視聴してください。

●スタートアップ授業

＜概要＞

第１回目に行われるシラバスの丁寧な説明を含んだ授業です。

本学の学生はすべてスタートアップ授業を３月上旬から１年間、いつでも閲覧することができるため、履修登録前に視聴することで、より主体的な履修選択ができます。

また、科目の狙いや到達目標、成績評価の基準などを学期期間中にいつでも参照できることで、より計画的、自律的な学習や授業期間中の振り返りを促すことを目的としています。

＜視聴方法＞

シラバス内の「スタートアップ授業」に記載されたURLから授業動画を確認できます。

※第１週目の授業に関係する内容が含まれている場合があるため、必ず第１週目の授業開始までに視聴してください。

＜スタートアップ授業の主な流れ＞

①**履修登録開始前、**履修する科目選びの参考にするため視聴します。

（関心を持った科目のスタートアップ授業の「イントロダクション部分」を視聴してください。）

②**履修登録後、**第１回授業の内容を学ぶため、第１週の授業（第２回授業）前までに視聴します。

（履修登録した科目の「授業内容紹介」を視聴してください。なお、課題が課される場合もあります。）

●中間フォローアップ授業

＜概要＞

第６回目から第９回目を目安に行われる中間振り返り授業です。

学期の中間地点で学修を振り返り、自身の到達度を確認することで、学習内容の定着を図ることを目的としています。

※中間フォローアップ授業では、その時点までにおいて自身がその授業の到達目標にどの程度到達したか、確認するための課題が課されます。

＜視聴方法＞

シラバスからは視聴できません。各科目担当教員の指示に従ってください。

＜中間フォローアップ授業の主な流れ＞

①**主に６～９回目、**中間フォローアップ授業を視聴し、課された課題に取り組みます。

②**課題提出後、**自身の到達状況を確認し、授業後半の学習計画を見直します。

※通年授業や半期30回授業等で、学期中に中間フォローアップ授業を２回行う場合があります。担当教員から、中間フォローアップ授業の回数や時期を聞いて確認してください。

※FUプラスアップ授業の詳細については、『「FUプラスアップ授業」学生用マニュアル』を参照ください。

履修登録上の注意事項

1 履修登録の方法

FUポータルで履修科目の登録手続きを行います。

インターネット環境があれば、自宅など学外から登録手続きを行えます。

2 準備するもの

履修登録を行うにあたり、次の書類・資料を準備してください。
・学修ガイド（特に「履修の手引」「試験時間割」「諸規程」「履修登録の手引」）
・授業時間割
・「学科基本クラス分け一覧表」（在学生は学修ガイド（p. 41～43）に記載）
・その他、各学部が作成した履修登録に関する資料
※シラバスは、FU ポータルから参照できます。（シラバスについては、学修ガイド p. 34～35参照）

3 授業時間割の見方

① 曜日・時限別に区分された枠内に、そこで開講される授業の科目名・担当者・開講期別・クラスなどが表示されています。
　時間割上で学部・学科あるいはクラスが指定されている授業科目は、それにしたがって履修登録してください。
② 学部記号が〇で囲まれている授業科目は、その学部の全学科の学生が登録できることを示しています。
　〔例〕Ⓙ（法学部）……JJ（法律学科）、JB（経営法学科）とも登録可能。
　　Ⓖ（スポーツ科学部）……GS（スポーツ科学科）、GH（健康運動科学科）とも登録可能。
③ 学部や学科が指定されている授業科目は、指定の学部や学科の学生のみ登録することができます。
　〔例〕Ⓔ・CC……経済学部全学科および商学部商学科のみ登録可能
④ 前期または後期で完結する 4 単位の授業科目については、週 2 回の授業が行われます。
⑤ 履修登録では、自分が登録することができる授業科目のみ表示されます。
※授業時間割表は、FU ポータルから参照できます。

4 クラス表示

授業時間のクラス表示については、下表に従い履修登録してください。

<table>
<tr><th>対　象　者</th><th>英　　語</th><th>英語以外の科目</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>1 年次生（25台）
2025年度入学生</td><td rowspan="2">PE、CE、IE（注 1）は事前に登録していますので、p. 65 4 外国語科目「1 外国語科目の履修登録について」の「● 英語の履修登録について」を参照の上クラスを確認してください。
（再履修者は除く）</td><td>「学科基本クラス分け一覧表」で該当する学科基本クラスをもとに登録してください。</td><td>「学科基本クラス分け一覧表」は FU ポータルにて確認してください。</td></tr>
<tr><td>2 年次生（24台）
2024年度入学生
・
3 年次生（23台）
2023年度入学生</td><td rowspan="2">「学科基本クラス分け一覧」（p. 41～43参 照）で該当する学科基本クラスをもとに登録してください。</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>4 年次生(22台以前)
2022年度入学生</td><td>—</td></tr>
</table>

（注 1）PE……Practical English
　　CE……Core English
　　IE ……インターミディエイト・イングリッシュ
※東アジア地域言語学科［2024年度（24台）以前入学生］の IE Ⅲ・Ⅳおよび［2025年度（25台）以降入学生］の PE Ⅰ・CE Ⅱについては事前登録されていませんので、履修する場合は各自で履修登録してください。

「フレッシュマン・イングリッシュ」「インターミディエイト・イングリッシュ」の再履修については、4 外国語科目「2 英語の履修について」の「●再履修について（FE・IE)」(p. 67～）を参照してください。

〔クラス表示の例〕

	クラス名称		
英語クラス	J （学部）	PRO―1 （クラス）	「英語」の登録用クラス
学科基本クラス	JJ （学部・学科）	5 （クラス）	「英語」以外の履修登録用クラス ※学科基本クラス分け一覧表参照

5 授業の重複

開講する期別・曜日・時限が同じ授業科目については、ひとつの授業科目しか登録することができません。

通年で開講する授業科目と前期または後期のみ開講する授業科目についても、曜日・時限が同一であれば、どちらかの授業科目しか登録できません。

6 試験の重複

履修登録しようとする授業科目が定期試験の同じ期日・時限で重複しないよう、試験時間割（別途配布）をよく見て登録してください。授業科目の開講曜日・時限が異なっていても試験が重複している科目はいずれか１つしか登録できません。

7 履修登録上の注意

① 履修登録を行う日程は学部・学科・学籍年台により異なります。
詳しくは **FU ポータルの「履修登録の手引き」p. 2 を参照してください。**
② 履修登録の日時や期限は厳守してください。後述する「後期開講科目の登録変更」および「履修登録の撤回」の場合を除き、期限経過後は変更できません。
③ 履修登録の方法については、FU ポータル「履修登録の手引」に詳しく記載されていますので、あらかじめよく読んで操作方法を理解しておいてください。
④ 登録が正しく行われていない場合、卒業や進級ができなくなる場合も考えられます。必ず**「授業科目確認表」**を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。
⑤ 集中講義で開講される科目や商学部第二部で受講する教職課程科目等も履修登録が必要です。
⑥ 教職課程科目・博物館学芸員課程科目・社会教育主事課程科目を登録する場合は、学部の授業科目と重複しないよう授業時間割および定期試験時間割上で確認してください。

『履修登録の手引』の中にある「履修登録用紙（下書き用)」および「Web プロフィール（下書き用)」について必ず事前に記入して履修登録を行ってください。シラバスを事前に参照することも可能です。

8 履修登録の流れ

年度始めに皆さんが行う履修登録作業は概ね次のとおりです。学部によっては、この他にも必要なことがありますので、学修ガイドや配付物、掲示物等を注意して確認してください。

✍事前に確認すること

1．1年間に登録できる単位数の上限 ○学部、学科、年次などにより、1年間に登録できる単位数が異なります。 ○ただし、教職課程等の課程科目を登録するときの単位数は、上限の単位数に含みません。	☞ 学修ガイド「学科履修規程」（p. 170～176参照）
2．卒業（進級）要件単位数 ○学部、学科、年次などにより、卒業に必要な単位数が異なります。また、理系学部では上位年次への進級に必要な単位数が決められている場合があります。 ○卒業（進級）要件単位数を考慮して履修計画を立ててください。	☞ 学修ガイド「学科履修規程」（p. 148～169参照）
3．クラス ○クラス指定がある授業科目は、自分のクラスで登録を行う必要があります。あらかじめ自分のクラスを確認してください。	☞ 1年次はFUポータル参照 2年次以上は学修ガイド「学科基本クラス分け一覧」（p. 41～43参照）

▼

✍登録科目の選択

4．登録することができる科目 ○「年次別授業科目表」を開き、自分が登録することができる科目を把握してください。2年次生以上の場合、既に単位を修得した科目は登録できません。	☞ 学修ガイド「学科履修規程（年次別授業科目表）」（p. 148～169参照）
5．上位年次に開講される授業科目は登録できない ○例えば、1年次生は1年次設置科目のみ、2年次生は1・2年次に開講される科目が登録できます。	
6．必修科目、選択必修科目を優先して登録 ○総合教養科目はできるだけ下位年次で履修するようにしてください。	
7．シラバスを参考に ○シラバスには、各授業科目の概要や評価基準および方法、授業計画等が掲載されています。また、スタートアップ授業を実施する科目については、授業動画を視聴することもできます。よく読んで、登録する科目を決めてください。	☞ 学修ガイド「シラバス」（p. 34～35参照）
8．定期試験の時間割が重複していないか ○受講が可能であっても、試験日時が重複していれば登録できません。	☞ 学修ガイド「試験時間割」（別途配布）
9．登録制限科目を登録する場合 ○科目によっては登録人数を制限するものがあります。「履修の手引」などの指示に従って事前に登録手続きを行ってください。	☞ 学修ガイド「履修の手引」（p. 47～60、p. 81～83）
10．授業時間割への記入 ○登録しようとする授業科目にマーカーなどで印を付けてください。	

▼

11．下書き用紙への記入 ○学修ガイド「履修登録の手引」に入っている「履修登録用紙（下書き用）」に登録する授業科目を記入してください。 ○また、同じく「Webプロフィール（下書き用）」に必要事項を記入してください。（履修登録の際、同時に入力します。） **※履修登録を効率的に行うために、必ず下書きした用紙を履修登録当日に参照しながら履修登録を行ってください。**	☞ FUポータル「履修登録の手引」

▼

✐履修登録

12．履修登録 ○履修登録の操作方法等はFUポータル「履修登録の手引」に詳しく記載されていますので、あらかじめよく読んで操作方法を理解しておいてください。 ○登録作業が済んだら、必ず**「授業科目確認表」**を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。	☞ FUポータル 「履修登録の手引」
13．履修登録の日程 ○履修登録を行う日程等は学部・学科・学籍年台により異なります。 ○履修登録の日時や期限は厳守してください。「後期開講科目の登録変更」および「履修登録の撤回」の場合を除き、期限経過後は変更できません。	☞ FUポータル 「履修登録の手引」 「履修登録等の日程」 （p. 44～45参照）

▼

✐前期授業の開始

14．授業教室割の通知
○開講日までにFUポータル「時間割表（教室割）照会」で、授業教室をお知らせしますので、あらかじめ確認して登学してください。
○理・工・医・薬・スポーツ科学部で開講する科目については、掲示等で教室をお知らせする場合があります。

15. FUプラスアップ授業の視聴
○各科目のシラバス内の「授業計画」で「FUプラスアップ授業」の種類を確認してください。
○「スタートアップ授業」の場合、第１週の授業までにシラバス内の「スタートアップ授業」に記載されたＵＲＬから授業動画を視聴してください。
※後期開講科目については、８月下旬～後期第１回授業までに授業動画を視聴してください。
○「中間フォローアップ授業」の場合、授業期間中に教員の指示に従い、授業動画を視聴してください。

9 前期成績発表と後期開講科目の登録変更

１年間に履修する科目については、あらかじめ前期授業開始前に通年、前・後期完結科目を全て登録しますが、後期の科目については、前期の成績を確認して、既に登録している履修科目を変更(削除・追加)することができます。前期成績発表および後期開講科目の登録変更日程については、**p. 44～45「履修登録等の日程」を参照してください。**

●注意点

通年開講科目については登録を変更することができません。また、必修科目や登録制限科目など各学部の教授会等が指定した科目および共通教育科目の一部については、登録変更をすることができない場合があります。

なお、変更にあたっては、１年間あるいは前期・後期に履修することができる単位数(登録上限単位)の範囲内であることが必要です。

10 履修登録の撤回

「履修登録した授業の内容が想定したものと違っていた」「このまま履修を続けるより他の科目に集中して取り組みたい」などと判断した場合、その学期の開講から３週間以内に申し出れば、前後期それぞれ２科目以内かつ８単位以内に限って履修登録を撤回（削除）できます。撤回した科目の単位数は当該年度の履修登録単位数から除外されます。ただし、撤回した科目の代わりに他の科目を追加登録することはできません。

むやみに撤回すると卒業や進級に必要な単位数が不足する可能性もあるため、慎重な対応が必要です。

なお、必修科目や登録制限科目など各学部の教授会等が指定した科目および共通教育科目の一部については、撤回することができない場合があります。また、後期については、通年開講科目を撤回することはできません。さらに後期開講の集中講義科目のうち、夏季休業中に開講されるものは、前期の撤回期間中のみ撤回することができます。(夏季休業中に開講される後期集中講義科目は、講義開始後に撤回することはできません。)

履修登録撤回の手続き・日程等については**p. 44～45「履修登録等の日程」を参照してください。**

11 学科基本クラス分け一覧

2024年度入学生（24台）

学部学科	クラス	学籍番号
ＬＣ	1	ＬＣ240001～ＬＣ240056
	2	ＬＣ240057～ＬＣ240111
ＬＨ	1	ＬＨ240301～ＬＨ240345
	2	ＬＨ240346～ＬＨ240389
ＬＪ	1	ＬＪ240501～ＬＪ240540
	2	ＬＪ240541～ＬＪ240580
ＬＰ	1	ＬＰ241501～ＬＰ241551
	2	ＬＰ241552～ＬＰ241602
ＬＥ	1	ＬＥ240701～ＬＥ240755
	2	ＬＥ240756～ＬＥ240809
ＬＧ	1	ＬＧ全員
ＬＦ	1	ＬＦ全員
ＬＡ	1	ＬＡ241301～ＬＡ241334
	2	ＬＡ241335～ＬＡ241368
ＪＪ	1	ＪＪ240001～ＪＪ240047
	2	ＪＪ240048～ＪＪ240094
	3	ＪＪ240095～ＪＪ240141
	4	ＪＪ240142～ＪＪ240188
	5	ＪＪ240189～ＪＪ240235
	6	ＪＪ240236～ＪＪ240282
	7	ＪＪ240283～ＪＪ240329
	8	ＪＪ240330～ＪＪ240376
	9	ＪＪ240377～ＪＪ240423
	10	ＪＪ240424～ＪＪ240470
ＪＢ	1	ＪＢ242001～ＪＢ242042
	2	ＪＢ242043～ＪＢ242084
	3	ＪＢ242085～ＪＢ242126
	4	ＪＢ242127～ＪＢ242168
	5	ＪＢ242169～ＪＢ242209
ＥＥ	1	ＥＥ240001～ＥＥ240041
	2	ＥＥ240042～ＥＥ240082
	3	ＥＥ240083～ＥＥ240123
	4	ＥＥ240124～ＥＥ240164
	5	ＥＥ240165～ＥＥ240205
	6	ＥＥ240206～ＥＥ240246
	7	ＥＥ240247～ＥＥ240287
	8	ＥＥ240288～ＥＥ240328
	9	ＥＥ240329～ＥＥ240368
	10	ＥＥ240369～ＥＥ240408
	11	ＥＥ240409～ＥＥ240448
	12	ＥＥ240449～ＥＥ240488
ＥＩ	1	ＥＩ242001～ＥＩ242056
	2	ＥＩ242057～ＥＩ242112
	3	ＥＩ242113～ＥＩ242167
	4	ＥＩ242168～ＥＩ242222
ＣＣ	1	ＣＣ240001～ＣＣ240046
	2	ＣＣ240047～ＣＣ240092
	3	ＣＣ240093～ＣＣ240138
	4	ＣＣ240139～ＣＣ240183
	5	ＣＣ240184～ＣＣ240228
	6	ＣＣ240229～ＣＣ240273

学部学科	クラス	学籍番号
ＣＢ	1	ＣＢ241001～ＣＢ241048
	2	ＣＢ241049～ＣＢ241095
	3	ＣＢ241096～ＣＢ241142
	4	ＣＢ241143～ＣＢ241189
	5	ＣＢ241190～ＣＢ241236
	6	ＣＢ241237～ＣＢ241283
ＣＦ	1	ＣＦ242001～ＣＦ242049
	2	ＣＦ242050～ＣＦ242098
	3	ＣＦ242099～ＣＦ242147
	4	ＣＦ242148～ＣＦ242196
ＢＢ	1	ＢＢ240001～ＢＢ240030
	2	ＢＢ240031～ＢＢ240060
	3	ＢＢ240061～ＢＢ240089
	4	ＢＢ240090～ＢＢ240118
	5	ＢＢ240119～ＢＢ240147
	6	ＢＢ240148～ＢＢ240176
ＳＭ	1	ＳＭ240001～ＳＭ240037
	2	ＳＭ240038～ＳＭ240052
		ＳＭ241001～ＳＭ241021
ＳＰ	1	ＳＰ240201～ＳＰ240230
	2	ＳＰ240231～ＳＰ240260
ＳＣ	1	ＳＣ240401～ＳＣ240440
	2	ＳＣ240441～ＳＣ240480
ＳＥ	1	ＳＥ240601～ＳＥ240636
	2	ＳＥ240637～ＳＥ240671
ＴＭ	1	ＴＭ240001～ＴＭ240056
	2	ＴＭ240057～ＴＭ240112
ＴＥ	1	ＴＥ240301～ＴＥ240352
	2	ＴＥ240353～ＴＥ240404
ＴＬ	1	ＴＬ241201～ＴＬ241240
	2	ＴＬ241241～ＴＬ241280
	3	ＴＬ241281～ＴＬ241320
	4	ＴＬ241321～ＴＬ241359
ＴＫ	1	ＴＫ241501～ＴＫ241552
	2	ＴＫ241553～ＴＫ241604
ＴＣ	1	ＴＣ240601～ＴＣ240654
	2	ＴＣ240655～ＴＣ240708
ＴＡ	1	ＴＡ240901～ＴＡ240963
	2	ＴＡ240964～ＴＡ241025
ＭＭ	1	ＭＭ240001～ＭＭ240056
	2	ＭＭ240057～ＭＭ240110
ＭＮ	1	ＭＮ242001～ＭＮ242056
	2	ＭＮ242057～ＭＮ242110
ＰＰ	1	ＰＰ240001～ＰＰ240041
	2	ＰＰ240042～ＰＰ240082
	3	ＰＰ240083～ＰＰ240122
	4	ＰＰ240123～ＰＰ240162
	5	ＰＰ240163～ＰＰ240202
	6	ＰＰ240203～ＰＰ240242
ＧＳ	1	ＧＳ240001～ＧＳ240039
	2	ＧＳ240040～ＧＳ240077
	3	ＧＳ240078～ＧＳ240115
	4	ＧＳ240116～ＧＳ240153
	5	ＧＳ240154～ＧＳ240191
	6	ＧＳ240192～ＧＳ240229
ＧＨ	1	ＧＨ240301～ＧＨ240338
	2	ＧＨ240339～ＧＨ240375

2023年度入学生（23台）

学部学科	クラス	学籍番号
ＬＣ	1	ＬＣ230001～ＬＣ230050
	2	ＬＣ230051～ＬＣ230100
ＬＨ	1	ＬＨ230301～ＬＨ230335
	2	ＬＨ230336～ＬＨ230370
ＬＪ	1	ＬＪ230501～ＬＪ230536
	2	ＬＪ230537～ＬＪ230571
ＬＰ	1	ＬＰ231501～ＬＰ231562
	2	ＬＰ231563～ＬＰ231623
ＬＥ	1	ＬＥ230701～ＬＥ230746
	2	ＬＥ230747～ＬＥ230791
ＬＧ	1	ＬＧ全員
ＬＦ	1	ＬＦ全員
ＬＡ	1	ＬＡ231301～ＬＡ231332
	2	ＬＡ231333～ＬＡ231364
ＪＪ	1	ＪＪ230001～ＪＪ230044
	2	ＪＪ230045～ＪＪ230088
	3	ＪＪ230089～ＪＪ230132
	4	ＪＪ230133～ＪＪ230175
	5	ＪＪ230176～ＪＪ230218
	6	ＪＪ230219～ＪＪ230261
	7	ＪＪ230262～ＪＪ230304
	8	ＪＪ230305～ＪＪ230347
	9	ＪＪ230348～ＪＪ230390
	10	ＪＪ230391～ＪＪ230433
ＪＢ	1	ＪＢ232001～ＪＢ232044
	2	ＪＢ232045～ＪＢ232088
	3	ＪＢ232089～ＪＢ232132
	4	ＪＢ232133～ＪＢ232175
	5	ＪＢ232176～ＪＢ232218
ＥＥ	1	ＥＥ230001～ＥＥ230040
	2	ＥＥ230041～ＥＥ230080
	3	ＥＥ230081～ＥＥ230120
	4	ＥＥ230121～ＥＥ230160
	5	ＥＥ230161～ＥＥ230200
	6	ＥＥ230201～ＥＥ230240
	7	ＥＥ230241～ＥＥ230280
	8	ＥＥ230281～ＥＥ230320
	9	ＥＥ230321～ＥＥ230360
	10	ＥＥ230361～ＥＥ230400
	11	ＥＥ230401～ＥＥ230440
	12	ＥＥ230441～ＥＥ230479
ＥＩ	1	ＥＩ232001～ＥＩ232052
	2	ＥＩ232053～ＥＩ232104
	3	ＥＩ232105～ＥＩ232156
	4	ＥＩ232157～ＥＩ232207
ＣＣ	1	ＣＣ230001～ＣＣ230044
	2	ＣＣ230045～ＣＣ230087
	3	ＣＣ230088～ＣＣ230130
	4	ＣＣ230131～ＣＣ230173
	5	ＣＣ230174～ＣＣ230216
	6	ＣＣ230217～ＣＣ230259

学部学科	クラス	学籍番号
ＣＢ	1	ＣＢ231001～ＣＢ231041
	2	ＣＢ231042～ＣＢ231082
	3	ＣＢ231083～ＣＢ231123
	4	ＣＢ231124～ＣＢ231164
	5	ＣＢ231165～ＣＢ231205
	6	ＣＢ231206～ＣＢ231245
ＣＦ	1	ＣＦ232001～ＣＦ232045
	2	ＣＦ232046～ＣＦ232090
	3	ＣＦ232091～ＣＦ232135
	4	ＣＦ232136～ＣＦ232179
ＢＢ	1	ＢＢ230001～ＢＢ230027
	2	ＢＢ230028～ＢＢ230053
	3	ＢＢ230054～ＢＢ230079
	4	ＢＢ230080～ＢＢ230105
	5	ＢＢ230106～ＢＢ230131
	6	ＢＢ230132～ＢＢ230157
ＳＭ	1	ＳＭ230001～ＳＭ230033
	2	ＳＭ230034～ＳＭ230047
		ＳＭ231001～ＳＭ231019
ＳＰ	1	ＳＰ230201～ＳＰ230226
	2	ＳＰ230227～ＳＰ230247
		ＳＰ231201～ＳＰ231205
ＳＣ	1	ＳＣ230401～ＳＣ230433
	2	ＳＣ230434～ＳＣ230458
		ＳＣ231401～ＳＣ231407
ＳＥ	1	ＳＥ230601～ＳＥ230637
	2	ＳＥ230638～ＳＥ230674
ＴＭ	1	ＴＭ230001～ＴＭ230056
	2	ＴＭ230057～ＴＭ230112
ＴＥ	1	ＴＥ230301～ＴＥ230359
	2	ＴＥ230360～ＴＥ230417
ＴＬ	1	ＴＬ231201～ＴＬ231238
	2	ＴＬ231239～ＴＬ231275
	3	ＴＬ231276～ＴＬ231312
	4	ＴＬ231313～ＴＬ231349
ＴＫ	1	ＴＫ231501～ＴＫ231550
	2	ＴＫ231551～ＴＫ231599
ＴＣ	1	ＴＣ230601～ＴＣ230657
	2	ＴＣ230658～ＴＣ230714
ＴＡ	1	ＴＡ230901～ＴＡ230955
	2	ＴＡ230956～ＴＡ231009
ＭＭ	1	ＭＭ230001～ＭＭ230055
	2	ＭＭ230056～ＭＭ230110
ＭＮ	1	ＭＮ232001～ＭＮ232055
	2	ＭＮ232056～ＭＮ232110
ＰＰ	1	ＰＰ230001～ＰＰ230041
	2	ＰＰ230042～ＰＰ230082
	3	ＰＰ230083～ＰＰ230123
	4	ＰＰ230124～ＰＰ230164
	5	ＰＰ230165～ＰＰ230205
	6	ＰＰ230206～ＰＰ230245
ＧＳ	1	ＧＳ230001～ＧＳ230039
	2	ＧＳ230040～ＧＳ230078
	3	ＧＳ230079～ＧＳ230117
	4	ＧＳ230118～ＧＳ230156
	5	ＧＳ230157～ＧＳ230194
	6	ＧＳ230195～ＧＳ230232
ＧＨ	1	ＧＨ230301～ＧＨ230338
	2	ＧＨ230339～ＧＨ230375

2022年度入学生（22台）

学部学科	クラス	学籍番号
ＬＣ	1	ＬＣ220001～ＬＣ220050
	2	ＬＣ220051～ＬＣ220103
ＬＨ	1	ＬＨ220301～ＬＨ220335
	2	ＬＨ220336～ＬＨ220371
ＬＪ	1	ＬＪ220501～ＬＪ220536
	2	ＬＪ220537～ＬＪ220572
ＬＰ	1	ＬＰ221501～ＬＰ221555
	2	ＬＰ221556～ＬＰ221610
ＬＥ	1	ＬＥ220701～ＬＥ220746
	2	ＬＥ220747～ＬＥ220791
ＬＧ	1	ＬＧ220901～ＬＧ220951
ＬＦ	1	ＬＦ221101～ＬＦ221148
ＬＡ	1	ＬＡ221301～ＬＡ221335
	2	ＬＡ221336～ＬＡ221370
ＪＪ	1	ＪＪ220001～ＪＪ220043
	2	ＪＪ220044～ＪＪ220086
	3	ＪＪ220087～ＪＪ220129
	4	ＪＪ220130～ＪＪ220172
	5	ＪＪ220173～ＪＪ220215
	6	ＪＪ220216～ＪＪ220258
	7	ＪＪ220259～ＪＪ220301
	8	ＪＪ220302～ＪＪ220344
	9	ＪＪ220345～ＪＪ220387
	10	ＪＪ220388～ＪＪ220429
ＪＢ	1	ＪＢ222001～ＪＢ222041
	2	ＪＢ222042～ＪＢ222081
	3	ＪＢ222082～ＪＢ222121
	4	ＪＢ222122～ＪＢ222161
	5	ＪＢ222162～ＪＢ222201
ＥＥ	1	ＥＥ220001～ＥＥ220039
	2	ＥＥ220040～ＥＥ220078
	3	ＥＥ220079～ＥＥ220117
	4	ＥＥ220118～ＥＥ220155
	5	ＥＥ220156～ＥＥ220193
	6	ＥＥ220194～ＥＥ220231
	7	ＥＥ220232～ＥＥ220269
	8	ＥＥ220270～ＥＥ220307
	9	ＥＥ220308～ＥＥ220345
	10	ＥＥ220346～ＥＥ220383
	11	ＥＥ220384～ＥＥ220421
	12	ＥＥ220422～ＥＥ220460
ＥＩ	1	ＥＩ222001～ＥＩ222051
	2	ＥＩ222052～ＥＩ222102
	3	ＥＩ222103～ＥＩ222153
	4	ＥＩ222154～ＥＩ222207
ＣＣ	1	ＣＣ220001～ＣＣ220042
	2	ＣＣ220043～ＣＣ220084
	3	ＣＣ220085～ＣＣ220126
	4	ＣＣ220127～ＣＣ220168
	5	ＣＣ220169～ＣＣ220209
	6	ＣＣ220210～ＣＣ220252

学部学科	クラス	学籍番号
ＣＢ	1	ＣＢ221001～ＣＢ221042
	2	ＣＢ221043～ＣＢ221084
	3	ＣＢ221085～ＣＢ221126
	4	ＣＢ221127～ＣＢ221168
	5	ＣＢ221169～ＣＢ221210
	6	ＣＢ221211～ＣＢ221254
ＣＦ	1	ＣＦ222001～ＣＦ222047
	2	ＣＦ222048～ＣＦ222093
	3	ＣＦ222094～ＣＦ222139
	4	ＣＦ222140～ＣＦ222186
ＢＢ	1	ＢＢ220001～ＢＢ220028
	2	ＢＢ220029～ＢＢ220055
	3	ＢＢ220056～ＢＢ220082
	4	ＢＢ220083～ＢＢ220109
	5	ＢＢ220110～ＢＢ220136
	6	ＢＢ220137～ＢＢ220165
ＳＭ	1	ＳＭ220001～ＳＭ220033
	2	ＳＭ220034～ＳＭ220048
		ＳＭ221001～ＳＭ221020
ＳＰ	1	ＳＰ220201～ＳＰ220228
	2	ＳＰ220229～ＳＰ220247
		ＳＰ221201～ＳＰ221209
ＳＣ	1	ＳＣ220401～ＳＣ220433
	2	ＳＣ220434～ＳＣ220455
		ＳＣ221401～ＳＣ221410
ＳＥ	1	ＳＥ220601～ＳＥ220631
	2	ＳＥ220632～ＳＥ220661
ＴＭ	1	ＴＭ220001～ＴＭ220055
	2	ＴＭ220056～ＴＭ220111
ＴＥ	1	ＴＥ220301～ＴＥ220353
	2	ＴＥ220354～ＴＥ220406
ＴＬ	1	ＴＬ221201～ＴＬ221238
	2	ＴＬ221239～ＴＬ221276
	3	ＴＬ221277～ＴＬ221314
	4	ＴＬ221315～ＴＬ221353
ＴＫ	1	ＴＫ221501～ＴＫ221552
	2	ＴＫ221553～ＴＫ221604
ＴＣ	1	ＴＣ220601～ＴＣ220649
	2	ＴＣ220650～ＴＣ220698
ＴＡ	1	ＴＡ220901～ＴＡ220959
	2	ＴＡ220960～ＴＡ221020
ＭＭ	1	ＭＭ220001～ＭＭ220055
	2	ＭＭ220056～ＭＭ220110
ＭＮ	1	ＭＮ222001～ＭＮ222053
	2	ＭＮ222054～ＭＮ222105
ＰＰ	1	ＰＰ220001～ＰＰ220040
	2	ＰＰ220041～ＰＰ220079
	3	ＰＰ220080～ＰＰ220118
	4	ＰＰ220119～ＰＰ220157
	5	ＰＰ220158～ＰＰ220196
	6	ＰＰ220197～ＰＰ220235
ＧＳ	1	ＧＳ220001～ＧＳ220038
	2	ＧＳ220039～ＧＳ220076
	3	ＧＳ220077～ＧＳ220114
	4	ＧＳ220115～ＧＳ220151
	5	ＧＳ220152～ＧＳ220188
	6	ＧＳ220189～ＧＳ220225
ＧＨ	1	ＧＨ220301～ＧＨ220337
	2	ＧＨ220338～ＧＨ220375

履修登録等の日程

シラバスや履修登録関係書類で事前に履修計画を立てられます。また、巻末の『履修登録の手引(p. 3)』の「履修登録用紙（下書き用)」を事前に記入し、履修登録に臨んでください。

1 履修登録スケジュール

履修計画の作成

在学生

日　程	行 事 内 容
3月6日(木)	**次年度シラバス公開** ※FUポータルで確認できます。 **スタートアップ授業動画視聴開始**
3月14日(金)	**成績発表開始**
3月14日(金) 〜 3月18日(火) (土･日除く)	**次年度履修登録関係書類配付** ※履修登録に必要な資料（学修ガイド、時間割表など）を配付します。

新入生

日　程	行 事 内 容
4月1日(火)	**入学式** **履修登録関係書類配付** ※入学式終了後、指定された教室で配付します。
4月2日(水)	**履修登録指導ガイダンス** **スタートアップ授業動画視聴開始**

履修登録

在学生

日　程	行 事 内 容
3月21日(金) 〜 3月23日(日)	**制限科目登録期間**
3月24日(月) 〜 3月28日(金)	**履修登録期間** ※学部により履修登録の時間が異なります。「各学部留意事項」、「履修登録の手引」p. 2で確認し早めの登録を心がけてください。

新入生

日　程	行 事 内 容
4月3日(木) 4月4日(金)	**制限科目登録**
4月5日(土) 4月6日(日)	**履修登録期間** ※学部学科によって履修登録の時間を制限しています。必ずその時間に行うようにしてください。(「履修登録の手引き」p. 2参照)

日　程	行　　事	内　　容
4月10日(木)	前期授業教室割公開	FUポータルから個人の授業教室割を閲覧・出力できます。
4月11日(金)	前期授業開始	

取消撤回

日　程	行　　事	内　　容
4月11日(金) 〜 5月1日(木)	前期登録済科目の撤回受付期間	登録した授業の内容が想定と違っていた場合、登録している科目を撤回（登録を削除）することができます。 ※科目や単位数には制限があります。 ※Web上での手続きはできません。学部事務室で手続きを行ってください。

前期成績発表

日　程	行　　事	内　　容
9月1日㈪ 〜	**前期成績発表開始**	**FU ポータルにて各自参照** ※成績評価に疑問がある場合には、学部事務室を窓口として、科目担当者に問合せることができる制度を設けています。なお、受付期間は、成績発表から3日間となっています。詳細については、FU ポータル等よりお知らせします。

後期開講科目の登録変更

日　程	行　　事	内　　容
9月3日㈬12時 〜 9月5日㈮16時	**後期開講科目の登録変更**	FU ポータルのカテゴリ「授業関連」にある「Web 履修登録」にて申請。

日　程	行　　事	内　　容
9月12日㈮	後期授業教室割公開	FU ポータルから個人の授業教室割を閲覧・出力できます。
9月15日㈪	後期授業開始	

取消撤回

日　程	行　　事	内　　容
9月15日㈪ 〜 10月7日㈫	後期登録済科目の撤回受付期間	登録した授業の内容が想定と違っていた場合、登録している科目を撤回（登録を削除）することができます。 ※科目や単位数には制限があります。 ※Web 上での手続きはできません。学部事務室で手続きを行ってください。

全学部共通留意事項

学部別、分野毎に、設置科目および開講科目が決められています。
設置科目とは、学則の教育課程に設置している科目であり、開講科目とは、その年度に開講される科目のことです。学部によっては、年度により開講しない科目がありますので、学修ガイドを参照し、学科履修規程を正しく理解し、履修していくことが必要です。

1 共通教育科目の履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更について

総合教養科目・外国語科目・保健体育科目における履修登録の撤回と後期開講科目の登録変更は、下表のように取り扱います。「○」印は可能、「×」印は不可を示しています。

	授業科目の区分、学部、年次、科目名等		登録撤回（p. 40参照）		登録変更（p. 40参照）	
			前期	後期	追加	削除
総合教養科目	登録制限科目（注１参照）	登録制限科目①	○	○	×	○
		登録制限科目②（注２参照）	×	×	○	×
	学修基盤科目	データサイエンス・AI入門	×	×	×	×
	それ以外の科目（注３参照）		○	○	○	○
外国語科目	アドバンスト・イングリッシュⅡ（2024年度（24台）以前入学生） ※所定の登録人数に達しない場合に限る（注４参照）		×	×	○	×
	それ以外の科目 ※学部留学生対象の日本語を含む		×	×	×	×
保健体育科目	選択科目	生涯スポーツ演習Ⅱ～Ⅳ、生涯スポーツ論	○	○	○	○
	必修科目（商学部第二部を除く学部）	１年次生（25台） 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ	×	×	×	×
		２年次生（24台） 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ	×	×	○	○
		生涯スポーツ演習Ⅲ・Ⅳ 生涯スポーツ論	×	×	×	×
		３年次生以上（23台以前） 生涯スポーツ演習Ⅰ～Ⅳ 生涯スポーツ論	×	×	○	○
	必修科目（商学部第二部）	１年次生（25台） 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論	×	×	×	×
		２年次生以上（24台以前） 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論	×	×	○	○

開講年次：生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ…１年次
生涯スポーツ演習Ⅲ・Ⅳ…２年次
生涯スポーツ論…２年次（商学部第二部は１年次）
…事前登録

（注１）登録制限科目の種類や対象科目等は、p. 47の「２登録制限科目について」を参照してください。
（注２）登録制限科目②の科目（p. 53～54の表３、およびp. 55～56の表４を参照）の中で、定員に達していない後期開講科目に限り、登録変更期間に定員の範囲内で「先着順」による追加募集を行います。詳細は登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。なお、追加募集で登録が許可された科目も、履修登録の撤回はできません。
（注３）**登録変更期間は登録定員を300人とし、「先着順」による登録制限を行います。**前期に登録完了した科目でも、登録エラーになると、未登録の状態になり、エラーを解消するまでの間に当該科目が満員となり登録できなくなることがあります。登録変更時はエラーにならないよう気をつけてください。
（注４）追加登録を行う場合は、登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。
（注５）保健体育科目は、学科基本クラスや履修年次等によってあらかじめ時間割が指定されており、指定外の時間割は履修登録できません（p. 61の「３保健体育科目について」を参照）。

2 総合教養科目関係

1 授業科目の定員について

総合教養科目は、１クラス当たりの登録者数を適正な規模にするため、登録人数に定員を設けています。

履修登録期間に履修登録する科目で、申請時に定員オーバーのエラーが出た場合は、その時点では定員に達しています。エラーとなった科目は一旦削除してください。

2 登録制限科目について

総合教養科目には、あらかじめ登録者数を制限する授業科目（登録制限科目）があります。登録制限科目は制限理由により、以下の２種類に分かれます。履修希望者は各科目の注意事項および要領等に従い、「履修登録の手引」p. 13～14を参照のうえ、申請してください。

登録制限科目①…登録者数が多数になることが予想されるため登録者数を制限する科目
登録制限科目②…ゼミナール形式やオムニバス形式など授業形態に合わせて登録者数を制限する科目

2 - 1 登録制限科目①（登録者数が多数になることが予想されるため登録者数を制限する科目）

「抽選」で登録者を決定します。表１（p. 48～50）、２（p. 51～52）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から申請してください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。なお、２年次生以上が登録定員に達しなかった科目は、その分を１年次生の登録定員に追加して受け付けます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出た場合は、科目の選択をやり直し、エラーがない状態にしてください。

結果発表後、履修登録画面上で当否を確認し、抽選に外れた場合（赤色で表示）はその科目を削除してください。

表１、２の科目の登録が許可された場合は、登録の取り消しはできません。授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

表１　登録制限科目①【２～４限】

No.	科　目　名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員		選考方法および登録受付日時
						2年次以上	1年次	
1	哲学A	竹花　洋佑	前期	水	2	140	160	
2	哲学B	竹花　洋佑	後期	木	4	140	160	
3	倫理学A	広川　　明	前期	火	3	140	160	
4	倫理学A	安居　　誠	前期	木	4	140	160	
5	倫理学B	広川　　明	後期	火	3	140	160	
6	宗教学A	岸根　敏幸	前期	月	2	140	160	
7	宗教学A	岸根　敏幸	前期	月	3	140	160	
8	宗教学A	大坪加奈子	前期	月	4	140	160	
9	宗教学A	岸根　敏幸	前期	水	2	140	160	
10	宗教学A	岸根　敏幸	前期	水	3	140	160	
11	宗教学A	東谷　孝一	前期	金	3	140	160	**【２年次生以上】抽選** **申請期間** ３月21日（金）12：00～ ３月22日（土）17：59 **結果発表** ３月23日（日）18：00 **【１年次生】抽選** **申請日** ４月３日（木） ９：00～12：59 **結果発表** ４月３日（木）20：00 ※１年次生は「表１」と「表２」で申込日が異なりますので注意してください。
12	宗教学A	東谷　孝一	前期	金	4	140	160	
13	宗教学B	岸根　敏幸	後期	月	2	140	160	
14	宗教学B	岸根　敏幸	後期	月	3	140	160	
15	宗教学B	岸根　敏幸	後期	水	2	140	160	
16	宗教学B	岸根　敏幸	後期	水	3	140	160	
17	宗教学B	東谷　孝一	後期	金	3	140	160	
18	宗教学B	東谷　孝一	後期	金	4	140	160	
19	日本史A	松木　俊暁	前期	水	3	140	160	
20	日本史A	松木　俊暁	前期	水	4	140	160	
21	日本史B	桃崎　祐輔	後期	水	2	140	160	
22	西洋史A	山本　達夫	前期	月	4	140	160	
23	西洋史A	山本　達夫	前期	火	4	140	160	
24	西洋史B	山本　達夫	後期	火	4	140	160	
25	日本文学A	竜口佐知子	前期	水	4	140	160	
26	日本文学A	大木　桃子	前期	木	2	140	160	
27	日本文学A	須藤　　圭	前期	金	2	140	160	
28	日本文学B	大木　桃子	後期	木	2	140	160	
29	日本文学B	須藤　　圭	後期	金	2	140	160	
30	西洋文学A	鶴田　　学	前期	木	3	140	160	
31	西洋文学B	鶴田　　学	後期	木	3	140	160	
32	芸術A	植野　健造	前期	月	3	140	160	
33	芸術A	落合　桃子	前期	木	2	140	160	
34	芸術A	落合　桃子	前期	木	4	140	160	
35	芸術B	植野　健造	後期	月	3	140	160	
36	芸術B	落合　桃子	後期	木	3	140	160	
37	芸術B	落合　桃子	後期	木	4	140	160	
38	芸術B	川浪　千鶴	後期	金	4	140	160	
39	西洋教育史	岡野亜希子	前期	金	2	140	160	

次のページへ続く

表１　登録制限科目①【２～４限】

No.	科　目　名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員		選考方法および登録受付日時
						２年次以上	１年次	
40	法学Ａ	守谷　賢輔	前期	火	2	140	160	
41	法学Ａ	守谷　賢輔	前期	水	4	140	160	
42	法学Ｂ	守谷　賢輔	後期	火	3	140	160	
43	法学Ｂ	三宮　　希	後期	金	2	140	160	
44	日本国憲法	守谷　賢輔	前期	金	3	140	160	
45	日本国憲法	守谷　賢輔	後期	金	2	140	160	
46	政治学Ａ	李　　鍾成	前期	月	2	140	160	
47	政治学Ａ	廣澤　孝之	前期	月	3	140	160	
48	政治学Ｂ	李　　鍾成	後期	月	2	140	160	
49	政治学Ｂ	廣澤　孝之	後期	月	3	140	160	
50	経済学Ａ	主計　　浩	前期	水	3	140	160	**【２年次生以上】抽選** **申請期間** ３月21日（金）12：00～ ３月22日（土）17：59 **結果発表** ３月23日（日）18：00 **【１年次生】抽選** **申請日** ４月３日（木） ９：00～12：59 **結果発表** ４月３日（木）20：00 ※１年次生は「表１」と「表２」で申込日が異なりますので注意してください。
51	経済学Ａ	李　　錦東	前期	金	3	140	160	
52	経済学Ａ	李　　錦東	前期	金	4	140	160	
53	経済学Ｂ	主計　　浩	後期	水	3	140	160	
54	経済学Ｂ	李　　錦東	後期	金	3	140	160	
55	経済学Ｂ	李　　錦東	後期	金	4	140	160	
56	社会学Ａ	高岡　弘幸	前期	月	2	140	160	
57	社会学Ａ	高岡　弘幸	前期	月	3	140	160	
58	社会学Ａ	本多　康生	前期	火	4	140	160	
59	社会学Ａ	開田奈穂美	前期	水	4	140	160	
60	社会学Ａ	井手　靖子	前期	木	2	140	160	
61	社会学Ａ	開田奈穂美	前期	木	3	140	160	
62	社会学Ａ	花野　裕康	前期	金	3	140	160	
63	社会学Ａ	花野　裕康	前期	金	4	140	160	
64	社会学Ｂ	高岡　弘幸	後期	月	2	140	160	
65	社会学Ｂ	高岡　弘幸	後期	月	3	140	160	
66	社会学Ｂ	森　　康司	後期	火	2	140	160	
67	社会学Ｂ	井手　靖子	後期	木	2	140	160	
68	社会学Ｂ	開田奈穂美	後期	木	3	140	160	
69	社会学Ｂ	開田奈穂美	後期	木	4	140	160	
70	社会学Ｂ	花野　裕康	後期	金	4	140	160	
71	教育論Ａ	中世古貴彦	前期	火	4	140	160	
72	教育論Ｂ	中世古貴彦	後期	火	4	140	160	
73	教育の原理・課程論	橋場　　論	後期	火	3	140	160	
74	教育の原理・課程論	橋場　　論	後期	水	3	140	160	
75	地理学Ａ	藤村　健一	前期	木	2	140	160	
76	地理学Ａ	藤村　健一	前期	木	4	140	160	
77	地理学Ａ	藤村　健一	前期	金	4	140	160	
78	地理学Ｂ	近藤　祐磨	後期	金	3	140	160	

次のページへ続く

表１　登録制限科目①【２～４限】

No.	科　目　名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員		選考方法および登録受付日時
						2年次以上	1年次	
79	心理学A	古川　善也	前期	水	3	140	160	
80	心理学A	古川　善也	前期	木	3	140	160	
81	心理学B	古川　善也	後期	水	3	140	160	
82	心理学B	古川　善也	後期	木	3	140	160	
83	文化人類学A	中村　　亮	前期	月	4	140	160	
84	文化人類学A	宮岡真央子	前期	水	2	140	160	**【２年次生以上】抽選**
85	文化人類学B	中村　　亮	後期	月	4	140	160	
86	文化人類学B	宮岡真央子	後期	水	2	140	160	**申請期間** ３月21日（金）12：00～ ３月22日（土）17：59
87	数学入門	田中　尚人	前期	水	4	140	160	
88	数学入門	田中　尚人	前期	木	3	140	160	
89	統計入門	藤木　　淳	前期	水	2	140	160	**結果発表** ３月23日（日）18：00
90	統計入門	藤木　　淳	前期	水	3	140	160	
91	物理の世界	林　　壮一	後期	木	2	140	160	
92	自然界と物質の化学	弟子丸正伸	前期	月	2	140	160	
93	生活と環境の化学	弟子丸正伸	後期	月	2	140	160	**【１年次生】抽選**
94	地球圏科学入門	田上　　響	前期	木	4	140	160	
95	地球圏科学入門	赤木　　右	前期	金	2	140	160	**申請日** ４月３日（木） ９：00～12：59
96	新しい地球観	小山内康人	後期	月	2	140	160	
97	新しい地球観	小山内康人	後期	金	2	140	160	
98	ミクロの生物科学	中川　　緑	前期	火	2	140	160	**結果発表** ４月３日（木）20：00
99	ミクロの生物科学	中川　裕之	前期	木	2	140	160	
100	マクロの生物科学	中川　　緑	後期	火	2	140	160	
101	マクロの生物科学	伊東　綱男	後期	火	3	140	160	※１年次生は「表１」と「表２」で申込日が異なりますので注意してください。
102	マクロの生物科学	中川　裕之	後期	木	2	140	160	
103	自然科学入門	林　　辰弥	前期	月	2	140	160	
104	自然科学入門	西園　幸久	前期	火	4	140	160	
105	自然科学入門	中川　　緑	前期	木	3	140	160	
106	自然科学と人間	桑原　義博	後期	水	2	140	160	
107	自然科学と人間	西園　幸久	後期	水	3	140	160	
108	自然科学と人間	中川　　緑	後期	木	3	140	160	

表２　登録制限科目①【１・５限】

No.	科　目　名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員		選考方法および登録受付日時
						２年次以上	１年次	
1	哲学Ａ	竹花　洋佑	前期	月	1	140	160	
2	哲学Ａ	飯泉　佑介	前期	火	1	140	160	
3	哲学Ａ	飯泉　佑介	前期	火	5	140	160	
4	哲学Ｂ	竹花　洋佑	後期	水	1	140	160	
5	倫理学Ａ	安居　　誠	前期	木	5	140	160	
6	宗教学Ａ	大坪加奈子	前期	月	5	140	160	
7	西洋史Ｂ	山本　達夫	後期	月	5	140	160	
8	日本文学Ｂ	大坪　亮介	後期	木	1	140	160	
9	芸術Ａ	落合　桃子	前期	木	5	140	160	
10	芸術Ｂ	落合　桃子	後期	木	5	140	160	
11	西洋教育史	岡野亜希子	前期	金	1	140	160	**【２年次生以上】抽選** **申請期間** ３月21日（金）12：00～ ３月22日（土）17：59 **結果発表** ３月23日（日）18：00 **【１年次生】抽選** **申請日** ４月４日（金） ９：00～12：59 **結果発表** ４月４日（金）20：00 ※１年次生は「表１」と「表２」で申込日が異なりますので注意してください。
12	法学Ｂ	守谷　賢輔	後期	金	1	140	160	
13	日本国憲法	守谷　賢輔	前期	火	1	140	160	
14	日本国憲法	守谷　賢輔	後期	火	1	140	160	
15	日本国憲法	守谷　賢輔	後期	水	5	140	160	
16	政治学Ａ	東原　正明	前期	木	1	140	160	
17	政治学Ａ	朝倉　拓郎	前期	木	5	140	160	
18	政治学Ｂ	東原　正明	後期	木	1	140	160	
19	経済学Ａ	山崎　好裕	前期	火	5	140	160	
20	経済学Ａ	主計　　浩	前期	金	1	140	160	
21	経済学Ｂ	山崎　好裕	後期	火	5	140	160	
22	経済学Ｂ	主計　　浩	後期	金	1	140	160	
23	社会学Ａ	本多　康生	前期	火	5	140	160	
24	社会学Ａ	井手　靖子	前期	木	1	140	160	
25	社会学Ｂ	森　　康司	後期	火	1	140	160	
26	社会学Ｂ	井手　靖子	後期	木	1	140	160	
27	教育の原理・課程論	山岸賢一郎	後期	金	1	140	160	
28	地理学Ａ	磯田　則彦	前期	火	5	140	160	
29	地理学Ａ	磯田　則彦	前期	水	1	140	160	
30	地理学Ａ	近藤　祐磨	前期	金	5	140	160	
31	地理学Ｂ	近藤　祐磨	後期	金	5	140	160	
32	心理学Ａ	縄田　健悟	前期	木	1	140	160	
33	心理学Ａ	古川　善也	前期	木	5	140	160	
34	心理学Ａ	古川　善也	前期	金	5	140	160	
35	心理学Ｂ	古川　善也	後期	木	5	140	160	
36	心理学Ｂ	古川　善也	後期	金	5	140	160	
37	文化人類学Ａ	宮岡真央子	前期	水	1	140	160	
38	文化人類学Ｂ	宮岡真央子	後期	水	1	140	160	
39	自然界と物質の化学	弟子丸正伸	前期	金	1	140	160	

次のページへ続く

表２　登録制限科目①【１・５限】

No.	科　目　名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員		選考方法および登録受付日時
						2年次以上	1年次	
40	生活と環境の化学	弟子丸正伸	後期	金	1	140	160	**【2年次生以上】抽選** **申請期間** 3月21日（金）12：00～ 3月22日（土）17：59 **結果発表** 3月23日（日）18：00 **【1年次生】抽選** **申請日** 4月4日（金） 9：00～12：59 **結果発表** 4月4日（金）20：00 ※1年次生は「表1」と「表2」で申込日が異なりますので注意してください。
41	地球圏科学入門	赤木　右	前期	金	1	140	160	
42	新しい地球観	小山内康人	後期	月	1	140	160	
43	新しい地球観	小山内康人	後期	金	1	140	160	
44	ミクロの生物科学	伊東　綱男	前期	月	5	140	160	
45	ミクロの生物科学	中川　緑	前期	火	1	140	160	
46	ミクロの生物科学	中川　裕之	前期	木	1	140	160	
47	マクロの生物科学	中川　緑	後期	火	1	140	160	
48	マクロの生物科学	中川　裕之	後期	木	1	140	160	
49	自然科学入門	林　辰弥	前期	月	1	140	160	
50	自然科学と人間	桑原　義博	後期	水	1	140	160	
51	自然科学と人間	柴田　智郎	後期	木	1	140	160	
52	自然科学と人間	柴田　智郎	後期	金	5	140	160	

2 - 2 登録制限科目②
（ゼミナール形式やオムニバス形式など授業形態に合わせて登録者数を制限する科目）

科目の種類や年次により登録者の選考方法が異なりますので注意してください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。登録エラーの表示が出た場合は、科目の選択をやり直しエラーがない状態にしてください。

【対象科目：教養ゼミを除く科目】

2年次生以上は「先着順」、1年次生は「抽選」で登録者を決定します。表3の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から登録してください。登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。

●表3の科目に関する注意事項

①「登録定員」欄に示した人数は2年次生以上と1年次生の合計定員です。

②**表3の科目の登録が許可された場合は、登録の取消しはできません。また、履修登録の撤回、後期登録変更時の削除もできませんので、授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。**

表3　登録制限科目②　教養ゼミの科目を除く

No.	科　目　名	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	登録対象年次	選考方法および登録受付日時
1	哲学A	大西　克智	前期	木	2	80	全学年	
2	哲学A	大西　克智	前期	木	3	80	全学年	
3	哲学A	大西　克智	前期	木	5	80	全学年	
4	哲学B	大西　克智	後期	木	2	80	全学年	
5	哲学B	大西　克智	後期	木	3	80	全学年	
6	哲学B	大西　克智	後期	木	5	80	全学年	
7	論理学A	林　　誓雄	前期	火	2	150	全学年	**【2年次生以上】先着順** **申請期間** 3月21日（金）12：00～ 3月23日（日）23：59
8	論理学A	林　　誓雄	前期	水	2	150	全学年	
9	論理学A	林　　誓雄	前期	水	3	150	全学年	
10	論理学A	林　　誓雄	前期	金	2	150	全学年	
11	論理学B	林　　誓雄	後期	火	2	150	全学年	
12	論理学B	林　　誓雄	後期	水	2	150	全学年	**【1年次生】抽選** **申請日** 4月4日（金） 9：00～12：59
13	論理学B	林　　誓雄	後期	火	1	150	全学年	
14	論理学B	林　　誓雄	後期	金	2	150	全学年	**結果発表** 4月4日（金）20：00
15	倫理学A	中村　未来	前期	月	4	80	全学年	
16	倫理学A	中村　未来	前期	火	2	80	全学年	
17	倫理学A	中村　未来	前期	水	4	80	全学年	**登録定員に達しない場合** 4月5日（土）9：00～ 先着順で追加募集を実施
18	倫理学B	中村　未来	後期	月	2	80	全学年	
19	倫理学B	中村　未来	後期	火	2	80	全学年	
20	倫理学B	中村　未来	後期	水	4	80	全学年	
21	アジアの文学A	間　ふさ子	前期	月	5	60	全学年	
22	アジアの文学A	何　　憶鴿	前期	火	5	80	全学年	
23	経済学A	楊　　光洙	前期	火	4	40	全学年	
24	経済学A	楊　　光洙	前期	火	5	40	全学年	
25	経済学B	楊　　光洙	後期	火	4	40	全学年	
26	経済学B	楊　　光洙	後期	火	5	40	全学年	

次のページへ続く

表３　登録制限科目②　教養ゼミの科目を除く

No.	科　目　名	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	登録対象年次	選考方法および登録受付日時
27	心理学A	大上　涉	前期	火	3	200	全学年	
28	心理学A	大上　涉	前期	火	4	200	全学年	
29	心理学B	大上　涉	後期	火	3	200	全学年	
30	心理学B	大上　涉	後期	火	4	200	全学年	
31	文化と教育	鈴木　美香	前期	水	4	15	22台以前	
32	文化と教育	鈴木　美香	後期	水	4	15	22台以前	**【２年次生以上】先着順** **申請期間** ３月21日（金）12：00～ ３月23日（日）23：59
33	福岡大学で考える現代社会	岩山　隆寛	前期	木	5	100	25~23台のみ	
34	福岡大学で考える現代社会	鈴木　学	後期	火	2	24	25~23台のみ	
35	福岡大学で考える現代社会	鈴木　学	後期	火	3	24	25~23台のみ	
36	福岡大学で考える現代社会	須長　一幸	前期	金	2	24	25台のみ	
37	福岡大学で考える現代社会	飛田　努	後期	金	2	100	25~23台のみ	
38	福岡大学で考える現代社会	橋場　論	前期	水	5	40	24・25台のみ	**【１年次生】抽選** **申請日** ４月４日（金） ９：00～12：59
39	福岡大学で考える現代社会	須長　一幸	後期	月	5	40	24・25台のみ	
40	福岡大学で考える現代社会　文系	熊丸　憲男	後期	火	4	12	25~23台のみ	
41	福岡大学で考える現代社会　理系	熊丸　憲男	後期	火	4	13	25~23台のみ	
42	福岡大学で考える現代社会	鈴木　美香	前期	水	4	85		**結果発表** ４月４日（金）20：00
43	福岡大学で考える現代社会	鈴木　美香	後期	水	4	85		
44	福大生のためのキャリアデザイン	植上　一希	前期	月	1	200	25台のみ	**登録定員に達しない場合** ４月５日（土）９：00～ 先着順で追加募集を実施
45	福大生のためのキャリアデザイン	植上　一希	前期	月	2	200	25台のみ	
46	アカデミックスキルズゼミⅠ	紺田　広明	前期	火	5	50	25~23台のみ	
47	アカデミックスキルズゼミⅠ	道山　治延	前期	木	1	48	25~23台のみ	
48	アカデミックスキルズゼミⅡ	吉田　秀幸	後期	木	1	48	25~23台のみ	
49	アカデミックスキルズゼミⅡ	鈴木　学	後期	火	5	50	25~23台のみ	
50	福岡大学を学ぶ･福岡大学でいかに学ぶか	平田　暢	前期	火	3	50	25台のみ	
51	福岡大学を学ぶ･福岡大学でいかに学ぶか	平田　暢	前期	火	2	50	25台のみ	

【対象科目：教養ゼミの科目】

「抽選」で登録者を決定します。表４（p.55～56）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「選択科目を選択」から申請してください。

結果発表後、履修登録画面上で当否を確認し、抽選に外れた場合（赤色で表示）はその科目を削除してください。登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。

なお、２年次生以上が登録定員に達しなかった科目は、不足分を１年次生の登録定員に追加して受け付けます。

●表４の科目に関する注意事項

①**「教養ゼミ」の科目は前期１科目、後期１科目、前期と後期の合計で２科目までしか登録できません。**
前期または後期に２科目以上登録しようとすると、登録エラーになります。

②「登録定員」欄に示した人数は２年次生以上と１年次生の合計定員です。

③「教養ゼミ」の科目は定期試験を実施しない授業科目であるため、追試験・再試験は実施しません。

④**表４の科目の登録が許可された場合は、登録の取消しはできません。また、履修登録の撤回、後期登録変更時の削除もできませんので、授業時間割との重複等に十分に注意して申請してください。**

表４　登録制限科目②　「教養ゼミ」の科目

No.	科　目　名 （サブタイトル）	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	備考	選考方法および登録受付日時
1	哲学Ａ （哲学対話を通した哲学入門）	竹花　洋佑	前期	水	1	15		**【２年次生以上】抽選** **申請期間** ３月21日（金） 12：00～23：59 **結果発表** ３月22日（土） 16：00 **登録定員に達しない場合** ３月24日（月） ９：00～ 先着順で追加募集を実施 **【１年次生】抽選** **申請日** ４月４日（金） ９：00～12：59 **結果発表** ４月４日（金） 20：00 **登録定員に達しない場合** ４月５日（土） ９：00～ 先着順で追加募集を実施
2	哲学Ｂ （哲学入門）	竹花　洋佑	後期	水	2	15		
3	哲学Ａ （思考実験からの哲学入門①）	飯泉　佑介	前期	水	3	15		
4	哲学Ｂ （思考実験からの哲学入門②）	飯泉　佑介	後期	水	3	15		
5	倫理学Ａ （中国古典に見る人間観）	中村　未来	前期	火	4	15		
6	倫理学Ｂ （無為自然を説く道家の世界）	中村　未来	後期	火	4	15		
7	宗教学Ａ （生の教説①）	小笠原史樹	前期	月	5	15		
8	宗教学Ｂ （生の教説②）	小笠原史樹	後期	月	5	15		
9	日本史Ａ （日本近代史を学び憲法改正問題を考える）	梶原　良則	前期	月	3	15	登録対象：25台のみ	
10	日本史Ｂ （沖縄の歴史を学び基地問題を考える）	梶原　良則	後期	月	3	15	登録対象：25台のみ	
11	東洋史Ａ （現代中国・アジアについて語る）	山根　直生	前期	木	3	15		
12	東洋史Ｂ （現代中国・アジアについて語り、議論する）	山根　直生	後期	木	3	15		
13	西洋史Ａ （疫病の歴史を考える）	渡邉　裕一	前期	火	4	16		
14	西洋史Ｂ （「ユダヤ人」から見るヨーロッパの歴史）	渡邉　裕一	後期	火	4	16		
15	日本文学Ａ （近現代文学の精読と分析）	畑中　佳恵	前期	火	2	20	登録対象：25台のみ	
16	日本文学Ａ （『徒然草』輪読）	大坪　亮介	前期	木	3	20		
17	日本文学Ｂ （ミャークフツ入門）	衣畑　智秀	後期	月	3	30		

次のページへ続く

表４　登録制限科目②　「教養ゼミ」の科目

No.	科　目　名 （サブタイトル）	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	備考	選考方法および登録受付日時
18	日本文学Ｂ （日本近現代の短編小説を読む）	永井　太郎	後期	水	4	15		
19	西洋文学Ａ （Speculative Japan２）	ｸﾛｽ,ﾃｨﾓｼｰ	前期	月	5	15	授業は英語で実施	
20	西洋文学Ｂ （Speculative Japan３）	ｸﾛｽ,ﾃｨﾓｼｰ	後期	月	5	15	授業は英語で実施	
21	アジアの文学Ａ （韓国・朝鮮文学を読む）	柳　　忠熙	前期	火	1	24		
22	アジアの文学Ｂ （中国20世紀文学を読む）	何　　憶鴿	後期	火	5	24		
23	経済学Ａ （『アクティブ・ラーニングで学ぶ日本の経済』）	田中　昌宏	前期	月	5	20		
24	経済学Ｂ （『イングランド銀行公式 経済がよくわかる10章』）	田中　昌宏	後期	月	5	20		
25	教育論Ａ （戦没学生の手記を読もう）	勝山　吉章	前期	木	2	15	登録対象：25台のみ	
26	地理学Ａ （現実世界の多様性を考えるⅠ）	磯田　則彦	前期	火	4	15		
27	地理学Ｂ （現実世界の多様性を考えるⅡ）	磯田　則彦	後期	火	4	15		
28	地理学Ａ （学術的な旅行の企画立案Ⅰ　国内編）	近藤　祐磨	前期	水	2	16		
29	地理学Ｂ （学術的な旅行の企画立案Ⅱ　海外編）	近藤　祐磨	後期	水	4	16		
30	心理学Ａ （犯罪者プロファイリングとは何か）	大上　　渉	前期	水	4	15		
31	心理学Ｂ （事例で学ぶ犯罪心理学）	大上　　渉	後期	水	4	15		
32	心理学Ａ （心の仕組みを学ぶ）	縄田　健悟	前期	水	2	16		
33	心理学Ｂ （心の働きを学ぶ）	縄田　健悟	後期	水	2	16		
34	文化人類学Ａ （文化人類学の思考を学ぶ）	中村　　亮	前期	月	2	15		
35	文化人類学Ｂ （身近な文化を調べ考える）	宮岡真央子	後期	月	2	16		
36	物理科学入門 （ためして物理を理解する）	西　　憲敬	前期	月	5	15		
37	生活と環境の化学 （衣食住の実験化学）	松原　公紀	後期	火	3	12		

【２年次生以上】
抽選

申請期間
３月21日（金）
12：00～23：59

結果発表
３月22日（土）
16：00

登録定員に達しない場合
３月24日（月）
９：00～
先着順で追加募集を実施

【１年次生】
抽選

申請日
４月４日（金）
９：00～12：59

結果発表
４月４日（金）
20：00

登録定員に達しない場合
４月５日（土）
９：00～
先着順で追加募集を実施

3 総合系列科目について

総合系列科目は、現代の諸問題を考える科目です。授業はオムニバス（学部や専門分野の異なる複数の教員が授業を担当する）形式で行われます。

履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録制限科目の履修希望者は、p. 47「2 登録制限科目について」の注意事項および要領等に従い申請してください。

表 5 - 1　総合系列科目（22台以前）

No.	科　目　名 （サブタイトル）	担当者	開講期別	曜日	時限	定期試験の有・無	留意事項
1	地球環境 （資源循環と地球環境）	山本　俊浩	後期	水	5	有	
2	国際化と日本 （Globalization of Japan）	鈴木　孝将	後期	金	3	無	
3	国際化と日本 （ヨーロッパを知る―その多様性と統一―）	辻部　大介	後期	月	5	有	
4	国際化と日本 （東アジアと福岡）	三島　健司	後期	金	4	有	
5	国際化と日本 （グローカルな平和論）	渡邉　裕一	後期	月	5	有	
6	文化と教育 （スペインの社会と文化から学ぶ）	鈴木　美香	前期	水	4	無	登録制限科目②
7	文化と教育 （イスパノアメリカの社会と文化から学ぶ）	鈴木　美香	後期	水	4	無	登録制限科目②
8	現代を生きる （災害から自分や家族を守る）	重松　幹二	後期	水	5	有	

表５－２　総合系列科目（23台以降）

科目名：「福岡大学で考える現代社会」

No.	サブタイトル	担当者	開講期別	曜日	時限	定期試験の有・無	留意事項
1	皆で考える地球温暖化とカーボンニュートラル	岩山　隆寛	前期	木	5	無	登録制限科目②
2	ものづくり体験から学ぶ企画・制作力	熊丸　憲男	後期	火	4	無	登録制限科目②
3	災害から自分や家族を守る	重松　幹二	後期	水	5	有	
4	Globalization of Japan	鈴木　孝将	後期	金	3	無	
5	スペインの社会と文化から学ぶ	鈴木　美香	前期	水	4	無	登録制限科目②
6	イスパノアメリカの社会と文化から学ぶ	鈴木　美香	後期	水	4	無	登録制限科目②
7	大学生のための現代社会論	鈴木　　学	後期	火	2	無	登録制限科目②
8	大学生のための政治経済論	鈴木　　学	後期	火	3	無	登録制限科目②
9	「言葉の力」を身につける	須長　一幸	前期	金	2	無	登録制限科目②
10	主体性・社会性・協働性を身につける	須長　一幸	後期	月	5	無	登録制限科目② 登録対象：24～25台のみ
11	ヨーロッパを知る ―その多様性と統一―	辻部　大介	後期	月	5	有	
12	アントレプレナーシップを学ぶ	飛田　　努	後期	金	2	有	登録制限科目②
13	主体性・社会性・協働性を身につける	橋場　　論	前期	水	5	無	登録制限科目② 登録対象：24～25台のみ
14	東アジアと福岡	三島　健司	後期	金	4	有	
15	Innovation for a Sustainable Society （持続可能な社会のためのイノベーション）	安井　英俊	前期	火	3	無	登録制限科目②
16	多職種連携で支える人生100年時代	安元　佐和	前期	木	5	無	
17	貨幣の謎 ―新型コロナウイルスから解明する	山﨑　好裕	後期	火	4	有	
18	資源循環と地球環境	山本　俊浩	後期	水	5	有	
19	グローカルな平和論	渡邉　裕一	後期	月	5	有	

4 学修基盤科目について

学修基盤科目は、学問と向き合うための正しい姿勢や学問的技法、学ぶことの意義を理解するための科目です。なお、履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録制限科目の履修希望者は、p. 47「2 登録制限科目について」の注意事項および要領等に従い申請してください。

表 6　学修基盤科目

No.	科　目　名 （サブタイトル）	担当者	開講期別	曜日	時限	定期試験の有・無	留意事項
1	福大生のためのキャリアデザイン （大学生活を設計する）	植上　一希	前期	月	1	無	登録制限科目② 登録対象：25台のみ
2	福大生のためのキャリアデザイン （大学生活を設計する）	植上　一希	前期	月	2	無	登録制限科目② 登録対象：25台のみ
3	アカデミックスキルズゼミⅠ （読む・書く・話す・聞くことのレッスン）	紺田　広明	前期	火	5	無	登録制限科目② 登録対象：24～25台のみ
4	アカデミックスキルズゼミⅠ （読む・書く・話す・聞くことのレッスン）	道山　治延	前期	木	1	無	登録制限科目② 登録対象：24～25台のみ
5	アカデミックスキルズゼミⅡ （思考と発想のレッスン）	鈴木　　学	後期	火	5	無	登録制限科目② 登録対象：24～25台のみ
6	アカデミックスキルズゼミⅡ （思考と発想のレッスン）	吉田　秀幸	後期	木	1	無	登録制限科目② 登録対象：24～25台のみ
7	福岡大学を学ぶ･福岡大学でいかに学ぶか	平田　　暢	前期	火	2	無	登録制限科目② 登録対象：25台のみ
8	福岡大学を学ぶ･福岡大学でいかに学ぶか	平田　　暢	前期	火	3	無	登録制限科目② 登録対象：25台のみ
9	データサイエンス・AI 入門	香野　　淳	前期	集中	集中	無	登録対象：25台のみ
10	データサイエンス・AI 入門　BB	香野　　淳	前期	集中	集中	無	登録対象：25台のみ
11	データサイエンス・AI 入門	香野　　淳	後期	集中	集中	無	登録対象：25台のみ
12	データサイエンス・AI 入門　BB	香野　　淳	後期	集中	集中	無	登録対象：25台のみ

データサイエンス・AI 入門の詳細については、p. 60「学修基盤科目データサイエンス・AI 入門について」を参照してください。

5．履修登録の停止について

総合教養科目では、**制限①②以外の科目についても、大学が定める登録者数の一定の上限を超えた科目が発生した場合、履修登録期間中であってもその科目の登録受付を停止**することがあります。

登録停止となった科目については、FU ポータルのお知らせを確認して下さい。

学修基盤科目 データサイエンス・AI 入門について

●科目の概要

インターネットやニュースなどでよく見聞きするようになった「AI」とは何か知っていますか。現在、膨大なデータを収集して傾向などを分析し、社会やビジネスの課題解決につなげることを目指すデータサイエンスや AI（Artificial Intelligence：人工知能）の利活用が盛んになっています。これからは AI の時代とも言われ、文系・理系を問わず大学生のうちに、データサイエンス・AI の知識・技術を学び、素養（デジタル社会の読み・書き・そろばん）を身に付けておくことが求められています。

この科目は、データサイエンス・AI について学び、そのリテラシー（適切に理解し、活用する力）を習得するための入門科目で、全学部の 1 年次生が履修できる共通教育科目として2022年度から新たに開講されています。e-Learning を活用し、オンデマンド型で学ぶことができるため、都合の良い時間に受講することができます（受講する曜日・時限は決まっておらず、自ら計画を立てて学んでいきます）。

科目の詳細については、シラバスを参照してください。

※文部科学省が推進する認定制度「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に適合する内容となっています。

●身に付けることができる能力

- データサイエンス・AI の必要性を理解し、説明できるようになる
- 社会で活用されているデータ・AI 活用の事例について説明できるようになる
- どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる
- データを読み、説明できるようになる
- Excel などの汎用ソフトウェアを用いて典型的なデータを扱えるようになる
- データ・AI を扱う上での留意事項を説明できるようになる
- 数理・データサイエンス・AI について自ら学び、活かす姿勢を身に付ける

●e-Learning を活用したオンライン学習の科目

本科目は、オンライン上で e-Learning を使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるオンデマンド型授業です。所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めていきます。

●学びを深めるサポート体制

オンラインまたは教室での対面（もしくはオンラインと対面のハイブリッド）で質問を受け付け、一緒に考える機会を設けます（質問会と称します）。他の受講生からの質問やそれに対する回答を直接聴くことができる場にもなりますので、積極的に参加してください。

●対象学生

全学部 1 年次生

●開講学期

前期と後期に開講

●成績評価

この科目は、合否で成績を評価する単位認定科目です。よって、GPA 評価の対象にはなりません。

●履修登録方法

4 月 5 日㈯～ 4 月 6 日㈰の web 履修登録期間中に、履修登録画面最下部の「集中講義科目等を選択」ボタンから前期または後期いずれかの科目を選択して登録します。

※履修登録の「撤回」、「後期登録変更」はできませんのでご注意ください。

3 保健体育科目について

本学の保健体育科目は、生涯スポーツ演習と生涯スポーツ論より構成されています。前者は実技と理論による演習形式で、後者は講義形式で実施されます。

生涯スポーツ演習は、学生が様々なスポーツ活動の体験・学習を通して、その楽しさを知るとともに、心身の健康を回復・保持・増進し、学生生活を豊かにすることを目的としています。また、学生が生涯にわたるスポーツ活動の必要性を、健康・体力のみならず、生きがいという面からも理解し、その実践に必要な技能・知識・態度を身につけることも目的としています。

生涯スポーツ論は、学生が本学スポーツ科学部編集のテキスト(『大学生のスポーツと健康生活』)によって、健康の増進に寄与する科学的知識を学ぶとともに、スポーツ活動に関わる自然・人文・社会科学的な理解を深めることで、スポーツ活動を生涯にわたって「行う」「観る」「支える」「調べる」ようになることを目的としています。

こうした保健体育科目での学修を通して、学生が在学期間のみならず、生涯にわたって様々なスポーツ活動に親しみ、健康で充実した生活を送れるようになることを目指しています。

1 登録手続等について

スポーツ科学部以外の学部

生涯スポーツ演習Ⅰ (前期または後期) 生涯スポーツ演習Ⅱ (前期または後期)	1年次生(25台)…授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください(但し、医学部医学科を除く)。 2年次生以上(24台以前)…本人が所属する学部のいずれかのクラスに登録してください。他の必修科目と授業が重複する等の事情により、他学部のクラスの受講を希望する場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。 **〔次ページに掲載しているクラス分け一覧を参照してください。〕** **※授業の第1週目はオリエンテーションを行いますので、第二記念会堂に集合してください。なお、このときトレーニングウェアは不要です。**
生涯スポーツ演習Ⅲ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅳ(後期) **※理・薬学部のみ**	授業時間割で決められた曜日・時限(理学部:火曜2限、薬学部:金曜4限)に登録してください。 **※授業の第1週目はオリエンテーションを行いますので、第二記念会堂に集合してください。なお、このときトレーニングウェアは不要です。**
生涯スポーツ論 (前期または後期)	2年次生(24台)…授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。生涯スポーツ論を必修科目としている人文学部、法学部、経済学部、商学部については、授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。なお、別科目の受講を優先する等の事情により2年次生での受講を希望しない場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。 生涯スポーツ論を選択科目としている理学部、医学部看護学科、薬学部については、授業時間割で決められた曜日・時限に登録してください。 3年次生以上(23台以前)…本人が所属する学部のいずれかのクラスに登録してください。他の必修科目と授業が重複する等の事情により、他学部のクラスの受講を希望する場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。 **〔次ページに掲載しているクラス分け一覧を参照してください。〕**

スポーツ科学部

生涯スポーツ演習Ⅰ（前期） 生涯スポーツ演習Ⅱ（後期） 生涯スポーツ演習Ⅲ（前期） 生涯スポーツ演習Ⅳ（後期）	授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。詳しくは授業開始前に掲示にてお知らせします。

生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱクラス分け一覧

時限	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	Ⅰ：CB１－４ Ⅱ：CB５－６	Ⅰ：CB５－６ Ⅱ：CB１－４	Ⅰ：JB１－３ Ⅱ：JB４－５	Ⅰ：JB４－５ Ⅱ：JB１－３	Ⅰ：JJ４－６	Ⅱ：JJ４－６	Ⅰ：JJ１－３ Ⅰ：MM(20名) Ⅰ：保健コース Ⅱ：保健コース	Ⅱ：JJ１－３ Ⅱ：MM(20名) Ⅰ：保健コース Ⅱ：保健コース	Ⅰ：EE１－４	Ⅱ：EE１－４
2	Ⅰ：CF１－２ Ⅱ：CF３－４	Ⅰ：CF３－４ Ⅱ：CF１－２	Ⅰ：EE５－８	Ⅱ：EE５－８	Ⅰ：JJ７－９ Ⅰ：MM(30名) Ⅱ：LG･JJ10	Ⅰ：LG･JJ10 Ⅱ：JJ７－９ Ⅱ：MM(30名)	Ⅰ：CC１－３ Ⅱ：CC４－６	Ⅰ：CC４－６ Ⅱ：CC１－３	Ⅰ：PP１－２ Ⅱ：PP３－６	Ⅰ：PP３－６ Ⅱ：PP１－２
3	Ⅰ：SM・SP Ⅱ：SC・SE	Ⅰ：SC・SE Ⅱ：SM・SP	Ⅰ：EE９－12 Ⅰ：MM(10名)	Ⅱ：EE９－12 Ⅱ：MM(10名)	Ⅰ：TM Ⅱ：TE	Ⅰ：TE Ⅱ：TM	Ⅰ：EI１－２ Ⅱ：EI３－４ Ⅰ：GS・GH	Ⅰ：EI３－４ Ⅱ：EI１－２ Ⅱ：GS・GH	Ⅰ：TL１－２ Ⅰ：MM(20名) Ⅱ：TL３－４	Ⅰ：TL３－４ Ⅱ：TL１－２ Ⅱ：MM(20名)
4	Ⅰ：TA･LP１ Ⅱ：TK･LP２	Ⅰ：TK･LP２ Ⅱ：TA･LP１	Ⅰ：LF・LA Ⅰ：MM(30名) Ⅱ：MN	Ⅰ：MN Ⅱ：LF・LA Ⅱ：MM(30名)	Ⅰ：TC	Ⅱ：TC	Ⅰ：LC・LH Ⅱ：水泳 Ⅰ：保健コース Ⅱ：保健コース	Ⅱ：LC・LH Ⅱ：水泳 Ⅰ：保健コース Ⅱ：保健コース	Ⅰ：LE・LJ	Ⅱ：LE・LJ

（注１）前・後期の木曜４限目に水泳を開講します。詳細は３水泳クラスについてに記載している事項をご確認ください。
（注２）前・後期の木曜３限目のＧＳ・ＧＨクラスはスポーツ科学部の学生のみ履修可能。
（注３）医学部医学科（ＭＭ）の新入生は、指定する複数クラス（火曜３時限、火曜４時限、水曜２時限、木曜１時限、金曜３時限）の中から先着順で登録者を決定します。なお、登録要領等については、履修登録ガイダンスの際にお知らせします。

生涯スポーツ論クラス分け一覧

時限	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	LC・LH	LJ･LE LP･P	EE１－３	EE４－６	EE７－９	EE10－12	EI１－２	EI３－４	CF１－２	CF３－４
2	JJ１－３	JJ４－６	CC１－３ S	CC４－６ S	JJ７－８	JJ９－10	CB１－３	CB４－６	JB１－３	JB４－５
3	LG･LF･LA MN・P									

2 保健コースについて

●生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱの履修者のうち、疾患および障がい等のため激しい運動ができない学生を対象とします。
●保健コースの登録を希望する人は、まず時間割で指定されたクラスに出席してください。第１週目の授業（オリエンテーション）にて面談を行います。その結果、コースの変更が必要と判断された場合は、保健コース（木曜日１時限または４時限）への変更手続きを行います。なお、変更手続きの際に診断書の提出を求めることもあります。

3 水泳クラスについて

前・後期の木曜４限目の生涯スポーツ演習Ⅱにおいて、水泳を実施します。
受講を希望する方は、以下の点にご留意下さい。

⑴ 授業シラバスを読み、履修上の条件を確認すること。
⑵ 事前登録されている生涯スポーツ演習Ⅱの学期の木曜４限目に水泳クラスが入りますので、他の科目を入れないよう注意すること。
⑶ 授業１週目のオリエンテーションは事前登録されているクラスで出席すること。

4 その他

●生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび生涯スポーツ論における前期・後期の登録撤回、および後期の登録変更の取り扱いについては、「共通教育科目の履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更について」（p. 46）を参照してください。
●生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業ではトレーニングウェア（水泳の場合には水着）を着用してください。また、体育館シューズも用意してください。詳しくは授業１週目のオリエンテーションで説明します。
●生涯スポーツ演習Ⅱでスキーを選択できるのは、医学部と薬学部を除く学部の３年次生までの学生です。なお、生涯スポーツ演習Ⅱでスキーを選択する人は実習費として110,000円程度必要になります（実習費は12月に徴収します）。但し、経済状況により実習費は変動することがあります。実習地は山形県蔵王スキー場を予定しています。

4 外国語科目

共通教育科目の外国語科目は、７つの外国語と学部留学生を対象とした日本語（注１）が設置されています。各学部・学科の外国語科目の開講は下表の通りです。

2025年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表（2025年度（25台）の入学生）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">学部・学科</th><th colspan="4">外国語科目</th></tr>
<tr><th colspan="2">第１外国語</th><th colspan="2">第２外国語（注３）</th></tr>
<tr><td rowspan="4">人文学部</td><td>文化学科・歴史学科
日本語日本文学科
教育臨床心理学科
英語学科</td><td>英語</td><td>必修（６単位）
選択（２単位）</td><td>・ドイツ語・フランス語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択必修
（８単位）</td></tr>
<tr><td>ドイツ語学科</td><td>ドイツ語</td><td>必修（８単位）</td><td>・英語・フランス語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択必修
（８単位）</td></tr>
<tr><td>フランス語学科</td><td>フランス語</td><td>必修（８単位）</td><td>・英語・ドイツ語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択必修
（８単位）</td></tr>
<tr><td>東アジア地域言語学科（注２）</td><td colspan="4">中国語・朝鮮語・英語……必修（12単位）および選択必修（４単位）
英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語……選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">法・経済・商学部</td><td>英語</td><td rowspan="4">必修（６単位）
選択（２単位）</td><td>・ドイツ語・フランス語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">商学部第二部</td><td>英語</td><td>・ドイツ語・フランス語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">理・工学部</td><td>英語</td><td>・ドイツ語・フランス語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択必修
（４単位）</td></tr>
<tr><td colspan="2">薬学部</td><td>英語</td><td>・ドイツ語・フランス語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">医学部</td><td>医学科</td><td>英語</td><td>必修（６単位）</td><td>・ドイツ語・フランス語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>看護学科（注２）</td><td colspan="4">英　語……必修（６単位）、選択（２単位）
ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語・朝鮮語
……選択必修（２単位）</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポーツ科学部</td><td>英語</td><td>必修（６単位）
選択（２単位）</td><td>・ドイツ語・フランス語
・中国語・ロシア語
・スペイン語・朝鮮語</td><td>選択</td></tr>
</table>

（注１） 学部留学生を対象とした日本語の取り扱いについては、P.73「学部留学生のための授業科目「日本語」について」を参照してください。
（注２） 人文学部東アジア地域言語学科および医学部看護学科については、第１外国語・第２外国語の区別はありません。
（注３） 第２外国語は、同一言語で４単位以上修得しない場合、卒業要件単位として認められないことがあります。学部によって取扱いが異なりますので注意してください。
（注４） 上記の科目以外に海外英語研修があります。詳細は、P.121⑴「海外英語研修」を参照してください。

2025年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表（2024年度（24台）以前の入学生）

2024年度（24台）以前の入学生は、以下の QR コードで2025年度外国語科目学部・学科別開講一覧表をご確認ください。

1 外国語科目の履修登録について

●外国語科目の履修は、下位年次科目から順次登録しなければなりません。

●外国語科目は、**履修登録の撤回・後期開講科目の登録変更を認めていません。**

※2024年度（24台）以前の入学生のアドバンスト・イングリッシュⅡ（後期科目）のみ、所定の登録人数に達しない場合に限り、登録変更期間に追加登録を行います。追加登録を行う場合は登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。なお、追加登録を行った場合も履修登録の撤回はできません。

●英語の履修登録について

【2025年度（25台）の入学生】

英語には、以下の3種類があり（カッコ内は略称）、Advanced English以外は履修するクラスが決まっています。クラスは事前登録してありますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。

Practical English（PE）
Core English（CE）
Advanced English（AE）

※1 Advanced English（アルファベット表記）は、2026年度から開講予定です。履修登録に関する注意事項、授業内容等は今後FUポータルや次年度発行予定の学修ガイド等で公開します。
2 人文学部東アジア地域言語学科のPE Ⅰ・CE Ⅱは事前登録を行いませんので、各自で履修登録してください。
3 人文学部ドイツ語学科とフランス語学科は各自で英語の事前登録を取り消すことができます。
4 休学や留学等によりPE・CEの履修年度が遅れた場合は再履修と同様各自で履修登録が必要です。詳細は、今後FUポータルや次年度発行予定の学修ガイド等で公開します。

【2024年度（24台）以前の入学生】

英語には以下の3種類があり（カッコ内は略称）、インターミディエイト・イングリッシュ（IE）のみ履修するクラスが決まっています。IEのクラスは事前に登録してありますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。

フレッシュマン・イングリッシュ（FE）
インターミディエイト・イングリッシュ（IE）
アドバンスト・イングリッシュ

※1 アドバンスト・イングリッシュ（カナ表記）は開講される学部・学科・年台が決まっています。授業科目表を参照してください。履修希望者は各自で履修登録が必要です。
2 東アジア地域言語学科のIE Ⅲ・Ⅳは、事前登録を行いませんので各自で履修登録してください。
3 人文学部ドイツ語学科とフランス語学科は各自で英語の事前登録を取り消すことができます。
4 休学や留年等によりFE・IEの履修年度が遅れた場合は再履修と同様各自で履修登録が必要です。下の「●再履修の履修登録について（2年次生以上）」を読んでください。

履修登録画面の時間割表に事前登録されている英語の科目の🄸をクリックすると【履修科目の詳細情報】が表示され、クラスを確認することができます。

●その他の外国語の履修登録について

選択する外国語によって、登録するクラスが指定されている科目や、いくつかのクラスの中から選んで登録できる科目、登録できるクラスのペアが定められている科目などがあります。詳細は「3 英語以外の外国語について」（p. 72〜）を読んでください。

●再履修の履修登録について（2年次生以上）

再履修の場合は、英語・その他の外国語ともに事前登録はしませんので各自で履修登録が必要です。

また、再履修クラスが開講されている科目と、開講されていない科目があります。再履修クラスが開講されていない場合、所属する学部のクラスに登録することを原則としますが、時間割の都合上所属する学部のクラスに登録できない場合は、他の学部のクラスに登録することができます。その場合、自学部の履修登録可能期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きが必要です。

詳細は各語学の説明（p. 67〜）を読んでください。

●「海外英語研修」

全学部を対象に「海外英語研修」(２単位）を開設しています。応募方法など詳細はp. 121の「２ 短期留学」を参照してください。

なお、この科目は研修に参加した翌年度に事前登録され、事前登録された年度の前期に成績が評価される科目です。

2 英語の履修について

【2025年度（25台）の入学生】

共通教育英語科目は、学部・学科により、履修年次・期別が違いますので、各学科の年次別授業科目表で確認してください。

●Practical English Ⅰ・Ⅱ（１年次生)、Ⅲ（２年次生）

・予め受講クラスが決められていて自分で変更できません。

・PE Ⅱ・PE Ⅲは習熟度別にクラスを編成するため、CE で受験するテストの結果に伴いクラスが決められます。PE Ⅱは仮で全員同じクラスが事前に登録されていますが、前期終了後にクラスが変わります。PE Ⅱの最終的な受講クラスは、後期の履修登録変更期間に履修登録の画面で必ず確認してください。

・Practical English の各科目では以下の授業を行います。

PE Ⅰ　Productive English（略称：PRO）

プレゼンテーションやライティングを中心に、英語を使いながら学び、英語を学びながら使っていきます。

PE Ⅱ　Reading & Writing（略称：REA）

批判的に読む力と英語を用いて論理的に書く力を総合的に高めます。

PE Ⅲ　Communicative English（略称：COM）

英語の話す力と聞く力に焦点を当て、対話力を高めます。

●Core English Ⅰ・Ⅱ（１年次生)、Ⅲ（２年次生）

・Core　English は、一人ひとりの苦手な部分にカスタマイズされた e-Learning 教材で、英語の文法、語彙・表現の知識、および「読む」「聞く」という受信力を強化します。

・授業では、TOEIC® IP テスト（オンライン）を指定された日時および教室で受験します。

・授業には、ノートパソコンおよびイヤフォン（有線を推奨）を持参する必要があります。

●Advanced English Ⅰ・Ⅱ（２・３年次生）

・Advanced English（アルファベット表記）は、2026年度から開講予定です。科目の概要や履修登録方法などは次年度発行の学修ガイドで確認してください。

【2024年度（24台）以前の入学生】

●フレッシュマン・イングリッシュⅠ～Ⅳ

フレッシュマン･イングリッシュは再履修クラスのみ開講されます。再履修クラスについては、「●再履修について（FE・IE)」の項目を確認してください。

●インターミディエイト・イングリッシュⅠ～Ⅳ（２・３年次生）

インターミディエイト・イングリッシュⅠ～Ⅳは、学部･学科により履修年次が違いますので、各学科の年次別授業科目表で履修年次を確認してください。

IE は「目的別クラス選択制」を導入しています。開講クラスは下記のとおりで、プレイスメントテスト受験の際に選択した希望順位をもとに受講クラスが決定され、事前登録されています。IE Ⅰ～Ⅳすべて同じ種類の目的別クラスを受講します。

R&W：リーディング＆ライティング
ＥＳＰ：検定対策英語
C＆O：CALL＆オーラル・コミュニケーション

※1　人文学部東アジア地域言語学科はIE Ⅰ・Ⅱのみが必修科目ですが、選択科目としてIE Ⅲ・Ⅳを履修することができます。
2　医学部医学科のIE Ⅰ～Ⅳは、すべて1年次の後期科目です。
3　アスリート特別選抜および留学生クラスのIE Ⅰ～Ⅳは目的別クラスではありません。

●アドバンスト・イングリッシュⅠ・Ⅱ（3年次生以上、L（LH，LJ）・S・Mを除く学部）

アドバンスト・イングリッシュは、ⅠあるいはⅡのみの受講も可能です。必修科目ではありませんので、履修希望者は履修登録が必要です。なお、アドバンスト・イングリッシュは**TOEIC® L&Rのスコアが500点以上相当の英語運用能力を有する学生を想定した授業内容となっていますので、500点に満たない場合は、単位の修得が困難となる場合がありますので、注意してください。**

●再履修について（FE・IE）

FEとIEを再履修する場合は、再履修者用のクラスを受講できます。また、IEの場合は下位年次生が受講するレギュラークラス（目的別クラス）での受講を選択することもできます。

※　PEとCEの再履修クラスについては、2026年度の履修登録前に学修ガイドなどで周知します。

再履修クラスを受講する場合

下記《再履修クラス登録方法》を参照のうえ、自分で履修登録をしてください。

前期卒業する場合

「FE Ⅱ・Ⅳ」および「IE Ⅱ・Ⅳ」は本来後期科目ですが、前期にも各1クラス開講しています。
これらの科目の履修が必要な場合、このクラスに履修登録しなければなりません。
登録人数には定員を設けており、先着順に受け付けますので、早めに履修登録してください。
【注意】上記4クラスの定期試験は二部（夜間部）の時間帯で実施しますので、履修登録時に試験日・時限を必ず確認してください。

※　医学部医学科の学生（再履修者）は、医学部事務課の窓口で指示を受けてください。

《再履修クラス登録方法》

[1]　下表で、再履修しようとする科目の講義形態を確認してください。
学部によって受講できる講義形態が決まっていますので注意してください。

【英語再履修クラスの講義形態】

学部・学科	科　目	講義形態	定期試験日程	講義日程
人文学部 法学部 経済学部 商学部 スポーツ科学部	FE Ⅰ・Ⅲ	前期科目	定期試験期間中に実施。	p. 68 [2] へ
	FE Ⅱ・Ⅳ	前期科目	定期試験期間中に**二部の時間帯**で実施。	
		後期科目	定期試験期間中に実施。	
	IE Ⅰ・Ⅲ	前期科目	定期試験期間中に実施。	
	IE Ⅱ・Ⅳ	前期科目	定期試験期間中に**二部の時間帯**で実施。	
		後期科目	定期試験期間中に実施。	
理・工・薬学部 医学部看護学科	FE Ⅰ～Ⅳ	夏季集中講義	夏季集中講義期間中に実施。	p. 69 [3] へ
	IE Ⅰ～Ⅳ			

※　工学部社会デザイン工学科の3年次以上で、キャリアデザインを登録する学生は「前期科目」または「後期科目」で受講してください。

[2]　下表で受講するクラスの期別・日程を確認してください。

【再履修クラス】

フレッシュマン・イングリッシュ（FE）

科目	学部学科	組	期別	曜日	時限	担当者
FE Ⅰ	LJECG	再①	前期	火	5	福原俊平
		再②		水	5	毛利優花
		再③		金	4	棚町　温
	STM(MNP)	集中再	前期	集中		光冨省吾
FE Ⅱ	LJECG	再①	後期	火	5	毛利史生
		再②		水	5	今川京子
		再③		金	4	大村孝紀
		再④	前期	火	5	迫　由紀子
	STM(MNP)	集中再	後期	集中		クロス
FE Ⅲ	LJECG	再①	前期	水	4	坂井　隆
		再②		木	4	銅堂恵美子
		再③		金	5	岩崎雅之
	STM(MNP)	集中再	前期	集中		石垣恵一
FE Ⅳ	LJECG	再①	後期	水	4	武内梓朗
		再②		木	4	高木留美
		再③		金	5	森竹希望
		再④	前期	金	5	森田　司
	STM(MNP)	集中再	後期	集中		毛利史生

インターミディエイト・イングリッシュ（IE）

科目	学部学科	組	期別	曜日	時限	担当者
IE Ⅰ	LJECG	再①	前期	月	4	大村孝紀
		再②		火	4	毛利優花
		再③		木	5	高木留美
		再④		金	4	伊藤益代
	STM(MNP)	集中再	前期	集中		山田英二
IE Ⅱ	LJECG	再①	後期	月	4	大島由起子
		再②		火	4	シルバーマン
		再③		木	5	森田　司
		再④		金	5	岩崎雅之
		再⑤	前期	月	5	毛利史生
	STM(MNP)	集中再	後期	集中		石垣恵一
IE Ⅲ	LJECG	再①	前期	月	5	武内梓朗
		再②		火	4	西村　恵
		再③		水	4	今川京子
		再④		木	4	園田暁子
	STM(MNP)	集中再	前期	集中		太田　梢
IE Ⅳ	LJECG	再①	後期	月	5	高橋美知子
		再②		火	5	棚町　温
		再③		水	4	久保善宏
		再④		木	4	一瀬陽子
		再⑤	前期	月	4	大島由起子
	STM(MNP)	集中再	後期	集中		山田英二

3月24日（月）からの履修登録期間中に「FUポータル」にログインし、Web履修登録から履修申請をしてください。半期完結の再履修クラスは1クラスあたりの登録人数に定員を設けていて、先着順に受け付けます。登録ができない場合は他の再履修クラスに履修申請してください。

[3]　夏季集中講義について

このクラスを受講できるのは、理・工・薬学部および医学部看護学科の学生のみです。それ以外の学部学生は受講できませんので注意してください。

【夏季集中講義日程】

期別	科目名	期　　間	授業時間	試験日・時限
前期	FE Ⅰ・Ⅲ IE　Ⅰ・Ⅲ	8月4日(月)～8日(金)	1時限～3時限 ただし最終日は 1時限～2時限	8月8日3限目 (13:00～14:00)
後期	FE Ⅱ・Ⅳ IE　Ⅱ・Ⅳ	9月1日(月)～5日(金)	1時限～3時限 ただし最終日は 1時限～2時限	9月5日3限目 (13:00～14:00)

※　授業時間［1時限］9：00～10：30　［2時限］10：40～12：10　［3時限］13：00～14：30

3月24日(月)からの履修登録期間中に「FUポータル」にログインし、Web履修登録の履修申請画面で**「集中講義科目等を選択」**から受講するクラスを選択し、履修申請してください。各クラスとも登録人数に定員はありませんが、前期と後期1科目ずつしか登録できませんので、**複数の再履修がある場合**、夏季集中講義に登録できない再履修科目は前期科目または後期科目の再履修クラスに履修登録してください。また、IEのみ履修登録期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きすれば、希望する曜日・時限のレギュラークラスに登録することも可能です。

［IEのみ］レギュラークラスで受講する場合

自学部の履修登録可能期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きが必要です。登録できるクラス・人数に定員がありますので、早めに申し出てください。

また、休学等により、当該年次の英語が受講できなかった場合も、レギュラークラスを受講することができます。

※1　商学部第二部の学生（再履修者）がレギュラークラスへの登録を希望する場合は、2号館事務室で対応します。

2　再履修者のレギュラークラスへの登録方法については、共通教育センターのホームページ(http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu871/）に詳しい説明を掲載しています。

【2025年度（25台）の入学生へ】外部試験の成績による単位認定について

1．下表の外部試験の成績により、2025年度履修登録科目（Core English）の中から3単位を上限として認定を申請することができます。

認定対象科目（単位）					
Core English Ⅰ～Ⅲ（各1単位）					
TOEIC® Listening & Reading（以下 TOEIC® L&R）	IELTS	TOEFL iBT®	実用英語技能検定（以下英検）	認定上限単位数	成績標語評価
800点以上	6.5以上	90以上	1級	3	秀（A）90点
700点以上800点未満	6.0	80以上90未満		2	
600点以上700点未満	5.5	70以上80未満	準1級	1	

※1　単位認定科目は、**申請時に履修登録されている**上表の認定対象科目の中から、認定上限単位数の範囲内で申請者が選択することができます。

※2　上表の科目を再履修する場合でも単位認定を申請できますが、履修登録をしていなければ申請できませんので、注意してください。なお、再履修は下位年次から順次登録しなければなりません。

※3　申請後、休学等により登録科目が取り消される場合、外部試験により認定された科目がそこに含まれる時は、認定も取り消されます。

※4　外部試験の成績により単位認定された対象科目は、**特待生の選考にあたって考慮されません。また、GPA評価の対象にもなりません。**

※5　単位認定の対象となる外部試験の詳細は下表のとおりです。

外部試験	単位認定の対象となるテストや受験方式
TOEIC® L&R	公開テストおよび本学で実施されたIPテスト ※IPテスト（オンライン）のテスト結果は単位認定に使用できません。 ※デジタル公式認定証を利用しての申請には、スマートフォン等モバイル端末を窓口に持参してください。
IELTS	ペーパー版・コンピューター版の受験方式によるIELTS（IELTS Onlineは除く）
TOEFL iBT®	試験会場での受験
英検	英検および英検　S-CBT

2．単位認定の申請受付けは、下表の要領で4月と9月に行います。

申請期間	2025年4月11日（金）～4月17日（木）	2025年9月15日（月）～9月19日（金）
対象科目	2025年度前・後期登録科目のCE	2025年度後期登録科目のCE
受付場所	文系センター棟1階　共通教育センター （受付時間　月～金曜日のうち授業日の8：50～16：50）	
提出物	・外部試験の成績による単位認定申請書 ・各外部試験の成績認定証の原本等 ※詳細はFUポータルのお知らせ・共通教育センターのホームページに掲載の実施要領を確認してください。	
対象となる成績	申請日から過去2年以内に取得した外部試験の成績 ※入学初年度に申請する場合（編入学、転入学等した者を含む）は、入学日から過去1年以内に取得した外部試験の成績を対象とする。	
対象となる成績	（新入生）2024年4月2日以降に取得した外部試験の成績	

※1　認定上限単位数が申請単位数を超過したときは、当該の外部試験の成績を次学期以後の申請期間に提出することにより、超過分に係る単位認定の申請手続を行うことができます。但し、申請時の「対象となる成績」の条件を満たしたものに限ります。
※2　共通教育外国語科目は、後期開講科目の履修登録を変更することはできませんので、9月に単位認定を申請できる科目は、前期開講前に履修登録された後期登録科目（夏季集中講義科目を除く）に限ります。
※3　商学部第二部の学生に限り、申請期間中の受付時間内に申請ができない場合は、2号館事務室の窓口事務時間内に申請書類を提出してください。後日共通教育センターより申請の可否について連絡します。なお、申請期間以外の申請はできません。

3．外部試験の成績による単位認定を受けた者が、その後更に上位の成績を取得した場合には再度単位認定を申請することができます。ただし、認定上限単位数から既に認定を受けた単位数を差し引いた単位数までしか申請できません。

4．**外部試験の成績による単位認定の詳細および申請用紙は、FU ポータルのお知らせ・共通教育センターのホームページに掲載していますので、申請前に必ず確認してください**。
【共通教育センターのホームページ】http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu871/

【2024年度（24台）以前の入学生へ】TOEIC® L&R による単位認定について

TOEIC® L&R による単位認定については、以下の QR コードより確認してください。

3 英語以外の外国語について

●英語以外の外国語には、**1年次開講科目の「ＩA・ＩB」**（医学部看護学科は**「Ｉ」**のみ）と**2年次開講科目の「ⅡA・ⅡB」**があります。p. 64の「2025年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表」および以下の説明を参考に受講科目を決めて、履修申請してください。

●ロシア語科目について、人文学部・理学部・工学部の2025年度（25台）の入学生は、履修登録画面に表示されません。ロシア語の履修を希望する場合は、所属学部の窓口にご相談ください。

※　人文学部・理学部・工学部の2024年度（24台）以前の入学生は、履修登録の画面に表示されます。

●商学部第二部（23台以前）で開講される各外国語の「Ｉ・Ⅱ」と医学部看護学科で開講される各外国語の「Ｉ」は、週１回授業が行われる通年科目です。

●商学部第二部（23台以前）の学生については、昼間部の時間で各外国語の「Ｉ」と「Ⅱ」が開講されます。

●クラス指定がある外国語で、指定のクラスに登録できない等英語以外の外国語の登録について不明な点があれば、当該学生の履修登録期間中の窓口が開いている時間に共通教育センター（文系センター棟１階）で相談してください。

●**制限科目登録日に履修登録が必要な科目はありません。**

所属する学部・学科の履修登録期間中に履修申請してください。なお、定員に達していて履修申請を行うことができない場合は、他の外国語を履修申請してください。

⑴ＩA・ＩBについて

○各外国語のＩA・ＩBは、１年次に履修登録する場合は必ず両科目とも登録してください。片方だけの登録は認められません。また、登録できるクラスは学科基本クラスにより指定されています。p. 115以降の各外国語の「クラス別担当者一覧」を参照してください。

※１　日本語は開講されているクラスが複数ある場合は、その中から登録するクラスを選択できます。ただし、ＩA･ＩBは同じクラスのＩA・ＩBに登録しなければなりません。

２　FUポータルで履修申請をする際に、ＩA･ＩBのいずれか片方だけ選択して申請ボタンをクリックしても、エラーとなり登録できません。ＩA･ＩBとも選択した状態で申請ボタンをクリックして登録してください。

○英語以外の外国語科目は、同一外国語のＩA（２単位）とＩB（２単位）の計４単位を取得しなければ外国語科目として卒業要件単位に算入されません。なお、学部・学科によっては英語以外の外国語科目で２単位のみ取得した場合に自由履修単位として卒業要件に算入する場合があります。

○英語以外の外国語科目は通年科目です。

※　人文学部ドイツ語学科の「ドイツ語ＩA（前期）」･「ドイツ語ＩB（後期）」、フランス語学科の「フランス語ＩA（前期）」･「フランス語ＩB（後期）」、東アジア地域言語学科の「中国語ＩA（前期）」･「中国語ＩB（後期）」と、「朝鮮語ＩA（前期）」･「朝鮮語ＩB（後期）」はそれぞれ週２回授業が行われ、前期または後期完結になります。

⑵ⅡA・ⅡBについて

○「ⅡA・ⅡB」は、人文学部東アジア地域言語学科の中国語・朝鮮語を除き、それぞれ週１回授業が行われる通年科目で、**登録するクラスが指定されています**。p. 115以降の各外国語の「クラス別担当者一覧」を参照してください。

※１　理学部・工学部はⅡAまたはⅡBのいずれか一方しか登録できません。
　２　ⅡA・ⅡBは、ⅠA・ⅠBの内容を修得していることを前提に授業が行われます。

○**東アジア地域言語学科の中国語と朝鮮語**は、ⅡA・ⅡBとも週２回授業が行われる前期または後期完結科目です。

○**人文学部**は、ⅠA・ⅠBを修得した外国語のⅡA・ⅡB両方の単位を修得しなければ第２外国語に関する卒業要件を満たすことができません。所属する学科の指定クラスで登録してください。ただし、時間割の都合上所属するクラスでの履修ができない場合は、他のクラスに登録できます（ただし同じクラスのⅡA・ⅡBに登録しなければなりません）。

※　ドイツ語のＬＧクラス、フランス語のＬＦクラス、中国語のＬＡクラス、朝鮮語のＬＡクラスへの登録は、指定の学科に限られます。

○**人文学部以外の学部**は、ⅡA・ⅡBのどちらか１つだけ履修することも可能です。時間割の都合で所属する学部のクラスに登録できない、または、所属する学部にクラスが開講されていない場合は、前項の※にあるクラス以外の人文学部のクラスに登録できます。

⑶再履修について

○**再履修者は**、各科目の所属する学部のクラスに登録することを原則としますが、時間割の都合上所属する学部のクラスに登録できない場合は、他の学部のクラスに登録できます（p. 65～参照）。ただし、ⅠA・ⅠBまたはⅡA・ⅡBを同時に再履修する場合は、同じクラスのⅠA・ⅠBまたはⅡA・ⅡBに登録してください。

※　ドイツ語のＬＧクラス、フランス語のＬＦクラス、中国語のＬＡクラス、朝鮮語のＬＡクラスへの登録は、指定の学科に限られます。

学部留学生のための授業科目「日本語」について

学部留学生は、外国語科目（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」、「スペイン語」、「ロシア語」）のうち、自らの母語である言語を外国語科目として履修することができません。母語である言語が必修科目に指定されている場合は下記の「日本語」を履修し、所定の単位を修得することで、８単位を限度として当該外国語科目の単位を修得したものとして取り扱います。

また、上記外国語科目に母語が含まれない学部留学生が「日本語」を履修し単位を修得した場合は、その単位を第２外国語の単位として取り扱います。

１年次　日本語ⅠA（通年２単位）、日本語ⅠB（通年２単位）
２年次　日本語ⅡA（通年２単位）、日本語ⅡB（通年２単位）

5 単位互換科目について

福岡市の西部地区に位置する五大学（九州大学、中村学園大学、西南学院大学、福岡歯科大学および本学）連携事業の一環として、各大学の授業を相互に開放し、単位を認定する「単位互換制度」を実施しています。これは、他大学のキャンパスで、他大学の開講科目を受講できる制度となっています。この制度に則った他大学の受講科目を「単位互換科目」と言います。

出願資格は、２年次生以上となっています。また、学部によって単位の認定についての詳細が異なりますので、履修希望者は、FU ポータルあるいは窓口で配布する履修者募集要項を確認してください。詳しくは、３月中旬に FU ポータルに掲示します。

※学修ガイド「福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程」(p. 182～183) を参照。

6 試験について

定期試験を実施しない授業科目

下記科目については、定期試験期間中に試験は実施しません。

各科目の成績評価方法については、シラバスで必ず確認したうえで履修申請を行ってください。

⑴ 総合教養科目

①「教養ゼミ」の科目（※p. 55～56の表 4 を参照）

②化学実験・物理学実験・生物学実験

③データサイエンス・AI 入門

④下表の科目

No.	科　　目　　名	担当者	開講期別	曜日	時限
1	図形情報	奈尾　信英	後期	木	2
2	哲学Ａ	大西　克智	前期	木	2
3	哲学Ａ	大西　克智	前期	木	3
4	哲学Ａ	大西　克智	前期	木	5
5	哲学Ｂ	大西　克智	後期	木	2
6	哲学Ｂ	大西　克智	後期	木	3
7	哲学Ｂ	大西　克智	後期	木	5
8	論理学Ａ	林　　誓雄	前期	火	2
9	論理学Ａ	林　　誓雄	前期	水	2
10	論理学Ａ	林　　誓雄	前期	水	3
11	論理学Ａ	林　　誓雄	前期	金	2
12	論理学Ｂ	林　　誓雄	後期	火	2
13	論理学Ｂ	林　　誓雄	後期	水	2
14	論理学Ｂ	林　　誓雄	後期	火	1
15	論理学Ｂ	林　　誓雄	後期	金	2
16	倫理学Ａ	中村　未来	前期	月	4
17	倫理学Ａ	中村　未来	前期	火	2
18	倫理学Ａ	中村　未来	前期	水	4
19	倫理学Ｂ	中村　未来	後期	月	2
20	倫理学Ｂ	中村　未来	後期	火	2
21	倫理学Ｂ	中村　未来	後期	水	4
22	日本史通論Ａ	久保　知里	前期	月	3

No.	科　　目　　名	担当者	開講期別	曜日	時限
23	日本史通論Ｂ	久保　知里	後期	月	3
24	外国史通論Ａ	森　　丈夫	前期	水	5
25	外国史通論Ｂ	森　　丈夫	後期	水	5
26	人文地理学	近藤　祐磨	後期	水	2
27	人文地理学　ＢＢ	近藤　祐磨	前期	木	二部２
28	アジアの文学Ａ	間　ふさ子	前期	月	5
29	アジアの文学Ａ	何　　憶鴿	前期	火	5
30	経済学Ａ	楊　　光洙	前期	火	4
31	経済学Ａ	楊　　光洙	前期	火	5
32	経済学Ｂ	楊　　光洙	後期	火	4
33	経済学Ｂ	楊　　光洙	後期	火	5
34	教育論Ａ	中世古貴彦	前期	火	4
35	教育論Ｂ	中世古貴彦	後期	火	4
36	地理学Ａ	近藤　祐磨	前期	金	5
37	地理学Ｂ	近藤　祐磨	後期	金	3
38	地理学Ｂ	近藤　祐磨	後期	金	5
39	心理学Ａ	大上　　涉	前期	火	3
40	心理学Ａ	大上　　涉	前期	火	4
41	心理学Ｂ	大上　　涉	後期	火	3
42	心理学Ｂ	大上　　涉	後期	火	4
43	法律学概論	畑中　久彌	後期	金	5
44	地誌学	近藤　祐磨	後期	木	5
45	国際化と日本	鈴木　孝将	後期	金	3
46	文化と教育	鈴木　美香	前期	水	4
47	文化と教育	鈴木　美香	後期	水	4
48	福岡大学で考える現代社会	安井　英俊	前期	火	3
49	福岡大学で考える現代社会	岩山　隆寛	前期	木	5
50	福岡大学で考える現代社会	鈴木　　学	後期	火	2
51	福岡大学で考える現代社会	鈴木　　学	後期	火	3
52	福岡大学で考える現代社会	須長　一幸	前期	金	2
53	福岡大学で考える現代社会	安元　佐和	前期	木	5
54	福岡大学で考える現代社会	橋場　　論	前期	水	5
55	福岡大学で考える現代社会	須長　一幸	後期	月	5
56	福岡大学で考える現代社会	鈴木　孝将	後期	金	3
57	福岡大学で考える現代社会	熊丸　憲男	後期	火	4
58	福岡大学で考える現代社会	鈴木　美香	前期	水	4
59	福岡大学で考える現代社会	鈴木　美香	後期	水	4
60	福大生のためのキャリアデザイン	植上　一希	前期	月	1
61	福大生のためのキャリアデザイン	植上　一希	前期	月	2
62	アカデミックスキルズゼミⅠ	紺田　広明	前期	火	5
63	アカデミックスキルズゼミⅠ	道山　治延	前期	木	1
64	アカデミックスキルズゼミⅡ	吉田　秀幸	後期	木	1
65	アカデミックスキルズゼミⅡ	鈴木　　学	後期	火	5
66	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田　　暢	前期	火	3
67	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田　　暢	前期	火	2

⑵　保健体育科目

生涯スポーツ演習Ⅰ　　生涯スポーツ演習Ⅱ
生涯スポーツ演習Ⅲ　　生涯スポーツ演習Ⅳ　　生涯スポーツ論

⑶　課程科目

課程科目のうち定期試験を実施しない授業科目についての留意事項は、別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程　履修の手引』を参照してください。

⑷　外国語科目

①英語科目（PE Ⅰ～Ⅲ、CE Ⅰ～Ⅲ、AE Ⅰ・Ⅱ（25台以降）、IE Ⅰ～ⅣのC&Oクラス、左記以外で授業シラバスの試験実施欄に「無し」と記載されているクラス）
②ドイツ語科目（※LGクラスを除く　ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語ⅠA・ⅠB、ドイツ語ⅡA・ⅡB）
③フランス語科目（※LFクラスを除く　フランス語Ⅰ・Ⅱ、フランス語ⅠA・ⅠB、フランス語ⅡA・ⅡB）
④スペイン語科目（スペイン語Ⅰ、スペイン語ⅠA・ⅠB、スペイン語ⅡA・ⅡB）

上記の「定期試験を実施しない授業科目」については、追試験・再試験を実施しません。

商学部第二部留意事項

1 履修登録単位について

１年間に履修登録できる単位数は、41単位です。（昼間部履修を含みます。）
※20台以前の学生については、前年度における合格科目の単位数が41単位に不足する場合、さらにその不足単位数のうち８単位を限度に登録できます。

2 ゼミナールについて

２年次以降に履修します。

選択必修科目（選択必修科目２群）ですので、２年次以降に次の５つのゼミナールから１つ以上を履修・修得してください。

単年度に履修できるゼミナールの数は、１つに限られています。

・「商学ゼミナールＡ」
・「金融ゼミナールＡ」
・「経営ゼミナールＡ」
・「会計ゼミナールＡ」
・「国際ゼミナールＡ」

ゼミナールの担当教員は毎年変わりますので、一度修得したゼミナールを翌年度以降に再度履修することができ、その場合は「○○ゼミナールＢ」として登録されます。

各ゼミナールは履修者数に上限（20人程度）がありますので、応募者の中から主に成績により履修者を決定します。

応募方法等については、毎年11月頃に案内します。

【24台各種プログラム生】

２年専門ゼミナールは通常の講義とは異なり、少人数で行われます。

商学部では２年次前期に募集選考し、「２年専門ゼミナール（後期）」「３年専門ゼミナールⅠ（前期）」「３年専門ゼミナールⅡ（後期）」「論文ゼミナール（通年）」と２年半にわたって開講します。この期間、ゼミ生は同じ指導教員のもとで連続して受講することになっています。

①履修登録（仮登録）

３月の履修登録期間中に次のとおり、仮登録（２単位）をしてください。なお、この期間中に仮登録以外の「２年専門ゼミナール」を登録することはできません。

科　　目：２年専門ゼミナール（仮登録）
仮担当者：杉本　宏幸
単　　位：２単位
※「集中講義等の登録科目」に表示され、登録上限単位数〔41単位〕に含まれます。

（登録上の注意）

２年専門ゼミナールは２年次前期に履修者を選考し、後期に開講します（下表参照）。第一希望のゼミナールに合格するとは限りませんが、「2025年度商学部授業時間割」を確認し、**希望する担当者の時限枠は空けておくことが望ましいです。特に後期登録変更ができない科目（登録制限科目）は登録しないでください。**

選考にもれた場合は、後期履修登録変更期間〔９月３日㈬～５日㈮〕に追加登録等の登録変更をしてください。

●令和７（2025）年度２年専門ゼミナール時間割

曜日	時限	学科(系列)	教員名
月	5	経営(会計)	長束　航
火	3	商	植村信保
			笹川洋平
			杉本宏幸
			藤田裕邦
			本村希代
		経営(経営)	猿田冬樹
		経営(会計)	池田健一
		貿易	ｱｹﾐｸ,ｷｭﾁｭｸ ｱﾘ
			伊豆　久
			大矢浩之
			掛下達郎
水	3	経営(経営)	合力知工

曜日	時限	学科(系列)	教員名
水	3	経営(経営)	中島賢一
			河瀬宏則
			藤野　真
			樋口あゆみ
		経営(会計)	篠原巨司馬
			高橋秀至
			渡辺　剛
			飛田　努
木	3	商	太宰　潮
			伊藤　豪
			田中義孝
		経営(経営)	大上朝海
		経営(会計)	田坂　公

曜日	時限	学科(系列)	教員名
木	3	経営(会計)	飯塚雄基
		貿易	豊　嘉哲
			岡　陽子
金	3	商	鈴木裕介
			弘津真澄
			明神実枝
			中塚晴雄
			新田町尚人
		経営(経営)	森田泰暢
		貿易	大石　恵
			松永　達
			林　裕
			ﾎｰﾌﾟ,ｸﾘｽﾄﾌｧｰ ｼﾞｮｰｼﾞ

②募集説明会の開催

募集説明会で募集要項を配付し、選考スケジュール等を説明します。
希望する学生は必ず出席してください。出席しなかった場合は、履修登録（本登録）できません。
説明会の日時・場所については、次のとおりです。

日　時：４月16日㈬　16：30～（予定）
場　所：後日、FU ポータルでお知らせします。

3 昼間部履修について

卒業に必要な単位のうち、在学期間を通して40単位（このうち共通教育科目は32単位まで）を限度に昼間部（商学部）での履修が可能です。なお、会計専門職プログラムの学生は60単位を限度に昼間部（商学部）での履修が可能です。

注意

- **昼間部では、商学部第二部とは別の定期試験時間割が決まっていますので、授業時間割だけで受講科目を決めることはできません。必ず、試験時間が重なっていないことを確認してください。**

※授業を受けることができても、試験を受けられなければ単位の修得はできません。

4 外国語科目について

○　第１外国語

１年次生

- 「Practical English Ⅰ、Ⅱ」（PE と略）と「Core English Ⅰ、Ⅱ」（CE と略）については、**クラスが指定**されていますので、**指定のクラスで受講**してください。履修登録ではあらかじめ登録されています。

２年次生

- 「インターミディエイト･イングリッシュⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」（IE と略）については、**クラスが指定**されていますので、**指定のクラスで受講**してください。履修登録ではあらかじめ登録されています。

２年次生以上

- **「ＦＥ、ＩＥ」再履修の登録**

  再履修者は、再履修クラスを履修してください。
  履修申請は、FU ポータルにログインし、履修登録システムで行います。
  なお、再履修クラス以外を希望する場合は、２号館１階の２号館事務室に相談してください。

○　第２外国語

【25・24台】

- 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「ロシア語」、「スペイン語」、「朝鮮語」の各ＩＡ・ＩＢ・ⅡＡ・ⅡＢを開講しています。
  ＩＡ・ＩＢは１年次に、ⅡＡ・ⅡＢは２年次に開講される科目です。
- 各科目「ＩＡ・ＩＢ」については、**履修登録をする場合は必ず両科目とも登録してください。片方だけの登録は認められません。**
  ※詳しくはP. 72をご参照ください。
- 履修時限については、**昼間部の時限（１～５限）**となりますが、昼間部履修上限（32単位）には含まれません。
- 各科目２単位のみを修得した場合、その単位は自由履修単位として卒業要件単位に算入されます（第２外国語の卒業要件単位としては、同一外国語を４単位以上修得しなければなりません）。
- 定期試験は、定期試験期間中の昼間部の時間帯に行います。

【23台以前】

- 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「ロシア語」、「スペイン語」、「朝鮮語」の各Ⅰ・Ⅱを開講しています。
- 各科目「Ⅰ」修得後、「Ⅱ」が履修可能です。
- 各科目２単位のみを修得した場合、その単位は自由履修単位として卒業要件単位に算入されます（第２外国語の卒業要件単位としては、同一外国語を４単位修得しなければなりません）。
- 履修時限については、昼間部の時限（１～５限）となりますが、昼間部履修上限（32単位）には含まれません。

※第１外国語および第２外国語の前期・後期の撤回および後期登録変更はできません。

5 保健体育科目について

本学の保健体育科目は、生涯体育の理念に基づき、学生が様々な身体運動（スポーツを含む）を体験することにより、学生生活を豊かにし、さらには生涯学習の一環としての生涯スポーツを実践し、生活を充実させることを目的にしています。また、健康・体力のみならず、生き甲斐という面からも日常生活における身体運動の必要性を認識し、かつ創造的自由な諸活動が楽しくできるために必要な能力や態度を育成し、将来のライフスタイルを計画するに当たっての有益な科学的知識と体験を提供することも目的としています。

そのため、授業を理論と実技の演習形式としています。理論では身体運動やスポーツの意義ならびに効果について健康科学ないしは自然・社会科学的面から理解することとし、実技では基礎体力の保持・増進・回復をねらいとし、様々なスポーツ種目の学習を体験することとします。

１年次生

- **生涯スポーツ演習Ⅰ（必修）**
- **生涯スポーツ論（必修）**

授業時間は**学科基本クラスごとに指定**されています。授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ登録しています。

２年次生

- **生涯スポーツ演習Ⅱ（選択）**

指定されたクラスで履修登録をしてください。

※「生涯スポーツ演習Ⅰ」、「生涯スポーツ論」を再履修する場合は、**「再クラス」**で履修登録をしてください。

「生涯スポーツ演習」の授業はトレーニングウエアを着用してください。

※生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論の前期、後期の撤回および後期登録変更はできません。

6 登録制限科目について

下記科目は、授業の性格上、受講者数を制限しています。ただし、定員に満たない場合は、追加募集をWeb履修登録画面上で行います。

⑴ 下記科目は事前（12月）に選考を行っており、すでに受講者が決定しています。

●商学・金融・経営・会計・国際ゼミナール（A・B）・ビジネスデザインゼミナール・海外交流ゼミナール（各通年）

⑵ 昼間部に開講される総合教養科目の制限科目は、全学部共通留意事項(p. 47～54)に従って募集します。

⑶ 専門教育科目

◎1年次生

年次	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間・結果発表
1	情報表現技術	諸原　真樹	前期	火	二部1	80	先着順	4月4日㈮9時00分～17時00分【定員になり次第締切。定員に満たない場合は、追加募集（4月5日㈯18時00分～履修登録画面で先着順）を行います。】
		諸原　真樹	前期	火	二部2	20		
	特別講義A（キャリア形成支援）	門田　良明	後期	水	二部1	15		

◎2年次生以上

年次	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間
1	情報表現技術	諸原　真樹	前期	火	二部1	20	先着順	3月21日㈮13時00分～3月23日㈰17時00分【定員になり次第締切。定員に満たない場合は、追加募集（3月24日㈪13時00分～履修登録画面で先着順）を行います。】
		諸原　真樹	前期	火	二部2	80		
	特別講義A（キャリア形成支援）	門田　良明	後期	水	二部1	15		
2 6	外書講読ⅠA 外書講読AⅠ	張　　凱恵	前期	月	二部1	20		
2 6	外書講読ⅠB 外書講読AⅡ	張　　凱恵	後期	月	二部1	20		
2	情報処理入門	石橋　慶一	前期	月	二部2	45		
2		福永　良浩	前期	木	二部2	50		
2	情報処理基礎	石橋　慶一	後期	月	二部2	45		
2		福永　良浩	後期	木	二部2	50		
2	特別講義C（キャリア形成実践）	門田　良明	前期	水	二部1	30		
2	マルチメディア概論	宮本　和典	後期	火	二部2	75		
2	情報システム論	福永　良浩	前期	木	二部1	50		
2			後期	木	二部1	50		
2	マーケティングリサーチ	杉本　宏幸	後期	月	二部1	50		
2	消費者行動論	太宰　　潮	後期	火	二部2	180		
2	オペレーションズリサーチ	橋本　敦夫	後期	金	二部1	50		
2 8	会計情報システム論 会計情報システム論Ⅰ	平川　　茂	前期	月	二部2	60		
2 8	会計情報システム論 会計情報システム論Ⅱ	平川　　茂	後期	月	二部2	60		
3 6	外書講読ⅡA 外書講読BⅠ	張　　凱恵	前期	月	二部2	20		
3 6	外書講読ⅡB 外書講読BⅡ	張　　凱恵	後期	月	二部2	20		
3 6	外書講読上級A 外書講読CⅠ	長谷川伸子	前期	水	二部1	15		
3 6	外書講読上級B 外書講読CⅡ	長谷川伸子	後期	水	二部1	15		

⑷　関連教育科目（商学部の授業科目）

◎１年次生

年次	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間・結果発表
1	キャリアデザイン(25台)	門田　良明 白梅　英子	後期	水	1	100	抽選	●申込期間 ４月４日㈮９：00～12：00 ●結果発表 ４月４日㈮17：00 定員に満たない場合は、４月６日㈰９：00からWeb履修登録画面上で追加募集を行います（先着順）。

◎２年次生以上

年次	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間・結果発表
2	企業戦略論	合力　知工	後期	木	5	300	抽選	●申込期間 ３月21日㈮13：00～ ３月23日㈰10：00 ●結果発表 ３月24日㈪９：00 （Web履修登録画面上） 定員に満たない場合は、３月24日㈪９：00からWeb履修登録画面上で追加募集を行います（先着順）。
2	キャリアデザイン(24台)	門田　良明 白梅　英子	前期	水	1	100		
2	マーケティング論	村上　剛人	後期	火	5	300		
2	金融政策論	中塚　晴雄	後期	金	2	300		
2	銀行論	新田町尚人	前期	月	4	300		
2 6	地域経営論 九州の経済・経営A	森田　泰暢	前期	火	3	300		
2	貿易商務論A	田代　安彦	前期	水	3	300		
2	貿易商務論B	田代　安彦	後期	水	3	300		
2	海外直接投資論	大石　　恵	前期	月	3	300		
2	グローバル企業論	大石　　恵	後期	月	3	300		
2	開発経済論A	木幡　信二	前期	金	2	300		
2	国際マーケティング論B	山口夕妃子	後期	木	4	300		

⑸　概説系科目

教職課程受講者へ〈登録者数に制限を行う開設科目〉

下記５科目は一部の教員免許状において必須の科目です。隔年で夜間部で開講を行っており、商学部二部の学生は原則、夜間部の科目を履修してもらいます。

卒業予定者で今年度昼間部でのみ開講している科目を受講しないと教員免許状取得ができない場合は、制限を行っていますので、以下の通り履修登録を行ってください。

不明な点があれば、教職課程教育センターまでお尋ねください。

年次	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	登録受付日時	夜間開講
2	概説日本史	久保　知里	前期	月	5	170	先着	●受付期間 ３月21日㈮10：00～ ３月23日㈰23：59 ※受付期間終了後定員に満たない場合は、３月24日㈪９：00からWeb履修登録画面上で追加募集を行います（先着順）。	×
2	概説外国史	森　丈夫 山根　直生	後期	金	5	170			○
2	概説哲学	広川　明	後期	火	5	170			×
2	概説社会学	森　康司	前期	木	5	170			×
2	概説法律学	畑中　久彌	後期	月	5	290	抽選	●受付期間 ３月21日㈮９：00～ ３月23日㈰10：00 ●結果発表 ３月24日㈪９：00 ※受付期間終了後定員に満たない場合は、３月24日㈪９：00からWeb履修登録画面上で追加募集を行います（先着順）。	○

7 関連教育科目（商学部の授業科目）について

年次別授業科目表（学科履修規程・第４条別表）関連教育科目における「商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目」は、次のとおりです。

〔25台〕

●クリエイティブ・マネジメントプログラム生のみ

	第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
商学部	商学のための数学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2		
	商学のための統計学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2		
	クリエイティブ社会論	2	クリエイティブ・マネジメント論	2	プロジェクト・マネジメント論	2		
	特別ゼミナールA	2	流通システム論	2	マーケティング論	2	市場分析論	2
	キャリアデザイン	2	金融政策論	2	銀行論	2	証券と金融	2
			交通政策	2	日本商業史	2	西洋商業史	2
			経営労務論	2	企業戦略論	2	企業論	2
			地域経営論	2	社会的企業論	2	税務会計論	2
			意思決定会計論	2				
			貿易商務論A	2	貿易商務論B	2	国際金融論Ⅰ	2
			国際金融論Ⅱ	2	日本経済論A	2	日本経済論B	2
			ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	アメリカ経済論Ⅰ	2
			アメリカ経済論Ⅱ	2	開発経済論A	2	開発経済論B	2
			アジア経済論A	2	アジア経済論B	2	国際政治経済学	2
			国際協力論A	2	国際協力論B	2	国際マーケティング論B	2
			貿易政策	2	海上保険論A	2	海上保険論B	2
			世界経済論	2	海外直接投資論	2	グローバル企業論	2
			特別ゼミナールB	2				

〔24台〕

●クリエイティブ・マネジメントプログラム生のみ

	第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
商学部	商学のための数学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2		
	商学のための統計学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2		
	クリエイティブ社会論	2	クリエイティブ・マネジメント論	2	プロジェクト・マネジメント論	2		
	特別ゼミナールA	2	流通システム論	2	マーケティング論	2	流通政策	2
	キャリアデザイン	2	サービスマーケティング	2	市場分析論	2	金融政策論	2
			銀行論	2	証券と金融	2	交通政策	2
			日本商業史	2	西洋商業史	2		
			経営労務論	2	企業戦略論	2	企業論	2
			地域経営論	2	社会的企業論	2	税務会計論	2
			意思決定会計論	2				
			貿易商務論A	2	貿易商務論B	2	国際金融論Ⅰ	2
			国際金融論Ⅱ	2	日本経済論A	2	日本経済論B	2
			ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	アメリカ経済論Ⅰ	2
			アメリカ経済論Ⅱ	2	開発経済論A	2	開発経済論B	2
			アジア経済論A	2	アジア経済論B	2	国際政治経済学	2
			国際協力論A	2	国際協力論B	2	国際マーケティング論B	2
			貿易政策	2	海上保険論A	2	海上保険論B	2
			世界経済論	2	海外直接投資論	2	グローバル企業論	2
			特別ゼミナールB	2				

〔23台〕

●クリエイティブ・マネジメントプログラム生のみ

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
商学部	商学のための数学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2		
	商学のための統計学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2		
	クリエイティブ社会論	2	クリエイティブ・マネジメント論	2	プロジェクト・マネジメント論	2		
	特別ゼミナールA	2	流通システム論	2	マーケティング論	2	流通政策	2
			サービスマーケティング	2	市場分析論	2	金融政策論	2
			銀行論	2	証券と金融	2	交通政策	2
			日本商業史	2	西洋商業史	2		
			経営労務論	2	企業戦略論	2	企業論	2
			地域経営論	2	社会的企業論	2	税務会計論	2
			意思決定会計論	2				
			貿易商務論A	2	貿易商務論B	2	国際金融論Ⅰ	2
			国際金融論Ⅱ	2	日本経済論A	2	日本経済論B	2
			ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	アメリカ経済論Ⅰ	2
			アメリカ経済論Ⅱ	2	開発経済論A	2	開発経済論B	2
			アジア経済論A	2	アジア経済論B	2	国際政治経済学	2
			国際協力論A	2	国際協力論B	2	国際マーケティング論B	2
			貿易政策	2	海上保険論A	2	海上保険論B	2
			世界経済論	2	海外直接投資論	2	グローバル企業論	2
			特別ゼミナールB	2				

〔22台〕

●クリエイティブ・マネジメントプログラム生のみ

	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
商学部	商学のための数学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2		
	商学のための統計学	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2		
	クリエイティブ社会論	2	クリエイティブ・マネジメント論	2	プロジェクト・マネジメント論	2		
	特別ゼミナールA	2	流通システム論	2	マーケティング論	2	流通政策	2
			サービスマーケティング	2	市場分析論	2	金融政策論	2
			銀行論	2	証券と金融	2	交通政策	2
			日本商業史	2	西洋商業史	2		
			経営労務論	2	企業戦略論	2	企業論	2
			地域経営論	2	社会的企業論	2	税務会計論	2
			意思決定会計論	2				
			貿易商務論A	2	貿易商務論B	2	国際金融論Ⅰ	2
			国際金融論Ⅱ	2	日本経済論A	2	日本経済論B	2
			ヨーロッパ経済論Ⅰ	2	ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	アメリカ経済論Ⅰ	2
			アメリカ経済論Ⅱ	2	開発経済論A	2	開発経済論B	2
			アジア経済論A	2	アジア経済論B	2	国際政治経済学	2
			国際協力論A	2	国際協力論B	2	国際マーケティング論B	2
			貿易政策	2	海上保険論A	2	海上保険論B	2
			世界経済論	2	海外直接投資論	2	グローバル企業論	2
			特別ゼミナールB	2				

8 履修登録日程について

１年次では、専門教育科目の基本部分（選択必修科目）と共通教育科目を中心に履修することになりますので、本年度は大学に慣れながら卒業までの履修計画を考える期間としてください。

２年次生以上は、進路や学習方針ならびに前年度までの修得状況に基づき、卒業までの着実な履修計画を立ててください。

２年次生以上

行　　事	期　　日	時　　間	登　　録
履　修　登　録 （登録制限科目を除く）	3 月24日(月)	9 ：00～25：00	インターネット接続が 可能なパソコン等で登録
	3 月25日(火) ～ 3 月27日(木)	20：00～25：00	

※登録制限科目については、全学部共通留意事項 p. 47～60および、商学部第二部留意事項 p. 81～83を参照してください。

１年次生

行　　事	期　　日	時　　間	登　　録
履　修　登　録 （登録制限科目を除く）	4 月 5 日(土)	18：00～25：00	インターネット接続が 可能なパソコン等で登録
	4 月 6 日(日)	16：20～17：50	

※登録制限科目については、全学部共通留意事項 p. 47～60および、商学部第二部留意事項 p. 81～82を参照してください。

9 専門・関連教育科目における登録撤回・後期登録変更対象外科目について

① 専門･関連教育科目のうち、夜間部に開講される必修科目、登録制限科目（ゼミナールも含む）については、登録撤回・後期登録変更をすることができません。

② ①以外の通年開講科目（関連教育科目を含む）については、前期の登録撤回はできますが、後期の登録撤回と後期の登録変更はできません。

10 試験について

定期試験は前期・後期の各期末に実施されます。

※年度始めに配布する「令和７年度　商学部第二部〈夜間部〉定期試験時間割」は暫定的なものです。必ず、定期試験前にFUポータルメニューの「定期試験日程表WEB掲示」で各自確認・印刷してください。

定期試験を実施しない科目

下記の「①ゼミナール・演習・実習、その他これに準ずる科目」と「②開講期間内評価科目」については、定期試験期間に試験を実施しません。したがって、再試験も実施しませんので注意してください。

【専門科目】

①ゼミナール・演習・実習、その他これに準ずる科目

●基礎ゼミナール
●会計基礎ゼミナール
●商学ゼミナールA
●商学ゼミナールB
●金融ゼミナールA
●金融ゼミナールB
●経営ゼミナールA
●経営ゼミナールB
●会計ゼミナールA
●会計ゼミナールB
●国際ゼミナールA
●国際ゼミナールB
●２年基礎ゼミナール
●２年専門ゼミナール
●３年専門ゼミナールⅠ
●３年専門ゼミナールⅡ
●論文ゼミナール
●情報表現技術
●外書講読ⅠA
●外書講読AⅠ
●外書講読ⅠB
●外書講読AⅡ
●外書講読ⅡA
●外書講読BⅠ
●外書講読ⅡB
●外書講読BⅡ
●外書講読CⅠ
●外書講読上級A
●外書講読CⅡ
●外書講読上級B
●海外交流ゼミナール

②開講期間内評価科目

●該当なし

【関連科目】

①ゼミナール・演習・実習、その他これに準ずる科目

●クリエイティブ・マネジメント論
●プロジェクト・マネジメント論
●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ
●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ
●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ
●クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ
●特別ゼミナールA
●特別ゼミナールB

②開講期間内評価科目

●財政学

●ミクロ経済学

11 既修得単位の認定について

〈1年次生の皆さんへ〉

本学入学前に他大学等で修得した単位について

新入生の皆さんが本学へ入学する前に、大学・短期大学（外国の大学・短期大学を含む）、高等専門学校および専修学校の専門課程等において単位を修得した授業科目があれば、教授会が教育上有益と認めた場合、30単位を限度に本学で修得した授業科目として認定することがあります。ただし、認定は入学年度の４月申請時のみです。

該当する方で、認定を希望する場合は、次の要領で手続きをしてください。

〔申請要領〕

１．申請書配付　４月２日㈬から
　　２号館事務室（２号館１階）にて配付

２．提出締切日　４月11日㈮

３．提　出　先　２号館事務室

４．提出書類　申請書、学業成績証明書、授業科目の具体的な内容、授業回数、授業時間を確認できるもの（シラバス・履修要項等）

『学修ガイド』p. 180～181「福岡大学における既修得単位等の取扱いに関する規程」参照。

12 前期卒業について【21台以前】

「前期卒業」については、**本人による事前の手続きが必要です。**

手続きがない場合、「前期卒業」はできません。

「前期卒業」の申請手続き方法については毎年３月に開催する説明会で説明します。

会計専門職プログラム

会計専門職プログラムは、商学部及び商学部第二部の教育研究の理念に基づき、会計学の理論教育を深化させるとともに徹底的な演習教育を実施することにより、高度な会計学の理論と実務能力を身に付け、グローバル社会及び地域社会に貢献できる優秀な職業会計人を育成することを目的とします。(p. 90内規第2条参照)

1 会計専門職プログラムについて

○会計専門職プログラムの学生（以下、「プログラム学生」という。）となれる者は、商学部及び商学部第二部の学生に限ります。

○プログラム学生となるためには、会計専門職プログラムの入学試験に合格して入学するか、または1年次後期開始前及び2年次後期開始前に実施される会計専門職プログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。なお、会計専門職プログラム学生選抜試験の詳細はp. 95に記載されていますが、「簿記原理」の単位を修得することが受験資格となっているので（修得見込者も可）、プログラム学生となることを志願する者は時間割に注意し、間違いのないよう、履修登録を行う必要があります。

　なお、いったんプログラム学生となっても、p. 91に記載の資格審査によりその資格を喪失することがあるので注意してください。

○会計専門職プログラム学生選抜試験を受験する場合には、必ず「会計専門職プログラム説明会」に出席しなければなりません。（欠席した者は受験できません。）

　会計専門職プログラム説明会は、前期中に実施予定です。（説明会開催の詳細な日時については6月中旬頃FUポータル・商学部掲示板でお知らせします。）

○プログラム学生は、公認会計士試験受験対策講座等を受講できるほか、会計専門職プログラム独自の科目を履修することができます。プログラム学生は、p. 90～91に記載のこのプログラムに関する内規を参照し履修してください。

○プログラム学生となるにあたり、特別な受講料を納入する必要はありません。

○プログラム学生は、7号館4階にある会計専門職プログラム専用の自習室を利用できます。

2 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラムに関する内規と科目履修について

会計専門職プログラムの学生は、以下の内規及び別表第１、別表第２に則って科目を履修しなければなりません。

プログラム学生は十分注意し、p. 92～93の該当する学科履修規程及び年次別授業科目表を参照のうえ履修登録を行ってください。

（趣旨）

第１条　福岡大学学科履修規程第６条の４第１項に規定する商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下「プログラム」という。）に関する取扱いについては、別に定めあるもののほか、この内規の定めるところによる。

（目的）

第２条　プログラムは、商学部及び商学部第二部の教育研究の理念に基づき、会計学の理論教育を深化させるとともに、徹底的な演習教育を実施することにより、高度な会計学の理論と実務能力を身に付け、グローバル社会及び地域社会に貢献できる優秀な職業会計人を育成することを目的とする。

（教育目標）

第３条　プログラムは、会計学的能力に優れかつ勉学意欲の高い学生を選抜し、公認会計士試験受験対策講座を含むカリキュラムを学修することにより、グローバル企業の経理担当者として通用する能力を修得することを教育目標とする。また、在学中に、公認会計士、税理士、不動産鑑定士、中小企業診断士、国税専門官、日商簿記１級などの試験に合格できる学生を輩出することも教育目標とする。

（プログラム学生の受入れ）

第４条　プログラムは、第２条の目的を達成するため、次に掲げる学生をプログラム学生として広く受け入れる。

⑴　在学中、努力を怠らず勉学に意欲のある者

⑵　自学自習に励み、公認会計士試験受験対策講座等を受講するなどして、在学中に公認会計士試験等に合格することを目標とする者

（選抜）

第５条　プログラム学生は、商学部経営学科及び商学部第二部商学科におけるプログラム入学試験の合格者並びに商学部及び商学部第二部の第１年次又は第２年次におけるプログラム選抜試験の合格者とする。

２　選抜試験の実施に関する事項は、別に定める。

（授業科目、単位等）

第６条　プログラムの授業科目、単位等については、別表に定める。

２　プログラム選抜試験に合格しプログラム学生となった者が次年度より履修することができる単位数は、規程第５条第４項第２号本文又は同条第５項第２号本文に定めるとおりとする。

（講座の受講）

第７条　プログラム学生は、福岡大学（以下「本学」という。）が提供する公認会計士試験受験対策等の講座（以下「講座」という。）を受講することができる。

２　前項の受講に関する取扱いについては、次のとおりとする。

⑴　プログラム学生は、講座を受講するにあたり、別に定める誓約書を商学部長に提出する。

⑵　プログラム入学試験の合格者及び第１年次におけるプログラム選抜試験の合格者は、第３年次８月に実施される公認会計士試験（論文式試験）を受験するための公認会計士試験受験対策講座を受講することができる。

⑶　前号の合格者で、所定の審査を経たものは、第４年次８月に実施される公認会計士試験（論文式試験）又は税理士試験を受験するための公認会計士試験受験対策講座又は税理士試験受験対策講座（簿記論及び財務諸表論）を受講することができる。

⑷　第２年次におけるプログラム選抜試験の合格者は、第４年次８月に実施される公認会計士試験（論文式試験）を受験するための公認会計士試験受験対策講座を受講することができる。

⑸　本学が指定した講座の受講料以外の諸費用については、全てプログラム学生の自己負担とする。

（資格審査）

第８条　商学部及び商学部第二部では、プログラム学生の質を保ち、また勉学意欲を維持するために当該学生の資格審査を実施する。

２　資格審査は、各学期末に実施する。

３　資格審査において、次の各号のいずれかに該当する者は、原則としてプログラム学生の資格を喪失する。

⑴　退学、除籍、休学又は転部（商学部又は商学部第二部への転部を除く。）をした者

⑵　プログラムを修了する意思がないと認められる者

⑶　別表に定める各年次の修了要件を満たすことができないことが確定した者

⑷　プログラム学生となった年度末の資格審査時において、当該年度の単位修得率が８割５分に満たない者※

⑸　プログラム資格審査試験に合格しなかった者

⑹　資格審査日の直近の６ヵ月間に受講した講座の出席率が概ね９割５分未満であり、改善の見込みがないと認められる者

⑺　資格審査日の直近の６ヵ月間に受講した講座における確認テスト等の得点率が概ね８割未満であり、改善の見込みがないと認められる者

⑻　卒業までの在学年数が４年を越えることが確定した者

⑼　その他プログラム学生としてふさわしくないと認められる者

４　プログラム学生の資格を喪失した者が１年間に履修することができる単位数は、規程第５条第４項第２号ただし書又は同条第５項第２号ただし書に定めるとおりとする。

５　プログラム学生として修得した全ての単位は、その資格を喪失した後も卒業要件単位として認める。

６　資格審査の実施に関する事項は別に定める。

（修了）

第９条　第４年次終了時にプログラム学生が所属する学科の卒業に必要な単位を修得し、かつ、卒業要件を満たすとともに、別表に定めるプログラムの修了要件を満たした者に対し、商学部教授会の議を経て、商学部長がプログラム修了証を授与する。

（補則）

第10条　プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附　則

この内規は、令和６年４月１日から施行し、令和３年度入学生から適用する。

※認定単位（成績通知書において、科目名欄に「＊」が記載されているもの）および教職課程のために特に設けられた科目（成績通知書において、教職課程科目欄に表示される科目）は含まない。

別表

第１　商学部(商学科、経営学科、貿易学科)のプログラムの授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位		最低修得年次
1	※簿記原理	4			
1	※会社簿記	4	12		1
1	※原価計算論	4			
1	□経営基礎ゼミナールⅠ	2			
1	□経営基礎ゼミナールⅡ	2	−		−
2	□２年基礎ゼミナール	2			
2	※２年専門ゼミナール	2	2		2
1	△会計学総論	2			
2・3・4	△財務会計論	2			
2・3・4	△経営分析論	2			
2・3・4	△監査論	2			
2・3・4	△会計学特論	2	左記科目の		
2・3・4	△税と生活	2	うちから		
2・3・4	△税務会計論	2	16	20	3
2・3・4	△管理会計論	2			
2・3・4	△意思決定会計論	2			
2・3・4	△国際会計論	2			
2・3・4	△会計情報システム論	2			
3	※３年専門ゼミナールⅠ	2			
3	※３年専門ゼミナールⅡ	2			
4	△キャリア研修Ｘ	4	左記科目の		
4	△キャリア研修Ｙ	4	うちから	10	4
4	△キャリア研修Ｚ	4	4		
4	※論文ゼミナール	6			

(注)　※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位とはならないが履修を強く推奨する科目

1　プログラム学生は、学科履修規程第２条第４項に定める卒業に必要な単位を修得するとともに、別表第１に定める修得必要単位を修得しなければならない。

2　プログラム学生は、年次毎に定める必要な単位（修得必要単位）を当該年次終了時までに修得しなければならない。

3　別表第１に定めるキャリア研修の単位は、第４年次１月末日までに次の試験に合格したときに、これを認める。

⑴キャリア研修Ｘ　日商簿記検定試験１級、全経簿記検定試験上級又は税理士試験の簿記論若しくは財務諸表論

⑵キャリア研修Ｙ　公認会計士試験短答式若しくは国税専門官採用試験に合格又は税理士試験の簿記論及び財務諸表論

⑶キャリア研修Ｚ　公認会計士試験又は税理士試験

別表

第２　商学部第二部（商学科）のプログラムの授業科目、単位等

<table>
<tr><th>配当年次</th><th>授業科目</th><th>単位</th><th colspan="2">修得必要単位</th><th>最低修得年次</th></tr>
<tr><td>1</td><td>※簿記原理</td><td>4</td><td colspan="2">4</td><td>1</td></tr>
<tr><td>1</td><td>□基礎ゼミナール</td><td>2</td><td colspan="2" rowspan="4">－</td><td rowspan="4">－</td></tr>
<tr><td>1</td><td>□会計基礎ゼミナール</td><td>2</td></tr>
<tr><td>2</td><td>□２年基礎ゼミナール</td><td>2</td></tr>
<tr><td>2</td><td>□２年専門ゼミナール</td><td>2</td></tr>
<tr><td>1</td><td>※会社簿記</td><td>4</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="15">28</td><td rowspan="15">3</td></tr>
<tr><td>1</td><td>※原価計算論</td><td>4</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△会計学総論</td><td>2</td><td rowspan="10">左記科目のうちから
16</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△財務会計論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△経営分析論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△監査論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△会計学特論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△税と生活</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△税務会計論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△管理会計論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△意思決定会計論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△国際会計論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３・４</td><td>△会計情報システム論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>△３年専門ゼミナールⅠ</td><td>2</td><td rowspan="5">左記科目のうちから
4</td></tr>
<tr><td>3</td><td>△３年専門ゼミナールⅡ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>２・３</td><td>△会計ゼミナールＡ</td><td>4</td></tr>
<tr><td>２・３</td><td>△会計ゼミナールＢ</td><td>4</td></tr>
<tr><td>4</td><td>△論文ゼミナール</td><td>6</td><td rowspan="4">4</td></tr>
<tr><td>4</td><td>△キャリア研修Ｘ</td><td>4</td><td colspan="2" rowspan="3">左記科目のうちから
4</td></tr>
<tr><td>4</td><td>△キャリア研修Ｙ</td><td>4</td></tr>
<tr><td>4</td><td>△キャリア研修Ｚ</td><td>4</td></tr>
</table>

（注）　※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位とはならないが履修を強く推奨する科目

1　プログラム学生は、学科履修規程第２条第５項に定める卒業に必要な単位を修得するとともに、別表第２に定める修得必要単位を修得しなければならない。

2　プログラム学生は、年次毎に定める必要な単位（修得必要単位）を当該年次終了時までに修得しなければならない。

3　別表第２に定めるキャリア研修の単位は、第４年次１月末日までに次の試験に合格したときに、これを認める。

⑴キャリア研修Ｘ　日商簿記検定試験１級、全経簿記検定試験上級又は税理士試験の簿記論若しくは財務諸表論

⑵キャリア研修Ｙ　公認会計士試験短答式若しくは国税専門官採用試験に合格又は税理士試験の簿記論及び財務諸表論

⑶キャリア研修Ｚ　公認会計士試験又は税理士試験

【キャリア研修Ｘ・Ｙ・Ｚの単位認定について】

1．キャリア研修Ｘ・Ｙ・Ｚとは

キャリア研修Ｘ・Ｙ・Ｚとは、プログラム修了要件別表注(3)に示す試験に合格した場合に本人の申請により単位が認定される科目です。詳細は下表のとおりです。Ｘ・Ｙ・Ｚ全てを申請することも可能です。**申請には合格証書の原本が必要ですので、必ず保管しておいてください。なお、本学入学前に合格した試験についても、申請することができます。**

申請科目	対象となる試験・検定	単位数
キャリア研修Ｘ	日商簿記検定試験１級 全経簿記検定試験上級 税理士試験の簿記論又は財務諸表論	４単位
キャリア研修Ｙ	公認会計士試験短答式 国税専門官採用試験 税理士試験の簿記論及び財務諸表論	４単位
キャリア研修Ｚ	公認会計士試験 税理士試験	４単位

※一つの申請科目に対し対象となる試験に複数合格した場合でも、認定は４単位のみです。

2．受験票提出及び合格報告について

上表の各種試験の受験毎に、受験票の受領日から原則として１週間以内に教務二課（商学部会計専門職プログラム）に「受験票の控え（コピー）」を提出してください。また、各種試験に合格した際は、合格証書の発行日から原則として１週間以内に「合格報告（報告書の提出及び合格証書の原本提示）」を行ってください。なお、入学前に合格した試験については入学後１ヶ月以内（選抜試験によりプログラム学生となった者が選抜試験前に合格した試験については選抜試験合格後１週間以内）に報告してください。報告の最終締め切りは４年次の１月末です。

※公認会計士試験論文式試験に合格した際は、合格証書に加え「論文式試験成績通知書」も持参すること。

3．キャリア研修単位認定申請について

キャリア研修単位認定の申請期間及び提出書類は次のとおりです。この期間内に、自身が希望する科目を申請します。なお申請する科目の対象となる試験の合格報告がなければ単位は認定されません。合格報告のみで申請書の提出がない場合も同様です。

申請期間：４年次の12月中の一定期間（詳細は11月上旬にお知らせします）
提出書類：キャリア研修単位認定申請書
提 出 先：教務二課（商学部会計専門職プログラム）

なお、単位認定申請期間までに合格発表が行われていない試験であっても、４年次１月末日までに合格報告が可能な試験を受験している場合には、単位認定を申請することができます。

4．単位の認定時期及び履修登録について

単位の認定時期は４年次末です。

キャリア研修Ｘ・Ｙ・Ｚは４年次の Web 履修登録は不要です。ただし、これらの単位は年間登録上限単位数に含まれます。申請する予定の単位数を差し引いて履修計画を立てる必要があるので注意してください。

3 会計専門職プログラム学生選抜試験について

会計専門職プログラムで学ぶためには、会計専門職プログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。

試験の実施要領は以下のとおりですので、受験希望者は参照してください。

（目的）

1　この実施要領は、商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラムに関する内規（以下「内規」という。）第５条第２項の規定に基づき選抜試験について必要な事項を定める。

（募集時期）

2　商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下「プログラム」という。）の学生選抜試験の募集時期は、第１年次後期開始前及び第２年次後期開始前とする。

（募集人員）

3　プログラムの募集人員は、概ね次のとおりとする。

⑴　商学部商学科・経営学科・貿易学科20人

⑵　商学部第二部商学科５人

（出願資格）

4　プログラム学生選抜試験に出願することができる者は、内規第４条に定める者のうち、次の各号の条件をすべて満たすものとする。

⑴　商学部又は商学部第二部の第１年次又は第２年次に在籍する者

⑵　職業会計人の使命及びプログラムの趣旨を理解し、合格後は勉学に専念してプログラムのカリキュラムを修了する意思を固めている者

⑶　「簿記原理」の単位を修得した者又は修得見込である者

⑷　過去にプログラム学生でなかった者

（選考）

5　プログラム学生の選考は、前項各号に掲げる出願資格を確認の上、筆記試験（簿記原理）及び面接により行い、その評点は各100点、合計200点満点とする。

（運営委員会）

6　プログラム学生選抜試験に関する学生募集、筆記試験及び面接は、会計専門職プログラム運営委員会が実施する。

（実施日）

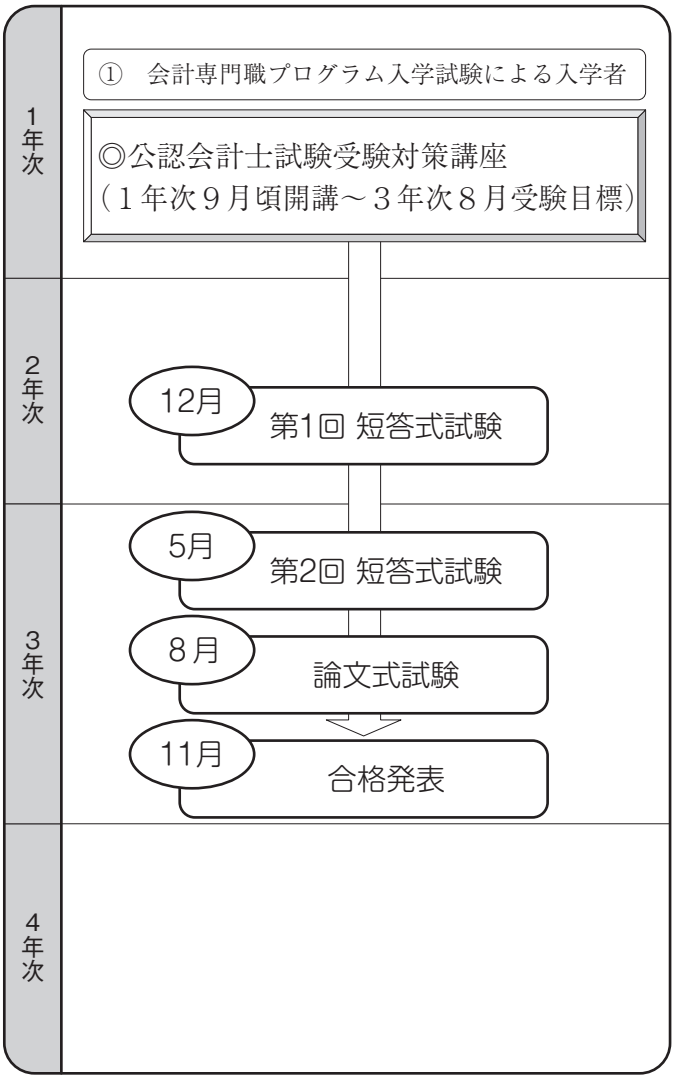
7　この要領は、令和５年４月１日から実施し、令和４年度入学生から適用する。

4 その他

【会計専門職プログラムのスケジュール】

スケジュールは下表に示していますので、参考にしてください。
講座や試験の日程は多少前後する可能性もありますので、掲示などに注意してください。

なお、会計専門職プログラム学生となるには、次の３つの方法があります。
① 会計専門職プログラム入学試験による入学者
② １年次の選抜試験合格者
③ ２年次の選抜試験合格者（※１）



② １年次の選抜試験受験希望者

７～８月頃 ・プログラム説明会
・選抜試験出願申込

８～９月頃 ・選抜試験及び合格発表

合格者は①の入学者と共に左記の講座を受講することになります。

その他の受講可能な講座

（各講座の受講には、一定の条件が必要です。詳しくは教務二課（商学部会計専門職プログラム）でお尋ねください。）

３年次の公認会計士試験において不合格となった場合であっても、次のいずれかの講座を受講できます。

- 公認会計士試験 受験対策講座（４年次８月受験目標）
- 税理士試験 受験対策講座（４年次８月受験目標）

左記以外にも、次の講座が受講できます。（開講時期・受験目標時期は異なります。）

- 日商簿記1級講座（３年次６・11月、受験目標）

◆公認会計士試験・税理士試験・国税専門官採用試験・日商簿記１級・全経簿記上級の合格は、4年次の選択必修科目であるキャリア研修X・Y・Zに該当します。単位認定の詳細についてはｐ.94を参照してください。

所属する学科の卒業要件とプログラムの修了要件（※2）を満たした場合、プログラム修了証が授与されます。

（注） 資格審査（p.91内規第８条参照）は各学期末に実施されます。
※１ ２年次９月頃から開講の４年次８月を受験目標とする公認会計士試験受験対策講座を受講することになります。
※２ プログラム修了要件の詳細はp.93の別表第２を参照してください。

クリエイティブ・マネジメント・プログラム

クリエイティブ・マネジメント・プログラムは、商学部及び商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学の理論教育を深化させることにより、知的コンテンツ（映画、音楽、文芸、アニメーション、コンピュータゲーム等）を創造する産業界における制作活動の管理・監督者（ディレクター）、企画・事業化統括者（プロデューサー）、経営者などの育成を目的とする。（P. 97内規第２条参照）

1 クリエイティブ・マネジメント・プログラムについて

○クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生（以下、「プログラム学生」という。）となれる者は、商学部及び商学部第二部の学生に限ります。

○プログラム学生となるためには、１年次に実施されるクリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。なお、クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験の詳細はp. 101に記載されています。プログラムを志望する学生は、プログラムの１年次必修科目の「クリエイティブ社会論」（詳細はp. 99～100）を１年次に修得する必要があります。したがって、前期の履修登録において必ず「クリエイティブ社会論」の履修登録を行って下さい。

　なお、いったんプログラム学生となっても、p. 98に記載の資格審査によりその資格を喪失することがあるので注意してください。

○クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験を受験する場合には、必ず「クリエイティブ・マネジメント・プログラム説明会」に出席しなければなりません。（欠席した者は受験できません。）

　クリエイティブ・マネジメント・プログラム説明会の詳細な日時については商学部掲示板等に掲示します。

○プログラム学生は、クリエイティブ・マネジメント・プログラム独自の科目を履修することができます。プログラム学生は、p. 97～98に記載のこのプログラムに関する内規を参照し履修してください。

○プログラム学生となるにあたり、特別な受講料を納入する必要はありません。

2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラムに関する内規と科目履修について

　クリエイティブ・マネジメント・プログラムのプログラム学生選抜試験の受験を希望する学生は、以下の内規及び別表に則って科目を履修しなければなりません。

　プログラム学生選抜試験の受験を希望する学生は、十分注意し、p. 99～100の学科履修規程及び年次別授業科目表を参照のうえ履修登録を行ってください。

（趣旨）

第１条　福岡大学学科履修規程第６条の４第２項に規定する商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下「プログラム」という。）に関する取扱いについては、別に定めあるもののほか、この内規に定めるところによる。

（目的）

第２条　プログラムは、商学部及び商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学の理論教育を深化させることにより、知的コンテンツ（映画、音楽、文芸、アニメーション、コンピュータゲーム等）を創造する産業界における制作活動の管理・監督者（ディレクター）、企画・事業化統括者（プロデューサー）、経営者などの育成を目的とする。

（教育目標）

第３条　プログラムは、知的コンテンツへの関心及び情報技術に関する基礎知識を有し、かつ、勉学意識の高い学生を選抜し、演習に重点を置いたカリキュラムを学修することにより、知的コンテンツの制作活動の企画・事業化統括、管理・監督及び事業の経営に関する高度な理論と実践能力を修得することを目標とする。

（選抜）

第４条　プログラムの履修を希望する学生は、第１年次におけるプログラム選抜試験を経て、プログラム学生となる。

２　前項のプログラム選抜試験に関する事項は、別に定める。

（授業科目、単位等）

第５条　プログラムの授業科目、単位等については、別表に定める。

（資格審査）

第６条　プログラムの履修にあたり、プログラム学生の質を保ち、また勉学意欲を維持するために当該学生の資格審査を実施する。

２　資格審査は、学年末に実施する。

３　資格審査において、次の各号のいずれかに該当する者は、プログラム学生の資格を喪失する。

⑴　退学、除籍又は転部（商学部又は商学部第二部への転部者を除く。）をした者

⑵　プログラムを修了する意思がないと認められる者

⑶　別表に定める各年次の修了要件を満たすことができないことが確定した者

⑷　プログラム学生となった年度末の資格審査時において、当該年度の修得単位数が32単位に満たない者※

⑸　卒業までの在学年数（休学を除く。）が４年を越えることが確定した者

⑹　その他プログラム学生としてふさわしくないと認められる者

４　プログラム学生として修得した全ての単位は、その資格を喪失した後も卒業要件単位として認める。

（修了）

第７条　第４年次終了時にプログラム学生が所属する学科の卒業に必要な単位を修得し、かつ、卒業要件を満たすとともに、別表に定めるプログラムの修了要件を満たした者に対し、商学部教授会の議を経て、商学部長がプログラム修了証を授与する。

（補則）

第８条　プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附　則

この内規は、令和３年４月１日から施行する。

※教職課程のために特に設けられた科目（成績通知書において、教職課程科目欄に表示される科目）は32単位に含まない。

別表第１

商学部（商学科、経営学科、貿易学科）のプログラムの授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位		最低修得年次
1	※クリエイティブ社会論	2	2		1
1	※経営入門	2			
1	※経営学総論	2	8		−
1	※簿記原理	4			
1	□商学のための数学	2			
1	□商学のための統計学	2	−		−
1	□情報倫理	2			
2	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2			
2	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	8		2
2	※２年基礎ゼミナール	2			
2	※２年専門ゼミナール	2			
2	※プロジェクト・マネジメント論	2	4		3
2	※クリエイティブ・マネジメント論	2			
1	△経営戦略論	2	左記科目のうちから6	14	3
1	△経営心理学	2			
1	△経営組織論	2			
2・3・4	△生産管理論	2			
2・3・4	△経営管理論	2			
2・3・4	△管理会計論	2			
3	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2			
3	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2			
3	※３年専門ゼミナールⅠ	2			
3	※３年専門ゼミナールⅡ	2			
4	※論文ゼミナール	6	6		4

（注）　※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位とはならないが履修を強く推奨する科目

別表第２

商学部第二部商学科のプログラムの授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位		最低修得年次
1	※クリエイティブ社会論	2	2		1
1	※経営入門	2			
2・3・4	※経営学総論	2	8		−
1	※簿記原理	4			
1	□商学のための数学	2			
1	□商学のための統計学	2	−		−
1	□情報倫理	2			
2	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅰ	2			
2	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅱ	2	8		2
2	※２年基礎ゼミナール	2			
2	※２年専門ゼミナール	2			
2	※プロジェクト・マネジメント論	2	4		3
2	※クリエイティブ・マネジメント論	2			
2・3・4	△経営戦略論	2	左記科目のうちから6	14	3
2・3・4	△経営心理学	2			
2・3・4	△経営組織論	2			
2・3・4	△生産管理論	2			
2・3・4	△経営管理論	2			
2・3・4	△管理会計論	2			
3	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅲ	2			
3	※クリエイティブ・マネジメント演習Ⅳ	2			
3	※３年専門ゼミナールⅠ	2			
3	※３年専門ゼミナールⅡ	2			
4	※論文ゼミナール	6	6		4

（注）　※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位とはならないが履修を強く推奨する科目

3 クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験について

クリエイティブ・マネジメント・プログラムで学ぶためには、クリエイティブ・マネジメント・プログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。

試験の実施要領は以下のとおりですので、受験希望者は参照してください。

（目的）

1　この実施要領は、商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラムに関する内規（以下「内規」という。）第４条第２項の規程に基づき選抜試験について必要な事項を定める。

（募集時期）

2　商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下「プログラム」という。）の学生選抜試験の募集時期は、第１年次とする。

（募集人員）

3　プログラムの募集人員は、概ね次のとおりとする。

⑴　商学部商学科・経営学科・貿易学科・商学部第二部20人

（出願資格）

4　プログラム学生選抜試験に出願することができる者は、次の各号の条件をすべて満たすものとする。

⑴　商学部及び商学部第二部の第１年次に在籍する者

⑵　プログラムの趣旨を理解し、合格後は勉学に専念してプログラムのカリキュラムを修了する意思を固めている者

（選考）

5　プログラム学生の選考は、前項各号に掲げる出願資格を確認の上、小論文及び面接により行い、その評点は各100点、合計200点満点とする。

（運営委員会）

6　プログラム学生選抜試験に関する学生募集、小論文及び面接は、クリエイティブ・マネジメント・プログラム運営委員会が実施する。

（実施日）

7　この要領は、令和７年４月１日から実施する。

高校商業・情報科教員育成プログラム

高校商業・情報科教員育成プログラムは、高等学校の商業科又は情報科の優れた教員となる人材を育成し、高等学校の教科教育に貢献するとともに高大接続を深化させ、商学部及び商学部第二部における人材養成をより効果的にすることによって、商学に関する研究成果を社会に還元する商学部及び商学部第二部の教育研究の理念を実現することを目的とします。(P. 102内規第２条参照)

1 高校商業・情報科教員育成プログラムについて

○高校商業・情報科教員育成プログラムの学生（以下、「プログラム学生」という。）となれる者は、商学部商学科・経営学科及び商学部第二部の学生に限ります。

○プログラム学生となるためには、特別ゼミナールＡ（教員育成基礎）の成績（標準得点）及び１年次に履修登録した科目（教職課程科目を含む。）の成績（標準得点）に基づく選考に合格しなければなりません。プログラム学生となることを志願する者は、特に注意して特別ゼミナールＡ（教員育成基礎）及び教職課程科目の履修登録を行う必要があります。また、特別講義Ａ（教員育成入門）についても可能な限り履修登録することを推奨します。

　なお、いったんプログラム学生となっても、p. 103に記載の資格審査によりその資格を喪失することがあるので注意してください。

○プログラム学生となることを志願する者は、必ず「高校商業・情報科教員育成プログラム説明会」に出席しなければなりません。（正当な理由以外で欠席した者は志願できません）

「高校商業・情報科教員育成プログラム説明会」は、４月入学直後に実施予定です。

○プログラム学生は、高校商業・情報科教員育成プログラム独自の科目を履修することができるほか、本学のキャリアセンターで開講される高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座を受講することができます。また、その講座が開講されない場合はプログラム独自の特別対策講座を開講し、合格へ向けたサポートを行います。プログラム学生は、p. 102～103に記載のこのプログラムに関する内規を参照し履修してください。

○プログラム学生となるにあたり、特別な受講料を納入する必要はありません。

2 商学部商学科・経営学科及び商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラムに関する内規と科目履修について

高校商業・情報科教員育成プログラムの学生は、以下の内規及び別表第１、別表第２に則って科目を履修しなければなりません。

プログラム学生は十分注意し、p. 104～105の該当する学科履修規程及び年次別授業科目表を参照のうえ履修登録を行ってください。

（趣旨）

第１条　福岡大学学科履修規程第６条の４第３項に規定する商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の商業・情報科教員育成プログラム（以下「プログラム」という。）に関する取扱いについては、別に定めあるもののほか、この内規に定めるところによる。

（目的）

第２条　プログラムは、高等学校の商業科又は情報科の優れた教員となる人材を育成し、高等学校の教科教育に貢献するとともに高大接続を深化させ、商学部及び商学部第二部における人材養成をより効果的にすることによって、商学にかかる研究成果を社会に還元する商学部及び商学部第二部の教育研究の理念を実現することを目的とする。

（教育目標）

第３条　プログラムは、高等学校において商業科又は情報科の教員となる意欲と適性を持つ学生を選抜し、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の履修に加えて、特別講義を含む演習に重点を置いたカリキュラムを学修させることにより、高等学校の商業科又は情報科の優秀な教員となるための高度な理論と教育能力を修得させることを目標とする。

（選抜）

第４条　プログラムの履修を希望する学生は、原則として、第１年次の成績に基づく選考を経て、プログラム学生となる。

２　前項のプログラム学生の選考に関する事項は、別に定める。

（授業科目、単位等）

第５条　プログラムの授業科目、単位等については、別表に定める。

（講座の受講）

第６条　プログラム学生は、福岡大学が提供する高等学校商業科又は情報科教員採用試験受験対策講座を受講することができる。

（資格審査）

第７条　プログラムの履修にあたり、プログラム学生の質を保ち、また勉学意欲を維持するために当該学生の資格審査を実施する。

２　資格審査は、プログラム運営委員会が行う。

３　資格審査は、学年末に実施する。

４　資格審査において、次の各号のいずれかに該当する者は、プログラム学生の資格を喪失する。

⑴　退学、除籍、転部（商学部又は商学部第二部への転部を除く。）又は商学部貿易学科への転科をした者

⑵　プログラムを修了する意思がないと認められる者

⑶　別表に定める各年次の修了要件を満たすことができないことが確定した者

⑷　年度末の資格審査時において、当該年度の修得単位数が履修登録単位数の75パーセントに満たない者

⑸　卒業までの在学年数（休学を除く。）が４年を越えることが確定した者

⑹　その他プログラム学生としてふさわしくないと認められる者

５　プログラム学生として修得した全ての単位（教職課程科目を除く。）は、その資格を喪失した後も卒業要件単位として認める。

（修了）

第８条　第４年次終了時にプログラム学生が所属する学科の卒業に必要な単位を修得し、かつ、卒業要件を満たすとともに、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位を修得し、別表に定めるプログラムの修了要件を満たした者に対し、商学部教授会の議を経て、商学部長がプログラム修了証を授与する。

（補則）

第９条　プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附　則

この内規は、令和４年４月１日から施行する。

※認定単位（成績通知書において、科目名欄に「＊」が記載されているもの）は、年度末の資格審査における履修登録単位数に含まないが、教職課程のために特に設けられた科目（成績通知書において、教職課程科目欄に表示される科目）は、年度末の資格審査における履修登録単位数に含む。

別表第１　商学部（商学科・経営学科）のプログラム授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位	最低修得年次
1	□特別講義Ａ（教員育成入門）	2	—	—
	※特別ゼミナールＡ（教員育成基礎）	2	2	1
2	※２年基礎ゼミナール	2	6	2
	※２年専門ゼミナール	2		
	※特別ゼミナールＢ（教員実力養成）	2		
3	※３年専門ゼミナールⅠ	2	4	3
	※３年専門ゼミナールⅡ	2		
4	△キャリア研修Ｘ	4	左記科目のうちから４	4
	△キャリア研修Ｙ	4		
	△キャリア研修Ｚ	4		
	※論文ゼミナール	6	6	

※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位に算入しないが履修を強く推奨する科目

（注）

1　プログラム学生は、学科履修規程第２条第４項に定める卒業に必要な単位を修得し、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位を修得するとともに、別表第１に定める修得必要単位を修得しなければならない。

2　プログラムの履修を希望する者は、第１年次に特別ゼミナールＡ（教員育成基礎）を履修しなければならない。

3　プログラム学生は、年次ごとに定める修得必要単位を当該年次終了までに修得しなければならない。

4　２年基礎ゼミナールは、別に指定するプログラムのクラスにおいて履修する。

5　キャリア研修の単位は、第４年次１月末日までに次の試験に合格したときにこれを認める。

⑴　キャリア研修Ｘ　日商簿記検定試験２級又は全経簿記検定試験１級に合格し、かつ、日商販売士検定試験２級及び情報処理推進機構が実施する基本情報技術者検定試験に合格

⑵　キャリア研修Ｙ　日商簿記検定試験１級、全経簿記検定試験上級、日商販売士検定試験１級又は情報処理推進機構が実施する応用情報技術者検定試験のうち、いずれか一つに合格

⑶　キャリア研修Ｚ　公立高等学校の商業科若しくは情報科の教員採用試験に最終合格した者（公立高等学校採用候補者名簿に登載されること。）又はこれに準ずる進路を決定した者（学校法人等に教員としての採用内定を得た者等）

別表第２　第二部商学科のプログラム授業科目、単位等

配当年次	授業科目	単位	修得必要単位	最低修得年次
1	□特別講義Ａ（教員育成入門）	2	―	―
	※特別ゼミナールＡ（教員育成基礎）	2	2	1
2	※２年基礎ゼミナール	2	2	2
	□２年専門ゼミナール	2	―	―
	※特別ゼミナールＢ（教員実力養成）	2	2	2
2・3	△商学ゼミナールＡ	4	左記科目のうちから４	3
	△商学ゼミナールＢ	4		
	△金融ゼミナールＡ	4		
	△金融ゼミナールＢ	4		
	△経営ゼミナールＡ	4		
	△経営ゼミナールＢ	4		
	△会計ゼミナールＡ	4		
	△会計ゼミナールＢ	4		
	△国際ゼミナールＡ	4		
	△国際ゼミナールＢ	4		
3	△３年専門ゼミナールⅠ	2		
	△３年専門ゼミナールⅡ	2		
4	△キャリア研修Ｘ	4	左記科目のうちから４	4
	△キャリア研修Ｙ	4		
	△キャリア研修Ｚ	4		
	□論文ゼミナール	6	―	―

※必修科目、△選択必修科目、□プログラム修了要件単位に算入しないが履修を強く推奨する科目

（注）

1　プログラム学生は、学科履修規程第２条第５項に定める卒業に必要な単位を修得し、教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位を修得するとともに、別表第２に定める修得必要単位を修得しなければならない。

2　プログラムの履修を希望する者は、第１年次に特別ゼミナールＡ（教員育成基礎）を履修しなければならない。

3　プログラム学生は、年次ごとに定める修得必要単位を当該年次終了までに修得しなければならない。

4　２年基礎ゼミナールは、別に指定するプログラムのクラスにおいて履修する。

5　キャリア研修の単位は、第４年次１月末日までに次の試験に合格したときにこれを認める。

⑴　キャリア研修Ｘ　日商簿記検定試験２級又は全経簿記検定試験１級に合格し、かつ、日商販売士検定試験２級及び情報処理推進機構が実施する基本情報技術者検定試験に合格

⑵　キャリア研修Ｙ　日商簿記検定試験１級、全経簿記検定試験上級、日商販売士検定試験１級又は情報処理推進機構が実施する応用情報技術者検定試験のうち、いずれか一つに合格

⑶　キャリア研修Ｚ　公立高等学校の商業科若しくは情報科の教員採用試験に最終合格した者（公立高等学校採用候補者名簿に登載されること。）又はこれに準ずる進路を決定した者（学校法人等に教員としての採用内定を得た者等）

【キャリア研修Ｘ・Ｙ・Ｚの単位認定について】

1．キャリア研修Ｘ・Ｙ・Ｚとは

キャリア研修Ｘ・Ｙ・Ｚとは、プログラム修了要件別表（注）に示す試験に合格した場合に本人の申請により単位が認定される科目です。詳細は下表のとおりです。Ｘ・Ｙ・Ｚ全てを申請することも可能です。**申請には合格証書の原本が必要ですので、必ず保管しておいてください。なお、本学入学前に合格した試験についても、申請することができます。**

申請科目	対象となる試験・検定等		単位数
キャリア研修Ｘ	日商簿記検定試験２級　又は　全経簿記検定試験１級		4
	かつ		
	日商販売士検定試験２級 及び 基本情報技術者検定試験		
キャリア研修Ｙ	日商簿記検定試験１級	左のうちいずれか１つ	4
	全経簿記検定試験上級		
	日商販売士検定試験１級		
	応用情報技術者検定試験		
キャリア研修Ｚ	公立高等学校商業科教員採用試験最終試験若しくは公立高等学校情報科教員採用試験最終試験 （いずれも公立高等学校採用候補者名簿に登載されること） また、上記に準ずる進路を決定した者（学校法人等に教員としての採用内定を得た者等）		4

2．受験票提出及び合格報告について

上表の各種試験の受験毎に、受験票の受領日から原則として１週間以内に２号館１階事務室に「受験票の控え（コピー）」を提出してください。また、各種試験に合格した際は、合格証書の発行日から原則として１週間以内に２号館１階事務室に「合格報告（報告書の提出及び合格証書の原本提示）」を行ってください。なお、入学前に合格した試験については、選考のうえプログラム学生となった時から１ヶ月以内に報告してください。報告の最終締め切りは４年次の１月末です。

3．キャリア研修単位認定申請について

キャリア研修単位認定の申請期間及び提出書類は次のとおりです。この期間内に、自身が希望する科目を申請します。なお申請する科目の対象となる試験の合格報告がなければ単位は認定されません。合格報告のみで申請書の提出がない場合も同様です。

申請期間：４年次の12月中の一定期間（詳細は11月上旬に掲示します）
提出書類：キャリア研修単位認定申請書
提 出 先：２号館１階事務室

なお、単位認定申請期間までに合格発表が行われていない試験であっても、４年次１月末日までに合格報告が可能な試験を受験している場合には、単位認定を申請することができます。

4．単位の認定時期および履修登録について

単位の認定時期は４年次末です。

キャリア研修Ｘ・Ｙ・Ｚは４年次の Web 履修登録は不要です。ただし、これらの単位は年間登録上限単位数に含まれます。申請する予定の単位数を差し引いて履修計画を立てる必要があるので注意してください。

3 高校商業・情報科教員育成プログラム学生の選考について

高校商業・情報科教員育成プログラムで学ぶためには、高校商業・情報科教員育成プログラム学生選考に合格しなければなりません。

選考の実施要領は以下のとおりですので、選考希望者は参照してください。

（目的）

1　この実施要領は、商学部商学科・経営学科及び商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラムに関する内規第４条第２項の規定に基づき選考について必要な事項を定める。

（募集時期）

2　商学部商学科・経営学科及び商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下「プログラム」という。）の学生選考の募集時期は、第１年次後期末とする。

（募集人員）

3　プログラムの募集人員は、各学科のバランスを考慮した上で、概ね20人とする。

（出願資格）

4　プログラム学生選考に出願することができる者は、次に掲げる条件をすべて満たすものとする。

⑴　商学部商学科、経営学科、又は商学部第二部商学科の第１年次、又は貿易学科の学生で、商学部商学科、経営学科、又は商学部第二部商学科のいずれかの学科に転科希望の第１年次に在籍する者

⑵　教職課程を履修している者

⑶　高校商業・情報科教員の使命及びプログラムの趣旨を理解し、選考合格後は勉学に専念してプログラムのカリキュラムを修了する意思がある者

⑷　特別ゼミナールＡ（教員育成基礎）の単位を修得している者

⑸　年度末の出願時点において、当該年度の修得単位数が履修登録単位数の75パーセントを満たしている者

（選考）

5　プログラム学生の選考は、次の各号に掲げる科目の１単位当たりの標準得点（各科目の標準得点に当該科目の単位数を乗じた点数の合計を当該各号に掲げる科目の総単位数で除した点数をいう。以下同じ。）の合計により行う。ただし、他大学又は短期大学において履修し、単位認定された科目及び短期大学又は高等専門学校等の専攻科において学修し、単位認定された科目を除く。

⑴　特別ゼミナールＡ（教員育成基礎）の標準得点

⑵　前号の科目を除く、第１年次に履修登録した科目（教職課程科目を含む。）の標準得点

なお、応募者が多い場合、選考に当たって、特別講義Ａ（教育育成入門）の履修の有無及び標準得点を評価項目に入れて行う。

（運営委員会）

6　プログラム学生選考に関する学生募集及び選考は、プログラム運営委員会が実施する。

（実施日）

7　この要領は、令和４年４月１日から実施し、令和４年度入学生から適用する。

4 その他

【高校商業・情報科教員育成プログラムのスケジュール】

スケジュールは下表に示していますので、参考にしてください。

【1年次】

4月	・教職課程説明会
	・プログラム説明会
	・プログラム履修登録
9月	・プログラム履修登録
12月	・プログラム説明会及びプログラム学生募集
1月	・プログラム学生選考出願申込
2～3月	・プログラム学生選考及び合格発表
	・プログラム履修登録

【2年次】

3月	・資格審査

【3年次】

6月	・キャリアセンター高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座説明会
	・キャリアセンター高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座受講申込
9月	・キャリアセンター高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座開講
3月	・資格審査

【4年次】

6月	・キャリアセンター高校商業・情報科教員採用試験受験対策講座終了
7月	・公立高等学校商業・情報科教員採用試験1次試験及び合格発表
	・教職課程教育センター高校商業・情報科教員免許状取得見込証明書発行
	・プログラム修了見込証発行
8～9月	・公立高等学校商業・情報科教員採用試験2次試験
10月	・公立高等学校商業・情報科教員採用試験2次試験合格発表及び採用候補者名簿登載
11月	・教職課程教育センター高校商業・情報科教員免許状一括申請説明会
12月	・教職課程教育センター高校商業・情報科教員免許状一括申請申込
	・キャリア研修X・Y・Z単位認定申請
2月	・キャリア研修X・Y・Z単位認定
3月	・卒業式終了後、高校商業・情報科教員免許状及びプログラム修了証授与
	・赴任校決定

地域ビジネスデザインプログラム

地域ビジネスデザインプログラムは、商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学、会計学及びマーケティングの理論教育を深化させるとともに、地域企業が実際に抱える課題に基づいて作成したビジネスケースを用い、調査研究と議論を通じて高度な理論とそれを実務に応用する能力を身に付け、企業が抱える課題の発見及び解決を行うことができる人材を育成することを目的とします。（P. 109内規第２条参照）

1 地域ビジネスデザインプログラム

○地域ビジネスデザインプログラムの学生（以下、「プログラム学生」という。）となれる者は、商学部第二部の学生に限ります。

○プログラム学生となるためには、１年次又は第２年次に実施される地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。

なお、地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験の詳細はp. 112に記載されていますが、「簿記原理」「経営入門」「流通・マーケティング入門」の単位を修得することが受験資格となっているので（修得見込者も可）、プログラム学生となることを志願する者は特に注意して履修登録を行う必要があります。

なお、いったんプログラム学生となっても、p. 110に記載の資格審査によりその資格を喪失することがあるので注意してください。

○地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験を受験する場合には、必ず「地域ビジネスデザインプログラム説明会」に出席しなければなりません。（欠席した者は受験できません。）

地域ビジネスデザインプログラム説明会開催の詳細な日時については商学部掲示板等に掲示します。

○プログラム学生は、地域ビジネスデザインプログラム独自の科目を履修することができます。プログラム学生は、p. 109～110に記載のこのプログラムに関する内規を参照し履修してください。

○プログラム学生となるにあたり、特別な受講料を納入する必要はありません。

2 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラムに関する内規と科目履修について

地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験の受験を希望する学生は、以下の内規及び別表に則って科目を履修しなければなりません。

プログラム学生選抜試験の受験を希望する学生は、十分注意し、p. 111の学科履修規程及び年次別授業科目表を参照のうえ履修登録を行ってください。

（趣旨）

第１条　福岡大学学科履修規程第６条の４第４項に規定する商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下「プログラム」という。）に関する取扱いについては、別に定めるもののほか、この内規に定めるところによる。

（目的）

第２条　プログラムは、商学部第二部の教育研究の理念に基づき、経営学、会計学及びマーケティングの理論教育を深化させるとともに、地域企業が実際に抱える課題に基づいて作成したビジネスケースを用い、調査研究と議論を通じて高度な理論とそれを実務に応用する能力を身に付け、企業が抱える課題の発見及び解決を行うことができる人材を育成することを目的とする。

（教育目標）

第３条　プログラムは、経営学、マーケティング及び会計学に関する勉学意欲の高い学生を選抜し、ビジ

ネスデザイン（事業構想）に関する演習を中心としたカリキュラムを学修することにより、地域における企業のマネジメント課題の発見及び解決する能力を修得することを目標とする。

（選抜）

第４条　プログラムの履修を希望する学生は、第１年次又は第２年次におけるプログラム選抜試験を経て、プログラム学生となる。ただし、プログラム学生としての資格を有する期間は、１年に限るものとする。

２　前項のプログラム選抜試験に関する事項は、別に定める。

（授業科目、単位等）

第５条　プログラムの授業科目、単位等については、別表に定める。

（資格審査）

第６条　プログラムの履修にあたり、プログラム学生の質を保ち、また勉学意欲を維持するために当該学生の資格審査を実施する。

２　資格審査は、プログラム運営委員会が適時に実施する。

３　資格審査において、次の各号のいずれかに該当する者は、プログラム学生の資格を喪失する。

⑴　退学又は除籍をした者

⑵　プログラムを修了する意思がないと認められる者

⑶　プログラムを履修する年度に、別表に定める修了要件を満たすことができないことが確定した者

⑷　その他プログラム学生としてふさわしくないと認められる者

４　プログラム学生として修得した全ての単位は、その資格を喪失した後も卒業要件単位として認める。

（修了）

第７条　プログラムを履修した年度の終了時において、別表に定める修了要件を満たした者に対し、商学部教授会の議を経て、商学部長がプログラム修了証を授与する。

（補則）

第８条　プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附　則

この内規は、令和４年４月１日から施行する。

別表　商学部第二部地域ビジネスデザインプログラムの授業科目、単位等（第５条及び第７条関係）

授業科目	単位	修得必要単位
△マーケティング戦略論	2	左記科目のうちから２
△サービスマーケティング	2	
△マーケティングリサーチ	2	
△消費者行動論	2	
△経営学総論	2	左記科目のうちから４
△経営管理論	2	
△中小企業論	2	
△経営組織論	2	
△ヒューマンリソースマネジメント	2	
△経営戦略論	2	
△生産管理論	2	
△経営心理学	2	
△経営財務論	2	
△会計学総論	2	左記科目のうちから４
△会社簿記	4	
△税と生活	2	
△財務会計論	2	
△原価計算論	4	
△経営分析論	2	
△管理会計論	2	
※ビジネスデザインゼミナール	4	4

（注）　※必修科目、△選択必修科目　　【令和３年度以降入学生適用】

3 地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験について

地域ビジネスデザインプログラムで学ぶためには、地域ビジネスデザインプログラム学生選抜試験に合格しなければなりません。

試験の実施要領は以下のとおりですので、受験希望者は参照してください。

（目的）

1　この実施要領は、商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラムに関する内規第４条第２項の規定に基づき選抜試験について必要な事項を定める。

（募集時期）

2　商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下「プログラム」という。）の学生選抜試験の募集時期は、第１年次又は第２年次とする。

（募集人員）

3　プログラムの募集人員は、概ね10人とする。

（出願資格）

4　プログラム学生選抜試験に出願することができる者は、次の各号の条件をすべて満たすものとする。

⑴　商学部第二部の第１年次又は第２年次に在籍する者

⑵　「簿記原理」「経営入門」「流通・マーケティング」の単位を修得した者又は修得見込みである者（出願時に修得していない者又は修得見込みのない者であっても、プログラム運営委員会が特別の事情があると認めたときは、プログラムの履修年度に当該単位を修得することを妨げない。）

⑶　プログラムの趣旨を理解し、合格後は勉学に専念してプログラムのカリキュラムを修了する意思を固めている者

⑷　過去にプログラム学生でなかった者

（選考）

5　プログラム学生の選考は、前項各号に掲げる出願資格を確認の上、筆記試験及び面接により行い、その評点は各100点、合計200点満点とする。

（運営委員会）

6　プログラム学生選抜試験に関する学生募集、筆記試験及び面接は、地域ビジネスデザインプログラム運営委員会が実施する。

（実施日）

7　この要領は、令和６年４月１日から実施し、令和６年度入学生から適用する。

各種課程の履修について

本学では教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程を開設しており、学生の免許・資格の取得をサポートしています。これらの課程の履修方法については別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程　履修の手引』を参照してください。

教職課程

本学の各学部・学科で取得できる教員免許状は次の表のとおりです。

〈取得できる免許状の種類と教科〉

学部	学科	免許状の種類及び教科		
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の一種免許状
人文学部	文化学科	社会	地理歴史・公民	—
	歴史学科			
	日本語日本文学科	国語	国語	
	教育・臨床心理学科	社会	公民	
	英語学科	外国語（英語）	外国語（英語）	
	ドイツ語学科	外国語（ドイツ語）	外国語（ドイツ語）	
	フランス語学科	外国語（フランス語）	外国語（フランス語）	
	東アジア地域言語学科 中国コース	外国語（中国語）	外国語（中国語）	
	東アジア地域言語学科 韓国コース	外国語（朝鮮語）	外国語（朝鮮語）	
法学部	法律学科	社会	地理歴史・公民	—
	経営法学科			
経済学部	経済学科	社会	地理歴史・公民・情報	—
	産業経済学科			
商学部	商学科	—	商業・情報	—
	経営学科			
	貿易学科	社会	地理歴史・公民	
商学部第二部	商学科	社会	地理歴史・公民・商業・情報	—
理学部	応用数学科	数学	数学・情報	—
	物理科学科	理科	理科・情報	
	化学科		理科	
	地球圏科学科			
工学部	機械工学科	—	工業	—
	電気工学科			
	電子情報工学科		工業・情報	
	化学システム工学科		工業	
	社会デザイン工学科			
	建築学科			
医学部	看護学科	—	看護	養護教諭
スポーツ科学部	スポーツ科学科	保健体育	保健体育	—
	健康運動科学科			

〔人文学部ドイツ語学科・フランス語学科・東アジア地域言語学科〕

他学科の科目を履修することで、人文学部ドイツ語学科・フランス語学科については「外国語（英語）」の免許状を、東アジア地域言語学科については「国語」の免許状を取得することが可能です。しかし、いずれも在籍する学科で取得できる免許教科の取得が前提であり、その他成績等の制約も設けられているため在学中の取得は難しいかもしれません。

〔医学部看護学科〕

高一種「看護」と養護教諭一種免許状を取得できますが、学科の看護学実習等もあるため、在学中に両方を取得することは困難です。どちらかに決めて履修する方が望ましいでしょう。

〔小学校教諭免許状取得プログラム〕

本プログラムに参加することにより、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位の修得も可能です。ただし参加条件があり、１年次の後期に応募し受講を許可される必要があります。

博物館学芸員課程

学芸員とは、博物館（美術館・歴史資料館・動物園・植物園・水族館など）に置かれる専門職員で、資料の収集や保管、調査研究、展示などを行います。

本学では次の学部・学科に学芸員となる資格を取得できる博物館学芸員課程を設けています。

学部	学科
人文学部	文化学科
	歴史学科
理学部	応用数学科
	物理科学科
	化学科
	地球圏科学科

社会教育主事課程

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる「専門的教育職員」であり、主に学校外教育で青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動（体育およびレクリエーションの活動を含む。）を行う者に専門的・技術的な助言と指導を行うことを職務とします。

本学では次の学部・学科に社会教育主事となるために必要な単位を修得できる社会教育主事課程を設けています。

学部	学科
人文学部	文化学科
	教育・臨床心理学科
スポーツ科学部	スポーツ科学科
	健康運動科学科

外国語科目クラス別担当者一覧

※英語のレギュラークラス（目的別クラス）担当者については、Web 履修登録画面または授業科目確認表を参照してください。

英　語　再履修クラス　2024年度（24台以前）の入学生対象

※2025年度（25台）の入学生の英語の再履修クラスについては、2026年度の履修登録前に学修ガイド等で周知します。

フレッシュマン・イングリッシュ（FE）

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
FE Ⅰ	B再	前期	月	夜2	森田　司
FE Ⅱ		後期	月	夜2	森田　司
FE Ⅲ		前期	月	夜1	クロス
FE Ⅳ		後期	月	夜1	クロス

インターミディエイト・イングリッシュ（IE）

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
IE Ⅰ	B再	前期	火	夜2	武内梓朗
IE Ⅱ		後期	火	夜2	武内梓朗
IE Ⅲ		前期	金	夜1	森竹希望
IE Ⅳ		後期	金	夜1	中越亜理紗

【第２外国語科目　ＩＡ／Ⅰ・ＩＢ／Ⅱ】

※ＩＡ・ＩＢは2024年度（24台）以降の入学生、Ⅰ・Ⅱは、2023年度（23台）以前の入学生の第２外国語科目です。

※授業および定期試験は、昼間部の時間帯に行います。

ドイツ語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
ＩＡ／Ⅰ	全	通年	月	5	菅谷　優
ＩＢ／Ⅱ		通年	木	4	冨重純子

フランス語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
ＩＡ／Ⅰ	全	通年	月	5	渡邉佳奈
ＩＢ／Ⅱ		通年	木	4	河野敦子

中国語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
Ⅰ	全	通年	月	5	葛　欣燕
Ⅱ		通年	木	4	大澤武司
ＩＡ	1－3	通年	月	5	葛　欣燕
ＩＢ		通年	木	4	大澤武司
ＩＡ	4－6	通年	月	5	中村昌彦
ＩＢ		通年	木	4	羽田　ジェシカ

スペイン語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
ＩＡ／Ⅰ	全	通年	木	4	青木文夫
ＩＢ／Ⅱ		通年	月	5	フジヨシ　ミヨコ

朝鮮語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
Ⅰ	全	通年	月	5	金　京姫
Ⅱ		通年	木	4	呉　獨立
ＩＡ	1－3	通年	月	5	羅　義圭
ＩＢ		通年	木	4	朴　順伊
ＩＡ	4－6	通年	月	5	権　賢貞
ＩＢ		通年	木	4	パク　ユギョン

ロシア語

科目	組	期別	曜日	時限	担当者
ＩＡ／Ⅰ	全	通年	火	3	ヴェラ
ＩＢ／Ⅱ		通年	金	5	ヴェラ

【第２外国語科目　ⅡＡ・ⅡＢ】

※2024年度（24台）以降の入学生は、下表のⅡＡ・ⅡＢを履修することができます。授業および定期試験は、昼間部の時間帯に行います。

※ドイツ語、フランス語、スペイン語のⅡＡ・ⅡＢの履修を希望する場合は、下表の人文学部（第一外国語除く）クラスで受講することができます。

ドイツ語

科目	学部学科	組	期別	曜日	時限	担当者
ⅡＡ	LC LH	全	通年	火	1	堀口順子
ⅡＢ			通年	金	4	マンケ
ⅡＡ	LJ LP LE LF LA	全	通年	金	4	金山正道
ⅡＢ			通年	火	1	ライヒャルト

フランス語

科目	学部学科	組	期別	曜日	時限	担当者
ⅡＡ	LC LH LJ	全	通年	火	1	河野敦子
ⅡＢ			通年	金	4	山本崇代
ⅡＡ	LE LP LG LA	全	通年	火	1	原田裕里
ⅡＢ			通年	金	4	原田裕里

中国語

科目	学部学科	組	期別	曜日	時限	担当者
ⅡＡ	JECBSTPG	全	通年	火	5	王一萍
ⅡＢ			通年	木	4	王美蘭

スペイン語

科目	学部学科	組	期別	曜日	時限	担当者
ⅡＡ	LC LH LE LF LA	全	通年	火	1	鈴木美香
ⅡＢ			通年	金	4	辻博子
ⅡＡ	LJ LP LG	全	通年	火	1	青木文夫
ⅡＢ			通年	金	4	上間洋

朝鮮語

科目	学部学科	組	期別	曜日	時限	担当者
ⅡＡ	JECBSTPG	全	通年	火	5	鄭在恩
ⅡＢ			通年	木	4	新里喜宣

ロシア語

科目	学部学科	組	期別	曜日	時限	担当者
ⅡＡ	LJECB STPG	全	通年	火	1	ヴェラ
ⅡＢ			通年	金	4	ヴェラ

V

その他

- 大学院受験（飛び級制度）
- 特待生制度
- 国際交流・海外留学支援

大学院受験（飛び級制度）

大学に３年以上在学している者で、「本学の大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの」は大学院を受験することができる。（大学院学則第30条第１項第９号）

1 研究科及び専攻

研　究　科	専　攻
理　学　研　究　科	応　用　数　学　専　攻（博士課程前期）
	応　用　物　理　学　専　攻（博士課程前期）
	化　学　専　攻（博士課程前期）
	地　球　圏　科　学　専　攻（博士課程前期）
工　学　研　究　科	機　械　工　学　専　攻（博士課程前期）
	電　気　工　学　専　攻（博士課程前期）
	電　子　情　報　工　学　専　攻（博士課程前期）
	化学システム工学専攻（博士課程前期）
スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学専攻（博士課程前期）

2 出願資格

志願者は、所属する学科において、成績及び単位修得状況等に関する所定の要件を満たしていること。

3 出願手続等

出願手続・願書受付時期・入学試験等の詳細については、大学院事務課に問い合わせてください。

特待生制度

本学には、学業成績並びに品行の特に優秀な学生を「特待生」として表彰する制度があります。（学則第40条）。この制度は、優秀な成績を修めた学生の栄誉を称えるとともに、今後の学生生活や社会生活における自信に繋げ、更なる活躍を期待して設けられたものです。

前年度の学業成績や品行をもとに、学部ごとの選考基準により、学部学科、学年別に選考します。各学部の２年次以上の学生を対象に、全学で約200人が選ばれ、特待生には、規定された奨学金が授与されます。

国際交流・海外留学支援

世界的規模で、社会、経済、文化のグローバル化が進展する中、海外との交流機会は増大しており、多くの外国人が旅行やビジネスで日本を訪問するのが日常となっています。また、卒業後、皆さんが働く企業においては、海外進出・外国人の雇用・外国企業との協業も当たり前となっています。将来、社会へ出て行く学生には、柔軟で多方面から考察し、理解できる力を持ち、国際的視野に立ってものごとの適切な判断ができる人物像が求められています。

本学では、皆さんがこのような時代に相応しい「グローバル人材」として活躍できるよう、海外留学支援や国際交流の機会を提供しています。海外で生きた言語を学ぶ、異なる社会や文化に触れあう、きっかけづくりをしてみませんか。

1 交換留学

交換留学とは、本学が外国の大学等との間で交わした交換留学協定に基づき実施する留学プログラムです。詳細は国際センター事務室に問い合わせてください。

交換留学の特徴

期　　間	１年間または半年間		
学　　籍	休学ではなく、学籍上「在学」の扱いでの留学となる		
学　　費	留学中は本学に授業料等納入金を納入し、派遣先大学での授業料等納入は免除		
単位認定	派遣先大学で履修した授業科目は、本学の授業科目として単位認定可能 ※ただし、所属学部の教授会の審議による。		
出願年次	学部：１～３年次	対象学部	医・薬を除く学部
選　　考	書類選考・面接選考 ※語学能力・学業成績・人物評価・留学計画について総合的に評価し派遣者を決定		
奨 学 金	・派遣学生全員に留学援助金を支給 ・福岡大学未来サポート募金による交換留学支援金（選考有）		

出願時期、派遣期間、交換留学実施大学は以下を参照してください。

※この他に人文学部が独自に行っている交換留学があります。詳細は教務二課に問い合わせてください。

派遣区分	募集時期	派遣期間	
春期派遣	2025年５月	１年間	2026年２月～2027年１月（実質11カ月程度）
		半年間	2026年２月～７月（実質５カ月程度）
秋期派遣	2025年10月	１年間	2026年９月～2027年６月（実質10カ月程度）
		半年間	2026年９月～2027年１月（実質５カ月程度）

交換留学実施大学一覧

国・地域	大学名
韓　　国	蔚山大学校、釜山大学校、東義大学校、啓明大学校、仁川大学校、東亜大学校、 東西大学校、慶熙大学校、釜慶大学校、東国大学校（WISE キャンパス）、国民大学校、 培材大学校、慶南大学校、慶北大学校、釜山外国語大学校、成均館大学校
中　　国	華東師範大学、揚州大学、煙台大学、広州大学、中央財経大学、黒龍江大学、 ハルピン理工大学、西安交通大学、上海財経大学
台　　湾	輔仁大学、国立高雄大学、国立高雄大学
インドネシア	パジャジャラン大学
ベトナム	ハノイ大学、ダナン大学
イギリス	ニューカッスル大学、リーズ大学、セントラル・ランカシャー大学
フィンランド	タンペレ大学
スペイン	セビージャ大学
ブラジル	連邦立サンタ・カタリナ大学
フランス	パリ・シテ大学、リヨン政治学院、セルジー・パリ大学
ベルギー	リエージュ大学

※実際の募集内容は予告なしに変更となる場合があります。最新情報は国際センターウェブサイトに掲載しますので、出願前に必ず確認してください。

2 短期留学

国際センターでは、長期休業期間を利用して参加できる短期間（約２週間～１カ月）の留学プログラムを提供しています。外国の協定校や語学学校における、語学研修、文化研修、ホームステイ等を通じて語学力や国際感覚を養います。派遣先によって、単位認定の有無、選考試験の有無や内容、費用が異なります。

⑴ 海外英語研修

【選考方法】筆記試験および面接によって選抜
【経　　費】往復渡航旅費以外は全額自己負担
【単位認定】「海外英語研修」２単位（参加した翌年度に認定）
（ただし、卒業要件単位としての取り扱いは学則および学科履修規程による。）

海外英語研修実施校一覧

国・地域	大　学　名	対象学部	対象年次	定員	募集時期	研修期間
アメリカ	ウオッシュバン大学	全学部	１～３年次※	21人	９月中旬	２月中旬 ～３月中旬
オーストラリア	グリフィス大学			21人		

※医学部医学科・薬学部は１～４年次まで出願可能

⑵ 語学留学

【申込方法】先着順で受付
【定　　員】プログラムによって異なり、①と②の場合があります。
①定員あり　②募集定員がなく、１人から参加可能
【経　　費】一部補助あり
【単位認定】無し

語学留学実施校一覧

国・地域	大　学　名	対象学部・研究科	対象年次	定員	募集時期	留学期間
韓　国	蔚　山　大　学　校	全学部	全年次※	②	４月中旬	８月上旬～８月下旬
イギリス	ニューカッスル大学			①	５月上旬	
イギリス	セントラル・ランカシャー大学			②		
アメリカ	シ　ア　ト　ル　大　学			①		８月下旬～９月上旬
ベトナム	ハ　ノ　イ　大　学			①		
中　国	揚　州　大　学			①	10月上旬	２月下旬～３月上旬
韓　国	慶　熙　大　学　校	全学部・全研究科		②	11月上旬	３月上旬～３月下旬

※医学部医学科・薬学部は１～４年次まで出願可能

Campus France 実施語学留学

国・地域	大　学　名	対象学部・研究科	対象年次	定員	募集時期	留学期間
フランス	グルノーブル大学附属語学学校	全学部・全研究科	全年次※	②	10月下旬	３月上旬～３月下旬
	リヨン第二大学附属語学学校			②		
	サンテティエンヌ大学附属語学学校			②		

※医学部医学科・薬学部は１～４年次まで出願可能

3 認 定 留 学

認定留学とは、外国の協定校や本学が認定した外国の大学において、事前に本学の許可を得て特定の科目を履修することを目的とするものです。留学を希望する大学の資料等、必要書類を本学へ提出し許可を得れば認定留学生となります。留学先大学で履修した科目は本学の授業科目として単位認定されますが、留学先大学へも授業料を支払わなければなりません。**なお、認定留学の詳細については所属する学部の事務部署にお問い合わせください。**

4 学内プログラム

１．グローバル支援講座

交換留学や海外研修の派遣に向けて語学力の向上を図りたい、学内で国際交流してみたい、外国の大学への留学や将来海外で働くためにスキルアップしたい等々…。多様な語学レベル・目的別の授業を開講します。

対　　象	全学部生・大学院生
受 講 料	無　　料
単位認定	な　　し
申込み時期	（前期）３月中旬～４月上旬
	（後期）７月上旬～９月上旬
担当部署	国際センター事務室

（前期）

区分	科目名	受講レベル	言語	対象者		講師	曜日時限	成績評価
				学部生・大学院生（留学生含む）	交換留学生			
国際共修セミナー	Pop Culture in Japan	TOEIC 450点程度	英語	●	●	新田　よしみ	水曜 4限	実施
	《オンライン（COIL）授業》 Introduction to Intercultural Collaborative Learning	TOEIC 530点程度	英語	●	－	新田　よしみ	水曜 5限	実施
	Japanese History and Culture	TOEIC 530点程度	英語	●	●	クロス, ティモシー	月曜 4限	実施
語学強化・留学準備セミナー	Overseas Training Program	TOEIC 450点程度	英語	●	－	S. A. ウェストン	月曜 4限	実施
	実践フランス語	仏検 3級程度	フランス語	●	－	清水　りえ子	金曜 5限	－
	歩歩高（ブーブーガウ）中級中国語	HSK 4級程度	中国語	●	－	王　雲燕	木曜 4限	－
	DELF（フランス語）対策	DELF B 1 取得を目指す	フランス語	●	－	九州日仏学館教師	水曜 5・6限	－
	TOPIK Ⅱ（朝鮮語）対策	TOPIK 5 級取得を目指す	朝鮮語	●	－	ECC 講師	月曜 5限	－
	《留学生対象》 ビジネス日本語	JLPT N 2 相当以上	日本語	●*	●	鄭　磊	木曜 3限	実施

（後期）

区分	科目名	受講レベル	言語	対象者		講師	開講日	成績評価
				学部生・大学院生（留学生含む）	交換留学生			
国際共修セミナー	Japanese Manga and Anime	TOEIC 450点程度	英語	●	●	新田　よしみ	火曜 5限	実施
	《オンライン（COIL）授業》 To be a Competent Speaker	TOEIC 530点程度	英語	●	－	新田　よしみ	水曜 5限	実施
語学強化・留学準備セミナー	Global Issues Practicum	TOEIC 530点程度	英語	●	－	S. A. ウェストン	水曜 4限	実施
	実践フランス語	仏検 準2級程度	フランス語	●	－	清水　りえ子	金曜 5限	－
	歩歩高（ブーブーガウ）中級中国語	HSK 4級程度	中国語	●	－	王　雲燕	木曜 4限	－
	IELTS（英語）　対策	IELTS6. 0取得を目指す	英語	●	－	新田　よしみ	未定	－
	DELF（フランス語）対策	DELF A 2 取得を目指す	フランス語	●	－	九州日仏学館教師	水曜 5・6限	－
	TOPIK Ⅱ（朝鮮語）対策	TOPIK 6 級取得を目指す	朝鮮語	●	－	ECC 講師	月曜 5限	－
	《留学生対象》 ビジネス日本語	JLPT N 2 相当以上	日本語	●*	●	鄭　磊	木曜 3限	実施

＊学部留学生・大学院留学生対象

〈注意事項〉

・単位の認定はなし。

・希望する科目と受講希望者が所属する学部・学科・研究科の正規科目の時限が重なった場合、正規科目の履修を最優先する。

２．留学フェア

留学フェアを４月と９月（年２回）に実施します。最新の募集案内や様々な留学に関する情報を公開します。また、プログラム参加者からのリアルな留学体験談発表があり、個別相談ブースでは直接相談することもできます。

３．留学相談

留学全般に関する知識や留学を通した悩みなど、留学に関する相談を受け付けています。また、福岡大学に在学中の留学生の相談にも応じていますので、気軽に申し込んでください**（事前予約制）**。

４．Language Exchange Program

日本人学生と留学生が、お互いに言語を教え合うプログラムです。外国語（日本語、英語、中国語、朝鮮語等）を学びたい学生同士のマッチングを国際センターが行います。募集は前期（４月）、後期（９月）の２回行う予定です。詳細は、FUポータルでお知らせします。

５．FIT（福岡大学国際交流学生ボランティアチーム）

国際センターでは、学部留学生、大学院留学生や外国の協定校から受け入れる交換留学生等、外国人留学生に対する勉学・生活面での支援活動に参画してくれる学生ボランティアを随時募集しています。

5 外国人留学生の受入れ

本学では、外国人留学生の受け入れを積極的に進めており、キャンパスでの国際交流環境も充実させています。

●学部留学生・大学院留学生

本学の学部や大学院の正規課程に入学し、学士、修士及び博士の学位を取得することを目的とする留学生の受け入れを積極的に行っています。中国、韓国、ベトナム、台湾等からの留学生が皆さんと共に勉学に励んでいます。

●研究生

学部や大学院において特定の研究に従事する研究生として多数の留学生が学んでいます。研究生の後に大学院進学を目指す留学生もいます。

●交換留学生

外国の協定校から、交換留学生を１年間または半期の期間で受け入れています。一般の授業科目または日本語・日本文化講座を受講しています。また、課外活動にも積極的に参加し本学学生との交流を深めています。

●研修生

外国の協定校から来学し、約２週間本学で実施される日本語・日本文化を中心とした研修を受けると同時に本学学生との交流を深めています。

各種プログラムの詳細情報は国際センターのウェブサイトに掲載しています。
不明な点などは国際センター事務室（中央図書館６階）、または各担当部署に
問い合わせてください。

国際センターウェブサイトはこちら ⇒

VI

諸　規　程

- 福岡大学学則
- 授業科目の履修等について
- 福岡大学学科履修規程
- 福岡大学成績考査規程
- その他諸規程
  - 福岡大学における既修得単位等の取扱いに関する規程（令和６年度以前入学生）
  - 福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程（令和６年度以前入学生）
  - 福岡大学転部・転科に関する規程
  - 福岡大学授業料その他諸納入金規程
  - 学費等納入金一覧表

福岡大学学則〔新入生（令和７年度入学生）適用〕

第１章　総　　則

第１節　目　　的

（目的）

第１条　福岡大学（以下「本学」という。）は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条の規定に基づき、人文、法律、経済、商学、理学、工学、医学、薬学及びスポーツ科学に関する専門的研究及び教授を行い、学識深く教養高き人材を養成することを目的とする。

２　第２条第１項に定める各学部及び学科の人材の養成に関する目的及びその他教育研究上の目的は、次のとおりとする。

⑴　**人文学部**は、広範な一般教養を身に付けると同時に、すべての学問の基礎となる人文学諸分野の専門知識を修得し、他者との関係への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、社会人として人間の精神と社会のあり方を多様な価値観の中で総合的に捉え、高度技術社会において人間の原点に立って行動できる人材を養成すること、及び外国語学習を通して異文化を理解し、日本と世界を結ぶコミュニケーション能力を持った国際人を養成することを目的とする。

文化学科は、「文化の多角的、総合的理解」という学習・教育理念のもと、文化に広い関心を持つ人材を受け入れる。１年次の必修科目を通じて基本的な知識と研究方法とを修得させ、２年次以降は一つの専門領域に偏ることのない学際的なカリキュラムを通じて文化の多角的、総合的理解を身に付けた人材を育成する。文化学科は、多様な価値観が共存し、複雑化してゆく時代にあって、固定観念にとらわれない、広い視野と柔軟な発想力とを持つ有為な人材を社会に送り出すことを目的とする。

歴史学科は、古代以来国際交流の窓口であったという、本学が位置する地域の特性を生かして、九州から日本史、世界史を見直す地域に根ざす視点と、九州を東アジア史、世界史の中に位置づける国際的な視点を併せ持つ教育と研究の推進を理念とする。少人数教育を徹底して行い、導入教育において大学生としての基本的能力を涵養するとともに、専門教育では、日本史、東洋史、西洋史、考古学の各分野において高い専門性を身に付けた人材の育成を目指す。また、専門分野の枠を超えた横断的な科目履修を通じて歴史を総合的に理解する能力を涵養し、もって、専門的な知識・教養と複眼的な思考力を兼ね備えた人材の養成を目的とする。

日本語日本文学科は、日本の文化や社会の根幹をなす日本語と、その結実たる日本文学を広く深く学び、それらを国際的視点に立って捉え直すことにより、豊かな教養と深い洞察力を備え、日本語の高度なコミュニケーション能力を身に付けた広い視野を持つ人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、日本語日本文学への深い理解を基盤として国際化社会で活躍し得る人材、及び専門的知識によって地域社会に貢献し得る人材の養成を目的とする。

教育・臨床心理学科は、教育と臨床心理の二つの分野の統合による人への支援や援助、人間形成とそのケアに貢献し得る総合的、実践的な力量を備えた人間を育むことを理念とする。この理念に基づき、具体的には、メンタルヘルスやストレスマネジメント、自己啓発や生涯学習、キャリア発達等の諸課題に対して、教育学と臨床心理学の知識や技法を用いてアプローチし得る能力を実社会の多様な場面で発揮できる人材を養成することを目的とする。

英語学科は、国際化や異文化との共生がますます進む状況下にあって、異文化を理解し、これに順応するとともに、国際社会、地域社会における諸問題を解決するために他者と協力しながら貢献できる人材を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、国際社会への積極的な参画に必要な英語の運用能力を備えるとともに、言語や文化に関する広い知識と専門分野に関する深い学識を有し、かつ、的確な情報の収集・分析・考察とその結果の発信を通じて、社会に貢献することができる人材を養成することを目的とする。

ドイツ語学科は、多角的なカリキュラムにおいて、ドイツ語によるコミュニケーション能力を培う

とともに、ドイツをはじめとするドイツ語圏の国々の文化と社会、その思考方法と価値観を様々な側面から理解するための充実した教育を実施することを目指す。すなわち、複眼的思考力を身に付けることにより、国際社会において文化の枠組みを越えて他者との関係を構築し、多様な価値観を顧慮しながら人間の原点に立って行動できる人材、及び深い学識を有し、異文化間の相互理解に貢献できる国際人を育成することを目的とする。

フランス語学科は、多角的なカリキュラムにおいて、フランス語によるコミュニケーション能力を培うとともに、フランスをはじめとするフランス語圏の国々の文化と社会、その思考方法と価値観を様々な側面から理解することを教育研究の目的とする。すなわち、複眼的思考力を身に付けることにより、国際社会において文化の枠組みを越えて他者との関係を構築し、多様な価値観を顧慮しながら人間の原点に立って行動できる人材、及び異文化間の相互理解に貢献できる広い教養と深い学識をそなえた国際人を養成することを目的とする。

東アジア地域言語学科は、確実な言語運用能力の習得を基礎とし、東アジアの社会や伝統、文化、地域事情を深く洞察することで、日本を含めた東アジアを足場とした広い視野と洞察力を併せ持つ人間を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、東アジアで有用な各種の語学力とそれを用いた地域事情の知識を通して問題の発見と解決ができる人材、地域のバランス感覚に富んだ人材、他者を尊重し様々な問題にも柔軟に対応できる人材、そして卒業後その更新が可能な人材の養成を目的とする。

⑵ **法学部**は、法学（政治学を含む。）の学修及び研究を通じて、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、地域社会、企業活動、公共分野及び国際社会に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、広範な一般教養を身に付け、法学の専門的知識及び法的思考力を有する人材を養成することを目的とする。

法律学科は、憲法・民法・政治学などの科目の基礎的知識の習得を前提とした上で、将来の目標に向けて必要な専門科目を効果的に履修することを可能にするため、法律総合コース、公共法務コース又は総合政策コースのいずれか一つを選択できるようにし、これらのコースの授業、演習等による教育研究を通じて、法的思考力及び政策的思考力を身に付け、法曹その他の法律専門職並びに公共分野、企業及び地域社会において指導的役割を担う人材を養成することを目的とする。

経営法学科は、民法などの私法系科目の基礎的知識の習得を前提とした上で、将来の目標に向けて必要な専門科目を効果的に履修することを可能にするため、企業法コース又は国際コースのいずれかを選択できるようにし、これらのコースの授業、演習等による教育研究を通じて、法的思考力並びに企業法制に関する専門的知識及び国際的視野を身に付け、企業、地域社会及び国際社会において指導的役割を担う人材を養成することを目的とする。

⑶ **経済学部**は、経済学的知の伝承と創造により、社会の調和ある発展と人類の福祉の向上に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、経済学における論理的思考力と実証的分析能力及び歴史的理解力を向上させ、経済学的知性と豊かな人間性、国際的な視野、旺盛な行動力によって社会の進歩と繁栄に貢献できる人材を養成することを目的とする。

経済学科は、伝統的な経済学の知識と経済学的思考方法の教育により、経済全般に対する理解力を有するゼネラリストを育成することを教育理念とする。この理念に基づき、今日の経済情勢と経済学の理論と応用、経済の歴史的発展に関する学習を通して、現代社会とその背後にあるメカニズムとダイナミクスに対する理解力と洞察力を養い、近世代を担う総合力ある経済人を養成することを目的とする。

産業経済学科は、学際的実学教育により、現実社会における問題の発見と原因究明を行い、その解決策を立案し実行できるスペシャリストを育成することを教育理念とする。この理念に基づき、経済学とその関連諸学の学習を通して論理的思考力と実証的分析力を高め、さらにフィールドスタディによって地域社会や企業経営に対する洞察力を養い、実践的な問題解決力を有する人材を養成することを目的とする。

⑷ **商学部**は、大きく変化する社会的・経済的環境のもとで、商学研究を深化させ、その研究成果をもって持続可能な社会の実現に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、商学の理論、

知識及び技能並びに幅広い教養を身に付け、これらを活用して積極的に、一貫性をもって企業や組織だけではなく地域や世界の問題発見及び問題解決に当たる社会的責任感と能力を有し、他者と協働して企業、地域等の発展を担う人材を養成することを目的とする。

商学科は、商学のうち、特に流通・マーケティング、情報・サービス、交通、金融・保険、商業史の広範な分野の理論、知識及び技能を学ぶことを通して、社会的責任感を有し、地域や社会の持続的な発展に積極的に貢献できる人材を養成することを目的とする。

経営学科は、企業をはじめとする各種組織のマネジメントリーダー又は職業会計人として強い社会的責任感を有し、経営学及び会計学の専門的知識に基づいた問題発見及び問題解決の能力を持ち、協働して企業、地域等の持続的な発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。

貿易学科は、商学のうち、特に貿易を中心とする国際ビジネスの実務と世界経済に関する広範な分野の理論、知識及び技能を学ぶとともに、実践的なビジネス英語を身に付けることにより、社会的責任感を有し、国際社会の持続的な発展に積極的に貢献できる人材を養成することを目的とする。

(5) **商学部第二部商学科**は、商学部の教育研究の理念に加えて、勤労学生、社会人学生、シニア層等の多様な学生も教育対象とし、リカレント教育や生涯教育の場の提供を通して、社会課題の発見及び解決に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、商学の理論、知識及び技能並びに幅広い教養を身に付け、他者と協働して企業や組織だけではなく地域や世界を持続的に発展させていくためのリーダーシップを備えた人材を養成することを目的とする。

(6) **理学部**は、自然科学と数理科学に関する分野の探究を通して社会の健全な発展に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、既知の事実と理論を学びながら、自然現象や数理を幅広い視野から理解し、論理力、分析力、創造力を修得し、総合的な視野から知識の活用ができ、豊かな人間性、社会性及び国際性を兼ね備えた活力ある人材を養成することを目的とする。

応用数学科応用数学コース及び応用数学科社会数理・情報インスティテュートコースは、数学や情報数理の理論と応用を学ぶことを通して、論理的な分析力、思考力を養うことを教育の理念とする。この理念に基づき、探求心、向上心を持ち、柔軟な発想力、豊かな創造力のもと、数学を通して社会における諸問題を解決する力を備え、社会の健全な発展に寄与する人材を養成することを目的とする。

物理科学科は、物理学とそれに関連する分野の探究を通して社会の健全な発展に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、力学・電磁気学・波動・熱力学・量子力学などに代表される物理学と、それに関連する幅広い応用分野の既知の事実と理論を学びながら、物理現象を幅広い視野から理解し、論理力、分析力、創造力及び未知の現象を解明する力を修得し、総合的な視野から知識の活用ができ、豊かな人間性、社会性及び国際性を兼ね備えた活力ある人材を養成することを目的とする。

化学科は、化学の探求を通して社会の健全な発展に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、新たな機能性物質の開発を目指す物質化学の分野及び分子レベルでの生命現象の解明を目指す生命化学の分野において、化学的現象の摂理や物質の機能性発現の原理を種々の観点から理解し、化学の知識と技術を実社会で活用し、21世紀に国内外で活躍できる人材を養成することを目的とする。

地球圏科学科は、幅広い視野と知識から地球とそこに生息する生物に関する多様な現象・問題に対処できる能力を養い、健全な未来社会の発展に貢献することを教育研究の理念とする。その実現のために、自然科学の基礎となる数学、物理、化学、生物学及び地学を幅広く学び、さらに地球・環境、生物・生命のいずれかを深く学ぶことにより、論理力、分析力、創造力及び未知の現象を解明する力を発揮し、国内外で活躍できる人材を養成することを目的とする。

(7) **工学部**は、良心に基づいた社会的責任感を有し、時代に即応した判断力と科学技術をもって社会の持続的発展に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、工学・技術に求められる豊かな創造性と実務に即した応用力を育成するために、十分な基礎学力に加えて深い専門の科学技術と、幅広い教養を修得させて調和のとれた人格の発達を促すことを目的とする。

機械工学科は、幅広い教養と高度な専門知識を備え、ものづくり（機械の創造）を通して、指導的立場から、実践的な応用力と豊かな創造性を発揮して、人類の幸福と社会の福祉に貢献できる技術者

を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、確実な観察力を備え、幅広い知識により問題を的確に分析し、解決に向かって果敢に行動できる技術者を育てることを人材育成の目的とする。

電気工学科は、日々進歩する技術レベルに対応できる創造性及び課題の探求能力に優れ、かつ、コミュニケーション能力を有する人材の育成を教育研究の理念とする。この理念を達成するため、科学及び工学全般にわたる問題の理解力、判断力、解決力を養うことにより、情報・制御・環境などの分野を含めた広範囲にわたる基礎知識を修得し、社会的責務を果たすことのできる技術者を育てることを教育の目的とする。

電子情報工学科は、時代の要求に応じた新しい電子情報システムを構築することのできる技術者を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、社会の変化を正しく理解するための教養と判断力、理性を備えた技術者を養成することを目的とする。専門分野においては、電子工学と情報工学の基礎を理解し、それらを応用して電子・情報工学の技術開発に寄与できる技術者を養成することを目的とする。

化学システム工学科は、化学技術者としての幅広い教養と健全な倫理観を身に付けるとともに、化学工学分野の知識を修得し、持続可能な社会の発展に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、基礎及び専門知識を修得し、それを問題解決に応用する能力、技術者として社会に対する責任を自覚する能力及び社会の進展に伴って自己変革する能力を有し、国内外での化学技術・環境技術に関連する広い分野で活躍できる柔軟な思考力と総合力を兼ね備えたエンジニアを養成することを目的とする。

社会デザイン工学科は、自然環境と調和した生活環境の創造に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、地球及び地域の環境問題を直視して自然と調和しながら地震や洪水などの災害に強い社会資本整備を行う建設技術者を養成する。さらに、強い責任感と倫理感を持って次世代に豊かな生活や文化を継承し続けられる社会デザインに取り組める人材を養成することを目的とする。

建築学科は、美しく、快適で、安全で、豊かな建築空間・都市空間を創造できる人材の育成を教育研究の理念とする。この理念に基づき、建築分野に要求される社会的・技術的ニーズに適切に応えられる建築技術者としての十分な基礎学力を身に付け、高度で実践的な専門性を獲得すると同時に、調和のとれた教養を有する人格を有し、社会において指導力を発揮して、幅広く活躍・貢献できる人材を養成することを目的とする。

⑻ **医学部**は、生命の尊厳に基づいた全人教育を基盤として、社会のニーズや医療・福祉・地域に貢献できる人間性豊かな医療専門職者（医師・看護師・保健師・養護教諭・医学及び医療研究者）を養成することを目的とする。

医学科は、生命の尊厳に基づいた全人教育を基盤として、人間性豊かな臨床医の育成、地域社会への医療奉仕、重点的総合研究体系の確立を教育研究の理念とする。この理念に沿って、豊かな人間性と指導力・協調性を備え、総合的臨床能力を発揮して広く社会の医療と福祉に貢献できる医師及び高度な知識と国際的・学際的視野を持ち医学の発展に貢献できる医学研究者を養成することを目的とする。

看護学科は、生命の尊厳に基づいた心豊かで総合的な人間教育を基盤として、創造的で国際的・学際的視野に立った論理的・倫理的な看護実践能力を育成し、看護学の発展及び地域・国際社会に貢献できる高い能力を有する看護専門職者を養成することを目的とする。

⑼ **薬学部薬学科**は、医薬品の開発や安全使用に関する基礎的、臨床的先端研究の推進をもって国民の健康と福祉に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、医療技術の高度化、医薬分業の進展に伴う医薬品の安全使用及び医療の担い手としての質の高い薬剤師の育成という社会的要請に応えるため、基礎科学の総合を基盤としながら、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、高度な薬学の知識を身に付け、臨床に係る高い実践的な能力を備えた薬剤師、並びに教育・研究者を養成することを目的とする。

⑽ **スポーツ科学部**は、スポーツ・運動に関する人文科学、社会科学、自然科学及び各分野を融合した

総合科学的研究を深め、それによって得られた知識を実践に生かすことを教育研究の理念とする。この理念に基づき、スポーツ界、教育界、産業界、官界、地域社会、医療分野等において、貢献し得る優秀な人材を養成することを目的とする。

スポーツ科学科は、スポーツ競技力や運動能力の向上を目指したスポーツ医科学分野の知識を有し、スポーツ界、教育界、産業界、官界等において、スポーツ医科学の知識に基づいた適切なスポーツの実践と論理的指導ができる人材を中心に、科学的トレーニング法のみならず、施設や用具等の開発、スポーツイベント等の企画・運営を含めたスポーツマネジメント等ができる人材も養成することを目的とする。

健康運動科学科は、健康運動やレクリエーション活動による心身の健康の回復、保持、増進を目指した医科学分野の知識を有し、地域社会、教育界、産業界、医療分野等において、創造的・実践的な指導を行うことができる人材を中心に、企業や地域及び医療とも連携した健康づくりマネジメント等ができる人材も養成することを目的とする。

3　本学は、学校教育法施行規則（昭和22年文科省令第11号）第165条の２の規定に基づき、前項の教育研究上の目的を踏まえて、次に掲げる方針を一貫性をもって定め、公表するものとする。

⑴　卒業認定及び学位の授与の方針

⑵　教育課程の編成及び実施に関する方針

⑶　入学者の受入れに関する方針

（自己点検及び評価）

第１条の２　本学は、その教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2　本学は、前項の点検及び評価の結果並びに所定の認証評価の結果を踏まえ、教育研究活動等について不断の見直しを行うことにより、その水準の向上を図ることに努めるものとする。

3　自己点検及び評価に関する規程は、別に定める。

第２節　　基本組織等

（学部等）

第２条　本学に人文学部、法学部、経済学部、商学部、商学部第二部、理学部、工学部、医学部、薬学部及びスポーツ科学部を置く。

2　人文学部に文化学科、歴史学科、日本語日本文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科、法学部に法律学科及び経営法学科、経済学部に経済学科及び産業経済学科、商学部に商学科、経営学科及び貿易学科、商学部第二部に商学科、理学部に応用数学科、物理科学科、化学科及び地球圏科学科、工学部に機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科及び建築学科、医学部に医学科及び看護学科、薬学部に薬学科、スポーツ科学部にスポーツ科学科及び健康運動科学科を置く。

（大学院）

第３条　本学に大学院を置く。

2　大学院学則は、別にこれを定める。

（附属学校）

第４条　本学に次の附属学校を置く。

⑴　福岡大学附属大濠高等学校

⑵　福岡大学附属若葉高等学校

⑶　福岡大学附属大濠中学校

2　附属学校に関する規程は、別にこれを定める。

（図書館）

第５条　本学に図書館を置く。

2　図書館に関する規程は、別にこれを定める。

（研究施設）
第６条　本学に研究所その他の研究施設を附置する。
２　研究施設に関する規程は、別にこれを定める。
（附属病院）
第７条　本学の医学部に附属病院を置く。
２　附属病院に関する規程は、別にこれを定める。
（留学生別科）
第８条　本学に留学生別科を置く。
２　留学生別科に関する規程は、別にこれを定める。

第３節　　教育研究実施組織等

（教育研究実施組織等）
第９条　本学は、その教育研究上の目的を達成するため、教育職員及び事務職員等からなる教育研究を実施するための組織等を編成する。
２　本学は、前項の組織等を編成するにあたっては、教育研究活動等の運営が組織的かつ効果的に行われるよう、教育職員及び事務職員等相互の適切な役割分担の下での協働や組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在を明確にする。
３　第１項の組織等に関し必要な事項は、別に定める。
（授業科目の担当）
第９条の２　本学は、各教育課程上主要と認める授業科目（以下「主要授業科目」という。）については原則として基幹教員（教育編成その他の学部の運営について責任を担う教育職員（助手を除く。）であって、当該学部の教育課程に係る主要授業科目を担当するもの（専ら本学の教育研究に従事するものに限る。）又は１年につき８単位以上の当該学部の教育課程に係る授業科目を担当するものをいう。以下同じ。）に、主要授業科目以外の授業科目についてはなるべく基幹教員に担当させるものとする。
２　本学は、各授業科目について、当該授業科目を担当する教育職員以外の教育職員、学生その他の大学が定める者（以下「指導補助者」という。）に補助させることができ、また、十分な教育効果を上げることができると認められる場合は、当該授業科目を担当する教育職員の指導計画に基づき、指導補助者に授業の一部を分担させることができる。
３　教育研究上必要があるときは、授業を担当しない教育職員を置くことがある。
４　基幹教員に関し必要な事項は、別に定める。
（職員）
第９条の３　本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員その他必要な職員を置く。
２　職員の職務は、学校教育法その他法令に定めるもののほか、別に定めるところによる。
（組織的な研修等）
第９条の４　本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その教育職員及び事務職員等に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（次項に規定する研修に該当するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。
２　本学は、学生に対する教育の充実を図るため、授業の内容及び方法を改善するための組織的な研修及び研究を行うものとする。
３　本学は、指導補助者（教育職員を除く。）に対し、必要な研修を行うものとする。
（教学協議会）
第10条　本学に本学の教学に関する重要事項を審議するため、教学協議会を置く。
２　教学協議会の構成員、審議事項その他教学協議会に関し必要な事項は、別に定める。
（教授会）
第11条　本学の各学部に教授会を置く。
２　教授会の構成員、審議事項その他教授会に関し必要な事項は、別に定める。

（学長による決定）
第11条の２　学長は、本学の教育研究に関する重要な事項について、教授会等の審議を経て、最終的な決定を行う。

第２章　履　　修

第１節　　修業年限、学年、学期及び休業日

（修業年限）
第12条　修業年限は、４年とする。ただし、医学部医学科及び薬学部については、６年とする。
２　第49条に基づく科目等履修生が本学における授業科目の単位を修得し、その後に本学に入学した場合、教授会は、第33条の３の規定により本学における授業科目の単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認めるときに、その単位数等に応じて、相当期間を修業年限の２分の１を超えない範囲で修業年限に通算することができる。
３　前項の規定は、第49条に基づく科目等履修生が本学において第33条第２項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目を修了した場合に、これを準用する。
４　前２項の規定は、再入学の場合に、これを準用する。
（在学年限）
第12条の２　学生は、８年を超えて在学することができない。ただし、医学部医学科及び薬学部については、12年を超えて在学することができない。
２　前項の規定のほか、医学部医学科及び薬学部については、同一学年に在学できる年数は２年を限度とする。ただし、医学部医学科にあっては、同一学年に２年在学した後に退学し又は除籍された者が、退学し又は除籍された学年への再入学を許可された場合には、再入学を許可された学年に限り、さらに１年を限度として在学することができる。
（学年）
第13条　学年は４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。
（学期）
第14条　学年を２期に分け、学年の始めから９月13日までを前期とし、９月14日から学年の終わりまでを後期とする。
（１年間の授業期間）
第14条の２　１年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。
（各授業科目の授業期間）
第14条の３　各授業科目の授業は、15週又は30週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。
（休業日）
第15条　休業日は、次のとおりとする。
⑴　日曜日
⑵　国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
⑶　春季休業　４月１日から４月７日まで
⑷　夏季休業　８月４日から９月13日まで
⑸　冬季休業　12月27日から翌年１月４日まで
２　学長は、教授会の議を経て前項に定める休業日を変更することができる。
３　第１項に定めるほか、学長は特に必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。
４　第１項に定める休業日であっても、教授会が教育上必要と認める場合には、学長は、教務委員会の議を経て、授業を行うことを決定することができる。

第２節　定員、入学、転入学、編入学、転部・転科、留学、休学、退学、除籍、復学及び再入学

（入学の時期）

第16条　入学を許可する時期は、学年の始めとする。

（入学定員及び収容定員）

第17条　本学の学部及び学科の入学定員及び収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

学　部	学　科	入学定員（人）	収容定員（人）
人文学部	文化学科	100	400
	歴史学科	70	280
	日本語日本文学科	70	280
	教育・臨床心理学科	110	440
	英語学科	90	360
	ドイツ語学科	50	200
	フランス語学科	50	200
	東アジア地域言語学科	65	260
	計	605	2,420
法学部	法律学科	430	1,720
	経営法学科	200	800
	計	630	2,520
経済学部	経済学科	460	1,840
	産業経済学科	200	800
	計	660	2,640
商学部	商学科	245	980
	経営学科	240	960
	貿易学科	180	720
	計	665	2,660
商学部第二部	商学科	165	660
理学部	応用数学科	65	260
	物理科学科	60	240
	化学科	65	260
	地球圏科学科	60	240
	計	250	1,000
工学部	機械工学科	110	440
	電気工学科	110	440
	電子情報工学科	150	600
	化学システム工学科	110	440
	社会デザイン工学科	110	440
	建築学科	110	440
	計	700	2,800
医学部	医学科	110	660
	看護学科	110	440
	計	220	1,100
薬学部	薬学科	230	1,380
スポーツ科学部	スポーツ科学科	225	900
	健康運動科学科	70	280
	計	295	1,180
合　計		4,420	18,360

（入学資格）
第18条　本学に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
⑴　高等学校又は中等教育学校を卒業した者
⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者
⑶　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
2　入学願書提出の年の３月末日までに前項の資格を得る見込みの者は、当該学校長の提出する調査書又はその資格を証明する書類を添えて出願することができる。
（入学の志願）
第19条　入学を志願する者は、本学所定の入学願書及び入学試験に必要な提出書類に別表第11の⑴に定める入学検定料を添えて所定の期日までに学長に提出しなければならない。
2　既に納入した入学検定料は、これを返還しない。
（入学者選抜）
第20条　入学者の選抜は、第１条第３項第３号の規定により本学が定める方針に基づき、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて行うものとする。
（入学手続）
第21条　合格の通知を受けた者は、本学の承認する保証人連署の入学誓書及び所定の書類に授業料等納入金（新入生にあっては入学金及び第１期分の納入金）を添えて、所定の期日までに学長に提出しなければならない。ただし、本学の留学生別科を修了し入学する者の入学金については、留学生別科入学時の入学金相当額を免除する。
2　学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。
3　正当な理由なくして第１項の手続を怠る者は、入学を許可しない。
4　入学手続完了後において、やむを得ず入学を辞退する場合、別に定める期日までに入学辞退届を学長に提出し受理された者に限り、入学金以外の授業料等納入金を返還することができる。
（転入学）
第22条　本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、転入学を許可することがある。
2　本学に転入学することができる者は、他の大学に２年以上在学し、本学の定める単位数を修得している者とする。
3　転入学の時期は、学年始又は学期始とし、本人の既修の授業科目及び単位・時間数並びに在学年数については、その一部又は全部を本学において認定し、今後履修すべき授業科目及び単位・時間数並びに在学年数を決定する。
（編入学）
第23条　本学に編入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、編入学を許可することがある。
2　本学に編入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
⑴　学士の学位を有する者
⑵　短期大学又は高等専門学校を卒業した者
⑶　専修学校の専門課程（文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
3　編入学の時期並びに履修すべき授業科目、単位・時間数及び在学年限については、前条の規定に準ずる。
（転部・転科）
第23条の２　学生が他の学部に転部を志願するときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、転部を許可することがある。
2　学生が当該学部の他学科に転科を志願するときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学長は、転科を許可することがある。
3　転部・転科に関する規程は、別に定める。

（転学）
第24条　学生が他の大学に転学するときは、学長に届け出るものとする。
（留学）
第24条の２　学生が外国の大学又は外国の短期大学に留学しようとするときは、学長は教授会の議を経てこれを許可することができる。
２　前項の許可を得て留学した期間は、本学の修業年限に算入することができる。
３　留学に関し必要な事項については、別に定める。
（休学）
第25条　学生が病気その他のやむを得ない理由で長期にわたり欠席しようとするときは、保証人連署をもって、所定の期日までに学長に届け出て、休学することができる。ただし、入学年度の前期については、原則として休学することができない。
２　休学の１期間は、当該年度内の前期、後期又は１年間とする。ただし、医学部医学科及び薬学部は、原則として当該年度１年間とする。
３　休学の開始の時期は、前期又は後期の始めとする。
４　休学は、通算して４年を超えることができない。
５　休学期間は、在学期間に算入しない。
６　学生が疾病その他のやむを得ない事由により療養の必要ありと認められるときは、学長は、教授会の議を経て、これに休学を命ずることがある。
７　休学している者は、休学期間満了までに復学、休学又は退学のいずれかの所定の手続をしなければならない。
（復学）
第26条　休学している者が復学をしようとするときは、保証人連署をもって、所定の期日までに学長に届け出て、復学することができる。
２　復学の時期は、学期の始めとする。
（退学）
第27条　学生が退学しようとするときは、その理由を具し、保証人連署をもって、学長に届け出るものとする。
（除籍）
第28条　学長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して除籍を行う。
⑴　第42条の定めるところにより、授業料等納入金を納入しない者
⑵　成績不振等で成業の見込みがないと認められる者
⑶　正当の理由がなく、出席が常でない者
⑷　死亡した者
⑸　休学期間満了時に、正当な理由がなく復学、休学又は退学のいずれの手続も行わない者
（再入学）
第29条　本学を退学した者が再入学を願い出たときは、学長は、教授会の議を経て、これを許可することができる。
２　再入学を願い出た者には、必要に応じて学力検査、面接を行う。
３　前２項の規定は、除籍された者が再入学を願い出た場合に、これを準用する。
４　前３項に基づく再入学の取扱いについては、別にこれを定める。

第３節　教 育 課 程 等

第１款　教育課程

（教育課程の編成方針）
第30条　教育課程の編成は、第１条第３項第１号及び第２号の規定により定める卒業認定及び学位の授与の方針並びに教育課程の編成及び実施に関する方針に基づき、必要な授業科目を開設し、体系的に行うものとする。

2　教育課程の編成にあたっては、学部等の専攻分野に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

（教育課程）

第31条　学部・学科の授業科目及び単位・時間数は、別表第１から別表第10までに定めるとおりとする。

2　前項の規定により掲げる授業科目のほかに学部留学生の授業科目として日本語（８単位）を置く

3　第１項のほかに自由履修単位として換算できる授業科目は、次のうちから学部が指定するものとする。

⑴　共通教育科目又は専門教育科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した科目

⑵　関連教育科目

⑶　その他、教授会が適当と認める科目

4　第１項及び第２項に定める授業科目のほかに随意科目を設けることができる。随意科目については別に定め、卒業に必要な単位数に算入しない。

5　第１項、第２項及び前項に定める授業科目のほかに、人文学部、工学部及びスポーツ科学部にあっては大学院授業科目を、法学部にあっては法科大学院授業科目を設けることができる。大学院及び法科大学院授業科目については別に定め、卒業に必要な単位数に算入しない。

（単位）

第32条　各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次条第１項に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位として単位数を計算するものとする。

2　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（授業の方法）

第32条の２　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行うものとする。

2　各学部が教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

（授業の計画等の明示等）

第32条の３　本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに１年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2　学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（履修の方法）

第32条の４　学生は、第１条第３項第２号の規定により定める方針に基づき、所定の授業科目を履修しなければならない。

（授業科目の登録方法）

第32条の５　学生は、履修する授業科目について、毎学期所定の期間に登録しなければならない。

2　授業科目の登録については、別に定める。

（履修科目の登録できる単位数の上限）

第32条の６　学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が１年間又１学期に履修科目として登録できる単位数の上限を定めるものとする。

2　前項の登録できる単位数の上限は、別に定める。

（他の大学等における授業科目の履修等）

第33条　学生が他の大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、教育上有益と認めるときは、学長は、教授会の議を経て、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　前項の規定は、第24条の２の規定により留学する場合その他学生が外国の大学又は外国の短期大学において授業科目を履修する場合について、これを準用する。

（大学以外の教育施設等における学修）

第33条の２　学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他別に定める学修を、教育上有益と認めるときは、学長は、教授会の議を経て、前条第１項及び第２項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

（入学前の既修得単位等の認定）

第33条の３　学生が本学に入学する前に大学、専門職大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条又は短期大学設置基準（昭和50年文部省令第21号）第17条の規定により修得した単位を含む。）を、教育上有益と認めるときは、学長は、教授会の議を経て、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　学生が本学に入学する前に行った前条に規定する学修を、教育上有益と認めるときは、学長は、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3　前２項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、編入学及び転入学の場合を除き、第33条第１項及び前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4　前各項の規定は、外国の大学又は外国の短期大学を卒業し、又は退学した場合に、これを準用する。

（共通教育科目の認定等）

第33条の４　共通教育科目の授業科目について、第33条から前条までの規定を適用するときは、教授会に先立って、教務委員会の議を経るものとする。

（単位互換等の取扱い）

第33条の５　第33条から前条までに規定する単位数の取扱いのほか、同規定の適用を受ける学生の履修計画その他必要な事項については、別に定める。

（教職課程）

第33条の５の２　教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第５条、別表第１及び別表第２に基づいて教育職員の免許状の授与を受けるための資格の取得を目的として、本学に教職課程を置く。

2　教育職員の免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な授業科目（以下「教職課程科目」という。）及び修得すべき単位等については、次の表に掲げる免許状の種類及び免許教科に応じ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）の定めるところに従い、別にこれを定める。

教育職員免許法別表第１（第５条関係）

学部・学科の名称（正規の課程）		免許状の種類及び免許教科	
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
人文学部	文化学科	社会	地理歴史 公民
	歴史学科		
	日本語日本文学科	国語	国語
	教育・臨床心理学科	社会	公民
	英語学科	外国語（英語）	外国語（英語）
	ドイツ語学科	外国語（ドイツ語）	外国語（ドイツ語）
	フランス語学科	外国語（フランス語）	外国語（フランス語）
	東アジア地域言語学科	外国語（中国語） 外国語（朝鮮語）	外国語（中国語） 外国語（朝鮮語）
法学部	法律学科	社会	地理歴史 公民
	経営法学科		
経済学部	経済学科	社会	地理歴史 公民 情報
	産業経済学科		

学部・学科の名称（正規の課程）		免許状の種類及び免許教科	
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
商学部	商学科		商業 情報
	経営学科		
	貿易学科	社会	地理歴史 公民
商学部第二部	商学科	社会	地理歴史 公民 商業 情報
理学部	応用数学科	数学	数学 情報
	物理科学科	理科	理科 情報
	化学科		理科
	地球圏科学科		
工学部	機械工学科		工業
	電気工学科		
	電子情報工学科		工業 情報
	化学システム工学科		工業
	社会デザイン工学科		
	建築学科		
医学部	看護学科		看護
スポーツ科学部	スポーツ科学科	保健体育	保健体育
	健康運動科学科		

教育職員免許法別表第２（第５条関係）

学部・学科の名称（正規の課程）		免許状の種類
医学部	看護学科	養護教諭１種免許状

（博物館学芸員課程）

第33条の５の３　博物館法（昭和26年法律第285号）第５条第１項第１号に基づいて学芸員となる資格の取得を目的として、本学に博物館学芸員課程を置く。

２　学芸員となる資格の取得に必要な授業科目（以下「博物館学芸員課程科目」という。）及び修得すべき単位等については、博物館法及び博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）の定めるところに従い、別にこれを定める。

（社会教育主事課程）

第33条の５の４　社会教育法（昭和24年法律第207号）第９条の４第１項第３号に基づいて社会教育主事となる資格の取得を目的として、本学に社会教育主事課程を置く。

２　社会教育主事となる資格の取得に必要な授業科目（以下「社会教育主事課程科目」という。）及び修得すべき単位等については、社会教育法及び社会教育主事講習等規程（昭和26年文部省令第12号）の定めるところに従い、別にこれを定める。

（日本語教員課程）

第33条の５の５　日本語教育施設の運営に関する基準（昭和63年文部省制定）第11項第２号に基づいて日本語教育施設における教員の資格の取得を目的として、本学に日本語教員課程を置く。

２　日本語教育施設における教員の資格の取得に必要な授業科目（以下「日本語教員課程科目」という。）及び修得すべき単位等については、日本語教育施設の運営に関する基準の定めるところに従い、別にこれを定める。

第２款　卒業の要件

（卒業の要件）

第33条の５の６　卒業の要件は、第12条に規定する修業年限以上在学し、かつ、福岡大学学科履修規程（以下「学科履修規程」という。）第４条の定めるところにより授業科目を履修した上で、必要な単位数を修得することとする。

２　前項の規定にかかわらず、人文学部又は法学部の学生の在学年数については、卒業の要件として当該学部の定める単位を優秀な成績で修得したと認められ、かつ、本学大学院へ進学する場合には、３年以上とする。

３　第１項の卒業に必要な単位数は、124単位以上（医学部医学科にあっては188単位以上、薬学部にあっては186単位以上）の範囲において、学部・学科別に第34条に定めるとおりとする。ただし、医学科の授業科目を履修する場合その他教育上必要と認められる場合は、修得すべき単位の一部について、これに相当する授業時間の履修をもって代えることができる。

４　前項の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち、第32条の２第２項の授業の方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

（授業時間制をとる場合の特例）

第33条の５の７　前条第３項ただし書により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目に係る第32条第１項又は第35条の規定の適用については、第32条第１項中「単位数」とあるのは「授業時間数」と、第35条中「一の授業科目」とあるのは「授業科目」と、「単位を与えるものとする」とあるのは「修了を認定するものとする」とする。

２　授業時間数を定めた授業科目については、当該授業科目の授業時間数をこれに相当する単位数とみなして第33条第１項（同条第２項において準用する場合を含む。）、第33条の２第１項又は第33条の３第１項（同条第４項において準用する場合を含む。）若しくは第２項の規定を適用することができる。

（各学部の卒業要件単位数）

第34条　**人文学部各学科**の学生が修得しなければならない単位数は、次のとおりとする。

⑴　**文化学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計44単位以上、専門教育科目合計72単位以上、自由履修単位12単位以上）

⑵　**歴史学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計76単位以上、自由履修単位12単位以上）

⑶　**日本語日本文学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計76単位以上、自由履修単位12単位以上）

⑷　**教育・臨床心理学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計66単位以上、自由履修単位22単位以上）

⑸　**英語学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計76単位以上、自由履修単位12単位以上）

⑹　**ドイツ語学科**　ドイツ語圏コースの学生は総計124単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計64単位以上、自由履修単位20単位以上）、ヨーロッパ特別コースの学生は総計124単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計68単位以上、自由履修単位16単位以上）

⑺　**フランス語学科**　フランス語圏コースの学生は総計124単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計64単位以上、自由履修単位20単位以上）、ヨーロッパ特別コースの学生は総計124単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計68単位以上、自由履修単位16単位以上）

⑻　**東アジア地域言語学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計40単位以上、専門教育科目合計70単位以上、自由履修単位18単位以上）

２　**法学部**の学生は、総計124単位以上（共通教育科目合計26単位以上、専門教育科目合計72単位以上、自由履修単位26単位以上）を修得しなければならない。

３　**経済学部**各学科の学生が修得しなければならない単位数は、次のとおりとする。

⑴　**経済学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計32単位以上、専門教育科目合計76単位以上、自由履修単位20単位以上）

⑵ **産業経済学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計32単位以上、専門教育科目合計66単位以上、自由履修単位30単位以上）

4　**商学部**の学生は、総計128単位以上（共通教育科目合計34単位以上、専門教育科目合計72単位以上、自由履修単位22単位以上）を修得しなければならない。

5　**商学部第二部**の学生は、総計124単位以上（共通教育科目合計33単位以上、専門教育科目合計60単位以上、自由履修単位31単位以上）を修得しなければならない。

6　**理学部**各学科の学生が修得しなければならない単位数は、次のとおりとする。

⑴ **応用数学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計28単位以上、専門教育科目合計82単位以上、自由履修単位18単位以上）

⑵ **物理科学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計28単位以上、専門教育科目合計86単位以上、自由履修単位14単位以上）

⑶ **化学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計28単位以上、専門教育科目合計84単位以上、自由履修単位16単位以上）

⑷ **地球圏科学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計28単位以上、専門教育科目合計84単位以上、自由履修単位16単位以上）

7　**工学部**各学科の学生が修得しなければならない単位数は、次のとおりとする。ただし、共通教育科目の単位互換科目については、その修得単位を卒業及び学科履修規程第６条の６に規定する必要な修得単位数に算入しない。

⑴ **機械工学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計24単位以上、工学共通科目合計24単位以上、専門教育科目合計80単位以上）

⑵ **電気工学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計24単位以上、工学共通科目合計20単位以上、専門教育科目合計84単位以上）

⑶ **電子情報工学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計24単位以上、工学共通科目合計18単位以上、専門教育科目合計86単位以上）

⑷ **化学システム工学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計24単位以上、工学共通科目合計32単位以上、専門教育科目合計72単位以上）

⑸ **社会デザイン工学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計24単位以上、工学共通科目合計18単位以上、専門教育科目合計86単位以上）

⑹ **建築学科**　総計128単位以上（共通教育科目合計24単位以上、工学共通科目合計18単位以上、専門教育科目合計86単位以上）

8　**医学部医学科**の学生は、次に掲げる要件を満たしていなければ進級し、卒業することができない。

⑴ 各学年においては、当該学年の専門教育科目の全授業科目の単位又は時間数を修得していること。

⑵ 第４学年及び第６学年においては、前号の要件に加え、全国共用試験において一定以上の成績を修めていること。

9　**医学部**各学科の学生が修得しなければならない単位数、時間数は次のとおりとする。ただし、単位互換科目については、その修得単位を卒業及び進級に必要な修得単位数に算入しない。

⑴ **医学科**　総計50単位以上（共通教育科目合計32単位以上、専門教育科目18単位以上）及び4,047時間

⑵ **看護学科**　総計125単位以上（共通教育科目合計28単位以上、専門基礎科目合計27単位以上、専門教育科目合計70単位以上）

10　**薬学部**の学生は、総計186単位以上（共通教育科目合計28単位以上、専門教育科目合計158単位以上）を修得しなければならない。

11　**スポーツ科学部**の学生は、総計124単位以上（共通教育科目合計32単位以上、専門教育科目合計82単位以上、自由履修単位10単位以上）を修得しなければならない。ただし、単位互換科目については、その修得単位を卒業に必要な修得単位数に算入しない。

（学部留学生の卒業要件単位数）

第34条の２　学部留学生が第31条第２項の規定により設置する授業科目の単位を修得したときは、別に定

めるところにより、これを卒業に必要な単位数に算入することができる。

第４節　　学修の成果に係る評価及び卒業の認定

（評価及び単位の授与）

第35条　本学は、一の授業科目を履修した学生に対しては、試験又は別に定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与える。

２　前項の評価は、60点以上を合格、59点以下を不合格とし、合格となった授業科目について所定の単位を与えるものとする。

（試験）

第36条　試験は、定期試験、追試験及び再試験とする。

２　定期試験は、各学期末にこれを行う。ただし、医学部医学科の時間制の授業科目について所定の期日に行う場合も同様に取り扱う。

３　追試験は、病気その他やむを得ない理由によって定期試験を受けることのできなかった者に対しては、福岡大学成績考査規程（以下「成績考査規程」という。）の定めるところによりこれを行う。

４　再試験は、第２年次生（理学部の学生に限る。）及び第４年次以上の卒業見込者並びに医学部及び薬学部の学生に対しては、成績考査規程の定めるところにより、不合格科目につきこれを行う。

５　前各項に定める試験の実施及び成績の評価に関し必要な事項は、別に定める。

（卒業の認定）

第37条　卒業の認定は、第33条の５の６の要件を満たした者に対し、教授会の議を経て、学長が行う。

（学位の授与）

第38条　学長は、前条の規定により卒業の認定をした者に対し、学士の学位を授与する。

２　学位記の様式は別に定め、卒業証書を兼ねるものとする。

第39条　削除

第５節　　賞　　罰

（表彰）

第40条　学業成績並びに品行の特に優秀な者、その他業績顕著な者は、これを表彰することがある。

（懲戒）

第41条　本学の規則に違反し、学内の秩序を乱し、又は学生の本分に反する者は、学長が定める手続に基づき、これを懲戒する。

２　前項の規定による懲戒は、訓告、停学及び退学とする。ただし、退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対してこれを行うことができる。

⑴　性行不良で改善の見込みがないと認められる者

⑵　大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第６節　　授業料その他諸納入金

（授業料等納入金）

第42条　学生は、別に定める期日までに、別表第11の⑵に定める授業料等納入金を納入しなければならない。

２　前項の規定にかかわらず、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）の定めるところに従い、特に優れた者であって経済的理由により極めて修学に困難があると認められるものとして認定を受けた学生（以下「修学支援学生」という。）が所定の授業料等納入金を納入したときは、前項の納入を行ったものとみなす。

３　授業料等納入金に関する細部については、別に定める。

（受講料）

第43条　次の各号に掲げる授業科目であって、その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない授業科目を履修する者は、別表第12に定めるところに従い、受講料を納入しなければならない。

⑴　教職課程科目
⑵　博物館学芸員課程科目
⑶　社会教育主事課程科目
⑷　日本語教員課程科目
2　前項の規定にかかわらず、博物館学芸員課程科目を履修する者については、当該授業科目がその所属する学部のいずれかの学科に関して学則第31条の規定により定められている場合において、その受講料を免除する。
3　前２項の規定にかかわらず、科目等履修生として第１項各号に掲げる授業科目を履修する者は、別表第13に定めるところに従い、受講料を納入するものとする。
4　受講料に関する細部については、別に定める。
（実習費・研修費等）
第44条　実習又は研修など特別の費用を必要とする授業科目を履修する者は、別に定めるところに従い、実習・研修費等としてこれら諸費用を納入しなければならない。
第45条から第47条まで　削除
（授業料等納入金の減免）
第48条　特殊の事情ある学生に対しては、その事情により授業料等納入金の減免を行うことがある。
2　前項に規定する学生及び修学支援学生に対する授業料等納入金の減免に関し必要な事項は、別に定める。

第７節　　科目等履修生、研究生、特別聴講学生及び外国人留学生

（科目等履修生）
第49条　本学において、特定の授業科目を受講することを志願する者があるときは、学長は、選考の上、科目等履修生として受入れを許可することができる。
2　科目等履修生の受講料等については、別表第13に定める。
3　科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。
（研究生）
第50条　本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学長は、選考の上、研究生として受入れを許可することができる。
2　研究生の受講料等については、別表第13に定める。
3　研究生に関し必要な事項は、別に定める。
（特別聴講学生）
第51条　他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として受け入れることができる。
2　特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。
（外国人留学生）
第52条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、学長は、選考の上、外国人留学生として受入れを許可することができる。
2　外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。
第53条　削除

第８節　　公　開　講　座

（公開講座）
第54条　本学における教育研究を広く社会に開放し、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。
2　公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

第９節　厚　生　施　設

（厚生施設）

第55条　本学に厚生施設として学生寮その他の施設を置く。

２　前項の厚生施設に関する規程は、別にこれを定める。

附　則

この学則は、令和７年４月１日から施行する。

別表第１～10　略

別表第11　入学検定料及び授業料等納入金

⑴　入学検定料（第19条第１項）

（略）

⑵　授業料等納入金（第21条第１項・第42条）

（平成31年度入学以降）

（単位　円）

区分（年額） / 学部		入学金	特別教育充実費	計	毎年納付金		計
					授業料	教育充実費	
人文学部 法学部 経済学部 商学部		190,000		190,000	730,000	180,000	910,000
商学部第二部		60,000		60,000	310,000	80,000	390,000
理学部 工学部		240,000		240,000	1,000,000	380,000	1,380,000
医学部	医学科	1,000,000	3,000,000	4,000,000	3,912,000	688,000	4,600,000
	看護学科	270,000		270,000	1,040,000	470,000	1,510,000
薬学部		400,000		400,000	1,350,000	290,000	1,640,000
スポーツ科学部		300,000		300,000	800,000	350,000	1,150,000

備考

１　この表にかかわらず、平成31年３月31日以前に入学し引続き在学する者にかかる授業料等納入金については、なお従前の例による。

２　入学金については、入学時に限り納入すべき額とする。ただし、第21条第１項ただし書の規定に該当し、その適用を受ける者については、この限りではない。

３　特別教育充実費については、入学初年度（１年次）から３年次までの各年次において納入すべき額とする。

４　薬学部の教育充実費については、入学初年度（１年次）に納入すべき額とし、２年次から６年次までの各学年において720,000円を納入しなければならない。

５　第42条第２項に定める修学支援学生の所定の授業料等納入金は、当該各学生につき、別に定める額とする。

別表第12　その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない授業科目の受講料（第43条第１項）

⑴　教職課程科目

受講料	その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない教職課程科目	全科目につき　36,000円

※　当該授業科目を博物館学芸員課程科目又は社会教育主事課程科目としてのみ履修する場合については、⑵を適用する。

⑵　博物館学芸員課程科目及び社会教育主事課程科目

受講料	その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない博物館学芸員課程科目	全科目につき　12,000円
	その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない社会教育主事課程科目	全科目につき　16,000円

※　博物館学芸員課程科目を履修する者については、当該授業科目がその所属する学部のいずれかの学科において、第31条の規定により定められているときは、その授業科目の受講料を免除する。

⑶　日本語教員課程科目

受講料	その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない日本語教員課程科目	１単位につき　1,000円

別表第13　科目等履修生及び研究生の受講料等（第43条第３項・第49条第２項・第50条第２項）

⑴　単位又は授業時間の認定を必要とする科目等履修生

選　考　料			15,000円
受　講　料	第31条の規定により、理学部、工学部、医学部看護学科又は薬学部の専門教育科目（工学部については、工学共通科目を、医学部看護学科については、専門基礎科目を含む。）としてのみ定められている授業科目		１単位につき　18,000円
	第31条の規定により、医学部医学科の専門教育科目としてのみ定められている授業科目		１単位につき又は15時間につき　40,000円
	第31条の規定により定められている上記以外の授業科目		１単位につき　12,000円
	第31条の規定により、商学部第二部の専門教育科目のうち別に定められている授業科目		20単位まで　110,000円
	第31条の規定により定められていない授業科目	本学の卒業者	１単位につき　7,000円
		その他	１単位につき　12,000円

⑵　単位の認定を必要としない科目等履修生

選　考　料		15,000円
受　講　料	第31条の規定により定められている授業科目（医学部医学科を除く。）	１単位につき　9,000円

⑶　研究生

選　考　料	医学部医学科	20,000円
	その他の学部・学科	15,000円
研究指導料	全学部・学科	月額　15,000円

授業科目の履修等について

商学部第二部　商学科　令和７年度入学生（25台）

福岡大学学科履修規程　第２条（抜粋）

<table>
<tr><td rowspan="5">共通教育科目</td><td rowspan="2">総合教養科目</td><td>人文科学
社会科学
自然科学
総合系列科目
学修基盤科目</td><td>計20単位以上</td><td rowspan="9">総計124単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td colspan="2">第１外国語　６単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">第２外国語　４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="3">保健体育科目　３単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="3">単位互換科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td colspan="2">選択必修科目１群　６単位以上</td><td rowspan="3">計60単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択必修科目２群　４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択科目　50単位以上</td></tr>
<tr><td>自由履修単位</td><td colspan="2">共通教育科目
専門教育科目
関連教育科目</td><td>計31単位以上</td></tr>
</table>

（注）
1．選択必修科目１群を６単位以上修得した場合は、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
2．選択必修科目２群を４単位以上修得した場合は、４単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
3．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
4．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。
5．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
6．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
7．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　令和７年度入学生（25台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

※印は必修

			第１・２・３・４年次			
			授業科目 単位	授業科目 単位	授業科目 単位	授業科目 単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ 2 倫理学Ａ 2 〔日本史Ａ〕 2 西洋史Ａ 2 アジアの文学Ａ 2 人文地理学 2 〔西洋教育史〕 2	哲学Ｂ 2 倫理学Ｂ 2 〔日本史Ｂ〕 2 西洋史Ｂ 2 アジアの文学Ｂ 2 芸術Ａ 2	〔論理学Ａ〕 2 宗教学Ａ 2 東洋史Ａ 2 〔日本文学Ａ〕 2 西洋文学Ａ 2 芸術Ｂ 2	〔論理学Ｂ〕 2 宗教学Ｂ 2 東洋史Ｂ 2 〔日本文学Ｂ〕 2 西洋文学Ｂ 2 〔日本教育史〕 2
		社会科学	法学Ａ 2 政治学Ｂ 2 〔社会学Ｂ〕 2 地理学Ａ 2 心理学Ｂ 2	法学Ｂ 2 経済学Ａ 2 〔教育論Ａ〕 2 地理学Ｂ 2 文化人類学Ａ 2	日本国憲法 2 経済学Ｂ 2 〔教育論Ｂ〕 2 地誌学 2 文化人類学Ｂ 2	政治学Ａ 2 〔社会学Ａ〕 2 教育の原理・課程論 2 心理学Ａ 2
		自然科学	数学入門 2 物理の世界 2 新しい地球観 2 自然科学と人間 2	基礎数学 2 〔自然界と物質の化学〕 2 ミクロの生物科学 2 自然地理学(第３年次配当) 2	統計入門 2 〔生活と環境の化学〕 2 マクロの生物科学 2	物理科学入門 2 地球圏科学入門 2 自然科学入門 2
		総合系科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目			
		学修基盤科目	データサイエンス･AI入門 2 商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目			
			第１年次	第２年次	第３年次	第４年次
			授業科目 単位	授業科目 単位	授業科目 単位	授業科目 単位
	外国語科目	第１	※Practical EnglishⅠ 1 ※Practical EnglishⅡ 1 ※Core EnglishⅠ 1 ※Core EnglishⅡ 1	※Practical EnglishⅢ 1 ※Core EnglishⅢ 1 Advanced EnglishⅠ 1 Advanced EnglishⅡ 1 〔海外英語研修〕 2		
		第２	ドイツ語ⅠＡ 2 ドイツ語ⅠＢ 2 フランス語ⅠＡ 2 フランス語ⅠＢ 2 中国語ⅠＡ 2 中国語ⅠＢ 2 ロシア語ⅠＡ 2 ロシア語ⅠＢ 2 スペイン語ⅠＡ 2 スペイン語ⅠＢ 2 朝鮮語ⅠＡ 2 朝鮮語ⅠＢ 2	ドイツ語ⅡＡ 2 ドイツ語ⅡＢ 2 フランス語ⅡＡ 2 フランス語ⅡＢ 2 中国語ⅡＡ 2 中国語ⅡＢ 2 ロシア語ⅡＡ 2 ロシア語ⅡＢ 2 スペイン語ⅡＡ 2 スペイン語ⅡＢ 2 朝鮮語ⅡＡ 2 朝鮮語ⅡＢ 2		
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ論 2	生涯スポーツ演習Ⅱ 1		
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目			
専門教育科目	選択必修科目	１群	流通・マーケティング入門 2 金融入門 2 経営入門 2 簿記原理 4			
		２群		◎〔ビジネスデザインゼミナール〕 4 商学ゼミナールＡ 4 金融ゼミナールＡ 4 経営ゼミナールＡ 4 会計ゼミナールＡ 4 国際ゼミナールＡ 4	商学ゼミナールＢ 4 金融ゼミナールＢ 4 経営ゼミナールＢ 4 会計ゼミナールＢ 4 国際ゼミナールＢ 4 ○●☆３年専門ゼミナールⅠ 2 ○●☆３年専門ゼミナールⅡ 2	論文ゼミナール 6
	選択科目		基礎ゼミナール 2 ○会計基礎ゼミナール 2	○●☆２年基礎ゼミナール 2 ○●☆２年専門ゼミナール 2		○☆キャリア研修Ｘ 4 ○☆キャリア研修Ｙ 4 ○☆キャリア研修Ｚ 4
			情報表現技術 2 情報倫理 2 特別講義Ａ 2 特別講義Ｂ 2 会社簿記 4 原価計算論 4	外書講読ⅠＡ 2 外書講読ⅠＢ 2 情報処理入門 2 特別講義Ｄ 2 海外交流ゼミナール 4 マーケティング戦略論 2 地域商業論 2 情報社会論 2 証券市場論 2 保険論 2 商業史概論 2 経営学総論 2 経営史 2 国際経営論 2 生産管理論 2 会計学総論 2 経営分析論 2 会計情報システム論 2 国際マーケティング論 2 貿易実務 2 〔概説日本史〕 2 概説政治学 2	外書講読ⅡＡ 2 外書講読上級Ａ 2 情報処理基礎 2 マルチメディア概論 2 マーケティングリサーチ 2 サービスマーケティング 2 金融論 2 交通経済論 2 生活保障論 2 近代日本商業史 2 経営管理論 2 ヒューマンリソースマネジメント 2 経営組織論 2 オペレーションズリサーチ 2 財務会計論 2 国際会計論 2 監査論 2 国際貿易論 2 グローバル経済事情 2 概説外国史 2 〔概説社会学〕 2	外書講読ⅡＢ 2 外書講読上級Ｂ 2 特別講義Ｃ 2 情報システム論 2 消費者行動論 2 情報産業論 2 金融システム論 2 海運と航空 2 リスクマネジメント論 2 近代西洋商業史 2 中小企業論 2 経営財務論 2 経営戦略論 2 経営心理学 2 税と生活 2 管理会計論 2 〔会計学特論〕 2 国際物流論 2 概説法律学 2
	関連教育科目		民法Ａ 2 〔労働法〕 4 〔概説哲学〕(第２年次配当) 2	民法Ｂ 2 マクロ経済学 4	商事法 4 ミクロ経済学 4	経済法 4 財政学 4
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目			
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目			

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
(3)　☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
(4)　◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
(5)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　令和６年度入学生（24台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋

<table>
<tr><td rowspan="5">共通教育科目</td><td rowspan="2">総合教養科目</td><td rowspan="2">人文科学
社会科学
自然科学
総合系列科目
学修基盤科目</td><td rowspan="2">計20単位以上</td><td rowspan="12">総計124単位以上</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td>第１外国語　８単位以上</td></tr>
<tr><td>第２外国語　４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">保健体育科目　３単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">単位互換科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td colspan="2">選択必修科目１群　６単位以上</td><td rowspan="3">計60単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択必修科目２群　４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択科目　50単位以上</td></tr>
<tr><td>自由履修単位</td><td colspan="2">共通教育科目
専門教育科目
関連教育科目</td><td>計29単位以上</td></tr>
</table>

（注）１．選択必修科目１群を６単位以上修得した場合は、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。

２．選択必修科目２群を４単位以上修得した場合は、４単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。

３．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。

４．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。

５．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。

６．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。

７．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　令和６年度入学生（24台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

※印は必修

			第１・２・３・４年次			
			授業科目 単位	授業科目 単位	授業科目 単位	授業科目 単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ 2 倫理学Ａ 2 〔日本史Ａ〕 2 西洋史Ａ 2 アジアの文学Ａ 2 人文地理学 2 〔西洋教育史〕 2	哲学Ｂ 2 倫理学Ｂ 2 〔日本史Ｂ〕 2 西洋史Ｂ 2 アジアの文学Ｂ 2 芸術Ａ 2	〔論理学Ａ〕 2 宗教学Ａ 2 東洋史Ａ 2 〔日本文学Ａ〕 2 西洋文学Ａ 2 芸術Ｂ 2	〔論理学Ｂ〕 2 宗教学Ｂ 2 東洋史Ｂ 2 〔日本文学Ｂ〕 2 西洋文学Ｂ 2 〔日本教育史〕 2
		社会科学	法学Ａ 2 政治学Ｂ 2 〔社会学Ｂ〕 2 地理学Ａ 2 心理学Ｂ 2	法学Ｂ 2 経済学Ａ 2 〔教育論Ａ〕 2 地理学Ｂ 2 文化人類学Ａ 2	日本国憲法 2 経済学Ｂ 2 〔教育論Ｂ〕 2 地誌学 2 文化人類学Ｂ 2	政治学Ａ 2 〔社会学Ａ〕 2 教育の原理・課程論 2 心理学Ａ 2
		自然科学	数学入門 2 物理の世界 2 新しい地球観 2 自然科学と人間 2	基礎数学 2 〔自然界と物質の化学〕 2 ミクロの生物科学 2 自然地理学(第３年次配当) 2	統計入門 2 〔生活と環境の化学〕 2 マクロの生物科学 2	物理科学入門 2 地球圏科学入門 2 自然科学入門 2
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目			
		学修基盤科目	データサイエンス・AI入門 2 商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目			
			第１年次	第２年次	第３年次	第４年次
			授業科目 単位	授業科目 単位	授業科目 単位	授業科目 単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ 1 ※インターミディエイト・イングリッシュⅡ 1 ※インターミディエイト・イングリッシュⅢ 1 ※インターミディエイト・イングリッシュⅣ 1 〔海外英語研修〕 2		
		第２	ドイツ語ⅠＡ 2 ドイツ語ⅠＢ 2 フランス語ⅠＡ 2 フランス語ⅠＢ 2 中国語ⅠＡ 2 中国語ⅠＢ 2 ロシア語ⅠＡ 2 ロシア語ⅠＢ 2 スペイン語ⅠＡ 2 スペイン語ⅠＢ 2 朝鮮語ⅠＡ 2 朝鮮語ⅠＢ 2	ドイツ語ⅡＡ 2 ドイツ語ⅡＢ 2 フランス語ⅡＡ 2 フランス語ⅡＢ 2 中国語ⅡＡ 2 中国語ⅡＢ 2 ロシア語ⅡＡ 2 ロシア語ⅡＢ 2 スペイン語ⅡＡ 2 スペイン語ⅡＢ 2 朝鮮語ⅡＡ 2 朝鮮語ⅡＢ 2		
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ論 2	生涯スポーツ演習Ⅱ 1		
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目			
専門教育科目	選択必修科目	１群	流通・マーケティング入門 2 金融入門 2 経営入門 2 簿記原理 4			
		２群		◎〔ビジネスデザインゼミナール〕 4 商学ゼミナールＡ 4 金融ゼミナールＡ 4 経営ゼミナールＡ 4 会計ゼミナールＡ 4 国際ゼミナールＡ 4	商学ゼミナールＢ 4 金融ゼミナールＢ 4 経営ゼミナールＢ 4 会計ゼミナールＢ 4 国際ゼミナールＢ 4 ○●☆３年専門ゼミナールⅠ 2 ○●☆３年専門ゼミナールⅡ 2	論文ゼミナール 6
	選択科目		基礎ゼミナール 2 ○会計基礎ゼミナール 2	○●☆２年基礎ゼミナール 2 ○●☆２年専門ゼミナール 2		○☆キャリア研修Ｘ 4 ○☆キャリア研修Ｙ 4 ○☆キャリア研修Ｚ 4
			情報表現技術 2 情報倫理 2 特別講義Ａ 2 特別講義Ｂ 2 会社簿記 4 原価計算論 4	外書講読ⅠＡ 2 外書講読ⅠＢ 2 情報処理入門 2 特別講義Ｄ 2 海外交流ゼミナール 4 マーケティング戦略論 2 地域商業論 2 〔広告コミュニケーション〕 2 金融システム論 2 交通経済論 2 生活保障論 2 近代日本商業史 2 経営学総論 2 経営史 2 国際経営論 2 生産管理論 2 会計学総論 2 経営分析論 2 会計情報システム論 2 国際マーケティング論 2 ビジネスコミュニケーション 2 〔概説日本史〕 2 概説政治学 2	外書講読ⅡＡ 2 外書講読上級Ａ 2 情報処理基礎 2 マルチメディア概論 2 マーケティングリサーチ 2 サービスマネジメント 2 情報社会論 2 証券市場論 2 海運と航空 2 リスクマネジメント論 2 近代西洋商業史 2 経営管理論 2 ヒューマンリソースマネジメント 2 経営組織論 2 オペレーションズリサーチ 2 財務会計論 2 国際会計論 2 監査論 2 国際貿易論 2 グローバル経済事情 2 概説外国史 2 〔概説社会学〕 2	外書講読ⅡＢ 2 外書講読上級Ｂ 2 特別講義Ｃ 2 情報システム論 2 消費者行動論 2 情報産業論 2 金融論 2 交通システム概論 2 保険論 2 商業史概論 2 中小企業論 2 経営財務論 2 経営戦略論 2 経営心理学 2 税と生活 2 管理会計論 2 〔会計学特論〕 2 国際物流論 2 概説法律学 2
	関連教育科目		民法Ａ 2 〔労働法〕 4 〔概説哲学〕(第２年次配当) 2	民法Ｂ 2 マクロ経済学 4	商事法 4 ミクロ経済学 4	経済法 4 財政学 4
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目			
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目			

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
(3)　☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
(4)　◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
(5)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　令和５年度入学生（23台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋

<table>
<tr><td rowspan="5">共通教育科目</td><td rowspan="2">総合教養科目</td><td rowspan="2">人文科学
社会科学
自然科学
総合系列科目
学修基盤科目</td><td rowspan="2">計20単位以上</td><td rowspan="11">総計124単位以上</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td>第１外国語　８単位以上</td></tr>
<tr><td>第２外国語　４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">保健体育科目　３単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">単位互換科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td colspan="2">選択必修科目１群　６単位以上</td><td rowspan="3">計60単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択必修科目２群　４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択科目　50単位以上</td></tr>
<tr><td>自由履修単位</td><td colspan="2">共通教育科目
専門教育科目
関連教育科目</td><td>計29単位以上</td></tr>
</table>

（注）１．選択必修科目１群を６単位以上修得した場合は、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
２．選択必修科目２群を４単位以上修得した場合は、４単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
３．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
４．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。
５．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
６．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
７．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　令和５年度入学生（23台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

※印は必修

			第１・２・３・４年次			
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2
			西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			アジアの文学Ａ	2	アジアの文学Ｂ	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	政治学Ａ	2
			政治学Ｂ	2	経済学Ａ	2	経済学Ｂ	2	〔社会学Ａ〕	2
			〔社会学Ｂ〕	2	〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育の原理・課程論	2
			地理学Ａ	2	地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2
			心理学Ｂ	2	文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2		
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学（第３年次配当）	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	データサイエンス・AI入門　2							
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目	選択必修科目	１群	流通・マーケティング入門	2						
			金融入門	2						
			経営入門	2						
			簿記原理	4						
		２群			◎〔ビジネスデザインゼミナール〕	4				
					商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4		
					金融ゼミナールＡ	4	金融ゼミナールＢ	4		
					経営ゼミナールＡ	4	経営ゼミナールＢ	4		
					会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4		
					国際ゼミナールＡ	4	国際ゼミナールＢ	4		
							○●☆３年専門ゼミナールⅠ	2	論文ゼミナール	6
							○●☆３年専門ゼミナールⅡ	2		
	選択科目		基礎ゼミナール	2	○●☆２年基礎ゼミナール	2			○☆キャリア研修Ｘ	4
			○会計基礎ゼミナール	2	○●☆２年専門ゼミナール	2			○☆キャリア研修Ｙ	4
									○☆キャリア研修Ｚ	4
			情報表現技術	2	外書講読ⅠＡ	2	外書講読ⅡＡ	2	外書講読ⅡＢ	2
			情報倫理	2	外書講読ⅠＢ	2	外書講読上級Ａ	2	外書講読上級Ｂ	2
			特別講義Ａ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2	特別講義Ｃ	2
			特別講義Ｂ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2	情報システム論	2
					海外交流ゼミナール	4				
					マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
					地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
					〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	金融論	2
					金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
					交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2
					生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
					近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2		
					経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2
					経営史	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論	2
					国際経営論	2	経営組織論	2	経営戦略論	2
					生産管理論	2	オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2
			会社簿記	4	会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2
			原価計算論	4	経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
					会計情報システム論	2	監査論	2	〔会計学特論〕	2
					国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2
					ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2		
					〔概説日本史〕	2	概説外国史	2	概説法律学	2
					概説政治学	2	〔概説社会学〕	2		
	関連教育科目		民法Ａ	2	民法Ｂ	2	商事法	4	経済法	4
			〔労働法〕	4	マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4
			〔概説哲学〕（第２年次配当）	2						
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
(3)　☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
(4)　◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
(5)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　令和４年度入学生（22台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋

<table>
<tr><td rowspan="5">共通教育科目</td><td rowspan="2">総合教養科目</td><td rowspan="2">人文科学
社会科学
自然科学
総合系列科目
学修基盤科目</td><td rowspan="2">計20単位以上</td><td rowspan="11">総計124単位以上</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td>第１外国語　８単位以上</td></tr>
<tr><td>第２外国語　４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">保健体育科目　３単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">単位互換科目</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td colspan="2">選択必修科目１群　６単位以上</td><td rowspan="3">計60単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択必修科目２群　４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択科目　50単位以上</td></tr>
<tr><td>自由履修単位</td><td colspan="2">共通教育科目
専門教育科目
関連教育科目</td><td>計29単位以上</td></tr>
</table>

（注）１．選択必修科目１群を６単位以上修得した場合は、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
２．選択必修科目２群を４単位以上修得した場合は、４単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
３．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
４．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。
５．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
６．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
７．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　令和４年度入学生（22台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

※印は必修

			第１・２・３・４年次			
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2
			西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			アジアの文学Ａ	2	アジアの文学Ｂ	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	政治学Ａ	2
			政治学Ｂ	2	経済学Ａ	2	経済学Ｂ	2	〔社会学Ａ〕	2
			〔社会学Ｂ〕	2	〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育の原理・課程論	2
			地理学Ａ	2	地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2
			心理学Ｂ	2	文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2		
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学(第３年次配当)	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	データサイエンス・AI入門　2							
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目	選択必修科目	１群	流通・マーケティング入門	2						
			金融入門	2						
			経営入門	2						
			簿記原理	4						
		２群			◎〔ビジネスデザインゼミナール〕	4				
					商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4		
					金融ゼミナールＡ	4	金融ゼミナールＢ	4		
					経営ゼミナールＡ	4	経営ゼミナールＢ	4		
					会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4		
					国際ゼミナールＡ	4	国際ゼミナールＢ	4		
							○●☆３年専門ゼミナールⅠ	2	論文ゼミナール	6
							○●☆３年専門ゼミナールⅡ	2		
	選択科目		基礎ゼミナール	2	○●☆２年基礎ゼミナール	2			○☆キャリア研修Ｘ	4
			○会計基礎ゼミナール	2	○●☆２年専門ゼミナール	2			○☆キャリア研修Ｙ	4
									○☆キャリア研修Ｚ	4
			情報表現技術	2	外書講読ⅠＡ	2	外書講読ⅡＡ	2	外書講読ⅡＢ	2
			情報倫理	2	外書講読ⅠＢ	2	外書講読上級Ａ	2	外書講読上級Ｂ	2
			特別講義Ａ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2	特別講義Ｃ	2
			特別講義Ｂ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2	情報システム論	2
					海外交流ゼミナール	4				
					マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
					地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
					〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	金融論	2
					金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
					交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2
					生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
					近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2		
					経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2
					経営史	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論	2
					国際経営論	2	経営組織論	2	経営戦略論	2
					生産管理論	2	オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2
			会社簿記	4	会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2
			原価計算論	4	経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
					会計情報システム論	2	監査論	2	〔会計学特論〕	2
					国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2
					ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2		
					〔概説日本史〕	2	概説外国史	2	概説法律学	2
					概説政治学	2	〔概説社会学〕	2		
	関連教育科目		民法Ａ	2	民法Ｂ	2	商事法	4	経済法	4
			〔労働法〕	4	マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4
			〔概説哲学〕(第２年次配当)	2						
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
(3)　☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
(4)　◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
(5)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　令和３年度入学生（21台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋

- ⑴共通教育科目
  - 総合教養科目（人文科学／社会科学／自然科学／総合系列科目／学修基盤科目）……計20単位以上
  - 外国語科目
    - 第１外国語……８単位以上
    - 第２外国語……４単位以上
  - 保健体育科目……３単位以上
  - 単位互換科目
- ⑵専門教育科目
  - 選択必修科目１群……６単位以上
  - 選択必修科目２群……４単位以上
  - 選択科目……50単位以上
  - 計60単位以上
- ⑶自由履修単位（共通教育科目／専門教育科目／関連教育科目）……計29単位以上

総計124単位以上

（注）１．選択必修科目１群を６単位以上修得した場合は、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
２．選択必修科目２群を４単位以上修得した場合は、４単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
３．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
４．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。
５．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
６．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
７．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　令和３年度入学生（21台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

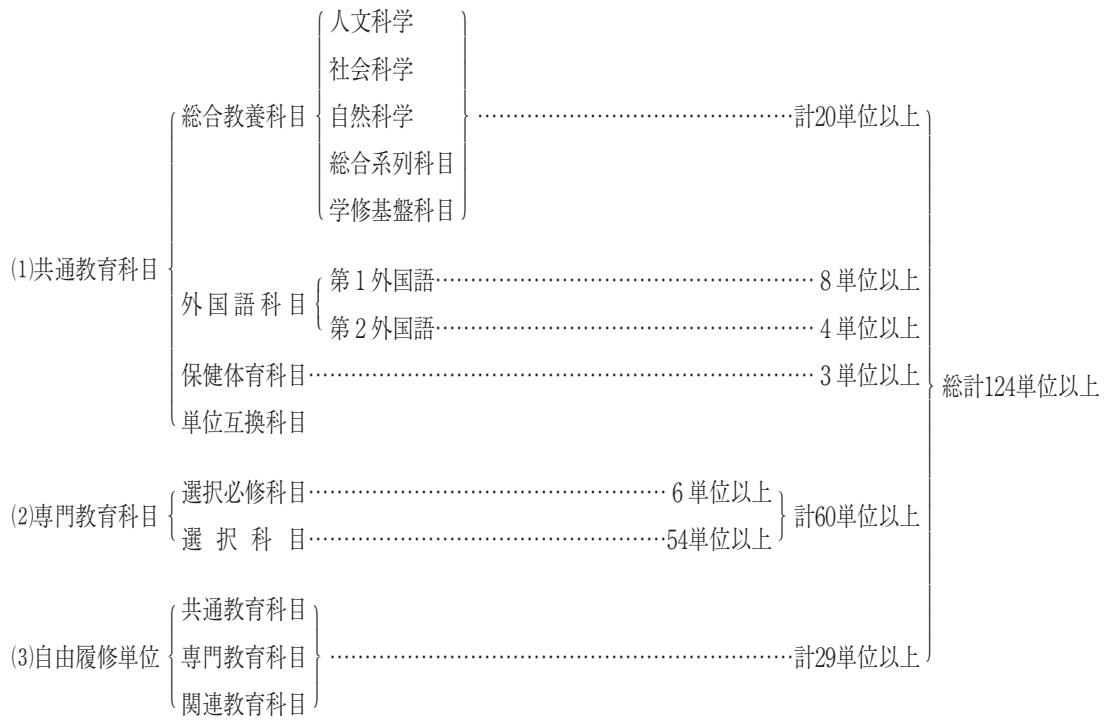
※印は必修

			第１・２・３・４年次			
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2
			西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			アジアの文学Ａ	2	アジアの文学Ｂ	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	政治学Ａ	2
			政治学Ｂ	2	経済学Ａ	2	経済学Ｂ	2	〔社会学Ａ〕	2
			〔社会学Ｂ〕	2	〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育の原理・課程論	2
			地理学Ａ	2	地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2
			心理学Ｂ	2	文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2		
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学(第３年次配当)	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目	選択必修科目	１群	流通・マーケティング入門	2						
			金融入門	2						
			経営入門	2						
			簿記原理	4						
		２群			◎〔ビジネスデザインゼミナール〕	4				
					商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4		
					金融ゼミナールＡ	4	金融ゼミナールＢ	4		
					経営ゼミナールＡ	4	経営ゼミナールＢ	4		
					会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4		
					国際ゼミナールＡ	4	国際ゼミナールＢ	4		
							○●☆３年専門ゼミナールⅠ	2	論文ゼミナール	6
							○●☆３年専門ゼミナールⅡ	2		
	選択科目		基礎ゼミナール	2	○●☆２年基礎ゼミナール	2			○☆キャリア研修Ｘ	4
			○会計基礎ゼミナール	2	○●☆２年専門ゼミナール	2			○☆キャリア研修Ｙ	4
									○☆キャリア研修Ｚ	4
			情報表現技術	2	外書講読ⅠＡ	2	外書講読ⅡＡ	2	外書講読ⅡＢ	2
			情報倫理	2	外書講読ⅠＢ	2	外書講読上級Ａ	2	外書講読上級Ｂ	2
			特別講義Ａ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2	特別講義Ｃ	2
			特別講義Ｂ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2	情報システム論	2
					海外交流ゼミナール	4				
					マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
					地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
					〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	金融論	2
					金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
					交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2
					生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
					近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2		
					経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2
					経営史	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論	2
					国際経営論	2	経営組織論	2	経営戦略論	2
					生産管理論	2	オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2
			会社簿記	4	会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2
			原価計算論	4	経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
					会計情報システム論	2	監査論	2	〔会計学特論〕	2
					国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2
					ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2		
					〔概説日本史〕	2	概説外国史	2	概説法律学	2
					概説政治学	2	〔概説社会学〕	2		
	関連教育科目		民法Ａ	2	民法Ｂ	2	商事法	4	経済法	4
			〔労働法〕	4	マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4
			〔概説哲学〕(第２年次配当)	2						
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
(3)　☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
(4)　◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
(5)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　令和２年度入学生（20台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋



（注）　１．選択必修科目を６単位以上修得した場合、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。

２．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。

３．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。

４．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。

５．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。

６．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　令和２年度入学生（20台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

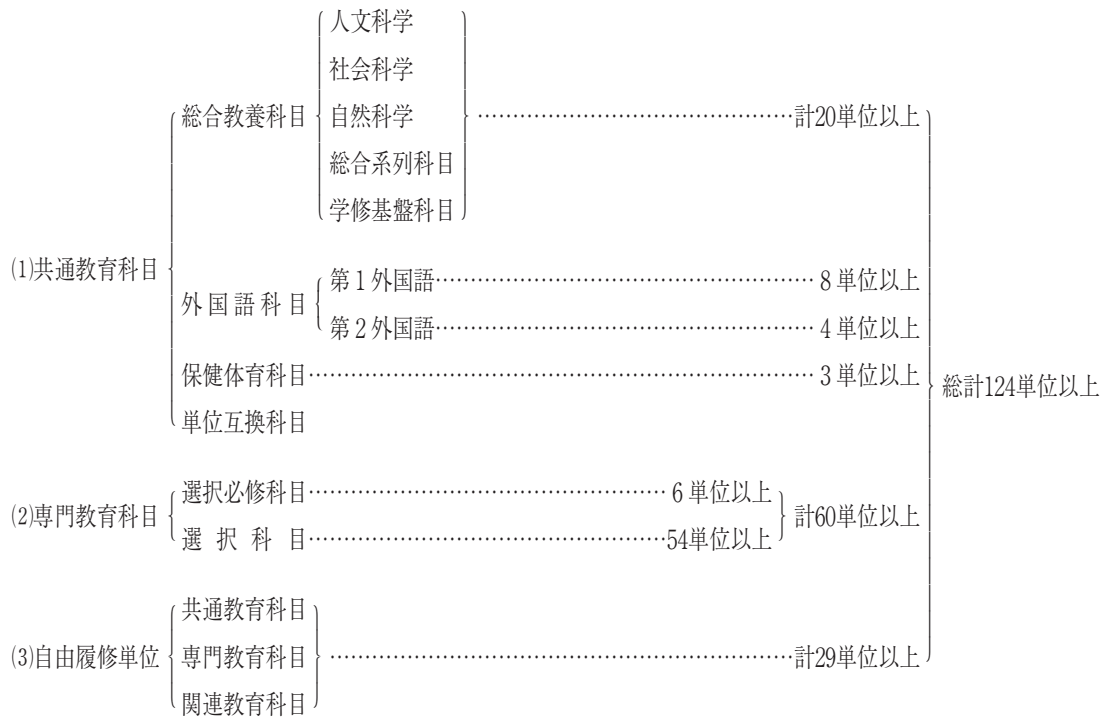
※印は必修
△印は選択必修

			第１・２・３・４年次							
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2
			西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			アジアの文学Ａ	2	アジアの文学Ｂ	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	政治学Ａ	2
			政治学Ｂ	2	経済学Ａ	2	経済学Ｂ	2	〔社会学Ａ〕	2
			〔社会学Ｂ〕	2	〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育の原理・課程論	2
			地理学Ａ	2	地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2
			心理学Ｂ	2	文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2		
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学(第３年次配当)	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目			基礎ゼミナール	2	○☆２年基礎ゼミナール	2	○☆３年専門ゼミナールⅠ	2	○☆論文ゼミナール	6
			○会計基礎ゼミナール	2	○☆２年専門ゼミナール	2	○☆３年専門ゼミナールⅡ	2	○☆キャリア研修Ｘ	4
									○☆キャリア研修Ｙ	4
									○☆キャリア研修Ｚ	4
							外書講読ＣⅠ	2	外書講読ＣⅡ	2
			情報表現技術	2	商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4	経営ゼミナールＡ	4
			情報倫理	2	経営ゼミナールＢ	4	会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4
			特別講義Ａ	2	外書講読ＡⅠ	2	外書講読ＡⅡ	2	外書講読ＢⅠ	2
			特別講義Ｂ	2	外書講読ＢⅡ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
					特別講義Ｃ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2
					情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4		
			△流通・マーケティング入門	2	マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
			△金融入門	2	地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
					〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	金融論	2
					金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
					交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2
					生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
					近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2		
			△経営入門	2	経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2
					経営史概論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論Ａ	2
					〔経営財務論Ｂ〕	2	国際経営論	2	経営組織論	2
					経営戦略論	2	工業経営論	2	〔経営診断論〕	2
					オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2		
			△簿記原理	4	会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2
			会社簿記	4	経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
			原価計算論	4	会計情報システム論	2	監査論	2	〔会計学特論〕	2
					国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2
					ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2		
					〔概説日本史〕	2	概説外国史	2	概説法律学	2
					概説政治学	2	〔概説社会学〕	2		
教育関連科目			民法Ａ	2	民法Ｂ	2	商事法	4	経済法	4
			〔労働法〕	4	マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4
			〔概説哲学〕(第２年次配当)	2						
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
(3)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　平成31年度入学生（19台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋



（注）　１．選択必修科目を６単位以上修得した場合、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。

２．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。

３．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。

４．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。

５．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。

６．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　平成31年度入学生（19台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

※印は必修
△印は選択必修

			第１・２・３・４年次							
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2
			西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			アジアの文学Ａ	2	アジアの文学Ｂ	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	政治学Ａ	2
			政治学Ｂ	2	経済学Ａ	2	経済学Ｂ	2	〔社会学Ａ〕	2
			〔社会学Ｂ〕	2	〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育の原理・課程論	2
			地理学Ａ	2	地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2
			心理学Ｂ	2	文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2		
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学(第３年次配当)	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目			基礎ゼミナール	2	○２年基礎ゼミナール	2	○３年専門ゼミナールⅠ	2	○論文ゼミナール	6
			○会計基礎ゼミナール	2	○２年専門ゼミナール	2	○３年専門ゼミナールⅡ	2	○キャリア研修Ｘ	4
									○キャリア研修Ｙ	4
									○キャリア研修Ｚ	4
							外書講読ＣⅠ	2	外書講読ＣⅡ	2
			情報表現技術	2	商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4	経営ゼミナールＡ	4
			情報倫理	2	経営ゼミナールＢ	4	会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4
			特別講義Ａ	2	外書講読ＡⅠ	2	外書講読ＡⅡ	2	外書講読ＢⅠ	2
			特別講義Ｂ	2	外書講読ＢⅡ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
					特別講義Ｃ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2
					情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4		
			△流通・マーケティング入門	2	マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
			△金融入門	2	地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
					〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	金融論	2
					金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
					交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2
					生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
					近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2		
			△経営入門	2	経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2
					経営史概論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論Ａ	2
					〔経営財務論Ｂ〕	2	国際経営論	2	経営組織論	2
					経営戦略論	2	工業経営論	2	〔経営診断論〕	2
					オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2		
			△簿記原理	4	会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2
			会社簿記	4	経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
			原価計算論	4	会計情報システム論	2	監査論	2	〔会計学特論〕	2
					国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2
					ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2		
					〔概説日本史〕	2	概説外国史	2	概説法律学	2
					概説政治学	2	〔概説社会学〕	2		
関連教育科目			民法Ａ	2	民法Ｂ	2	商事法	4	〔行政法〕	4
			経済法	4	〔労働法〕	4	〔国際法〕	4	〔税法学〕	4
			マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4	〔概説哲学〕(第２年次配当)	2
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　平成30年度入学生（18台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋

- ⑴共通教育科目
  - 総合教養科目（人文科学／社会科学／自然科学／総合系列科目／学修基盤科目）……計20単位以上
  - 外国語科目
    - 第１外国語……８単位以上
    - 第２外国語……４単位以上
  - 保健体育科目……３単位以上
  - 単位互換科目

  ⑴共通教育科目 → 総計124単位以上
- ⑵専門教育科目
  - 選択必修科目……６単位以上
  - 選択科目……54単位以上

  ⑵専門教育科目 → 計60単位以上
- ⑶自由履修単位（共通教育科目／専門教育科目／関連教育科目）……計29単位以上

（注）　１．選択必修科目を６単位以上修得した場合、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。

２．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。

３．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。

４．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。

５．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。

６．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　平成30年度入学生（18台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

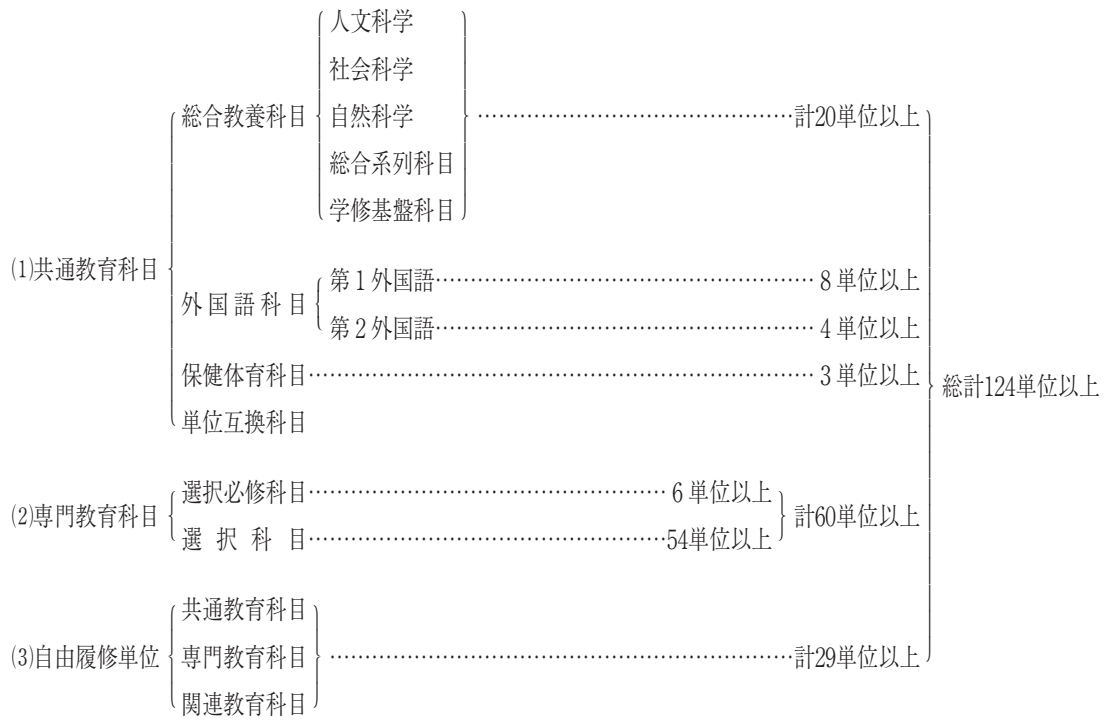
※印は必修
△印は選択必修

			第１・２・３・４年次							
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	〔日本史通論Ａ〕	2	〔日本史通論Ｂ〕	2
			東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2	西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2
			〔外国史通論Ａ〕	2	〔外国史通論Ｂ〕	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			〔中国文学Ａ〕	2	〔中国文学Ｂ〕	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	〔法律学概論〕	2
			政治学Ａ	2	政治学Ｂ	2	〔政治学概論Ａ〕	2	〔政治学概論Ｂ〕	2
			経済学Ａ	2	経済学Ｂ	2	〔社会学Ａ〕	2	〔社会学Ｂ〕	2
			〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育原論	2	地理学Ａ	2
			地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2	心理学Ｂ	2
			文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2				
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学(第３年次配当)	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目			基礎ゼミナール	2	○２年基礎ゼミナール	2	○３年専門ゼミナールⅠ	2	○論文ゼミナール	6
			○会計基礎ゼミナール	2	○２年専門ゼミナール	2	○３年専門ゼミナールⅡ	2	○キャリア研修Ｘ	4
									○キャリア研修Ｙ	4
									○キャリア研修Ｚ	4
							外書講読ＣⅠ	2	外書講読ＣⅡ	2
			情報表現技術	2	商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4	経営ゼミナールＡ	4
			情報倫理	2	経営ゼミナールＢ	4	会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4
			特別講義Ａ	2	外書講読ＡⅠ	2	外書講読ＡⅡ	2	外書講読ＢⅠ	2
			特別講義Ｂ	2	外書講読ＢⅡ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
					特別講義Ｃ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2
					情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4		
			△流通・マーケティング入門	2	マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
			△金融入門	2	地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
					〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	金融論	2
					金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
					交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2
					生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
					近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2		
			△経営入門	2	経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2
					経営史概論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論Ａ	2
					〔経営財務論Ｂ〕	2	国際経営論	2	経営組織論	2
					経営戦略論	2	工業経営論	2	〔経営診断論〕	2
					オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2		
			△簿記原理	4	会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2
			会社簿記	4	経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
			原価計算論	4	会計情報システム論	2	監査論	2	〔会計学特論〕	2
					国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2
					ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2		
関連教育科目			民法Ａ	2	民法Ｂ	2	商事法	4	〔行政法〕	4
			経済法	4	〔労働法〕	4	〔国際法〕	4	〔税法学〕	4
			マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4		
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　平成29年度入学生（17台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋



（注）　１．選択必修科目を６単位以上修得した場合、６単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。

２．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。

３．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。

４．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。

５．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。

６．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　平成29年度入学生（17台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

※印は必修
△印は選択必修

			第１・２・３・４年次							
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	〔日本史通論Ａ〕	2	〔日本史通論Ｂ〕	2
			東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2	西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2
			〔外国史通論Ａ〕	2	〔外国史通論Ｂ〕	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			〔中国文学Ａ〕	2	〔中国文学Ｂ〕	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	〔法律学概論〕	2
			政治学Ａ	2	政治学Ｂ	2	〔政治学概論Ａ〕	2	〔政治学概論Ｂ〕	2
			〔経済学概論Ａ〕	2	〔経済学概論Ｂ〕	2	〔社会学Ａ〕	2	〔社会学Ｂ〕	2
			〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育原論	2	地理学Ａ	2
			地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2	心理学Ｂ	2
			文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2				
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学(第３年次配当)	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目			基礎ゼミナール	2	○２年基礎ゼミナール	2	○３年専門ゼミナール	4	○論文ゼミナール	6
			○会計基礎ゼミナール	2	○２年専門ゼミナール	2			○キャリア研修Ｘ	4
			情報表現技術	2					○キャリア研修Ｙ	4
			情報倫理	2					○キャリア研修Ｚ	4
							外書講読ＣⅠ	2	外書講読ＣⅡ	2
					商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4	経営ゼミナールＡ	4
					経営ゼミナールＢ	4	会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4
					外書講読ＡⅠ	2	外書講読ＡⅡ	2	外書講読ＢⅠ	2
					外書講読ＢⅡ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
					特別講義Ｃ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2
					情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4		
			△流通･マーケティング入門	2	マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
			△金融入門	2	地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
			△経営入門	2	〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	金融論	2
			△簿記原理	4	金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
			会社簿記	4	交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2
			原価計算論	4	生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
					近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2		
					経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2
			特別講義Ａ	2	経営史概論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論Ａ	2
			特別講義Ｂ	2	〔経営財務論Ｂ〕	2	国際経営論	2	経営組織論	2
					経営戦略論	2	工業経営論	2	〔経営診断論〕	2
					オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2		
					会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2
					経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
					会計情報システム論	2	監査論	2	〔会計学特論〕	2
					国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2
					ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2		
関連教育科目			民法Ａ	2	民法Ｂ	2	商事法	4	〔行政法〕	4
			経済法	4	〔労働法〕	4	〔国際法〕	4	〔税法学〕	4
			マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4		
			商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　平成28年度入学生（16台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋



（注）　１．選択必修科目を８単位以上修得した場合、８単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。

２．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。

３．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。

４．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。

５．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。

６．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　平成28年度入学生（16台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

※印は必修
△印は選択必修

			第１・２・３・４年次			
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	〔日本史通論Ａ〕	2	〔日本史通論Ｂ〕	2
			東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2	西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2
			〔外国史通論Ａ〕	2	〔外国史通論Ｂ〕	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			〔中国文学Ａ〕	2	〔中国文学Ｂ〕	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	〔法律学概論〕	2
			政治学Ａ	2	政治学Ｂ	2	〔政治学概論Ａ〕	2	〔政治学概論Ｂ〕	2
			〔経済学概論Ａ〕	2	〔経済学概論Ｂ〕	2	〔社会学Ａ〕	2	〔社会学Ｂ〕	2
			〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育原論	2	地理学Ａ	2
			地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2	心理学Ｂ	2
			文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2				
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学(第３年次配当)	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目			基礎ゼミナール	2	○２年基礎ゼミナール	2	○３年専門ゼミナール	4	○論文ゼミナール	6
			○会計基礎ゼミナール	2	○２年専門ゼミナール	2			○キャリア研修Ｘ	4
			情報表現技術	2					○キャリア研修Ｙ	4
			情報倫理	2					○キャリア研修Ｚ	4
							キャリア研修Ａ	4	キャリア研修Ｂ	2
							キャリア研修Ｃ	1		
							外書講読ＣⅠ	2	外書講読ＣⅡ	2
					商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4	経営ゼミナールＡ	4
					経営ゼミナールＢ	4	会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4
					〔国際ビジネスゼミナールA〕	4	〔国際ビジネスゼミナールB〕	4		
					外書講読ＡⅠ	2	外書講読ＡⅡ	2	外書講読ＢⅠ	2
					外書講読ＢⅡ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
					特別講義Ｃ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2
					情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4		
			△流通入門	2	〔Ｅコマースマーケティング〕	2	マーケティング論	2	マーケティングリサーチ	2
			△金融入門	2	消費者行動論	2	地域商業論	2	〔流通政策〕	2
			△経営入門	2	サービス産業論	2	〔観光産業論〕	2	情報産業論	2
			△簿記原理	4	〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	〔市場分析論〕	2
			〔△国際貿易入門〕	2	金融論Ａ	2	〔金融論Ｂ〕	2	〔銀行論〕	2
			会社簿記	4	金融機関論	2	証券市場論	2	〔証券と金融〕	2
			原価計算論	4	交通経済論Ａ	2	交通経済論Ｂ	2	海運と航空	2
					〔交通政策〕	2	〔保険論Ａ〕	2	保険論Ｂ	2
			特別講義Ａ	2	生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	〔商業史概論Ａ〕	2
			特別講義Ｂ	2	商業史概論Ｂ	2	〔日本商業史Ａ〕	2	日本商業史Ｂ	2
					〔西洋商業史Ａ〕	2	西洋商業史Ｂ	2		
					経営学総論	2	経営管理概論	2	〔経営管理論〕	2
					中小企業概論	2	〔中小企業経営論〕	2	経営史概論	2
					〔比較経営史〕	2	〔経営労務論〕	2	ヒューマンリソースマネジメント	2
					経営財務論Ａ	2	〔経営財務論Ｂ〕	2	国際経営論	2
					〔国際企業論〕	2	経営組織論	2	〔企業行動論〕	2
					経営戦略論	2	〔企業戦略論〕	2	〔工業経営論Ａ〕	2
					〔工業経営論Ｂ〕	2	〔経営診断論Ⅰ〕	2	〔経営診断論Ⅱ〕	2
					オペレーションズリサーチ	2	〔経営シミュレーション〕	2	〔経営心理学Ａ〕	2
					〔経営心理学Ｂ〕	2	会計学総論	2	財務会計論	2
					〔制度会計論〕	2	〔連結会計論〕	2	税務会計論Ⅰ	2
					〔税務会計論Ⅱ〕	2	経営分析論Ⅰ	2	〔経営分析論Ⅱ〕	2
					国際会計論Ⅰ	2	〔国際会計論Ⅱ〕	2	管理会計論Ⅰ	2
					〔管理会計論Ⅱ〕	2	会計情報システム論Ⅰ	2	会計情報システム論Ⅱ	2
					監査概論	2	〔会計士監査論〕	2		
					〔貿易商務論Ａ〕	2	〔貿易商務論Ｂ〕	2	〔アジア経済論Ａ〕	2
					〔アジア経済論Ｂ〕	2	〔アメリカ経済論Ⅰ〕	2	〔ヨーロッパ経済論Ⅰ〕	2
					〔世界経済論〕	2	国際マーケティング論Ａ	2	〔国際マーケティング論Ｂ〕	2
					〔貿易政策Ⅰ〕	2	国際貿易論Ⅰ	2	国際物流論Ａ	2
					〔外国為替論〕	2	〔国際金融論Ⅰ〕	2	〔国際金融論Ⅱ〕	2
					ビジネスコミュニケーション実務ⅠＡ	2	〔ビジネスコミュニケーション実務ⅠＢ〕	2	〔国際協力論Ａ〕	2
関連教育科目			〔憲法概論〕	2	民法Ⅰ	4	〔民法Ⅱ〕	4	〔民法Ⅲ〕	4
			〔刑法〕	4	〔商法Ⅰ〕	4	〔商法Ⅱ〕	4	〔行政法〕	4
			経済法	4	〔労働法〕	4	〔国際法〕	4	〔訴訟法〕	4
			〔税法学〕	4						
			マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	〔経済統計論〕	4	財政学	4
			〔国際経済学〕	4	〔経済政策〕	4				
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　〔　〕内は今年度休講。

商学部第二部　商学科　平成27年度入学生（15台）

学科履修規程　第２章第２条抜粋



（注）　１．選択必修科目を８単位以上修得した場合、８単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。

２．関連教育科目については、８単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。

３．同一外国語について、第２外国語４単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから４単位以上を修得しなければならない。

４．第２外国語を２単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。

５．単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。

６．卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

商学部第二部　商学科　平成27年度入学生（15台）

年次別授業科目表（学科履修規程　第４条　別表）

※印は必修
△印は選択必修

			第１・２・３・４年次			
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学Ａ	2	哲学Ｂ	2	〔論理学Ａ〕	2	〔論理学Ｂ〕	2
			倫理学Ａ	2	倫理学Ｂ	2	宗教学Ａ	2	宗教学Ｂ	2
			〔日本史Ａ〕	2	〔日本史Ｂ〕	2	〔日本史通論Ａ〕	2	〔日本史通論Ｂ〕	2
			東洋史Ａ	2	東洋史Ｂ	2	西洋史Ａ	2	西洋史Ｂ	2
			〔外国史通論Ａ〕	2	〔外国史通論Ｂ〕	2	〔日本文学Ａ〕	2	〔日本文学Ｂ〕	2
			〔中国文学Ａ〕	2	〔中国文学Ｂ〕	2	西洋文学Ａ	2	西洋文学Ｂ	2
			人文地理学	2	芸術Ａ	2	芸術Ｂ	2	〔日本教育史〕	2
			〔西洋教育史〕	2						
		社会科学	法学Ａ	2	法学Ｂ	2	日本国憲法	2	〔法律学概論〕	2
			政治学Ａ	2	政治学Ｂ	2	〔政治学概論Ａ〕	2	〔政治学概論Ｂ〕	2
			〔経済学概論Ａ〕	2	〔経済学概論Ｂ〕	2	〔社会学Ａ〕	2	〔社会学Ｂ〕	2
			〔教育論Ａ〕	2	〔教育論Ｂ〕	2	教育原論	2	地理学Ａ	2
			地理学Ｂ	2	地誌学	2	心理学Ａ	2	心理学Ｂ	2
			文化人類学Ａ	2	文化人類学Ｂ	2				
		自然科学	数学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2
			物理の世界	2	〔自然界と物質の化学〕	2	〔生活と環境の化学〕	2	地球圏科学入門	2
			新しい地球観	2	ミクロの生物科学	2	マクロの生物科学	2	自然科学入門	2
			自然科学と人間	2	自然地理学(第３年次配当)	2				
		総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
			第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	外国語科目	第１	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1				
			※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1				
					〔海外英語研修〕	2				
		第２	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
			ロシア語Ⅰ	2	ロシア語Ⅱ	2				
			スペイン語Ⅰ	2	スペイン語Ⅱ	2				
			朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
	保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
			※生涯スポーツ論	2						
	単位互換科目		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目			基礎ゼミナール	2	○２年基礎ゼミナール	2	○３年専門ゼミナール	4	○論文ゼミナール	6
			○会計基礎ゼミナール	2	○２年専門ゼミナール	2			○キャリア研修Ｘ	4
			情報表現技術	2					○キャリア研修Ｙ	4
			情報倫理	2					○キャリア研修Ｚ	4
							キャリア研修Ａ	4	キャリア研修Ｂ	2
							キャリア研修Ｃ	1		
							外書講読ＣⅠ	2	外書講読ＣⅡ	2
					商学ゼミナールＡ	4	商学ゼミナールＢ	4	経営ゼミナールＡ	4
					経営ゼミナールＢ	4	会計ゼミナールＡ	4	会計ゼミナールＢ	4
					〔国際ビジネスゼミナールA〕	4	〔国際ビジネスゼミナールＢ〕	4		
					外書講読ＡⅠ	2	外書講読ＡⅡ	2	外書講読ＢⅠ	2
					外書講読ＢⅡ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
					特別講義Ｃ	2	特別講義Ｄ	2	マルチメディア概論	2
					情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4		
			△流通入門	2	〔Ｅコマースマーケティング〕	2	マーケティング論	2	マーケティングリサーチ	2
			△金融入門	2	消費者行動論	2	地域商業論	2	〔流通政策〕	2
			△経営入門	2	サービス産業論	2	〔観光産業論〕	2	情報産業論	2
			△簿記原理	4	〔広告コミュニケーション〕	2	情報社会論	2	〔市場分析論〕	2
			〔△国際貿易入門〕	2	金融論Ａ	2	〔金融論Ｂ〕	2	〔銀行論〕	2
			会社簿記	4	金融機関論	2	証券市場論	2	〔証券と金融〕	2
			原価計算論	4	交通経済論Ａ	2	交通経済論Ｂ	2	海運と航空	2
					〔交通政策〕	2	〔保険論Ａ〕	2	保険論Ｂ	2
			特別講義Ａ	2	生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	〔商業史概論Ａ〕	2
			特別講義Ｂ	2	商業史概論Ｂ	2	〔日本商業史Ａ〕	2	日本商業史Ｂ	2
					〔西洋商業史Ａ〕	2	西洋商業史Ｂ	2		
					経営学総論	2	経営管理概論	2	〔経営管理論〕	2
					中小企業概論	2	〔中小企業経営論〕	2	経営史概論	2
					〔比較経営史〕	2	〔経営労務論〕	2	ヒューマンリソースマネジメント	2
					経営財務論Ａ	2	〔経営財務論Ｂ〕	2	国際経営論	2
					〔国際企業論〕	2	経営組織論	2	〔企業行動論〕	2
					経営戦略論	2	〔企業戦略論〕	2	〔工業経営論Ａ〕	2
					〔工業経営論Ｂ〕	2	〔経営診断論Ⅰ〕	2	〔経営診断論Ⅱ〕	2
					オペレーションズリサーチ	2	〔経営シミュレーション〕	2	〔経営心理学Ａ〕	2
					〔経営心理学Ｂ〕	2	会計学総論	2	財務会計論	2
					〔制度会計論〕	2	〔連結会計論〕	2	税務会計論Ⅰ	2
					〔税務会計論Ⅱ〕	2	経営分析論Ⅰ	2	〔経営分析論Ⅱ〕	2
					国際会計論Ⅰ	2	〔国際会計論Ⅱ〕	2	管理会計論Ⅰ	2
					〔管理会計論Ⅱ〕	2	会計情報システム論Ⅰ	2	会計情報システム論Ⅱ	2
					監査概論	2	〔会計士監査論〕	2		
					〔貿易商務論Ａ〕	2	〔貿易商務論Ｂ〕	2	〔アジア経済論Ａ〕	2
					〔アジア経済論Ｂ〕	2	〔アメリカ経済論Ⅰ〕	2	〔ヨーロッパ経済論Ⅰ〕	2
					〔世界経済論〕	2	国際マーケティング論Ａ	2	〔国際マーケティング論Ｂ〕	2
					〔貿易政策Ⅰ〕	2	国際貿易論Ⅰ	2	国際物流論Ａ	2
					〔外国為替論〕	2	〔国際金融論Ⅰ〕	2	〔国際金融論Ⅱ〕	2
					ビジネスコミュニケーション実務ⅠＡ	2	〔ビジネスコミュニケーション実務ⅠＢ〕	2	〔国際協力論Ａ〕	2
関連教育科目			〔憲法概論〕	2	民法Ⅰ	4	〔民法Ⅱ〕	4	〔民法Ⅲ〕	4
			〔刑法〕	4	〔商法Ⅰ〕	4	〔商法Ⅱ〕	4	〔行政法〕	4
			経済法	4	〔労働法〕	4	〔国際法〕	4	〔訴訟法〕	4
			〔税法学〕	4						
			マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	〔経済統計論〕	4	財政学	4
			〔国際経済学〕	4	〔経済政策〕	4				
			他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

（注）(1)　○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2)　〔　〕内は今年度休講。

福岡大学学科履修規程

令和７年度入学生（25台）

第１章

（趣旨）

第１条　福岡大学（以下「本学」という。）の各学科において、卒業認定を得るための授業科目の履修は、福岡大学学則第31条から第34条までの規定及びこの規程の定めるところによる。

（授業科目の種類）

第１条の２　授業科目の種類は、次の各号に掲げる履修の区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

⑴　必修科目　卒業の認定及び学位の授与にあたり、単位の修得が必須である授業科目

⑵　選択必修科目　各学科が指定する授業科目群から選択し、所定の単位数を修得する必要のある授業科目

⑶　選択科目　各学科の定めるところにより、前２号に定める授業科目以外の授業科目で、進級要件又は卒業要件の単位数に算入することができる授業科目

（開講科目の種類と期間）

第１条の３　授業科目は、次の各号に掲げる開講期間区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

⑴　通年開講科目　１年間継続の授業科目

⑵　前期開講科目　前期開講前期完結の授業科目

⑶　後期開講科目　後期開講後期完結の授業科目

⑷　臨時開講科目　集中的に講義を行う授業科目等

（開講の基準）

第１条の４　授業科目は、各学科が定める年次に開講する。ただし、教育上特段の事情があると認められる場合は、開講しないことがある。

第２章　授業科目の履修等

（授業科目の履修）

第２条　人文学部（文化学科、歴史学科、日本語日本文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

２　法学部（法律学科、経営法学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

３　経済学部（経済学科、産業経済学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

４　商学部（商学科、経営学科、貿易学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

５　商学部第二部（商学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

６　理学部（応用数学科、物理科学科、化学科、地球圏科学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

７　工学部（機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科、建築学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

８　医学部医学科の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位・時間を、医学部看護学科の学生は、

所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）
9　薬学部（薬学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）
10　スポーツ科学部（スポーツ科学科・健康運動科学科）の学生は、所定の授業科目を履修の上、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）
（学部留学生の外国語科目の履修）
第２条の２　学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である授業科目を履修することはできない。
（授業科目の単位数）
第３条　各授業科目の単位数は、授業科目に応じ、次の基準による。（学則第32条参照）
⑴　講義・演習・外国語については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位とする。
⑵　実験・実習・実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位とする。
⑶　講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合は、その組み合わせに応じ、前２号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって１単位とする。
⑷　卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。
（履修の順序）
第４条　各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。
（年間履修単位数の上限）
第５条　人文学部の学生が１年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。
２　法学部の学生が１年間に履修する単位数は、原則として第１年次、第２年次、第３年次各40単位、第４年次48単位を超えてはならない。ただし、第２年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について４単位を限度として40単位を超えることができ、第３年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について８単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が２年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。
３　経済学部の学生が１年間に履修する単位数は、原則として第１年次、第２年次、第３年次各42単位、第４年次46単位を超えてはならない。
４　商学部の学生が１年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
⑴　商学部の学生（会計専門職プログラムの学生を除く。）は、原則として第１年次、第２年次、第３年次各42単位、第４年次46単位を超えてはならない。
⑵　商学部の会計専門職プログラム（以下この号において「プログラム」という。）の学生は、原則として第１年次、第２年次、第３年次各48単位、第４年次46単位を超えてはならない。また、第３年次については、第２年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第１年次にプログラムの学生でなくなった者が第２年次に履修する単位数は、第１年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第２年次にプログラムの学生でなくなった者が第３年次に履修する単位数は、第２年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。
５　商学部第二部の学生が１年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
⑴　商学部第二部の学生（会計専門職プログラムの学生を除く。）は、原則として41単位を超えてはならない。
⑵　商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この号において「プログラム」という。）の学生は、

原則として第１年次、第２年次、第３年次、第４年次各48単位を超えてはならない。また、第３年次については、第２年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第１年次にプログラムの学生でなくなった者が第２年次に履修する単位数は、第１年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第２年次にプログラムの学生でなくなった者が第３年次に履修する単位数は、第２年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

６　理学部の学生が１年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

⑴　応用数学科応用数学コースの学生は、原則として第１年次44単位、第２年次、第３年次、第４年次各40単位を超えてはならない。

⑵　応用数学科社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、原則として第１年次、第２年次、第３年次各46単位、第４年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第６条の５第１項第１号又は第６条の５第２項第１号に該当する者は、46単位まで履修することができる。

⑶　物理科学科及び化学科の学生は、原則として第１年次、第２年次、第３年次各48単位、第４年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第６条の５第１項第２号・３号又は第６条の５第２項第２号・３号に該当する者は、48単位まで履修することができる。

⑷　地球圏科学科の学生は、原則として第１年次、第２年次、第３年次各49単位、第４年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第６条の５第１項第４号又は第６条の５第２項第４号に該当する者は、49単位まで履修することができる。

７　工学部の学生が１年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。

８　医学部の学生が１年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

⑴　医学科の学生は原則として、第１学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。

⑵　看護学科の学生は原則として、第１年次、第２年次各48単位、第３年次37単位、第４年次30単位を超えてはならない。

９　薬学部の学生が１年間に履修する単位数は、原則として第１年次49単位、第２年次49単位、第３年次49単位、第４年次38単位、第５年次37単位、第６年次29単位を超えてはならない。

10　スポーツ科学部の学生が１年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。

11　外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

（医学科の原級措置）

第５条の２　医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に設置している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。

（薬学部の原級措置）

第５条の３　薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第５条第９項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

２　薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

（人文学部の履修要件）

第６条　人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

⑴　ドイツ語学科の学生は、２年以上在学し、ドイツ語ＩＡ及びドイツ語ＩＢの計４単位を修得していなければ、第３・４年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

⑵　フランス語学科の学生は、２年以上在学し、フランス語ＩＡ及びフランス語ＩＢの計４単位を修得していなければ、第３・４年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

⑶　ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、１年以上在学し、前年度の専門教育科目

のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
2　人文学部の英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の学生は、多言語強化プログラムを履修することができる。
3　多言語強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。多言語強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

（法学部の履修要件）

第6条の2　法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
2　前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
3　第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

（経済学部の履修要件）

第6条の3　経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。
2　起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
3　地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

（商学部及び商学部第二部の履修要件）

第6条の4　商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
2　商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
3　商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
4　商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

（理学部の履修要件）

第6条の5　理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。
⑴　応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
⑵　物理科学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上
⑶　化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上⑷地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
⑷　地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科

目の実験科目については、必修科目２単位及び選択科目４単位以上を修得していること。

２　理学部の学生は、３年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第４年次開講科目の登録をすることができない。

⑴　応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第３年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第３年次までの必修科目26単位を含む92単位以上を修得していなければ、第４年次開講の全科目の登録をすることができない。

⑵　物理科学科の学生は、専門教育科目の必修実験科目６単位及び物理科学研究の２単位並びに共通教育科目の外国語科目６単位を含む100単位以上を修得していなければ、第４年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

⑶　化学科の学生は、専門教育科目の第３年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目８単位を含む100単位以上を修得していなければ、第４年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

⑷　地球圏科学科の学生は、専門教育科目のコース別の必修科目10単位及び共通教育科目の外国語科目６単位を含む100単位以上を修得していなければ、第４年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

（工学部の履修要件）

第６条の６　工学部の学生は、２年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第３年次開講科目の登録をすることはできない。

２　工学部の学生は、３年以上在学し、第１・２年次必修の第１外国語科目６単位、選択必修の第２外国語科目４単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第４年次開講科目の登録をすることはできない。

３　第１項の60単位・第２項の100単位に算入する総合教養科目、第１外国語科目、第２外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

⑴　総合教養科目は、12単位までとする。

⑵　第１項の60単位に算入するのは、第１外国語科目の必修科目６単位、第２外国語科目の選択必修科目４単位までとする。また、第２項の100単位に算入するのは、第１外国語科目の必修科目６単位、第２外国語科目の選択必修科目４単位までとする。

⑶　工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は32単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

（医学部の履修要件）

第６条の７　医学部医学科の学生は、第１学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から６単位以上、自然科学から６単位以上、計12単位以上、必修の外国語科目６単位、保健体育科目２単位、合計32単位以上、専門教育科目については18単位、総計50単位以上を修得しなければ、第２学年に進級することができない。ただし、48単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第２学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第２学年で修得しなければならない。

２　医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は３年次後期の実習科目を履修することができない。

⑴　第１年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より２単位以上、必修の外国語科目４単位、必修の保健体育科目２単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の８単位、合計43単位以上を修得していなければ第２年次に進級することができない。

⑵　第２年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より４単位以上、必修の外国語科目６単位、選択必修の外国語科目より２単位、これ以外の外国語科目より２単位以上、必修の保健体育科目２単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合

計88単位以上を修得していなければ第３年次に進級することができない。

⑶　第３年次前期終了時において、第３年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の１単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の１単位を修得していなければ、第３年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第３年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

⑷　第３年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より４単位以上、必修の外国語科目６単位、選択必修の外国語科目より２単位、これ以外の外国語科目より２単位以上、必修の保健体育科目２単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の１単位、合計116単位以上を修得していなければ第４年次に進級することができない。

（薬学部の履修要件）

第６条の８　薬学部の学生は、第１年次から第５年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

⑴　第１年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から２単位以上を含め計20単位以上、専門教育科目について、１年次の必修科目１単位、１年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から９単位以上、臨床薬学から３単位以上を含め計15単位以上、合計36単位以上を修得していなければならない。

⑵　第２年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から６単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、１年次科目16単位以上、２年次の必修科目５単位、２年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から16単位以上、衛生薬学から２単位以上、医療薬学から４単位以上、臨床薬学から１単位以上を含め計27単位以上、合計48単位以上、総計74単位以上を修得していなければならない。

⑶　第３年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目６単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、１年次科目16単位以上、２年次科目32単位以上、３年次の必修科目７単位、３年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から４単位以上、衛生薬学から４単位以上、医療薬学から10単位以上、臨床薬学から３単位以上を含め計25単位以上、合計80単位以上、総計108単位以上を修得していなければならない。

⑷　第４年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目６単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、１年次科目16単位以上、２年次科目32単位以上、３年次科目32単位以上、４年次の必修科目13単位、４年次の選択必修科目のうち、衛生薬学から２単位以上、医療薬学から８単位以上、臨床薬学から２単位以上を含め計14単位以上、合計107単位以上、総計135単位以上を修得していなければならない。

⑸　第５年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目６単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、１年次科目16単位以上、２年次科目32単位以上、３年次科目32単位以上、４年次科目27単位以上、５年次の必修科目32単位、計139単位以上、合計167単位以上を修得していなければならない。

２　薬学部のクリニカルファーマシスト養成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第２条第９項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第３章　授業科目の登録

（登録）

第７条　学生は、学年が始まるときは、履修する授業科目の登録を行わなければならない。

２　学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

（登録時の制限）
第７条の２　同一名称の授業科目は、同一学期に複数の授業科目を登録することができない。
２　授業科目は、同一の授業時間に複数の授業科目を登録することができない。
３　既に単位を修得した授業科目は、在学中に再度登録することができない。
４　在籍する年次より上位年次に設置している授業科目は、登録することができない。
（登録の撤回等）
第８条　登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。
⑴　前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続をした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、２科目かつ８単位以内で登録の撤回をする場合
⑵　後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続をした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合
（登録制限）
第９条　授業科目の履修にあたり、教育効果に鑑み、先着、抽選、登録要件等により、登録の人数を制限する場合がある。
２　前項の授業科目は、学部・学科、共通教育センター又は教職課程教育センターが各別に定めるものとする。

第４章　雑　　則

（補則）
第10条　この規程の細則その他履修に関し必要な事項は、別に定めることができる。

附　則

この規程は、令和７年４月１日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の４年次生（５年次以上も含む）及び薬学部の６年次生（７年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

〝既得単位数と学科履修規程第５条（理学部は第５条と第６条の５、工学部は第５条と第６条の６、薬学部は第５条と第６条の８）〟により登録した単位数との和が学科履修規程第２条を満足している者を卒業見込者という。

24台以前の学科履修規程条文は、窓口にお問い合わせください。

福岡大学成績考査規程

第１条　この規程は、福岡大学学則（以下「学則」という。）に定める成績考査及び試験（定期試験、追試験、再試験をいう。以下同じ。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

第２条　各授業科目の成績の評価は、試験のほか、その他の適切な方法により行う。ただし、成績の評価には、平素の学習状況を考慮することができる。

２　前項本文に規定するその他の適切な方法により成績評価を行う授業科目とは、次の各号のいずれかに該当するものとし、試験による成績評価を行わないものとする。

⑴　教授会等において、演習、演習及び論文、実習、実験、実技その他これに準ずるものと認められたもの

⑵　教授会等において、開講期間内に適切な成績評価を行うことが可能と認められたもの

⑶　その他教務委員会が認めた方法により行うもの

３　開講期間が通年の授業科目の成績評価を行うときは、各学期の成績を考慮する。

４　授業科目を履修し、合格の成績評価を得た学生には、その授業科目所定の単位を与える。ただし、各学期の授業料等納入金又は各授業科目の受講料を納入していないときは、当該各学期又は当該各授業科目についての成績評価を行わない。

５　第２項各号の授業科目の細部は、別に定める。

第３条　成績評価は評点をもって行い、成績通知は評点又は秀(A)、優(B)、良(C)、可(D)、不可(F)、放棄(H)の成績評語をもって行う。ただし、教務委員会が認める授業科目（評点による成績評価を行わない授業科目に限る。）については、評点及び成績評語によらず、合否のみにより成績評価及び成績通知を行うことができる。

２　次の各号に掲げる成績評語は、当該各号に定める評点等を基準に区分する。

⑴　秀(A)　100点から90点まで

⑵　優(B)　89点から80点まで

⑶　良(C)　79点から70点まで

⑷　可(D)　69点から60点まで

⑸　不可(F)　59点以下

⑹　放棄(H)　試験の放棄又は成績評価不能

３　第１項本文の規定により成績評価を行う授業科目は、前項の成績評語が秀(A)、優(B)、良(C)及び可(D)であるものを合格とし、不可(F)であるものを不合格とする。

４　履修した授業科目のうち、第１項本文の規定により成績評価を行うものについては、評点等に応じ、次に掲げるGP評点を与える。

⑴　100点から90点まで　＝　4.0

⑵　89点から80点まで　＝　3.0

⑶　79点から70点まで　＝　2.0

⑷　69点から60点まで　＝　1.0

⑸　59点以下及び試験の放棄又は成績評価不能　＝　0.0

５　履修した評点により成績評価を行う各授業科目のGP評点に当該各授業科目の単位数を乗じて算出した値の総和を履修登録した授業科目の総単位数で除した値を、GPA評価とする。ただし、福岡大学（以下「本学」という。）における授業科目の履修により修得したものとみなして単位を認定した授業科目及び合否のみにより成績評価を行う授業科目については、GPA評価の対象としない。

第４条　成績評価にあたり、学生は、次の各号のいずれかに該当する場合には、試験を受けることができない。

⑴　試験を受けようとする授業科目をその学年において登録していないとき。

⑵　受験中に学生証を所持していないとき。

⑶　試験開始後20分以上遅刻したとき。

2　試験開始後30分以上経過し、試験監督が認めたときは、試験場から退室することができる。

第４条の２　学生は、試験を受験するにあたり、次の事項に従わなければならない。

⑴　試験監督の指示に従うこと。

⑵　受験中は、常時学生証を机上に提示すること。

⑶　受験中は、携帯電話、スマートフォン等の電子通信機器を机上に置かないほか、身の回りに置かないこと。

⑷　不正行為又は不正行為とみなされるおそれのある行為をしないこと。

⑸　答案用紙は、解答の有無に関わらず試験場外に持ち出さないこと。

第５条　受験中に不正行為を行った者に対しては、当該期間（前期又は後期）に完結する全授業科目及び通年で実施する全授業科目を放棄とみなす。

2　前項で放棄とみなした科目については、追試験の対象としない。

第５条の２　受験中に答案を持ち出した者に対しては、その受験科目を放棄とみなす。

2　前項で放棄とみなした科目については、追試験の対象としない。

第５条の３　医学部医学科の時間制の授業科目については、出席時間数が授業を行った時間数の３分の２に満たない場合、原則として試験を受けることができない。

2　医学部看護学科の専門基礎科目及び専門教育科目の講義・演習科目については、出席回数が実施授業回数の３分の２に満たない場合、原則として試験を受けることができない。その場合、当該授業科目の成績評語は放棄とし、追試験の対象としない。また、専門教育科目の実習科目については、出席回数が実施授業回数の４分の３に満たない場合、原則として成績評価を受けることができない。その場合も当該科目の成績評語は放棄とする。

第６条　病気その他やむを得ない理由によって定期試験を受験することができなかった者に対しては、本人の願出により追試験を行うことがある。

2　追試験の願出は、所定の書式により、病気の場合には医師の診断書を、病気以外のやむを得ない理由の場合には証明書を添え、定期試験終了後５日以内に学生課に提出しなければならない。

第７条　追試験は、定期試験終了後本学が定める日に１回だけ行う。

第８条　追試験を受験した者の評価は、80点を限度とする。ただし、情状によりこの制限を免除し、又は緩和することがある。

第９条　合格点の成績評価を得た授業科目は、再履修することができない。

第10条　授業科目の再履修により合格点を得た場合は、その合格点をもって以前の不合格点に代える。

第11条　追試験の受験料は１科目につき2,000円とする。ただし、情状によりこれを減額又は免除することがある。

2　いったん納めた受験料は、これを返還しない。

第12条　次の者に対しては、本人の願出により当該年度に受験した定期試験の授業科目について、学年末に再試験を行うことがある。

⑴　第４年次以上（薬学部は第６年次以上）の卒業見込者にして、既得単位数と新たに登録した単位数との和が卒業に必要な単位数に達し、かつ、その必要単位数のうち８単位以内の不合格点を得た者（後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。）

⑵　教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程及び日本語教員課程資格取得を目的とする場合、第４年次以上の卒業見込者にして、既得単位数と新たに登録した単位数との和が各課程の資格取得に必要な単位数に達し、かつ、その必要単位数のうち各課程につき４単位以内の不合格点を得た者（当該学科の卒業に必要な単位数に算入しない科目に限る。）。ただし、後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。

⑶　理学部の第２年次生にして、不合格の成績評価を得た者（後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。）

⑷　医学部医学科の学生にして、次のいずれかに該当する者

ア　単位制の授業科目（共通教育科目の後期追試験の結果不合格点を得た授業科目及び専門教育科目の追試験の結果不合格点を得た授業科目を除く。）について、15単位以内の不合格を得た者

イ　第２学年、第５学年及び第６学年の専門教育科目（追試験の結果不合格点を得た授業科目を除く。）について、不合格点を得た者

ウ　第３学年及び第４学年の専門教育科目（追試験の結果不合格を得た授業科目を除く。）について、不合格点を得た授業科目数が当該各学年に設置している授業科目数の60パーセント以内である者

⑸　医学部看護学科の第１年次生から第３年次生については、次のとおりとする。

ア　第１年次生及び第２年次生にして、不合格の成績評価を得た者で、再試験により、進級の見込みのある者。ただし、各年次８単位以内とする（各年次の後期の追試験の結果、不合格点を得た授業科目を除く。）。

イ　第３年次生にして、前期に開講する専門基礎科目及び専門教育科目について不合格の成績評価を得た者で、再試験により、第３年次後期に開講する看護学実習科目の履修見込みのある者。ただし、８単位以内（前期の追試験の結果、不合格点を得た授業科目を除く。）とし、本項柱書きの規定にかかわらず再試験は前期末に実施する。

⑹　薬学部の第１年次生から第５年次生にして不合格の成績評価を得た者で、再試験により、進級の見込みのある者（後期の追試験の結果、不合格点を得た者を除く。）

第13条　再試験の願出は、前条第１号については、卒業に必要な最小限度の単位数（８単位以内）、同条第２号については、各課程の資格取得に必要な最小限度の単位数（４単位以内）とし、成績発表後所定の期日までに、願書を各学部等の教務担当事務課（室）に提出しなければならない。

２　理学部学生の再試験の願出は、前条第３号については、８単位以内とし、成績発表後所定の期日までに願書を教務三課に提出しなければならない。

３　医学部医学科学生の再試験の願出は、成績発表後所定の期日までに、願書を医学部事務課に提出しなければならない。

４　医学部看護学科学生の再試験の願出は、前条第５号アについては、成績発表後所定の期日までに、同号イについては、別途定める日までに願書を医学部事務課に提出しなければならない。

５　薬学部学生の再試験の願出は、前条第１号については、卒業に必要な最小限度の単位数（８単位以内）、同条第６号については、進級に必要な最小限度の単位数（８単位以内かつ４科目以内）とし、成績発表後所定の期日までに願書を教務三課に提出しなければならない。ただし、同号の第３年次生については、共通教育科目の再試験は行わない。また、専門教育科目については、再試験の結果、上位年次に進級できない者は、その再試験を無効とする。

第14条　再試験の得点は、60点を限度とする。

第15条　再試験の受験料は１単位につき1,000円とする。ただし、医学部医学科の時間制の専門教育科目は、１科目につき4,000円とする。

２　いったん納めた受験料は、これを返還しない。

附　則

この規程は、令和７年４月１日から施行する。

福岡大学における既修得単位等の取扱いに関する規程

第１条　福岡大学学則（以下「学則」という。）第34条の３第１項又は第34条の４第１項（学則第34条の３第４項又は第34条の４第６項により準用される場合を含む。）により修得したものとみなすことのできる単位及び学則第34条の３の２第１項又は第34条の４第２項（学則第34条の３の２第４項又は第34条の４第６項により準用される場合を含む。）により認定することのできる単位の取扱いについては、学則第34条の３から第34条の４の２までに定めるほか、この規程による。

２　この規程は、学則第33条第２項の規定により授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目について、これを準用する。

第２条　学則第34条の３の２の規定により、本学において単位を認定することのできる学修は、次の各号に掲げるとおりとする。

⑴　大学の専攻科における学修

⑵　高等専門学校の課程における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

⑶　専修学校の専門課程のうち修業年限が２年以上のものにおける学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

⑷　教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第６条別表第三備考第４号の規定により文部科学大臣の認定を受けて大学、短期大学等が行う講習又は公開講座における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

⑸　社会教育法（昭和24年法律第207号）第９条の５の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学、短期大学その他の教育機関が行う社会教育主事の講習における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

⑹　図書館法（昭和25年法律第118号）第６条の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書及び司書補の講習における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

⑺　学校図書館法（昭和28年法律第185号）第５条第３項の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書教諭の講習における学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

⑻　青少年及び成人の学習活動に係る知識・技能審査事業の認定に関する規則（平成12年文部省令第25号）又は技能審査の認定に関する規則（昭和42年文部省告示第237号）による文部科学大臣の認定を受けた技能審査の合格に係る学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

⑼　アメリカ合衆国の営利を目的としない法人であるエデュケーショナル・テスティング・サービスが英語の能力を判定するために実施するトフル及びトーイック又は次に掲げる要件を備えた知識及び技能に関する審査であってこれらと同等以上の社会的評価を有するものにおける成果に係る学修で、教務委員会において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

ア　審査を行うものが国又は民法（明治29年法律第89号）第34条の規定による法人その他の団体であること。

イ　審査の内容が、学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学の目的に照らし適切なものであること。

ウ　審査が全国的な規模において、毎年１回以上行われるものであること。

エ　審査の実施方法が、適切かつ公正であること。

２　前項に基づいて当該学修をもって単位を認定する授業科目が共通教育科目である場合については、教授会に先立って、教務委員会の議を経るものとする。

第３条　学則第34条の３第１項又は第34条の３の２第１項（学則第34条の３第４項又は第34条の３の２第４項により準用される場合を含む。）の規定に基づく単位の取扱いを受けようとする者は、各年度にお

いて１月20日までに単位修得申請書（所定書式）に学業成績証明書（高等専門学校、専修学校専門課程等にあっては授業科目等の内容を明記したものを添付すること。）等を添えて、教務部長に提出すべきものとする。ただし、本学との協定等により学生が他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において履修した授業科目について修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなす場合及び本学との協定等により学生が外国の大学又は短期大学において行った学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を認定する場合については、この限りではない。

２　学則第34条の４第１項又は第２項（学則第34条の４第６項により準用される場合を含む。）の規定に基づく単位の取扱いを受けようとする者は、入学した年度の４月20日までに単位修得申請書（所定書式）に学業成績証明書（高等専門学校、専修学校専門課程等にあっては授業科目等の内容を明記したものを添付すること。）等を添えて、教務部長に提出すべきものとする。

第４条　教務部長は、学則第34条の３第３項、第34条の３の２第３項及び第34条の４第５項に定める場合（学則第34条の３第４項、第34条の３の２第４項又は第34条の４第６項により準用される場合を含む。）には教務委員会の議を経たうえで、前条に基づく申請書を申請者である学生が所属する学部の教授会に回付するものとする。

第５条　学則第34条の３第１項又は第34条の４第１項（学則第34条の３第４項又は第34条の４第６項により準用される場合を含む。）により単位を修得したものとみなす場合及び学則第34条の３の２第１項又は第34条の４第２項（学則第34条の３の２第４項又は第34条の４第６項により準用される場合を含む。）により単位を認定する場合に、教授会は、本学におけるいずれの授業科目について単位を取得したものとみなし、又は認定するのかを特定しなければならない。ただし、他の大学又は短期大学（以下この条において「他大学等」という。）との協定に基づき、学生が他大学等で開講された授業科目（本学及び他大学等において共同で開講する授業科目を含む。）の修得単位の取扱いについては、この限りでない。

２　前項に基づいて本学におけるいずれの授業科目について単位を修得したものとみなし、又は認定するのかを特定するにあたっては、学生が他の大学若しくは短期大学において修得した授業科目の授業時間数又は学生が行った短期大学若しくは高等専門学校の専攻科における学修又はその他別に定める学修（学則第34条の３の２第４項により準用される場合にあっては、本学との協定等により学生が外国の大学又は短期大学において行った学修）の時間数を考慮すべきものとする。

第６条　学科履修規程第５条によって定められた当該年度において履修できる単位数を超えて、学則第34条の３第１項及び第34条の３の２第１項（学則第34条の３第４項又は第34条の３の２第４項により準用される場合を含む。）により単位を修得したものとみなし、又は単位を認定することはできないものとする。

第７条　学則第34条の４第２項（学則第34条の４第６項により準用される場合を含む。）により単位の認定を受けようとする者は、その対象となる学修が学則第34条の４第１項（学則第34条の４第６項により準用される場合を含む。）に規定する本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位として認定されていないことの証明書等を提出しなければならない。

第８条　編入学及び転入学の場合に、学則第34条の４第１項及び第２項（学則第34条の４第６項により準用される場合を含む。）により単位を修得したものとみなし、又は認定することのできる単位数については、教務委員会の申合せによって定めるものとする。

第９条　学則第34条の３第１項又は第34条の４第１項（学則第34条の３第４項又は第34条の４第６項により準用される場合を含む。）により単位を修得したものとみなされた本学における授業科目及び学則第34条の３の２第１項又は第34条の４第２項（学則第34条の３の２第４項又は第34条の４第６項により準用される場合を含む。）により単位を認定された本学における授業科目は、特待生の選考にあたって考慮しない。

附　則

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程

（趣　　旨）

第１条　福岡大学学則（以下「学則」という。）第34条の３に基づき、本学が他の大学又は短期大学（以下「他大学等」という。）との協定により、本学及び他大学等で開講し、履修ができると認められた授業科目（本学及び他大学等において共同で開講する授業科目を含む。以下「単位互換科目等」という。）を履修し、修得した単位を学生が所属する本学の学部及び他大学等において認定する単位互換の取扱い、並びに学則第53条に定める特別聴講学生の取扱いその他必要な事項について、別に定めある場合を除き、この規程による。

（定　　義）

第２条　この規程における用語の定義は、次の各号に定める。

⑴　単位互換科目履修生とは、本学に在籍する２年次以上の学部学生で、単位互換科目等の履修を志願し、他大学等においてその履修が許可された者をいう。

⑵　特別聴講学生とは、他大学等に在籍する学生で、本学における単位互換科目等の履修を志願し、本学がその履修を許可した者をいう。

（他大学等における単位互換科目等の決定）

第３条　単位互換科目履修生が受講できる単位互換科目等は、教務委員会が適当と認める授業科目とする。

２　前項の授業科目が単位互換科目履修生が所属する学部において共通教育科目以外の科目である場合は、当該学部教授会で審議し、所定の時期までに単位互換科目等として決定するものとする。

３　第１項の授業科目が単位互換科目履修生が所属する学部において共通教育科目である場合は、当該学部教授会のほか、教務委員会においても審議し、所定の時期までに単位互換科目等として決定するものとする。

（履修登録単位数）

第４条　単位互換科目履修生の履修登録単位数については、各年度８単位以内、合計20単位（共通教育科目８単位、共通教育科目以外の科目12単位）以内を限度とし、別に定める。

２　前項の履修登録単位数は、１年間に履修する単位数に含めるものとする。

（手　　続）

第５条　単位互換科目履修生として単位互換科目等の履修を志願する学生は、所定の期日までに科目履修願を教務部長に提出しなければならない。

（許　　可）

第６条　教務部長は、前条の学生を他大学等に通知し、履修の許可を得なければならない。

２　学長は、他大学等から履修を許可された学生を単位互換科目履修生として許可する。

（履修の時期及び期間）

第７条　単位互換科目履修生として履修する時期及び期間は、協定で定めた時期及び期間とする。

（授 業 料）

第８条　単位互換科目履修生は協定に基づき、他大学等における授業料を免除する。

（単位の認定）

第９条　単位互換科目履修生が履修した単位互換科目等の単位については、教務委員会の議を経て、当該学部教授会で認定する。

２　前項の認定は、前期集中講義科目及び前期完結科目については後期に、後期集中講義科目、後期完結科目及び通年科目については翌年度の前期に行う。ただし、卒業する学期において履修した科目の単位は認定しない。

３　単位互換科目履修生が履修できる単位互換科目等の認定を実施する学部、学科その他必要な事項については、別に定める。

（単位互換科目履修生の責務）

第10条　単位互換科目履修生は、この規程のほか、履修が許可された他大学等の諸規則を遵守しなければ

ならない。

（履修許可の取消）

第11条　学長は、単位互換科目履修生が次の各号のいずれかに該当するときは、他大学等と協議した上で、教授会の議を経てその許可を取り消すことができる。

⑴　成績不振等で成業の見込みがないと認められるとき。

⑵　単位互換科目履修生としてふさわしくない行為があると認められるとき。

（受入の時期）

第12条　特別聴講学生として受入れる時期及び期間は、協定で定めた学期又は学年の始めとする。

（本学における単位互換科目等の決定）

第13条　特別聴講学生が受講できる単位互換科目等は、これを開講する学部の教授会で審議し、所定の時期までに単位互換科目等として決定した科目とする。ただし、本学における共通教育科目を単位互換科目等とする場合は、教務委員会において審議し、決定する。

2　前項の単位互換科目等は、原則として講義科目に限るものとする。ただし、特別な事情がある場合は、この限りでない。

（受入の手続）

第14条　特別聴講学生として単位互換科目等の履修を志願する学生は、所定の期日までに在籍する他大学等を通じて所定の事項を記載した書類を教務部長に提出しなければならない。

（受講の許可）

第15条　前条の学生については、受講を希望する単位互換科目等の担当者及び開講する学部の教授会が了承し、本学の教育に支障のない範囲において、学長が特別聴講学生として許可し、学生が在籍する他大学等へ通知する。

（成績評価）

第16条　特別聴講学生の成績評価は、福岡大学の成績考査規程の定めるところにより行う。

（選考料等）

第17条　特別聴講学生は協定に基づき、本学における選考料及び授業料を免除する。ただし、本学の定めるところにより、教材費その他必要な費用は徴収することができる。

（特別聴講学生証）

第18条　特別聴講学生には、特別聴講学生証を交付する。

2　特別聴講学生が登校するときは、特別聴講学生証を常に携帯しなければならない。

（取　　消）

第19条　特別聴講学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、履修の許可を取り消す。

⑴　他大学等に在籍しなくなったとき。

⑵　本学の学則等に違反したとき。

（規程の準用）

第20条　この規程に定めるもののほか、特別聴講学生の取扱いについて必要な場合は、学則その他学内規程を準用する。

（そ の 他）

第21条　この規程に定めのない事項については、本学と他大学等との協定に基づき協議する。

附　則

この規程は、令和３年12月１日から施行する。

福岡大学転部・転科に関する規程

（趣　　旨）

第１条　この規程は、福岡大学学則第23条の２第３項の規定に基づき、転部・転科に関して必要な事項を定める。

（転部・転科年次及び在学期間）

第２条　転部・転科は、原則として当該学部の第２年次又は第３年次として許可し、その時期は学年の始めとする。

２　転部・転科をした学生の在学期間は、本学入学後、原則として通算８年を超えることはできない。ただし、医学部医学科及び薬学部については、原則として通算12年を超えることはできない。

（選　　考）

第３条　転部・転科は、選考の上、決定する。

２　選考の方法は、別に定める。

（志願手続）

第４条　転部・転科を志願する者は、所定の期日までに必要な書類を学長に提出しなければならない。

（合否判定及び単位認定）

第５条　選考試験の合否の判定及び既に修得した授業科目の単位の認定は、教授会の議を経て、学長がこれを行う。

（許　　可）

第６条　選考試験に合格した者は、別に定める納付金を予定の期日までに納付しなければならない。

２　学長は、前項の手続きを完了した者に転部・転科を許可する。

３　転部・転科を許可された者の授業料等納入金は、別に定める。

附　則

この規程は、平成27年４月１日から施行する。

福岡大学授業料その他諸納入金規程

第１条　福岡大学（以下「本学」という。）の学生から徴収する授業料等納入金及び受講料並びに本学の科目等履修生及び研究生から徴収する受講料等については、特に定めがある場合を除き、この規程による。

第２条　授業料等納入金の額は、福岡大学学則又は福岡大学大学院学則の定めるところによる。

２　前項の授業料等納入金の納入は、分割して行うものとし、納入期日は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日とする。ただし、第１期分納入時に全納することを妨げない。

⑴　第１期分　毎年５月31日まで（新入生は、別に定める。）

⑵　第２期分　毎年10月31日まで

第３条　教職課程科目、博物館学芸員課程科目、社会教育主事課程科目、日本語教員課程科目であって、その修得単位を卒業要件単位に算入することのできない授業科目の受講料は、福岡大学学則又は福岡大学大学院学則の定めるところによりこれを徴収する。

２　科目等履修生及び研究生の受講料等は、福岡大学学則又は福岡大学大学院学則の定めるところによりこれを徴収する。

３　実習又は研修など特別の費用を必要とする授業科目などの実習・研修費等は、別表第１の定めるところによりこれを徴収する。

第４条　学生が退学届を受理され、又は退学を命じられたときは、その納期分の授業料等納入金について、これを徴収する。

２　停学を命ぜられたときは、停学中の授業料等納入金について、これを徴収する。

第５条　休学する場合は、別表第２に定めるところにより在籍料を徴収する。ただし、学長が特に必要と認めたときは、減額することがある。

２　前項ただし書に規定する在籍料の減額は、別に定めるところにより、所定の手続を経て、学長がこれを決定する。

３　休学する場合の授業料及び教育充実費については、次のとおり取り扱うものとする。

⑴　通年休学の場合は、授業料及び教育充実費の全額を徴収しない。

⑵　前期又は後期のみ休学の場合は、授業料及び教育充実費の年額の２分の１を徴収することとし、過納の場合は、その額を返還する。

第６条　前条に定めるもののほか、休学が学資の負担者の罹患、罹災その他やむを得ない事情による学資の調達困難を理由とするときは、在籍料、授業料及び教育充実費の額を減免することができる。

２　前項の減免を受けようとする者は、必要な証明書等を添えて、所定の減免願を学生課に提出しなければならない。

３　第１項の減免の許否は、学生部委員会の議を経て学長がこれを決定する。

第７条　再入学の場合は、再入学年度の入学金を納入しなければならない。

第８条　除籍を受けた者が再入学を願い出るときは、除籍を受けた納期分の授業料等納入金等で未払いの分はこれを納入しなければならない。

第９条　学生が他の学部への転部、他の学科への転科又は他の研究科への転研究科により異動する場合の授業料等納入金については、次のとおり取り扱うものとする。

⑴　入学金は、入学年度における異動先の学部、学科又は研究科の当該金額から入学時の学部、学科又は研究科の当該金額を減じた額を徴収する。ただし、過納の場合は、これを返還しない。

⑵　授業料及び教育充実費は、入学年度における異動先の学部、学科又は研究科の当該金額を徴収する。

第10条　諸証明書の発行を受ける者は、領収書を各所管課（室）に提出しなければならない。

第11条　諸証明書の発行手数料等は、別表第３の定めるところによりこれを徴収する。

２　追試験、再試験及び補助試験の手数料は、別表第４の定めるところによりこれを徴収する。

第12条　授業料等納入金、受講料、在籍料、手数料等の金額及び納入期日は、経済情勢その他の変動により改めることがある。

附　則

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

別表第１　実習・研修費等（第３条第３項）

種別	金額（単位　円）	納期
海外研修費	実費	指定期間内
学外実習費	実費	
病院実習費	40,000	
教育実習費・養護実習費	実費	
博物館実習費	6,000	
社会教育実習費	6,000	
介護等体験費	10,000	
考古学実習費	30,000	
臨床心理学実習費	30,000	

別表第２　在籍料（第５条第１項）　（単位　円）

学部＼区分		通年休学	前期又は後期休学
人文学部		240,000	120,000
法学部			
経済学部			
商学部			
商学部第二部		60,000	30,000
理学部		360,000	180,000
工学部			
医学部	医学科	1,200,000	600,000
	看護学科	360,000	180,000
薬学部		480,000	240,000
スポーツ科学部		300,000	150,000

別表第３　諸証明書発行手数料等（第11条第１項）

種別	発行手数料（円）	発行課（室）
単位修得証明書 （一般･教職･学芸員･社教主事） 成績証明書 卒業見込証明書 成績･卒業見込証明書（就職用） 卒業証明書 在学証明書 教員免許取得見込証明書 学芸員資格取得証明書 在籍証明書 科目等履修生証明書 研究生証明書 健康診断証明書 その他本学所定様式の証明書	１枚につき　200	教務一課 各学部等の教務担当事務課(室) 保健センター事務室
学生証再発行	１枚につき　2,000	学生課

（注）１　英文の証明書は、１枚につき300円とする。
　　２　本学所定様式以外の証明書の発行手数料は、種別にかかわらず１枚につき500円とする。

別表第４　追試験料・再試験料及び補助試験料（第11条第２項）（一部抜粋）

種別	金額（単位　円）	納期
追試験料	１科目につき　2,000	指定期間内
再試験料	１単位につき　1,000 （ただし、医学部医学科の時間制の専門教育科目については１科目につき4,000円）	

令和７年度　学費等納入金表

納　入	第１期	5 月 27 日
期　限	第２期	10 月 27 日

（注）１．金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。
２．新入生の第１期分は、入学時に納入していただいております。

（単位　円）

人文・法・経済・商学部

区分		合計	学生納付金				委託徴収金							
			入学金	授業料	教育充実費	小計	父母後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代	小計
７年度入学（１年）	**年額**	**1,126,710**	**190,000**	**730,000**	**180,000**	**1,100,000**	**8,500**	**7,500**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**1,000**	**26,710**
	第１期	671,710	190,000	365,000	90,000	645,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第２期	455,000		365,000	90,000	455,000								
６年度入学（２年）	**年額**	**935,610**		**730,000**	**180,000**	**910,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第１期	480,610		365,000	90,000	455,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第２期	455,000		365,000	90,000	455,000								
５年度入学（３年）	**年額**	**935,610**		**730,000**	**180,000**	**910,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第１期	480,610		365,000	90,000	455,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第２期	455,000		365,000	90,000	455,000								
４年度入学（４年）	**年額**	**936,110**		**730,000**	**180,000**	**910,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,500**	**26,110**
	第１期	481,110		365,000	90,000	455,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第２期	455,000		365,000	90,000	455,000								
７年度編・転学士入学（３年）	**年額**	**1,135,210**	**190,000**	**730,000**	**180,000**	**1,100,000**	**8,500**	**15,000**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**2,000**	**35,210**
	第１期	680,210	190,000	365,000	90,000	645,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
	第２期	455,000		365,000	90,000	455,000								
６年度編・転学士入学（４年）	**年額**	**944,610**		**730,000**	**180,000**	**910,000**	**8,500**	**15,000**		**5,610**		**3,000**	**2,500**	**34,610**
	第１期	489,610		365,000	90,000	455,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610
	第２期	455,000		365,000	90,000	455,000								

１．学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。
２．５年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。
３．転部および学士入学（本学卒）の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。

令和７年度　学費等納入金表

納　入	第１期	5 月 27 日
期　限	第２期	10 月 27 日

（注）１．金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。
２．新入生の第１期分は、入学時に納入していただいております。

（単位　円）

商学部第二部

区分		合計	学生納付金				委託徴収金							
			入学金	授業料	教育充実費	小計	父母後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代	小計
７年度入学（１年）	**年額**	**472,370**	**60,000**	**310,000**	**80,000**	**450,000**	**7,500**	**7,500**	**300**	**2,970**	**100**	**3,000**	**1,000**	**22,370**
	第１期	277,370	60,000	155,000	40,000	255,000	7,500	7,500	300	2,970	100	3,000	1,000	22,370
	第２期	195,000		155,000	40,000	195,000								
６年度入学（２年）	**年額**	**411,970**		**310,000**	**80,000**	**390,000**	**7,500**	**7,500**		**2,970**		**3,000**	**1,000**	**21,970**
	第１期	216,970		155,000	40,000	195,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,000	21,970
	第２期	195,000		155,000	40,000	195,000								
５年度入学（３年）	**年額**	**411,970**		**310,000**	**80,000**	**390,000**	**7,500**	**7,500**		**2,970**		**3,000**	**1,000**	**21,970**
	第１期	216,970		155,000	40,000	195,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,000	21,970
	第２期	195,000		155,000	40,000	195,000								
４年度入学（４年）	**年額**	**412,470**		**310,000**	**80,000**	**390,000**	**7,500**	**7,500**		**2,970**		**3,000**	**1,500**	**22,470**
	第１期	217,470		155,000	40,000	195,000	7,500	7,500		2,970		3,000	1,500	22,470
	第２期	195,000		155,000	40,000	195,000								
７年度編・転学士入学（３年）	**年額**	**480,870**	**60,000**	**310,000**	**80,000**	**450,000**	**7,500**	**15,000**	**300**	**2,970**	**100**	**3,000**	**2,000**	**30,870**
	第１期	285,870	60,000	155,000	40,000	255,000	7,500	15,000	300	2,970	100	3,000	2,000	30,870
	第２期	195,000		155,000	40,000	195,000								
６年度編・転学士入学（４年）	**年額**	**420,970**		**310,000**	**80,000**	**390,000**	**7,500**	**15,000**		**2,970**		**3,000**	**2,500**	**30,970**
	第１期	225,970		155,000	40,000	195,000	7,500	15,000		2,970		3,000	2,500	30,970
	第２期	195,000		155,000	40,000	195,000								

１．学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。
２．５年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。
３．転部および学士入学（本学卒）の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。

令和７年度　学費等納入金表

納　入	第１期	5 月 27 日
期　限	第２期	10 月 27 日

（注）１．金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。
２．新入生の第１期分は、入学時に納入していただいております。

（単位　円）

理・工学部

区分		合計	学生納付金				委託徴収金							
			入学金	授業料	教育充実費	小計	父母後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代	小計
7年度入学（1年）	**年額**	**1,646,710**	**240,000**	**1,000,000**	**380,000**	**1,620,000**	**8,500**	**7,500**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**1,000**	**26,710**
	第1期	956,710	240,000	500,000	190,000	930,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第2期	690,000		500,000	190,000	690,000								
6年度入学（2年）	**年額**	**1,405,610**		**1,000,000**	**380,000**	**1,380,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第1期	715,610		500,000	190,000	690,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第2期	690,000		500,000	190,000	690,000								
5年度入学（3年）	**年額**	**1,405,610**		**1,000,000**	**380,000**	**1,380,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第1期	715,610		500,000	190,000	690,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第2期	690,000		500,000	190,000	690,000								
4年度入学（4年）	**年額**	**1,406,110**		**1,000,000**	**380,000**	**1,380,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,500**	**26,110**
	第1期	716,110		500,000	190,000	690,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第2期	690,000		500,000	190,000	690,000								
7年度編・転学士入学（3年）	**年額**	**1,655,210**	**240,000**	**1,000,000**	**380,000**	**1,620,000**	**8,500**	**15,000**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**2,000**	**35,210**
	第1期	965,210	240,000	500,000	190,000	930,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
	第2期	690,000		500,000	190,000	690,000								
6年度編・転学士入学（4年）	**年額**	**1,414,610**		**1,000,000**	**380,000**	**1,380,000**	**8,500**	**15,000**		**5,610**		**3,000**	**2,500**	**34,610**
	第1期	724,610		500,000	190,000	690,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610
	第2期	690,000		500,000	190,000	690,000								

１．学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。
２．５年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。
３．転部および学士入学（本学卒）の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。

令和７年度　学費等納入金表

納　入	第１期	5 月 27 日
期　限	第２期	10 月 27 日

（注）１．金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。
　　２．新入生の第１期分は、入学時に納入していただいております。

（単位　円）

医学部医学科

区　分		合　計	学生納付金					委託徴収金							
			入学金	特別教育充実費	授業料	教育充実費	小　計	父母後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代	小　計
７年度入学（１年）	**年　額**	**8,626,710**	**1,000,000**	**3,000,000**	**3,912,000**	**688,000**	**8,600,000**	**8,500**	**7,500**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**1,000**	**26,710**
	第１期	6,326,710	1,000,000	3,000,000	1,956,000	344,000	6,300,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第２期	2,300,000			1,956,000	344,000	2,300,000								
６年度入学（２年）	**年　額**	**7,625,610**		**3,000,000**	**3,912,000**	**688,000**	**7,600,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第１期	5,325,610		3,000,000	1,956,000	344,000	5,300,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第２期	2,300,000			1,956,000	344,000	2,300,000								
５年度入学（３年）	**年　額**	**7,625,610**		**3,000,000**	**3,912,000**	**688,000**	**7,600,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第１期	5,325,610		3,000,000	1,956,000	344,000	5,300,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第２期	2,300,000			1,956,000	344,000	2,300,000								
４年度入学（４年）	**年　額**	**4,626,110**			**3,912,000**	**688,000**	**4,600,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,500**	**26,110**
	第１期	2,326,110			1,956,000	344,000	2,300,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第２期	2,300,000			1,956,000	344,000	2,300,000								
３年度入学（５年）	**年　額**	**4,617,110**			**3,912,000**	**688,000**	**4,600,000**	**8,500**			**5,610**		**3,000**		**17,110**
	第１期	2,317,110			1,956,000	344,000	2,300,000	8,500			5,610		3,000		17,110
	第２期	2,300,000			1,956,000	344,000	2,300,000								
２年度入学（６年）	**年　額**	**4,617,110**			**3,912,000**	**688,000**	**4,600,000**	**8,500**			**5,610**		**3,000**		**17,110**
	第１期	2,317,110			1,956,000	344,000	2,300,000	8,500			5,610		3,000		17,110
	第２期	2,300,000			1,956,000	344,000	2,300,000								

１．学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。
２．７年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。

令和７年度　学費等納入金表

納　入	第１期	5 月 27 日
期　限	第２期	10 月 27 日

（注）１．金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。
　　２．新入生の第１期分は、入学時に納入していただいております。

（単位　円）

医学部看護学科

区分		合計	学生納付金				委託徴収金							
			入学金	授業料	教育充実費	小計	父母後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代	小計
７年度入学（１年）	**年額**	**1,806,710**	**270,000**	**1,040,000**	**470,000**	**1,780,000**	**8,500**	**7,500**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**1,000**	**26,710**
	第１期	1,051,710	270,000	520,000	235,000	1,025,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第２期	755,000		520,000	235,000	755,000								
６年度入学（２年）	**年額**	**1,535,610**		**1,040,000**	**470,000**	**1,510,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第１期	780,610		520,000	235,000	755,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第２期	755,000		520,000	235,000	755,000								
５年度入学（３年）	**年額**	**1,535,610**		**1,040,000**	**470,000**	**1,510,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第１期	780,610		520,000	235,000	755,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第２期	755,000		520,000	235,000	755,000								
４年度入学（４年）	**年額**	**1,536,110**		**1,040,000**	**470,000**	**1,510,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,500**	**26,110**
	第１期	781,110		520,000	235,000	755,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第２期	755,000		520,000	235,000	755,000								

１．学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。
２．５年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。

令和７年度　学費等納入金表

納　入	第１期	5 月 27 日
期　限	第２期	10 月 27 日

（注）１．金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。
２．新入生の第１期分は、入学時に納入していただいております。

（単位　円）

薬学部

区分		合計	学生納付金				委託徴収金							
			入学金	授業料	教育充実費	小計	父母後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代	小計
７年度入学（１年）	**年額**	**2,066,710**	**400,000**	**1,350,000**	**290,000**	**2,040,000**	**8,500**	**7,500**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**1,000**	**26,710**
	第１期	1,246,710	400,000	675,000	145,000	1,220,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第２期	820,000		675,000	145,000	820,000								
６年度入学（２年）	**年額**	**2,095,610**		**1,350,000**	**720,000**	**2,070,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第１期	1,060,610		675,000	360,000	1,035,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第２期	1,035,000		675,000	360,000	1,035,000								
５年度入学（３年）	**年額**	**2,095,610**		**1,350,000**	**720,000**	**2,070,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第１期	1,060,610		675,000	360,000	1,035,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第２期	1,035,000		675,000	360,000	1,035,000								
４年度入学（４年）	**年額**	**2,096,110**		**1,350,000**	**720,000**	**2,070,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,500**	**26,110**
	第１期	1,061,110		675,000	360,000	1,035,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第２期	1,035,000		675,000	360,000	1,035,000								
３年度入学（５年）	**年額**	**2,087,110**		**1,350,000**	**720,000**	**2,070,000**	**8,500**			**5,610**		**3,000**		**17,110**
	第１期	1,052,110		675,000	360,000	1,035,000	8,500			5,610		3,000		17,110
	第２期	1,035,000		675,000	360,000	1,035,000								
２年度入学（６年）	**年額**	**2,087,110**		**1,350,000**	**720,000**	**2,070,000**	**8,500**			**5,610**		**3,000**		**17,110**
	第１期	1,052,110		675,000	360,000	1,035,000	8,500			5,610		3,000		17,110
	第２期	1,035,000		675,000	360,000	1,035,000								

１．学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。
２．７年次以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。
３．転部および学士入学（本学卒）の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。

令和７年度　学費等納入金表

納　入	第１期	5 月 27 日
期　限	第２期	10 月 27 日

（注）１．金融機関が休業日の場合は、翌営業日となります。
２．新入生の第１期分は、入学時に納入していただいております。

（単位　円）

スポーツ科学部

区分		合計	学生納付金				委託徴収金							
			入学金	授業料	教育充実費	小計	父母後援会費	有信会費	学友会入会金	学友会費	学生健康保険互助組合入会金	学生健康保険互助組合費	卒業記念アルバム代	小計
7年度入学（1年）	**年額**	**1,476,710**	**300,000**	**800,000**	**350,000**	**1,450,000**	**8,500**	**7,500**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**1,000**	**26,710**
	第1期	901,710	300,000	400,000	175,000	875,000	8,500	7,500	1,000	5,610	100	3,000	1,000	26,710
	第2期	575,000		400,000	175,000	575,000								
6年度入学（2年）	**年額**	**1,175,610**		**800,000**	**350,000**	**1,150,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第1期	600,610		400,000	175,000	575,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第2期	575,000		400,000	175,000	575,000								
5年度入学（3年）	**年額**	**1,175,610**		**800,000**	**350,000**	**1,150,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,000**	**25,610**
	第1期	600,610		400,000	175,000	575,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,000	25,610
	第2期	575,000		400,000	175,000	575,000								
4年度入学（4年）	**年額**	**1,176,110**		**800,000**	**350,000**	**1,150,000**	**8,500**	**7,500**		**5,610**		**3,000**	**1,500**	**26,110**
	第1期	601,110		400,000	175,000	575,000	8,500	7,500		5,610		3,000	1,500	26,110
	第2期	575,000		400,000	175,000	575,000								
7年度編・転学士入学（3年）	**年額**	**1,485,210**	**300,000**	**800,000**	**350,000**	**1,450,000**	**8,500**	**15,000**	**1,000**	**5,610**	**100**	**3,000**	**2,000**	**35,210**
	第1期	910,210	300,000	400,000	175,000	875,000	8,500	15,000	1,000	5,610	100	3,000	2,000	35,210
	第2期	575,000		400,000	175,000	575,000								
6年度編・転学士入学（4年）	**年額**	**1,184,610**		**800,000**	**350,000**	**1,150,000**	**8,500**	**15,000**		**5,610**		**3,000**	**2,500**	**34,610**
	第1期	609,610		400,000	175,000	575,000	8,500	15,000		5,610		3,000	2,500	34,610
	第2期	575,000		400,000	175,000	575,000								

１．学友会費には、学生手帳代210円が含まれています。
２．５年次生以上の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。
３．転部および学士入学（本学卒）の学費は、本表に掲げていないので会計課窓口に照会して下さい。

Ⅷ

学籍について

● 学籍について

学籍について

1 学籍とは

学籍とは、本学に入学することによって取得するものであり、本学の学生（在籍者）であることを意味します。また、卒業・退学・除籍となった場合は、離籍となります。

2 休学

病気、その他やむを得ない事情で長期にわたり欠席しようとする場合は、下の【休学届出期間】内に届け出ることにより１年単位（通年）または各学期単位（前期・後期）で休学することができます（医学部医学科および薬学部は原則１年単位）。

休学を届け出る場合は、「休学に必要な費用」の納入、および本学所定の「休学届」の提出が必要です。（学則第25条）

【休学届提出までの流れ】

① 所属学部の事務部署に申し出て、休学の理由等を説明してください。必要に応じて、面談を行います。
② 面談後に、「休学届」を教務一課（商学部第二部・医学部の学生は所属学部の事務部署）で受け取り、記入してください。「休学に必要な費用」の納入、保証人（父母等）の署名が必要です。
③ 「休学届」を下の【休学届出期間】内に、教務一課（商学部第二部・医学部の学生は所属学部の事務部署）へ提出してください。

【休学届出期間】

<table>
<tr><th>学部(学科)</th><th>制度</th><th>休学期間</th><th>休学届出期間
（※１）</th><th>休学に必要な費用（※２）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">人文
法
経済
商
商二部
理
工
医(看護)
スポーツ科</td><td>通年休学</td><td>2025年４月１日
～
2026年３月31日</td><td rowspan="3">2025年２月１日
～
2025年５月31日</td><td>在籍料
委託徴収金</td></tr>
<tr><td>前期休学</td><td>2025年４月１日
～
2025年９月13日</td><td>在籍料（半期分）
委託徴収金</td></tr>
<tr><td>後期休学</td><td>2025年９月14日
～
2026年３月31日</td><td>2025年７月１日
～
2025年10月31日</td><td>在籍料（半期分）</td></tr>
<tr><td>医(医)</td><td rowspan="2">通年休学</td><td rowspan="2">2025年４月１日
～
2026年３月31日</td><td rowspan="2">2025年２月１日
～
2025年10月31日</td><td>在籍料
委託徴収金
医学部医学科における特別教育充実費</td></tr>
<tr><td>薬</td><td>在籍料
委託徴収金</td></tr>
</table>

※１　休学届出期間の最終日が土日祝にあたる場合は、その直前の事務窓口対応日までに提出してください。
※２　「休学に必要な費用」に関しては、p. 186、p. 188～194を参照。
入学年度で異なりますが、およそ学費の１/３程度の金額となります。

【注意事項】
・提出した「休学届」は撤回できません。
・入学年度の前期については原則として休学をすることができません。
・休学できる期間は、学部に関係なく通算して４年を超えることができません。

休学期間は、在学期間への算入、単位の認定や卒業はできません。大学を卒業するには休学期間以外に４年以上の在学期間が必要となります（医学部医学科および薬学部は６年以上）。なお、半期休学期間終了後において、卒業をするために必要な科目が履修できない場合は、半期以上卒業が延期される可能性があります。（学則第25条、第33条の５の６）

3 復学

休学期間終了に際し、休学の理由が解消された場合または引続き休学する場合は、下の【復学届出期間】内に、教務一課に「復学届」または「休学届」を提出してください。「復学届」、「休学届」は下の【復学届出期間】内に保証人（父母）宛に郵送します。万が一、届かない場合は早急に教務一課に連絡してください。

休学後に退学する場合は、まず所属学部の事務部署に申し出てください。面談後、教務一課（商学部第二部・医学部の学生は所属学部の事務部署）で「退学届」をお渡しします。

なお、下の【復学届出期間】内に「復学届」「休学届」「退学届」のいずれも提出しない場合は除籍になりますので注意してください。（学則第25条、第28条）

【復学届出期間】

<table>
<tr><th>学部(学科)</th><th>制度</th><th>休学期間</th><th>復学届出期間</th><th>復学日</th></tr>
<tr><td rowspan="3">人文
法
経済
商
商二部
理
工
医(看護)
スポーツ科</td><td>通年休学</td><td>2025年４月１日
～
2026年３月31日</td><td>2026年２月１日
～
2026年２月下旬</td><td>2026年４月１日</td></tr>
<tr><td>前期休学</td><td>2025年４月１日
～
2025年９月13日</td><td>2025年７月下旬
～
2025年８月下旬</td><td>2025年９月14日</td></tr>
<tr><td>後期休学</td><td>2025年９月14日
～
2026年３月31日</td><td rowspan="2">2026年２月１日
～
2026年２月下旬</td><td rowspan="2">2026年４月１日</td></tr>
<tr><td>医(医)
薬</td><td>通年休学</td><td>2025年４月１日
～
2026年３月31日</td></tr>
</table>

4 退学

諸事情で大学を退学する場合は、本学所定の「退学届」の提出が必要です。(学則第27条)

【退学届提出までの流れ】

① 所属学部の事務部署に申し出て、退学の理由等を説明してください。必要に応じて、面談を行います。
② 面談後に、「退学届」を教務一課(商学部第二部・医学部の学生は所属学部の事務部署)で受け取り、記入してください。保証人(父母等)の署名が必要です。
③ 「退学届」を教務一課(商学部第二部・医学部の学生は所属学部の事務部署)へ提出してください。

【注意事項】

・提出した「退学届」は撤回できません。
・退学時の学期の学費または休学に必要な費用が未納の場合は、退学できません。

【退学届出期間】

退学届出期間	納入が必要な学費		退学日
	第1期(前期)	第2期(後期)	
4月1日～4月下旬(※)	× (新入生は必要)	×	前年度後期末日付(前年度3月31日付) ＊新入生は、前期末日付(9月13日付) または受理月末付
5月1日～8月31日	必要	×	前期末日付(9月13日付)または受理月末付
9月1日～9月下旬(※)	必要	×	前期末日付(9月13日付)
10月1日～翌年3月下旬(※)	必要	必要	後期末日付(3月31日付)または受理月末付

※退学届出期間は年度によって異なりますので、早めに教務一課に問い合わせてください。

退学を考えるその前に

●学費を支払うことができない
⇒学生課で奨学金や提携教育ローンについての相談ができます。
●学部、学科を変更したい
⇒転部・転科の制度があります。p. 184「転部・転科」を参照してください。
●退学か休学か迷っている
⇒所属学部の事務部署や学生課、学生心理相談室など、あなたが話しやすい窓口へ相談してください。休学や退学を回避するためのサポートができるかもしれません。

ひとりで悩まず相談を！

5 除籍

除籍とは、本人の意思にかかわらず離籍することです。次に該当する者に対して除籍を行います。(学則第28条)

・授業料等納入金を納入しない者
・成績不振等で成業の見込みがないと認められる者
・休学期間満了時に、正当な理由がなく復学、休学又は退学のいずれの手続も行わない者

6 再入学

本学を退学した、または除籍となった学生が再び本学で学業を継続することができるように、「再入学」の制度を設けています。入学時から起算して８年（医学部医学科および薬学部は12年）を超えない限り、退学した、または除籍となった時点において所属していた学部学科に再入学を願い出ることができます。

再入学の可否は、必要に応じて、学力検査および面接を行い決定します。

出願資格など詳細については、教務一課に問い合わせてください。

7 転部・転科

本学の学生が、学生生活を通して、自分の進路に変化が生じた場合、ある一定の条件を満たせば、進路変更の機会が与えられる制度です。

所属している学部から別の学部へ転部を希望する、あるいは同学部内で別の学科へ転科を希望する場合、欠員のあるときに限り、希望する学部学科が提示する条件を満たした上で、毎年３月初旬に行われる転部・転科試験において、在学中の成績や試験の結果を総合的に選考し、これを許可することがあります。

なお、第２年次以上の法学部内の転科、医学部医学科・看護学科、薬学部への転部・転科制度はありません。

出願資格や選考方法等については、11月頃に転部・転科試験説明会を開催しますので、希望する学生は必ず出席してください（９月上旬からオンデマンド配信型の事前説明会も実施します）。

説明会の開催については、FU ポータルにてお知らせします。詳細については、教務一課に問い合わせてください。

8 氏名・性別・国籍等の学籍情報変更

学籍情報（氏名・性別・国籍等）の変更には、本学所定の「学籍情報変更届」の提出が必要です。

「学籍情報変更届」は、教務一課で配付します。提出する際には、変更の事実が確認できる公的書類（運転免許証、戸籍抄本、住民票等）を添付してください。

学生証の氏名変更は、教務一課で「学籍情報変更届」の写しを受け取り、学生課で手続をしてください。

9 住所変更・保証人変更

本人および父母や保証人（学費負担者）の住所などの情報に変更が生じた場合は、速やかに学生本人が FU ポータルのカテゴリ「共通」にある「プロフィール情報修正」で修正してください。事務室での変更はできませんので注意してください。

Web プロフィールは、大学から皆さんに連絡をとる際や、郵送物を送る際に使用する情報です。常に最新の情報を登録してください。



履修登録の手引

FUKUOKA UNIVERSITY

目　　次

1 履修登録の流れ……1

1-1 履修登録スケジュール表……2

1-2 履修登録用紙（下書き用）……3

1-3 Web プロフィール（下書き用）……4

2 履修登録を行う前に必ず実施すること……5

3 履修登録について……6

4 「FU ポータル」にログイン……7

5 履修登録の開始……9

6 履修登録の画面説明……11

7 制限科目（抽選・先着順）の申請……13

8 履修科目の選択……15

8-1 曜日・時限から履修科目を選択……15

8-2 科目群から履修科目を選択……16

8-3 集中講義科目等を選択……17

9 履修科目の申請……18

10 その他の操作……19

11 登録科目の詳細の表示……20

12 卒業（進級）見込予測チェックの実行・結果参照……21

13 授業科目確認表作成・印刷……23

14 時間割表（教室割）照会……26

付録①　履修申請時エラー一覧表……28

付録②　Web プロフィールを事前登録する方法……29

付録③　シラバスの閲覧方法について……31

付録④　休講・補講情報の確認方法……33

付録⑤　よくある質問Q＆A……35

1 履修登録の流れ

履修登録の詳細はFUポータル「Web履修登録」→履修登録の手引を参照ください。

事前準備

- 「FU ポータル」にログインする（P. 7 参照）
- 履修計画を立てる
  - 学修ガイドや学部から配付される資料などをよく読んで「授業時間割」、「試験時間割」、「Webシラバス」をもとに自分の履修計画をたてましょう。
- 「スタートアップ授業」を確認する
  - シラバスの「スタートアップ授業」のリンクにアクセスすると、各授業科目の詳細が確認できます。履修科目を選ぶ際に、自分が受けたい授業の内容について深く知るために活用しましょう。
  - ※シラバスの閲覧方法は P. 31の付録③を参照してください。
- Web プロフィールの入力
  - 履修登録をスムーズに行うため、履修登録期間前に入力しておきましょう。
  - ※入力方法は P. 29 の付録②を参照してください。
- アンケートの入力（新入生のみ）

制限科目登録期間

- 制限科目の申請をする
  - 制限科目を履修する場合は申請が必要です。詳しくは、『学修ガイド』の全学部共通留意事項・各学部留意事項、別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程　履修の手引』の該当部分を参照してください。
- YES
  - 制限科目（抽選・先着順）を申請する（P. 13～14 参照）
- NO

履修登録期間

- 履修科目を登録する
  - 履修登録の画面についてわからない場合は、P. 11 『履修登録の画面説明』を参照してください。
- 授業科目確認表を作成・印刷する（P. 23 参照）
  - 登録作業が済んだら、必ず授業科目確認表を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。

開講前

- 第 1 回目の授業として「スタートアップ授業」を受講する（P. 31 参照）
  - スタートアップ授業を行う科目では、第 1 回目の授業は遠隔授業（オンデマンド）で行われます。履修科目のシラバスのリンクにアクセスし、『スタートアップ授業』を必ず視聴してください。
- 時間割表（教室割）を照会する（P. 26 参照）
  - 授業教室は開講日の前日までに FU ポータルでお知らせします。 あらかじめ確認して登学してください。

1-1 履修登録スケジュール表（学部・学科別）

毎年、20：00以降の夜間利用、特に最終日前日や前々日に履修登録アクセスが集中し、サーバ負荷により「スムーズな履修登録ができない」、「履修登録画面に繋がらない」状況が多数発生しています。最終日は指定学部以外は履修登録を行うことができません。
※卒業や進級に関わる重要科目の登録忘れや履修登録エラーのままで終了しているケースが発生しています。
※上記の日程以外の登録は、原則認められません。
登録アクセスが集中しない昼間の指定時間を有効に活用し、早めの申請を心がけてください。

在学生

時限	3/21(金)・22(土)・23(日)	3/24(月)	3/25(火) 学部	3/25(火) 年台	3/26(水) 学部	3/26(水) 年台	3/27(木) 学部	3/27(木) 年台	3/28(金) 学部	3/28(金) 年台
【1限】9:00開始	制限科目登録 ※詳細は学修ガイド参照	全学部利用可能	開始時間：9：00							
			J 24台以前 S 24台以前 G 24台以前		L 24台以前 MN 24台以前 P 24台以前		E 24台以前 C 24台以前 T 24台以前		S 24台以前 G 24台以前	
【2限】10:40開始			終了時間：12：10							
【3限】13:00開始			開始時間：13：00							
			L 24台以前 MN 24台以前 P 24台以前		E 24台以前 C 24台以前 T 24台以前		J 24台以前 S 24台以前 G 24台以前		E 24台以前	
【4限】14:40開始			終了時間：16：10							
【5限】16:20開始			開始時間：16：20							
			E 24台以前 C 24台以前 T 24台以前		J 24台以前 S 24台以前 G 24台以前		L 24台以前 MN 24台以前 P 24台以前			
【6限】18:00開始			終了時間：19：30							
20:00～25:00			開始時間：20：00							
			J E BB S T P MN 24台以前		L C BB T MN P G 24台以前		L J E C BB S G 24台以前		L J C BB T MN P 24台以前	
			終了時間：25：00							

新入生

時限	4/3(木)・4/4(金)	4/5(土) 学科	4/5(土) 年台	4/6(日) 学科	4/6(日) 年台
【1限】9:00開始	制限科目登録 ※詳細は学修ガイド参照	開始時間：9：00			
		JB 25 PP 25 MM 25 (対象者583人)		CC 25 CB 25 (対象者534人)	
【2限】10:40開始		終了時間：10：30			
		開始時間：10：40			
		JJ 25 SC 25 SE 25 (対象者611人)		CF 25 LJ 25 LP 25 LE 25 LA 25 (対象者567人)	
【3限】13:00開始		終了時間：12：10			
		開始時間：13：00			
		SM 25 SP 25 GS 25 GH 25 MN 25 (対象者584人)		LC 25 LH 25 LG 25 LF 25 EI 25 (対象者517人)	
【4限】14:40開始		終了時間：14：30			
		開始時間：14：40			
		TK 25 TC 25 TA 25 (対象者363人)		EE 25 (対象者506人)	
【5限】16:20開始		終了時間：16：10			
		開始時間：16：20			
		TM 25 TE 25 TL 25 (対象者407人)		全学部利用可能	
【6限】18:00開始		終了時間：17：50			
		開始時間：18：00			
		BB 25 (対象者182人)			
		終了時間：19：30			
20:00～25:00		開始時間：20：00			
		全学部利用可能			
		終了時間：25：00			

□ の時間帯は、アクセスが集中した場合、スムーズな履修登録ができない可能性があります。
■ の時間帯は登録不可。
※指定された学部学科のみ履修登録メニューが表示されます。
●20：00～25：00の学部回数は、3／28の1～4限の理・スポーツ科・経済学部を含めて各学部3回とした（商学部二部は4回）。
●新入生の対象者数は定員数の1.10倍で記載。

授業科目履修表

※あらかじめ記入して履修登録に臨んでください。

		月	火	水	木	金
		授業科目	授業科目	授業科目	授業科目	授業科目
1限	前期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
	後期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
2限	前期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
	後期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
3限	前期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
	後期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
4限	前期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
	後期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
5限	前期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
	後期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
6 二部1限	前期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
	後期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
二部2限	前期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
	後期	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
集中講義 ・ その他		期別（　）・期間（　月　日～　月　日）	期別（　）・期間（　月　日～　月　日）	期別（　）・期間（　月　日～　月　日）	期別（　）・期間（　月　日～　月　日）
		担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）
		期別（　）・期間（　月　日～　月　日）	期別（　）・期間（　月　日～　月　日）	期別（　）・期間（　月　日～　月　日）	期別（　）・期間（　月　日～　月　日）
		担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）	担当者（　　）

①既得単位数	
②今年度登録単位数	
①+②合計	

※課程科目・随意科目の単位は除く

1-2 履修登録用紙（下書き用）

事前準備

重要

3

1-3 Webプロフィール（下書き用）

事前準備 ☜重　要

※履修登録は、「Webプロフィール」の入力を完了しなければ、履修科目の登録ができません。
あらかじめ、下記のWebプロフィール下書き用紙を作成し、事前に入力をしてください。あなたの住所や電話番号の登録にあたっては、あなたが提出した志願情報を利用して登録することができます。

プロフィール情報入力項目（下書き用）

◆ 必須項目〈※〉は必ず入力してください。未記入の項目を残した場合は、後日必ず訂正してください。
◆ この他に、本人の生活情報（課外活動、技能、資格など）や就労に関する情報を入力する画面があります。

【緊急連絡先】

連絡先	※	
電話番号（携帯電話）	※	－　－　（内線　）

【学生本人に関する情報】

郵便番号	※	〒
都道府県	※	
市区町村	※	
町名番地	※	
マンション・アパート名		
電話番号	※（いずれか）	－　－　（内線　）
携帯電話	※（いずれか）	－　－
通学手段	※	

※「父母・保証人情報」、「学費負担者に関する情報」は大学からの案内・連絡等に使用しますので正確に記載し入力してください。

【父母・保証人に関する情報】

※留学生は入学時に提出した日本の保証人を記入してください。

氏名	※	姓　　名
郵便番号	※	〒
都道府県	※	
市区町村	※	
町名番地	※	
マンション・アパート名		
電話番号	※（いずれか）	－　－　（内線　）
携帯電話	※（いずれか）	－　－

【学費負担者に関する情報】

※「父母・保証人」「本人情報」と同じ場合は入力は不要

氏名		姓　　名
郵便番号	※	〒
都道府県	※	
市区町村	※	
町名番地	※	
マンション・アパート名		
電話番号	※（いずれか）	－　－　（内線　）
携帯電話	※（いずれか）	－　－

キリトリ

2 履修登録を行う前に必ず実施すること

大学から学生一人ひとりに割り当てるメールアドレスは、履修登録の確認、修正等の連絡手段の一つとなっています。履修登録を行う前に必ず設定を確認しましょう。

〔メールについて〕

大学から次のようなメールアドレスが付与されます。メールアドレスの一部となる学籍番号の部分は、福大 ID のアカウント名と同様に、学部や学科名称を表すアルファベットは小文字となります。

アカウント名＠cis.fukuoka-u.ac.jp

学籍番号（小文字）：例　ee250001

◆　「共通」メニューに「Web メール」が表示されているので、こちらでメール確認ができます。



Microsoft Outlook のアプリをスマートフォンに入れ、大学のメールアドレスを設定すると、都度ログインすることなく、メールを確認することができます。

休講・補講の通知メールは担当教員からの連絡事項がある場合がありますので、必ず確認してください。

Microsoft Outlook

3 履修登録について

(1) 履修登録

履修登録は、FUポータルで行いますが、これには以下のような利点があります。

・インターネット環境があれば、自宅など学外からも登録手続きを行うことができます。
・登録しながら、卒業(進級)見込予測、登録エラーを確認することができます。
・シラバスで授業内容を参照、またスタートアップ授業を視聴してから履修登録が行えます。

(2) 履修登録の期間

履修登録は、学部学科（年台）別に履修登録できる日時が決められています。必ずP.2の「履修登録スケジュール表」を確認してください。

(3) 制限科目の申請

制限科目の申請期間は、科目毎に異なります。『学修ガイド』（Ⅳ.履修の手引）を確認の上、申請してください。選考結果は履修画面に表示されます（一部の制限科目を除く）。

(4) 事前準備について

必修科目・選択必修科目をP.3の「履修登録用紙（下書き用）」に記入し、時間割上で埋めた後、授業時間割とシラバスを参照して自分が受講する科目を決めてください。科目区分等の説明やシラバを見るポイントなどは、別冊「福大生のための学習ナビ」を参照してください。

(5) FUプラスアップ授業について

FUプラスアップ授業には、「スタートアップ授業」と「中間フォローアップ授業」の2種類があり、授業は、オンデマンドの動画形式で実施されます。その授業のＦＵプラスアップ授業が「スタートアップ授業」なのか、「中間フォローアップ授業」なのかは、シラバスの「授業計画」の欄で確認できます。

「スタートアップ授業」は、第1回目の授業となり、履修登録期間前の3月上旬から1年間、いつでも視聴可能で、履修登録をしていない授業でも閲覧できます。また、その授業がどのような授業なのかについての説明も含んだ内容になっているので、履修科目を選ぶ際に、自分が受けたい授業の内容について深く知るために活用することができます。

(6) 課程科目の履修登録

教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程は、別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程履修の手引』を参照の上、履修登録を行ってください。日本語教員課程についてはFUポータルのお知らせで登録方法を確認してください。

(7) アカウントとパスワード

「FUポータル」にログインするには、『福大ID』と呼ばれる「アカウント名」と「パスワード」が必要です。

(8) 漢字の表示について

履修登録における氏名等の漢字表記について、JIS第1水準・第2水準文字が適用されます。

4 「FU ポータル」にログイン

履修登録申請をするには、まず福岡大学「ＦＵポータル」システムにログインします。「ＦＵポータル」は、福岡大学がWeb上で提供している様々なサービスを受ける入口となるページです。インターネットブラウザ を起動し、「アドレス」 欄に、次のアドレスを入力して接続してください。

https://portal.fukuoka-u.ac.jp/



アカウント名：学籍番号（小文字）
（例：ee250001）

入学時（４月）に配付される仮パスワードの有効期限は、その年の５月末です。直ちにパスワードの変更を行ってください。

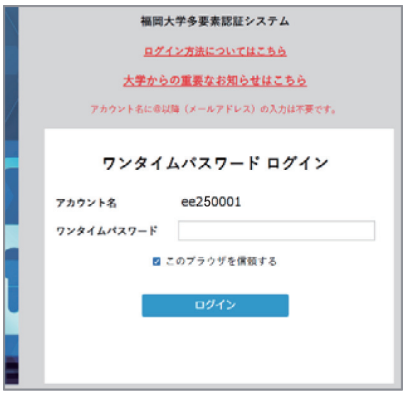
【 重 要！】

学外から福岡大学の情報システム『FU ポータル』および『FU__box』にアクセスする際は、アカウント名とパスワードの入力に加えて**「ワンタイムパスワード」**の入力が求められます。

入学式後に履修関係書類と一緒に配付される情報基盤センター発行の**「福岡大学情報処理システム USERS’ GUIDE 利用の心得 編」**にパスワードの変更方法やワンタイムパスワードの設定方法が記載されていますので、履修登録が始まる前までに、必ず確認してくさい。



ワンタイムパスワードの発行は「メール認証」と「トークン」の2種類があります。



ワンタイムパスワード入力画面です。発行されるワンタイムパスワードは6桁の数字となっています。

「FUポータル」画面にある「履修登録」を選択するとメニューに「Web履修登録」が表示されます。

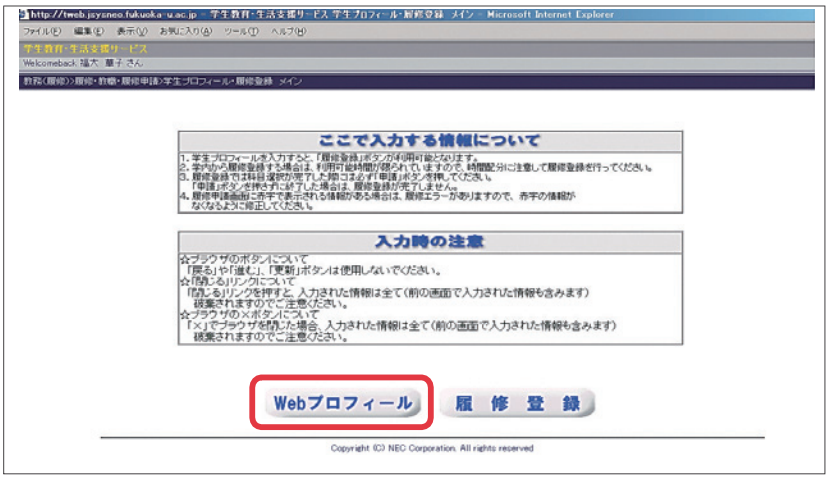


項　目	概　　要
履修申請	Web プロフィールの入力およびアンケートの回答後、履修登録ができます。 （アンケートは新入生と3年生のみ表示されます。） ※制限科目申請期間は、「Web プロフィール」入力画面は表示されません。 ※登録したら、即座に卒業（進級）見込予測のチェックが可能です。 （卒業・進級の判定が必要ない人には、予測ボタンは表示されません。）
授業科目確認表作成	授業科目確認表（PDF 形式）のダウンロードと印刷ができます。
時間割表（教室割）照会	自分が登録した時間割表（教室割）の表示とPDF 形式でのダウンロード・印刷ができます。

5 履修登録の開始

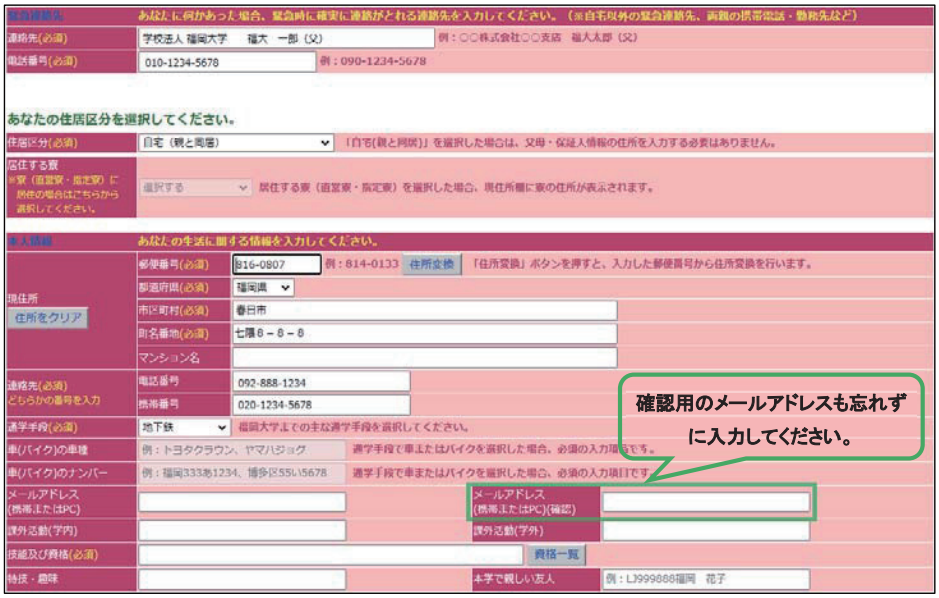
重 要

必ずP.3、4の事前準備を行ったうえで、履修登録に臨んでください。
Webプロフィールの入力をしなければ、履修登録を行うことができません。
履修登録に十分な時間を確保するため、あらかじめWebプロフィールの入力およびアンケート（新入生のみ）の回答を完了させてください。（P.29参照）



Webプロフィールを入力してください。

※ここで入力する情報は、大学からの連絡や資料（成績や学費に関する資料等）発送、事件・事故発生時の緊急連絡などに利用しますので、正確に登録してください。
※住所や電話番号の登録にあたっては、あなたが提出した志願情報を利用して登録することもできます。
※住居区分の「自宅（親と同居）」を選択すると、保証人の住所など自動的に入力されます。
※メールアドレスは、確認用も入力が必要です。



「Webプロフィール」の画面は、表示された項目の登録が終わると、確認画面へ進みますので、入力内容の確認を行ってください。全て完了したら最後に「登録する」ボタンをクリックしてください。

〔新入生のみ〕

Webプロフィールの入力終了後、アンケート画面（新入生のみ）に進みます。
アンケートは後日回答することもできます。その場合は「回答しない」ボタンを押して履修登録に進んでください。



表示されたアンケートに回答し、全て完了したら最後に「提出する」ボタンをクリックしてください。



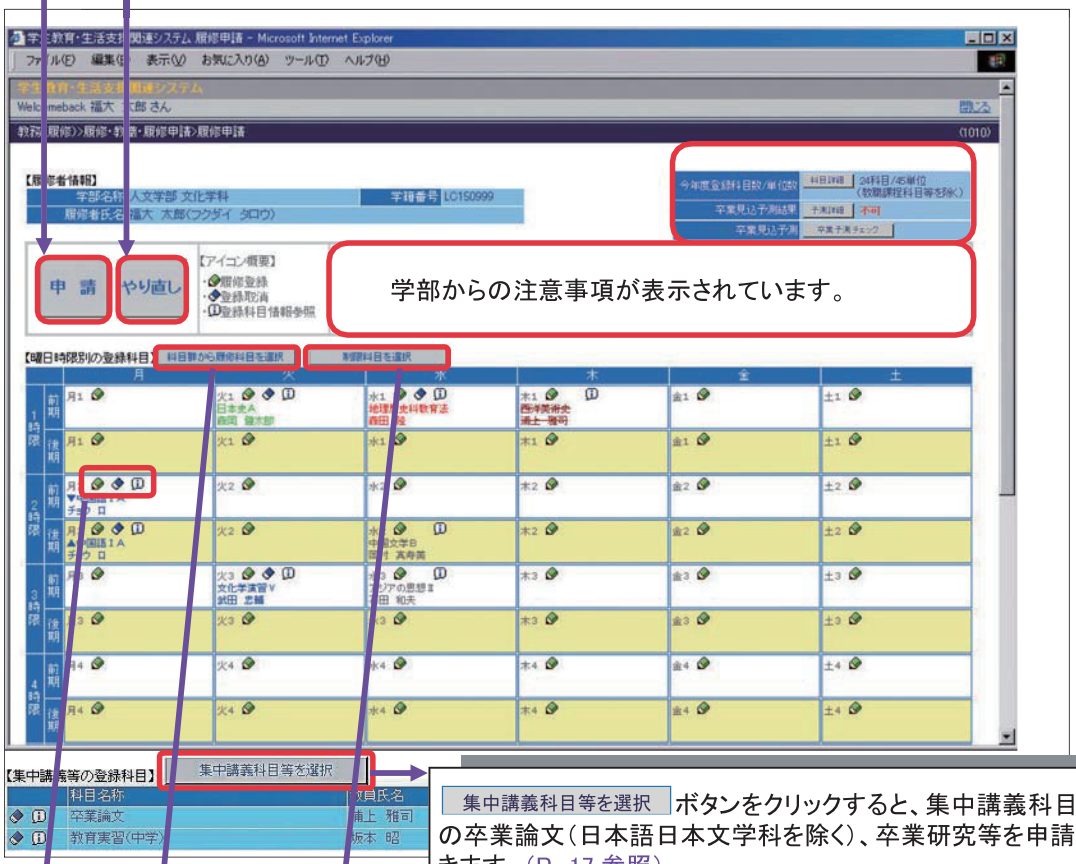
次に履修登録を進めてください。

6 履修登録の画面説明

「Web履修登録」メニューの 履修申請 をクリックします。P.9の画面が表示されますので「履修登録」をクリックします。履修登録の初期画面の詳細は次のとおりです。

申請 ボタンをクリックすると選択(緑色で表示)した科目が登録され青色で表示されます。また、 で取消をした科目(茶色〈取消線付き〉)は再度 申請 ボタンをクリックすることで完全に取り消されます。

やり直し ボタンをクリックすると、前回「申請」ボタンをクリックした直後の状態に戻ります。



集中講義科目等を選択 ボタンをクリックすると、集中講義科目・人文学部の卒業論文(日本語日本文学科を除く)、卒業研究等を申請することができます。(P. 17 参照)

制限科目を選択 ボタンをクリックすると制限科目を申請することができます。(P. 13 参照)

科目群から履修科目を選択 ボタンをクリックすると曜日時限に限らず科目一覧から科目を選択できます。(P. 16 参照)

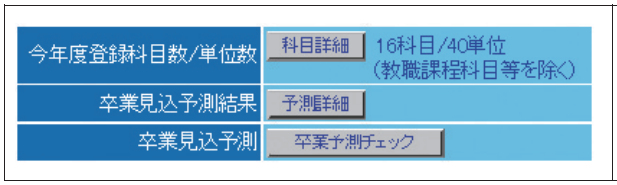
アイコン	説　　明
履修登録(鉛筆)	曜日時限から履修科目を選択します。 をクリックすると、その曜日時限での履修登録ができます。
登録取消(消しゴム)	選択(緑色で表示)状態で をクリックすると削除されます。申請(青色で表示)状態で をクリックすると(茶色〈取消線付き〉)で表示されます。その場合、申請 ボタンをクリックしないと削除は完了できませんので注意してください。
登録科目情報参照	をクリックすると、科目の科目区分(分野)名、単位、曜日時限、担当者を表示します。

画面説明の続き（前ページ画面右上の説明です）

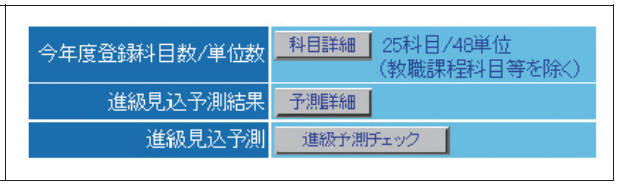
通常の場合（登録科目数／単位数） 科目詳細 **ボタンのみ表示されます。**



卒業見込判定対象者の場合



進級見込判定対象者の場合



ボタン等の説明

ボタン等	説　明
今年度登録科目数/単位数	申請科目（画面上に表示している科目）の科目数/単位数を表示します。（教職課程科目等を除く）
科目詳細	「既得科目一覧」および「単位集計一覧」を表示します。 （P. 20 参照）
卒業予測チェック 進級予測チェック	卒業（進級）見込予測チェックを実行します。（P. 21参照）
予測詳細	卒業（進級）見込予測チェックの結果を見ることができます。 「卒業見込予測」もしくは「進級見込予測」が「可」の場合は「見込」とボタンの横に表示されます。（予測実行後クリック可能となります）「不可」の場合は「不可」と表示されます。（P. 21参照）

科目の画面上の表示について

登録状態により、科目名称および担当者の文字色がかわります。

文字色	登録科目の状態	
青	申請中	履修申請が完了しています。制限科目の場合は、抽選結果によって文字色が変わります。（P. 14参照）
赤	登録エラー	登録に何らかの問題があります。やり直してください。
茶（取消線付き）	取消	登録を一時取り消した状態です。（まだ削除されていません） ⇒「申請」ボタンをクリックすると完全に削除します。
緑	選択中	科目を選択した状態です。（まだ決定ではありません） ⇒「申請」ボタンをクリックすると申請（決定）します。
灰	登録確定	履修申請期間が終了しているか、事前登録されています。 登録科目は履修取消できません。

〔注意〕申請画面において、画面を複数立ち上げたり、ブラウザの「戻る」ボタンで操作しないでください。

7 制限科目（抽選・先着順）の申請

制限科目受講者の選考

抽選、先着順の取り扱いや選考結果の発表等は科目によって異なりますので、必ず学修ガイドの「Ⅳ. 履修の手引」を参照してください。

- 先着順：定員になり次第締め切ります。登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ、登録は完了となります。
- 抽選：結果発表日は学修ガイドの「Ⅳ. 履修の手引」を参照して必ず結果を確認してください。抽選が外れた場合は、その科目を削除する必要があります。

※自動的に削除されません。必ず で削除してください。

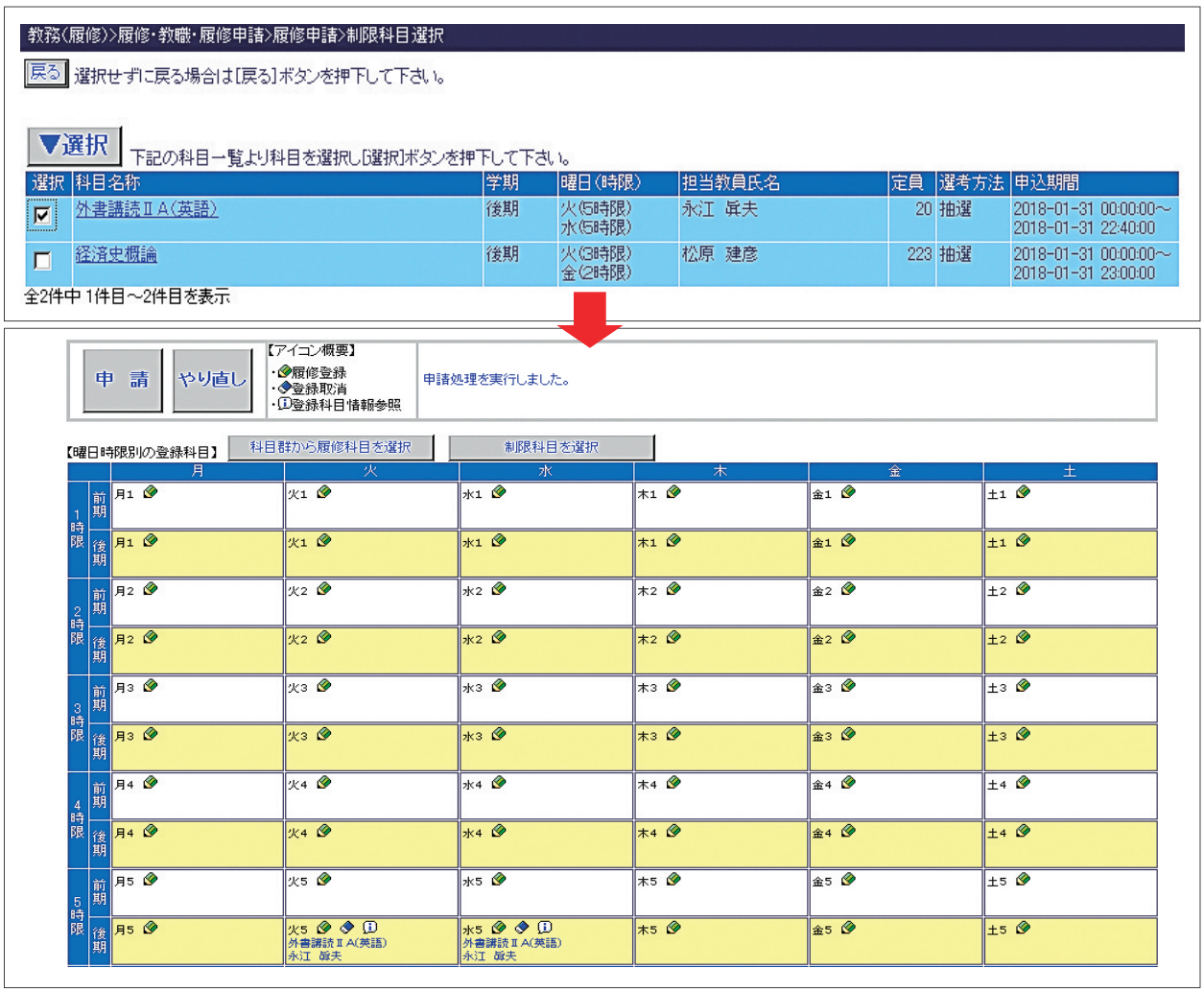
「Web履修登録」メニューの 履修申請 をクリックします。
※登録制限を実施する科目については、決められた期間に登録画面で申請をする必要があります。
各学部の履修可能な制限科目については、学修ガイドの「Ⅳ.履修の手引」を参照してください。

制限科目を選択する場合

画面の 制限科目を選択 をクリックすると、申請可能な科目の一覧が表示されます。



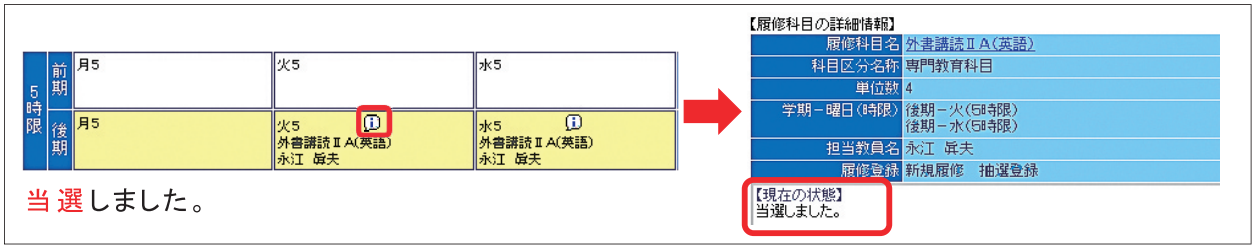
科目一覧より履修を希望する科目の「チェックボックス」(「選択」の枠) をクリックし、▼選択 ボタンをクリックするともとの画面に戻り、科目名称・担当者名が選択中（緑色で表示）となります。その後、申請 ボタンをクリックすると、科目名称・担当者名が申請中（青色で表示)、またはエラー（赤色で表示）となります。



制限科目の選考結果を確認する場合

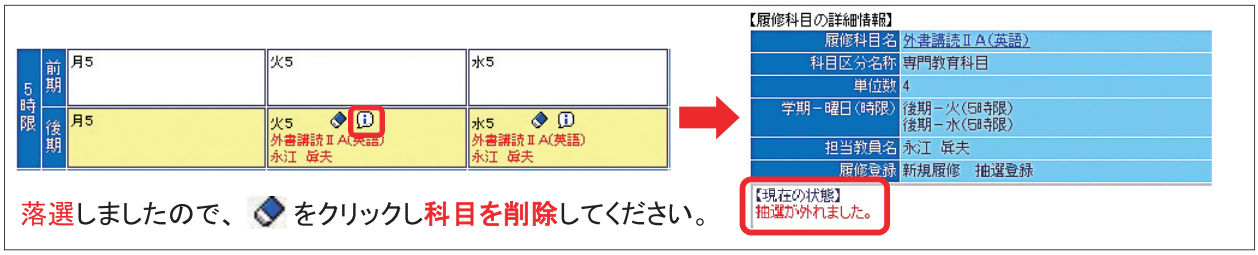
科目毎に指定された結果発表期間に応募した科目の ⓘ をクリックしてください。当選した場合「当選しました。」と表示されます。抽選が外れた場合「抽選が外れました。」と赤字で表示されます。

【当選の場合】



当選しました。

【抽選が外れた場合】



落選しましたので、◆ をクリックし**科目を削除**してください。

8 履修科目の選択

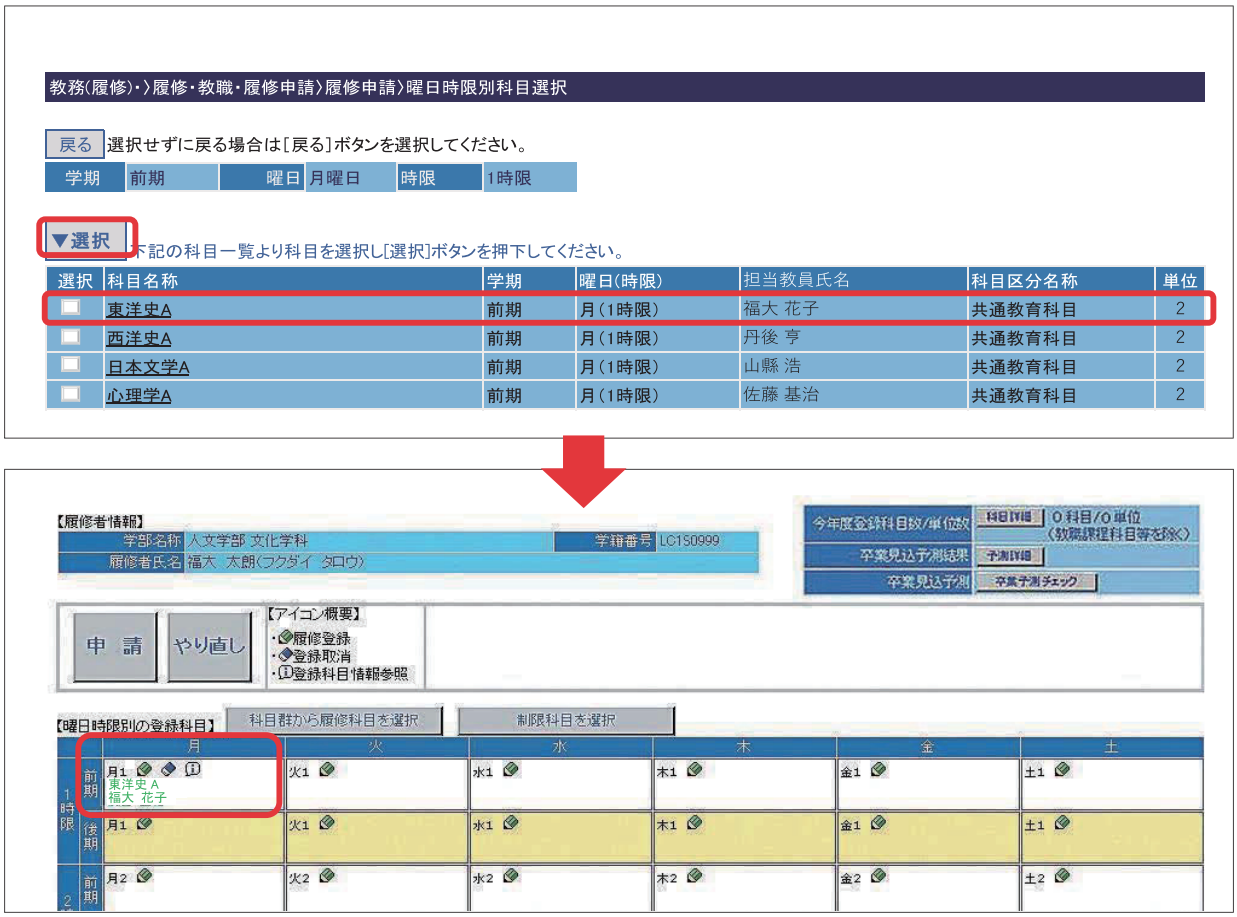
8-1 曜日・時限から履修科目を選択

曜日・時限から履修科目を選択する場合は、受講したい曜日・時限枠内の  をクリックします。

※この例では月曜日、1時限の「東洋史A」を登録します。



履修可能な科目の一覧が画面に表示されます。履修を希望する科目の「チェックボックス」(「選択」の枠) をクリックし、▼選択 ボタンをクリックします。クリックするともとの画面に戻り、科目名称・担当者名が選択中（緑色で表示）となります。



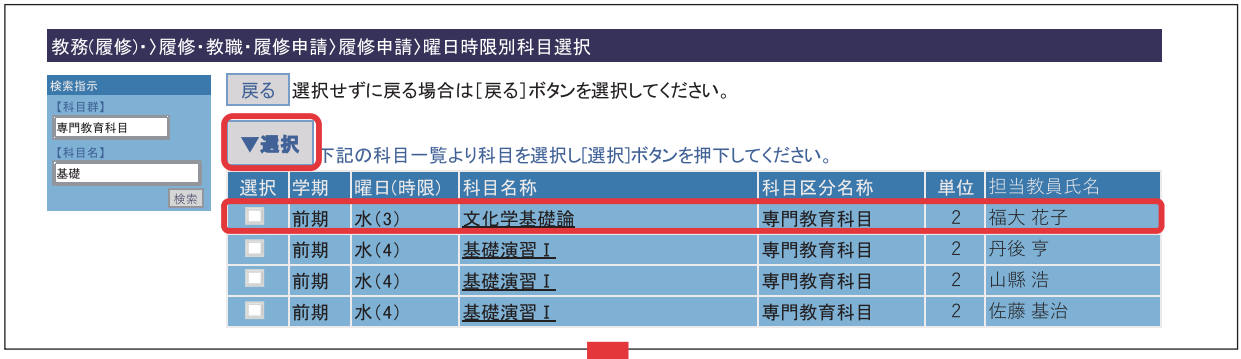
8-2 科目群から履修科目を選択

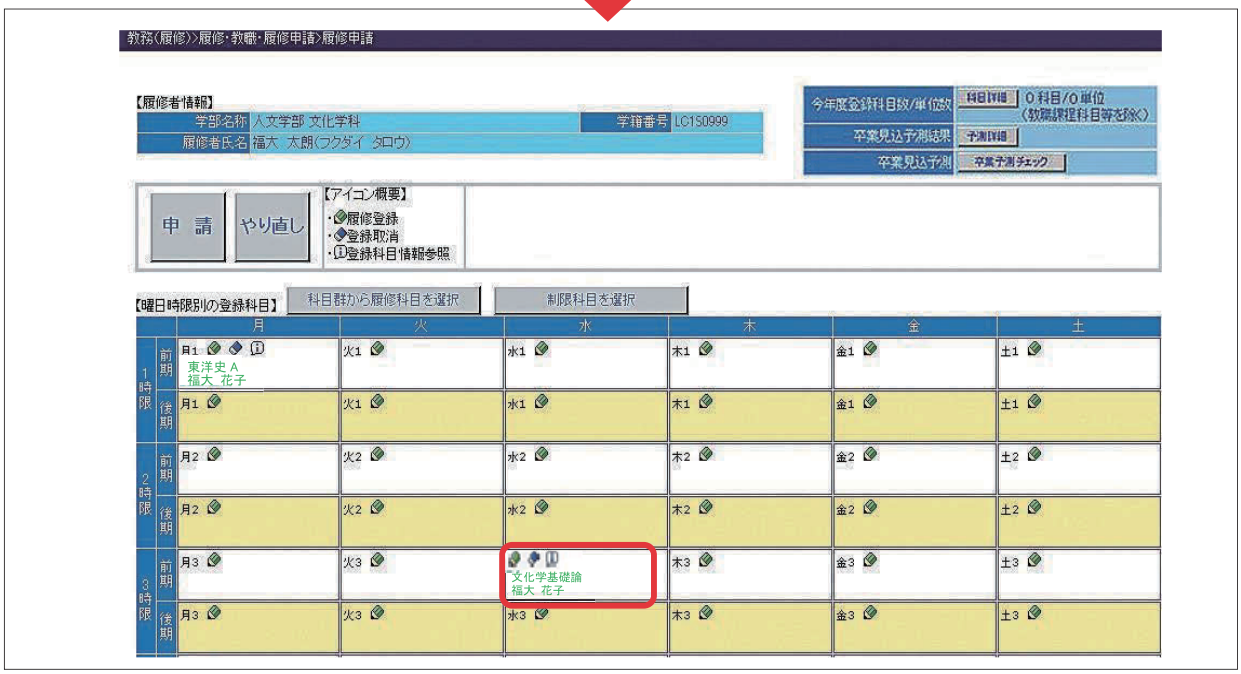
科目群から履修科目を選択する場合は、画面の 科目群から履修科目を選択 ボタンをクリックします。

※この例では水曜日、3時限の「文化学基礎論」を登録します。



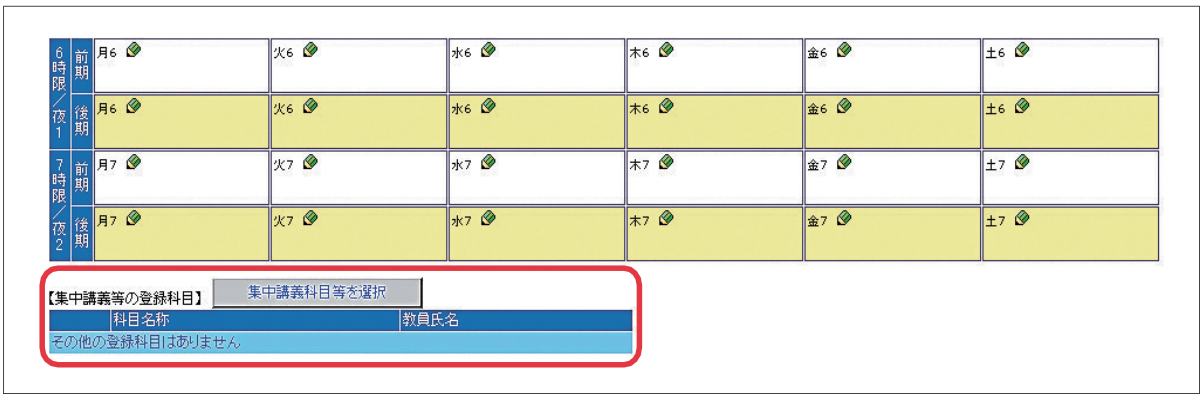
次の画面が表示されますので、左上の「検索指示」画面に検索条件を入力し「検索」ボタンをクリックします。「科目名」は必ず入力してください（あいまい検索可能）。検索条件にあった科目の一覧が表示されます。履修を希望する科目の「チェックボックス」（「選択」の枠）をクリックし、▼選択 ボタンをクリックします。クリックするともとの画面に戻り、科目名称・担当者名が選択中（緑色で表示）となります。



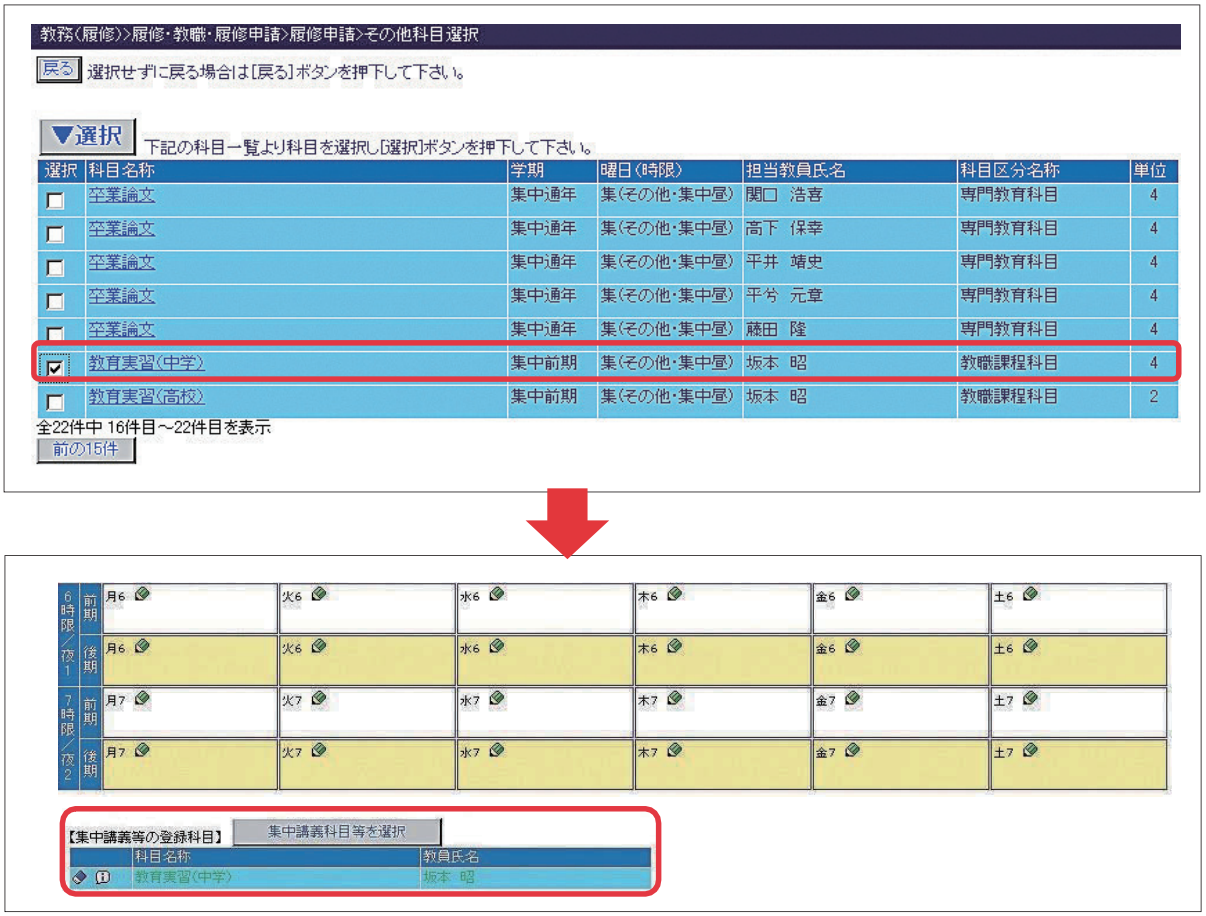


8-3 集中講義科目等を選択

集中講義科目等を選択する場合は、画面の最下部にある「【集中講義等の登録科目】」の 集中講義科目等を選択 ボタンをクリックします。
※この例では「教育実習（中学）」を登録します。



履修を希望する科目の「チェックボックス」（「選択」の枠）をクリックし、 ▼選択 ボタンをクリックします。クリックするともとの画面に戻り、科目名称・担当者名が選択中（緑色で表示）となります。



「データサイエンス・AI 入門」について

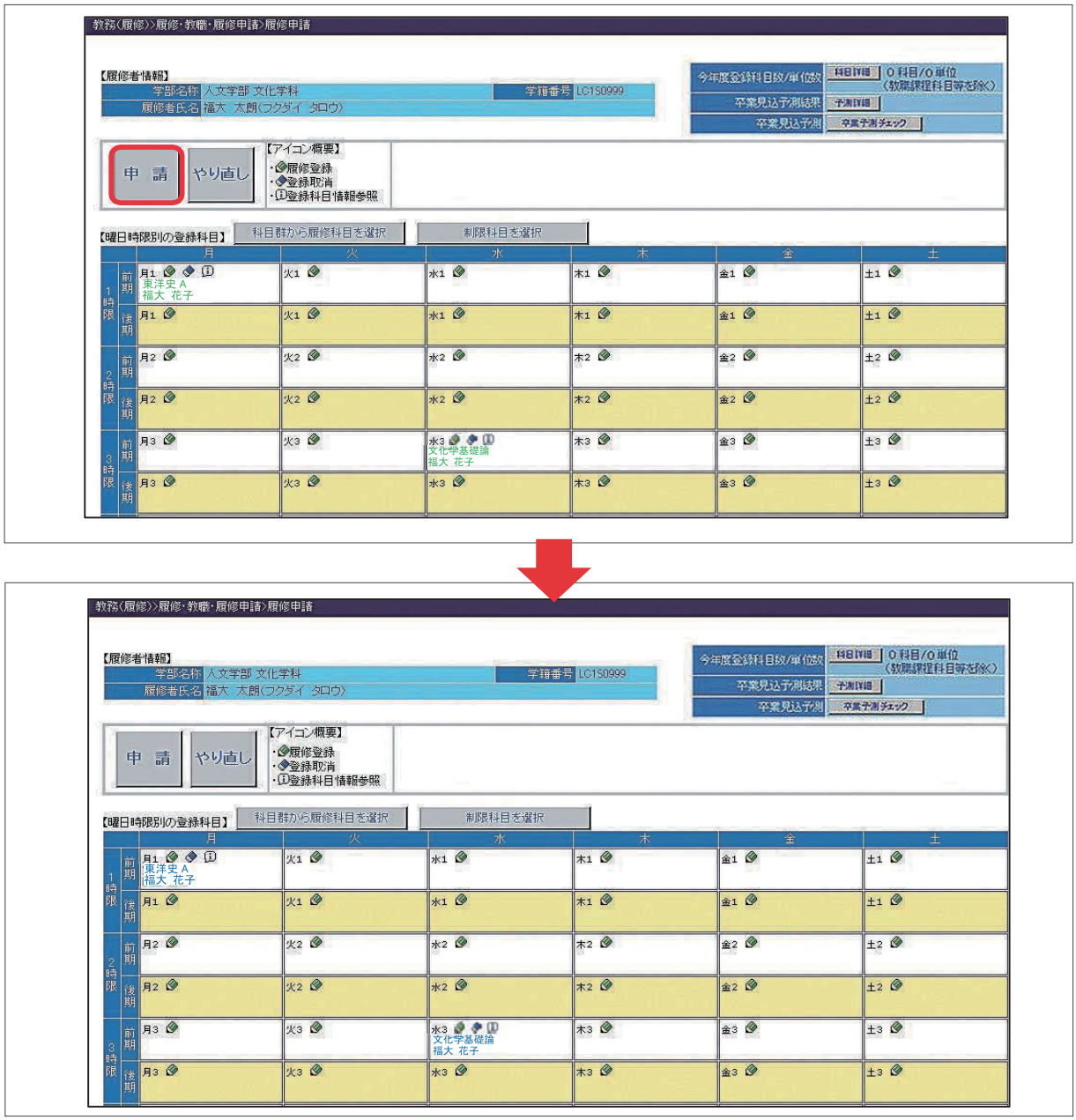
学修基盤科目「データサイエンス・AI 入門」は、 集中講義科目と同様の方法で登録してください。

人文学部の科目について

人文学部の卒業論文（日本語日文学科を除く）、卒業研究は、集中講義科目と同様の方法で登録してください。

9 履修科目の申請

選択した科目は緑色で表示となり、科目を登録するには 申請 ボタンをクリックします。
エラーがなければ、科目名称・担当者名が申請中（青色で表示）で表示となります。



全ての科目の選択が終わったら！

必ず 申請 ボタンをクリックしてください。
申請 ボタンをクリックすることで登録科目のチェックが自動的に行われます。

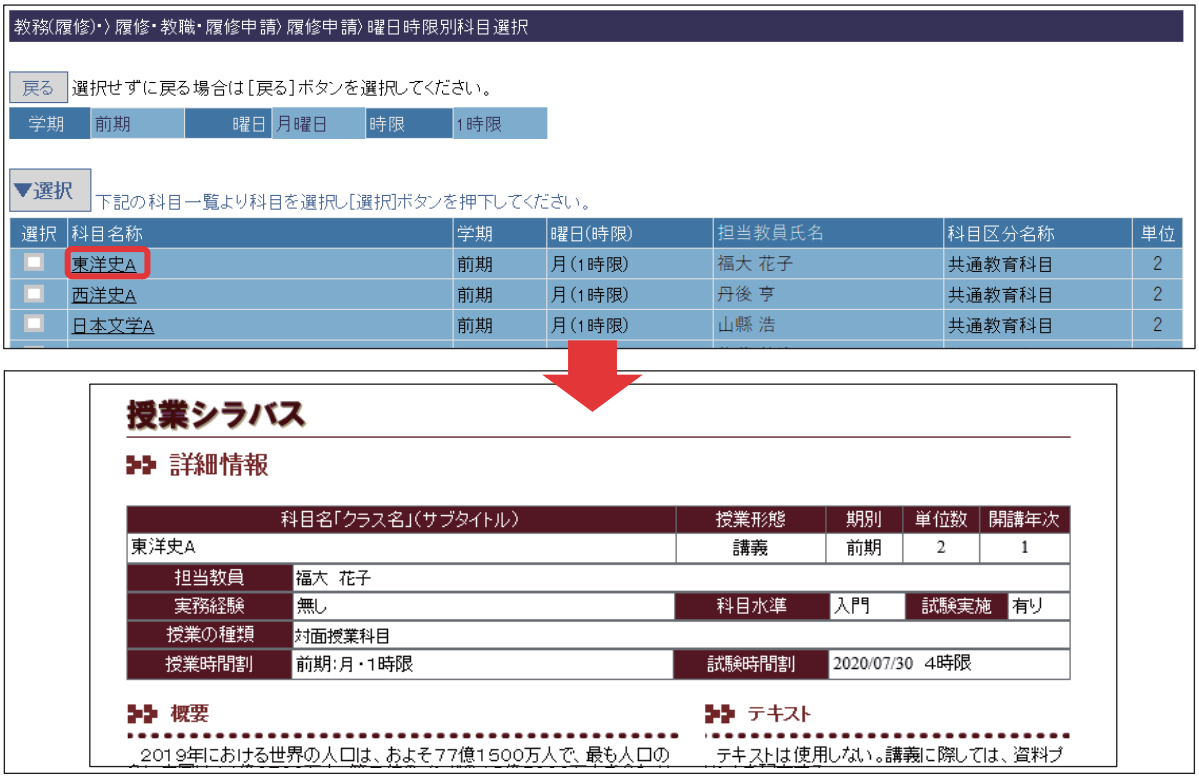
- エラーがない場合　　選択中（緑色で表示）から申請中（青色で表示）に変わります。
- エラーがある場合　　選択中（緑色で表示）からエラー（赤色で表示）に変わります。

一度登録した後、修正して何度でもクリックすることが可能です。
※履修申請時のエラーの内容はP. 28付録①の「履修申請時エラー一覧表」に説明がありますので参照してください。
※エラーが出た場合は科目の選択をやり直し、再度「申請」ボタンをクリックしてください。
全てのエラー（赤色）がなくなるまで繰り返してください。

10 その他の操作

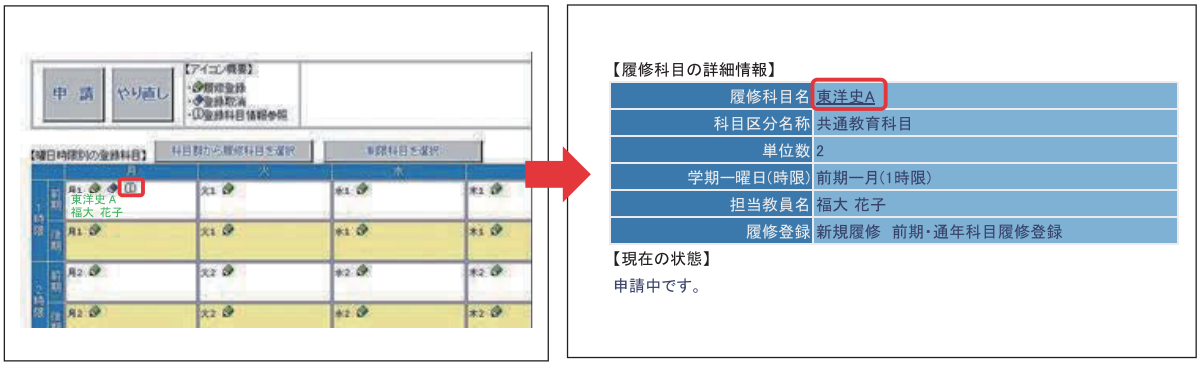
科目のシラバスを見る時

科目選択の画面で ▼選択 ボタンをクリックする前に「科目名称」をクリックするとシラバスが表示されます。



申請した科目の詳細を見る時

をクリックすると次の画面が表示され、選択中または申請中の科目の詳細を見ることができます。
この画面からシラバスを参照するには、「履修科目名」をクリックします。



表示上で注意すること

履修科目の表示

・通年科目は、前期枠の科目名の前に「▼」、後期枠に「▲」を付けて前・後期とも表示します。
・週2コマの科目は、いずれかの1コマ選択すると2コマとも選択されます。

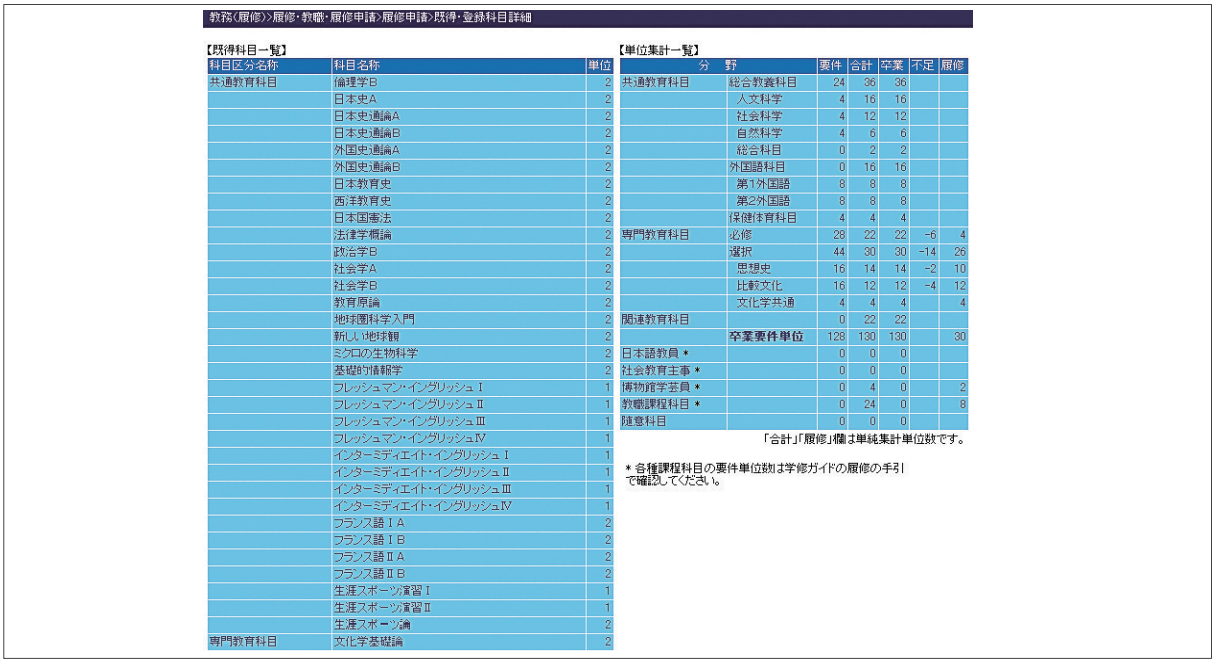
申請した科目を削除する時

をクリックすると、科目名称・担当者名が茶色〈取消線付き〉で表示されます。
申請 ボタンを押して、科目が削除されたことを確認してください。

11 登録科目の詳細の表示



画面右上の 科目詳細 ボタンをクリックすると、下図のとおり、左側に「既得科目一覧」、右側に「単位集計一覧」が表示されます。



科目区分名称	科目名称	単位
共通教育科目	倫理学B	2
	日本史A	2
	日本史通論A	2
	日本史通論B	2
	外国史通論A	2
	外国史通論B	2
	日本教育史	2
	西洋教育史	2
	日本国憲法	2
	法律学概論	2
	政治学B	2
	社会学A	2
	社会学B	2
	教育原論	2
	地球圏科学入門	2
	新しい地球観	2
	ミクロの生物科学	2
	基礎的情報学	2
	フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1
	フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1
	フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1
	フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1
	インターミディエイト・イングリッシュⅠ	1
	インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1
	インターミディエイト・イングリッシュⅢ	1
	インターミディエイト・イングリッシュⅣ	1
	フランス語ⅠA	2
	フランス語ⅠB	2
	フランス語ⅡA	2
	フランス語ⅡB	2
	生涯スポーツ演習Ⅰ	1
	生涯スポーツ演習Ⅱ	1
	生涯スポーツ論	2
専門教育科目	文化学基礎論	2

分野		要件	合計	卒業	不足	履修
共通教育科目	総合教養科目	24	36	36		
	人文科学	4	16	16		
	社会科学	4	12	12		
	自然科学	4	6	6		
	総合科目	0	2	2		
	外国語科目	0	16	16		
	第1外国語	8	8	8		
	第2外国語	8	8	8		
	保健体育科目	4	4	4		
専門教育科目	必修	28	22	22	-6	4
	選択	44	30	30	-14	26
	思想史	16	14	14	-2	10
	比較文化	16	12	12	-4	12
	文化学共通	4	4	4		4
関連教育科目		0	22	22		
	卒業要件単位	128	130	130		30
日本語教員＊		0	0	0		
社会教育主事＊		0	0	0		
博物館学芸員＊		0	4	0		2
教職課程科目＊		0	24	0		8
随意科目		0	0	0		

※履修方法に条件のある科目区分は、条件を満たしていない場合、「卒業」欄と「不足」欄には必ずしも修得した単位数および差し引いた不足単位数が表示されるとは限りません。

「既得科目一覧」

科目区分（分野）毎に、前年度までに単位を取得した科目名および単位数が表示されます。

「単位集計一覧」

科目区分（分野）毎の単位集計を表示します。卒業（進級）における「必要単位数（要件）」、「既得単位数（卒業）」、「不足単位数（不足）」および「今年度登録申請する単位数（履修）」を表示します。

12 卒業(進級)見込予測チェックの実行・結果参照

（※対象学部・学科・年台のみ）

科目申請が完了したら、次に、卒業（進級）見込予測チェックを行います。

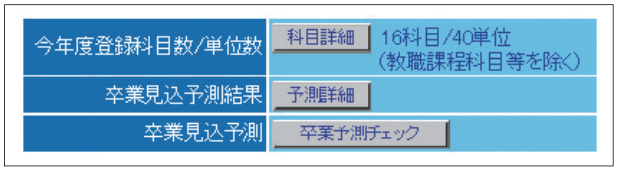
卒業対象年次の場合、 卒業予測チェック ボタンが表示されます。

進級対象年次の場合、 進級予測チェック ボタンが表示されます。

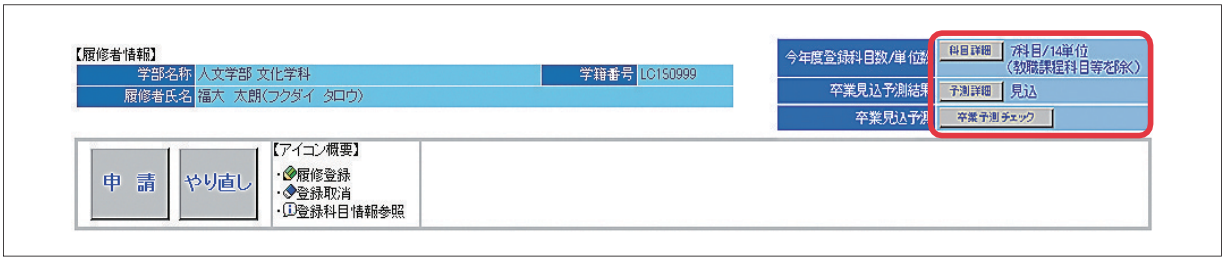
この例では、卒業見込予測チェックを実行します。



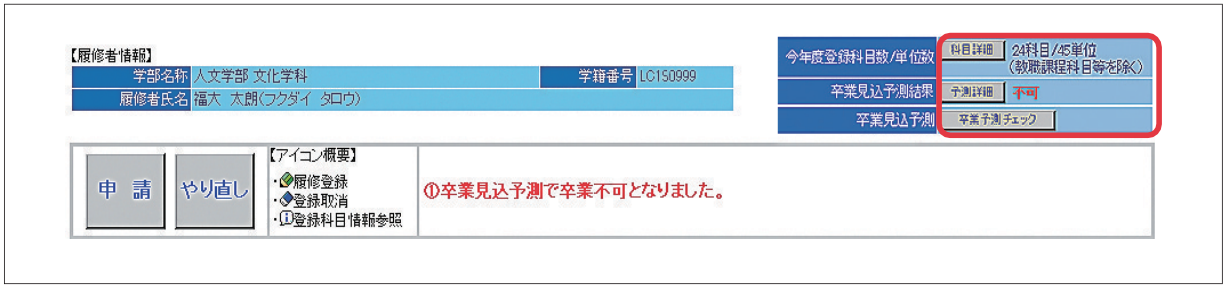
画面右上の 卒業予測チェック または 進級予測チェック ボタンをクリックすると、今回登録した科目の単位を全て取得したと仮定した卒業（進級）見込予測を行います。



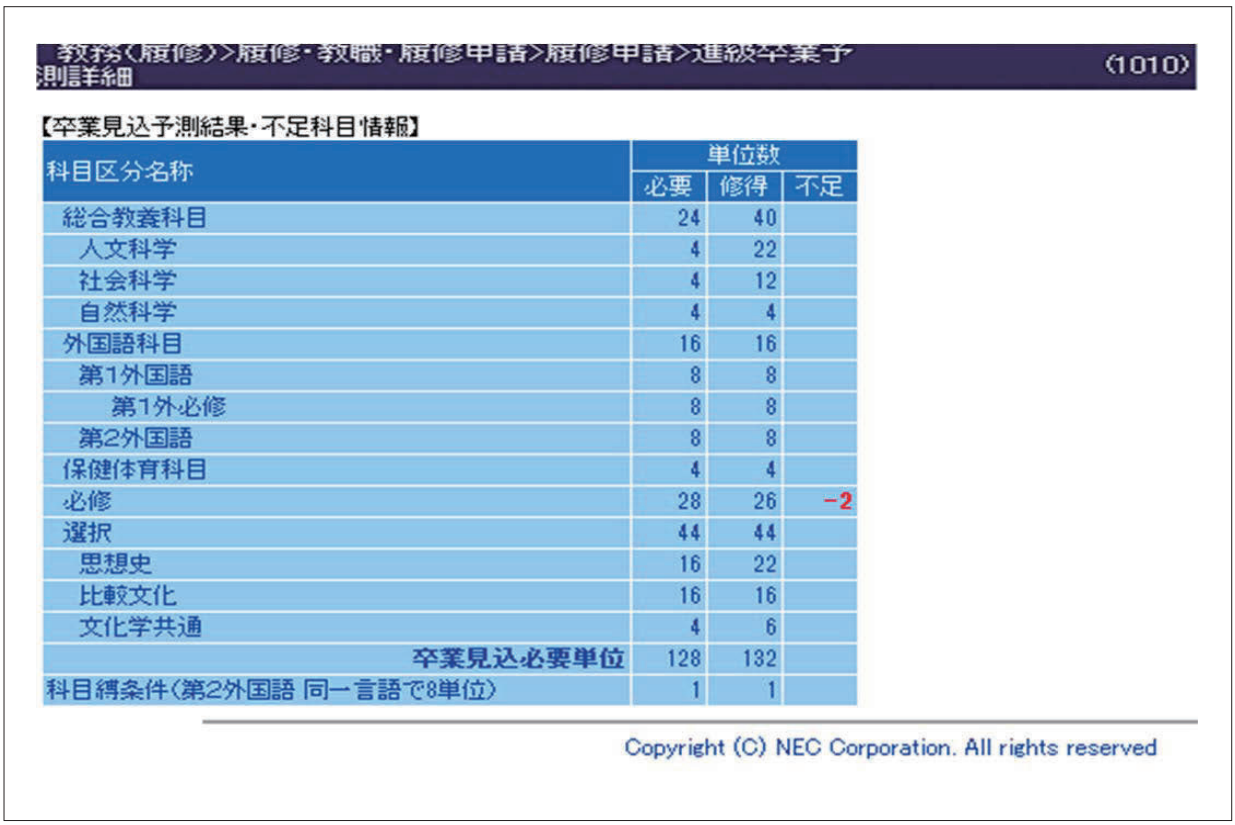
≪例1≫卒業見込予測が「可」の場合



≪例1≫卒業見込予測が「不可」の場合



卒業見込予測を実行すると 予測詳細 ボタンがクリック可能になります。クリックすると「卒業見込予測結果・不足科目情報」が表示されます。



教務(履修)>履修・教職・履修申請>履修申請>進級卒業予測詳細 (1010)

【卒業見込予測結果・不足科目情報】

科目区分名称	単位数		
	必要	修得	不足
総合教養科目	24	40	
人文科学	4	22	
社会科学	4	12	
自然科学	4	4	
外国語科目	16	16	
第1外国語	8	8	
第1外必修	8	8	
第2外国語	8	8	
保健体育科目	4	4	
必修	28	26	-2
選択	44	44	
思想史	16	22	
比較文化	16	16	
文化学共通	4	6	
卒業見込必要単位	128	132	
科目縛条件(第2外国語 同一言語で8単位)	1	1	

Copyright (C) NEC Corporation. All rights reserved

科目区分（分野）毎に卒業（進級）見込予測チェック後の、必要単位数、修得予定単位数、不足している単位数を表示します。不足している科目区分（分野）を確認した上で、履修申請をやり直してください。

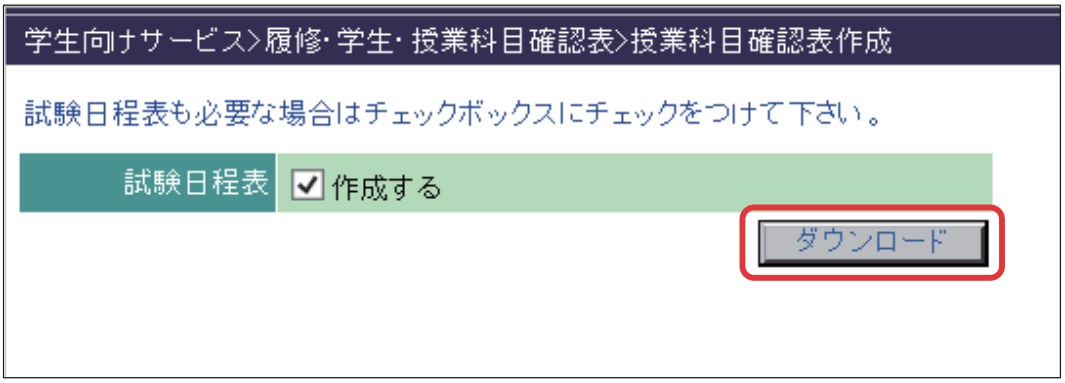
※履修方法に条件のある科目区分は、条件を満たしていない場合、「修得」欄と「不足」欄には必ずしも修得した単位数および差し引いた不足単位数が表示されるとは限りません。

13 授業科目確認表作成･印刷

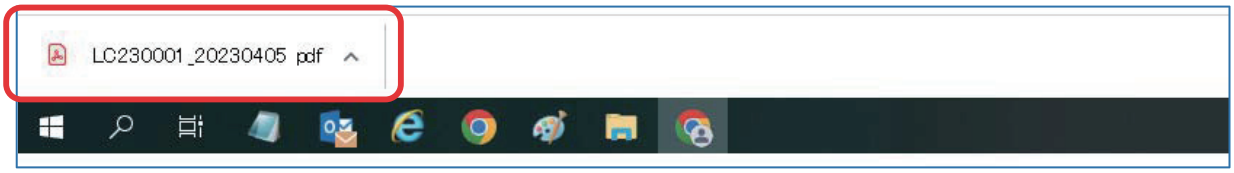
「履修申請」で登録した科目の授業科目確認表（PDF形式）を表示・印刷します。
「Web履修登録」メニューより、「授業科目確認表作成」をクリックします。



次の画面が表示されますので、試験日程表も必要な場合はチェックボックスをクリックして
ダウンロードボタンを押してください。



授業科目確認表が画面左下にダウンロードされますので、表示する時は、クリックしてください。



授業科目確認表を印刷する場合はプリンターのアイコンをクリックしてください。



1 / 1　－　94%　＋

授業科目確認表

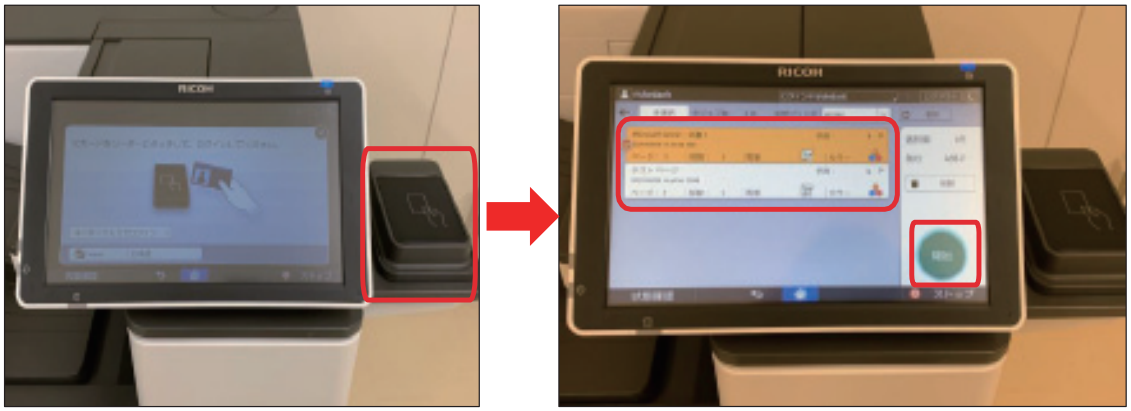
学部名称：人文学部 文化学科
学籍番号：LC231001
カナ氏名：フクダイ　タロウ
学生氏名：福大　太郎

履修学年　：1
学生クラス：LC01

NO.1　最終登録日：2023年04月05日
出　力　日：2023年04月05日

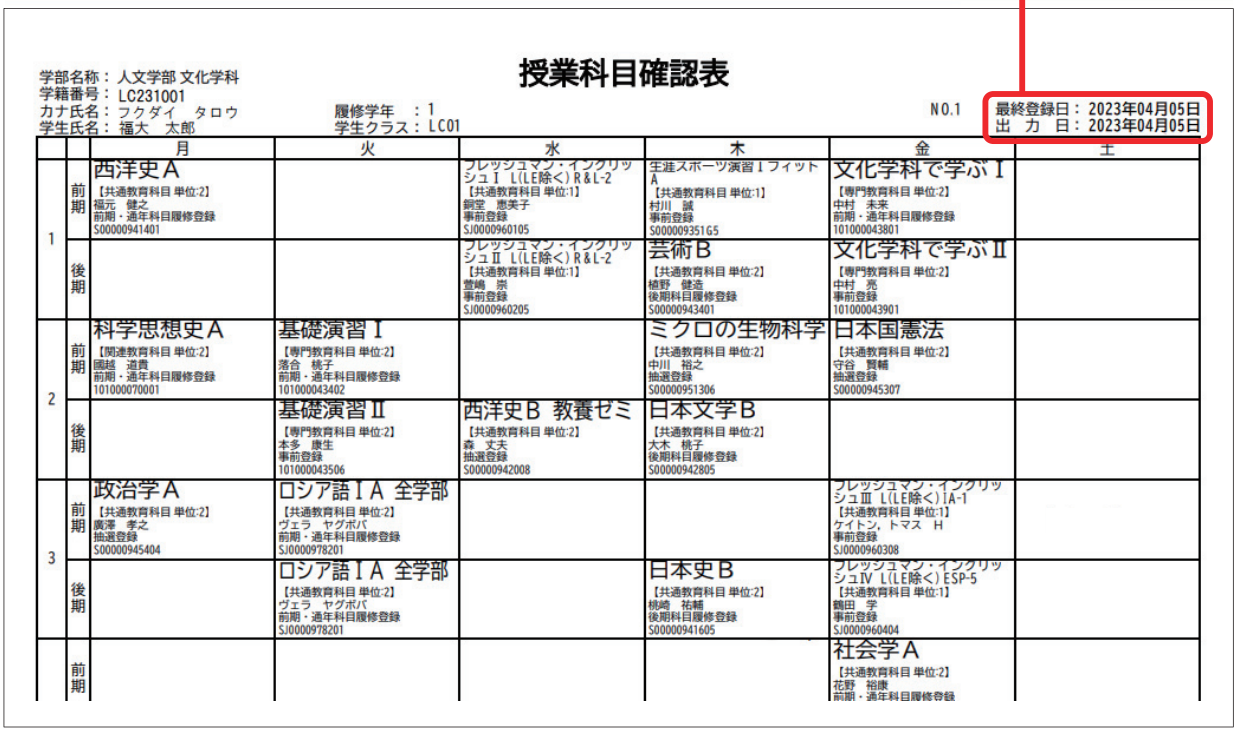
		月	火	水	木	金	土
1	前期	西洋史A 【共通教育科目 単位:2】 福元　健之 前期・通年科目履修登録 S0000941401		フレッシュマン・イングリッシュⅠ L(LE除く)R&L-2 【共通教育科目 単位:1】 銅堂　恵美子 事前登録 SJ0000960105	生涯スポーツ演習Ⅰフィットネス 【共通教育科目 単位:1】 村川　誠 事前登録 S0000093516S	文化学科で学ぶⅠ 【専門教育科目 単位:2】 中村　未来 前期・通年科目履修登録 101000043801	
	後期			フレッシュマン・イングリッシュⅡ L(LE除く)R&L-2 【共通教育科目 単位:1】 雲崎　崇 事前登録 SJ0000960205	芸術B 【共通教育科目 単位:2】 植野　健造 後期科目履修登録 S0000943401	文化学科で学ぶⅡ 【専門教育科目 単位:2】 中村　亮 事前登録 101000043901	
2	前期	科学思想史A 【関連教育科目 単位:2】 國越　道貴 前期・通年科目履修登録 101000070001	基礎演習Ⅰ 【専門教育科目 単位:2】 落合　桃子 前期・通年科目履修登録 101000043402		ミクロの生物科学 【共通教育科目 単位:2】 中川　裕之 抽選登録 S0000951306	日本国憲法 【共通教育科目 単位:2】 守谷　賢輔 抽選登録 S0000945307	
	後期		基礎演習Ⅱ 【専門教育科目 単位:2】 本多　康生 事前登録 101000043506	西洋史B 教養ゼミ 【共通教育科目 単位:2】 森　丈夫 抽選登録 S0000942008	日本文学B 【共通教育科目 単位:2】 大木　桃子 後期科目履修登録 S0000942805		
3	前期	政治学A 【共通教育科目 単位:2】 廣澤　孝之 抽選登録 S0000945404	ロシア語ⅠA 全学部 【共通教育科目 単位:2】 ヴェラ　ヤグボバ 前期・通年科目履修登録 SJ0000978201			フレッシュマン・イングリッシュⅢ L(LE除く)IA-1 【共通教育科目 単位:1】 ケイトン，トマス　H 事前登録 SJ0000960308	
	後期		ロシア語ⅠA 全学部 【共通教育科目 単位:2】 ヴェラ　ヤグボバ 前期・通年科目履修登録 SJ0000978201		日本史B 【共通教育科目 単位:2】 桃崎　祐輔 後期科目履修登録 S0000941605	フレッシュマン・イングリッシュⅣ L(LE除く)ESP-5 【共通教育科目 単位:1】 鶴田　学 事前登録 SJ0000960404	
	前期					社会学A 【共通教育科目 単位:2】 花野　裕康 前期・通年科目履修登録	

教室または廊下などに設置されているプリンタの端末横のリーダーに学生証をかざします。
オンデマンド端末画面に印刷ジョブの一覧が表示されますので、印刷したいジョブのチェックボックスをチェックして「印刷」ボタンをタッチしてください。



【授業科目確認表の説明】

右上部分に最終履修登録の日付と確認表出力の日付を表示します。

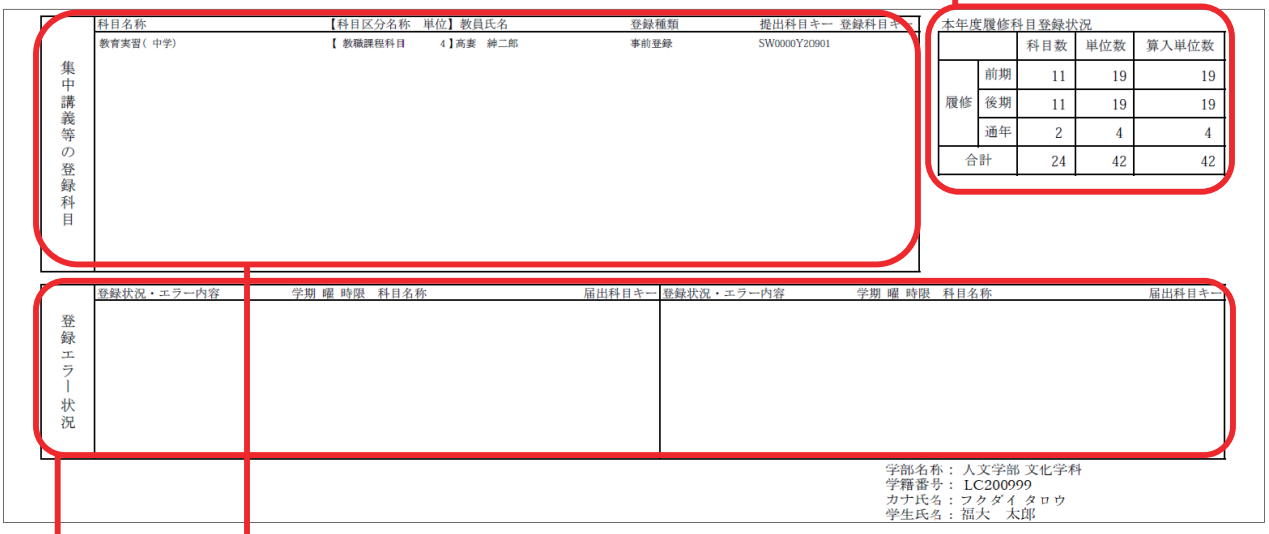


授業科目確認表

学部名称：人文学部 文化学科
学籍番号：LC231001
カナ氏名：フクダイ　タロウ
学生氏名：福大　太郎
履修学年　：1
学生クラス：LC01
NO.1
最終登録日：2023年04月05日
出　力　日：2023年04月05日

		月	火	水	木	金	土
1	前期	西洋史Ａ 【共通教育科目 単位:2】 福元　健之 前期・通年科目履修登録 S00000941401		フレッシュマン・イングリッシュⅠ L(LE除く)R&L-2 【共通教育科目 単位:1】 銅堂　恵美子 事前登録 SJ0000960105	生涯スポーツ演習Ⅰフィットネス 【共通教育科目 単位:1】 村川　誠 事前登録 S0000935１G5	文化学科で学ぶⅠ 【専門教育科目 単位:2】 中村　未来 前期・通年科目履修登録 101000043801	
	後期			フレッシュマン・イングリッシュⅡ L(LE除く)R&L-2 【共通教育科目 単位:1】 豊嶋　崇 事前登録 SJ0000960205	芸術Ｂ 【共通教育科目 単位:2】 植野　健造 後期科目履修登録 S00000943401	文化学科で学ぶⅡ 【専門教育科目 単位:2】 中村　亮 事前登録 101000043901	
2	前期	科学思想史Ａ 【関連教育科目 単位:2】 國越　道貴 前期・通年科目履修登録 101000070001	基礎演習Ⅰ 【専門教育科目 単位:2】 落合　桃子 前期・通年科目履修登録 101000043402		ミクロの生物科学 【共通教育科目 単位:2】 中川　裕之 抽選登録 S00000951306	日本国憲法 【共通教育科目 単位:2】 守谷　賢輔 抽選登録 S00000945307	
	後期		基礎演習Ⅱ 【専門教育科目 単位:2】 本多　康生 事前登録 101000043506	西洋史Ｂ 教養ゼミ 【共通教育科目 単位:2】 森　丈夫 抽選登録 S00000942008	日本文学Ｂ 【共通教育科目 単位:2】 大木　桃子 後期科目履修登録 S00000942805		
3	前期	政治学Ａ 【共通教育科目 単位:2】 廣澤　孝之 抽選登録 S00000945404	ロシア語ⅠＡ 全学部 【共通教育科目 単位:2】 ヴェラ　ヤグボバ 前期・通年科目履修登録 SJ0000978201			フレッシュマン・イングリッシュⅢ L(LE除く)A-1 【共通教育科目 単位:1】 ケイトン，トマス　H 事前登録 SJ0000960308	
	後期		ロシア語ⅠＡ 全学部 【共通教育科目 単位:2】 ヴェラ　ヤグボバ 前期・通年科目履修登録 SJ0000978201		日本史Ｂ 【共通教育科目 単位:2】 桃崎　祐輔 後期科目履修登録 S00000941605	フレッシュマン・イングリッシュⅣ L(LE除く)ESP-5 【共通教育科目 単位:1】 鶴田　学 事前登録 SJ0000960404	
	前期					社会学Ａ 【共通教育科目 単位:2】 花野　裕康 前期・通年科目履修登録	

今年度履修科目の登録状況を表示します。



集中講義等の登録科目

科目名称	【科目区分名称　単位】教員氏名	登録種類	提出科目キー	登録科目キー
教育実習（中学）	【教職課程科目　4】高妻　紳二郎	事前登録	SW0000Y20901	

本年度履修科目登録状況

		科目数	単位数	算入単位数
履修	前期	11	19	19
	後期	11	19	19
	通年	2	4	4
合計		24	42	42

登録エラー状況

登録状況・エラー内容	学期 曜 時限　科目名称	届出科目キー	登録状況・エラー内容	学期 曜 時限　科目名称	届出科目キー

学部名称：人文学部 文化学科
学籍番号：LC200999
カナ氏名：フクダイ タロウ
学生氏名：福大　太郎

<u>集中講義等の登録科目の表示</u>

集中講義科目・人文学部の卒業論文（日本語日本文学科を除く）、卒業研究を履修登録している場合にその情報を表示します。

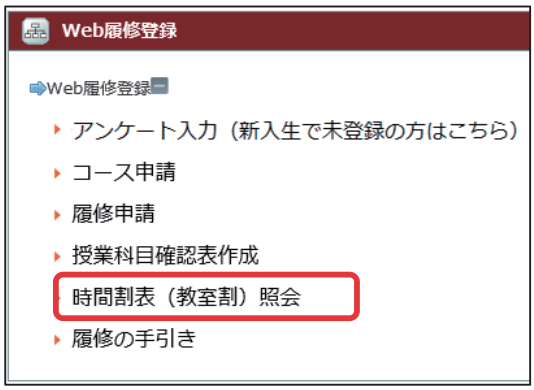
<u>登録エラーの状況</u>

登録エラー科目のエラー内容と履修科目情報を表示します。

14 時間割表（教室割）照会

開講日の前日以降、「Web履修登録」メニューの「時間割表（教室割）照会」をクリックすると、今年度の時間割表（教室割）を画面で参照・印刷することができます。

なお、その際は通年科目、前期完結科目の教室のみ表示します。後期完結科目の教室については、後期開講前に再度、確認してください。



時間割表の作成

［出力］ボタンをクリックすると、「時間割表（教室割）を作成しました。ダウンロードはこちらから。」とメッセージが表示され、時間割表（教室割）（PDF 形式）が作成されます。

時間割表（教室割）のダウンロード

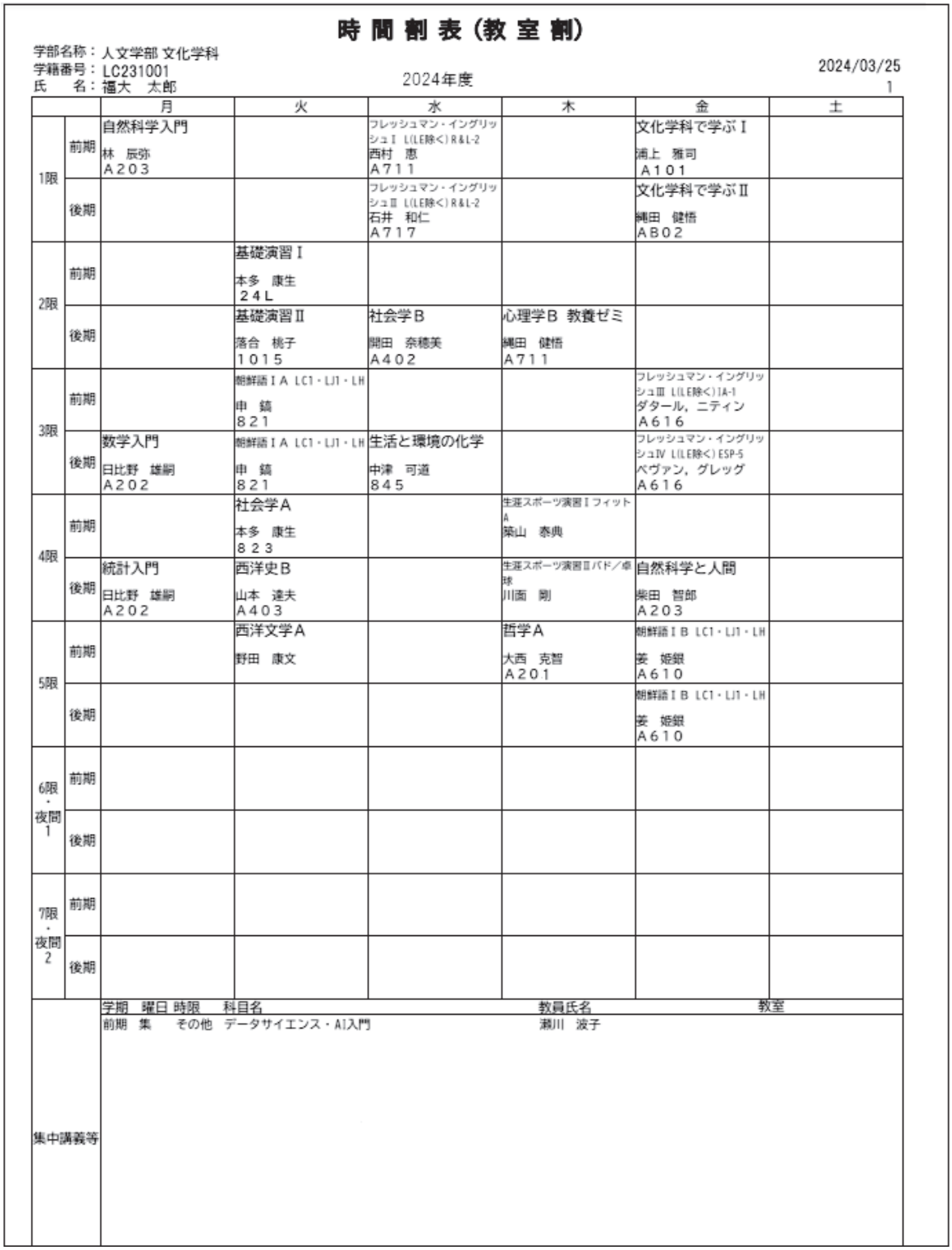
［こちら］リンクをクリックすると、時間割表（教室割）をダウンロードできます。



集中講義等の登録科目の表示

集中講義・人文学部の卒業論文（日本語日本文学科を除く）、卒業研究の履修科目を表示します。

時間割表（教室割）（PDF形式）を確認します。



時 間 割 表（教 室 割）

学部名称：人文学部 文化学科
学籍番号：LC231001
氏　　名：福大　太郎

2024年度

2024/03/25
1

		月	火	水	木	金	土
1限	前期	自然科学入門 林　辰弥 A203		フレッシュマン・イングリッシュⅠ L(LE除く)R&L-2 西村　恵 A711		文化学科で学ぶⅠ 浦上　雅司 A101	
	後期			フレッシュマン・イングリッシュⅡ L(LE除く)R&L-2 石井　和仁 A717		文化学科で学ぶⅡ 縄田　健悟 AB02	
2限	前期		基礎演習Ⅰ 本多　康生 24L				
	後期		基礎演習Ⅱ 落合　桃子 1015	社会学B 開田　奈穂美 A402	心理学B 教養ゼミ 縄田　健悟 A711		
3限	前期		朝鮮語ⅠA LC1・LJ1・LH 申　鎬 821			フレッシュマン・イングリッシュⅢ L(LE除く)IA-1 ダタール，ニティン A616	
	後期	数学入門 日比野　雄嗣 A202	朝鮮語ⅠA LC1・LJ1・LH 申　鎬 821	生活と環境の化学 中津　可道 845		フレッシュマン・イングリッシュⅣ L(LE除く)ESP-5 ベヴァン，グレッグ A616	
4限	前期		社会学A 本多　康生 823		生涯スポーツ演習Ⅰフィットネス 築山　泰典		
	後期	統計入門 日比野　雄嗣 A202	西洋史B 山本　達夫 A403		生涯スポーツ演習Ⅱバド／卓球 川面　剛	自然科学と人間 柴田　智郎 A203	
5限	前期		西洋文学A 野田　康文		哲学A 大西　克智 A201	朝鮮語ⅠB LC1・LJ1・LH 姜　姫銀 A610	
	後期					朝鮮語ⅠB LC1・LJ1・LH 姜　姫銀 A610	
6限・夜間1	前期						
	後期						
7限・夜間2	前期						
	後期						

集中講義等	学期	曜日	時限	科目名	教員氏名	教室
	前期	集	その他	データサイエンス・AI入門	瀬川　波子	

※授業教室の公開は、開講日の前日以降を予定しています。
FU ポータルでお知らせしますので、事前に授業教室を確認したうえで
登学してください。

FU ポータル　https://portal.fukuoka-u.ac.jp/

付録①　履修申請時エラー一覧表

・登録内容にエラーがあった場合に表示されるエラーメッセージとその説明です。
・登録科目を変更し、［申請］ボタンを押して、登録エラーが無い状態にしてください。

No.	メッセージ	説　　明
1	同一科目クラス違いを申請しているエラー	登録した科目と同一科目のクラス違いを履修登録している為、登録できません。 クラス違いの同一科目を削除してください。
2	登録科目が修得済または登録済	登録した科目は既に修得済または登録済です。 履修登録できませんので、登録した科目を削除してください。
3	登録科目において曜日・時限で重複しているエラー	登録した科目の曜日・時限が重複しています。 重複している科目を削除してください。
4	登録科目において試験日・時限間で重複しているエラー	登録した科目の試験日程が重複しています。 重複している科目を削除してください。
5	登録科目において前提科目が未履修もしくは未修得であるエラー	前提科目を履修もしくは修得していません。 『学修ガイド』（履修の手引）で、前提科目を確認して、科目を登録または削除してください。
6	登録科目において前提科目が履修済もしくは修得済であるエラー	前提科目を履修もしくは修得しています。 『学修ガイド』（履修の手引）で、履修条件を確認して、科目を削除してください。
7	登録科目において並行履修不可であるエラー	同時に履修できない科目を履修登録しています。 科目を削除してください。
8	登録制限単位数超過エラー	制限単位数を超えて履修登録しています。 『学修ガイド』（履修の手引）で、制限単位数を確認して超過分を削除してください。
9	登録制限単位数不足エラー	登録単位数が制限単位数を満たしていません。 『学修ガイド』（履修の手引）で、最低単位数を確認して不足分を登録してください。
10	必修科目未履修エラー	必修科目（外国語科目等）が未登録です。 『学修ガイド』（履修の手引）で、必修科目を確認して登録してください。
11	抽選が外れました。	制限科目が抽選で外れました。 履修登録できませんので、登録した科目を削除してください。
12	定員オーバーのため、登録できません。	制限科目（先着順）が定員オーバーとなりました。 履修登録できませんので、登録した科目を削除してください。

制限科目のエラーについて

制限科目がエラーになった時は、制限科目の申請期間内に削除してください。制限科目の申請期間を過ぎると削除や修正ができません。申請期間が過ぎて削除等ができなくなった時は、所属学部の事務部署へ申し出てください。

付録②　Web プロフィールを事前登録する方法

履修登録は、Web プロフィールの入力をしなければ、履修科目の登録ができません。在学中に住所等に変更があれば修正してください。

履修登録に十分な時間を確保するため、あらかじめ Web プロフィールの入力およびアンケート（新入生のみ）の回答を完了させてください。

〔履修申請メニュー以外から、Web プロフィールを登録・修正する方法〕

履修申請メニューは、あなたの所属する学部学科の時間帯しか表示されませんので、履修登録時以外に事前に「Web プロフィール」を登録・修正する場合、以下の方法で実施してください。

「FU ポータル」の「共通」メニューを選択すると、左下に「Web プロフィール」が表示されます。



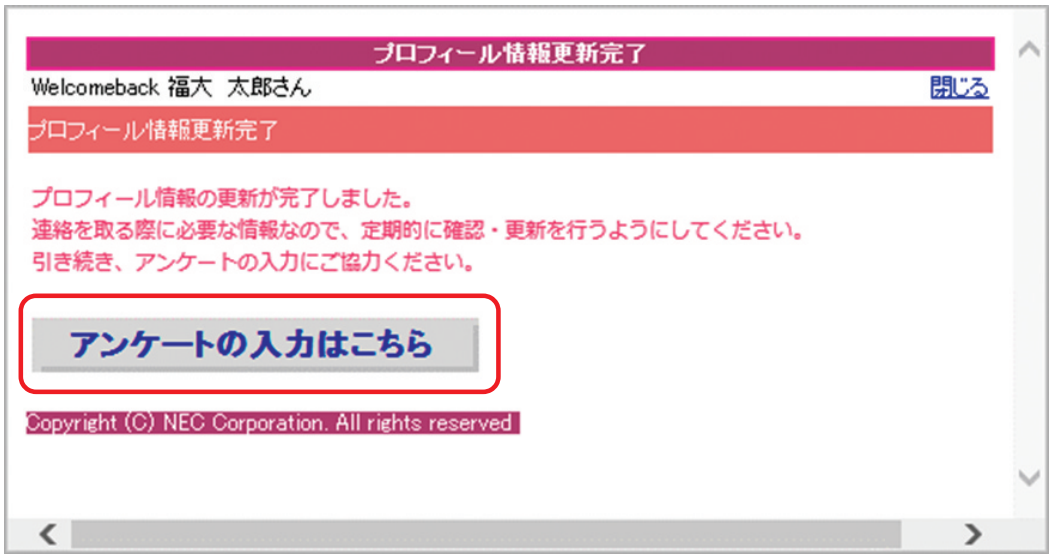
「プロフィール情報修正」を選択すると、履修登録時以外でも「Web プロフィール」を登録・修正することができます。※プロフィールに変更があった場合は、必ずプロフィール情報修正を行ってください。





※Web プロフィール情報の入力方法の詳細は入力マニュアルで確認してください。

Web プロフィール終了後、アンケート画面（新入生のみ）に進みます。



表示されたアンケートに回答してください。



全て完了したら最後に「提出する」ボタンをクリックしてください。

以上で事前登録は終了です。

付録③　シラバスの閲覧方法について

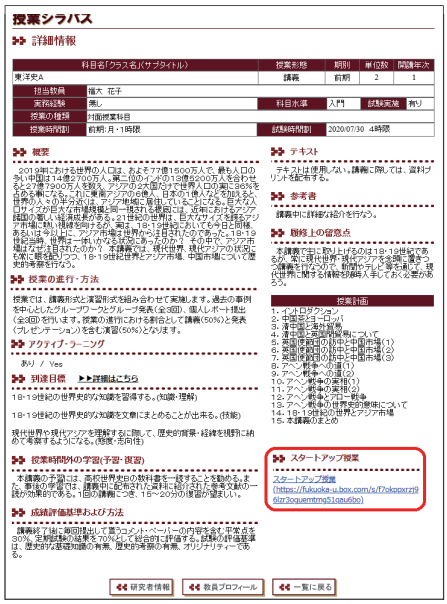
シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。シラバスには、科目名だけではわからない詳細な情報が記載されています。活用方法等については、本書「第Ⅳ章 履修の手引」の「シラバス」の項目を参照してください。

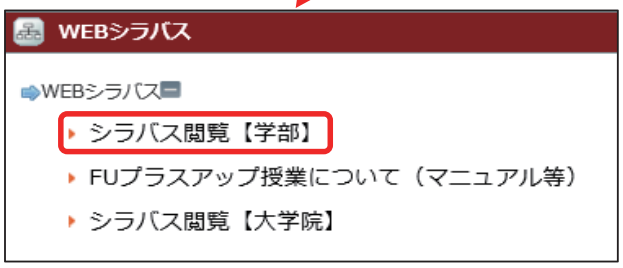
〔閲覧方法〕

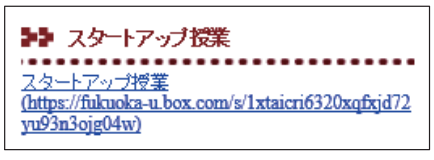
「授業関連」メニュー から「WEB シラバス」の「シラバス閲覧（学部）」をクリックすると、シラバスの検索画面が表示されます。検索画面から教員名、科目名、学科等から検索し、閲覧することができます。



シラバス検索で科目を選択後、 このように表示されます。







スタートアップ授業について

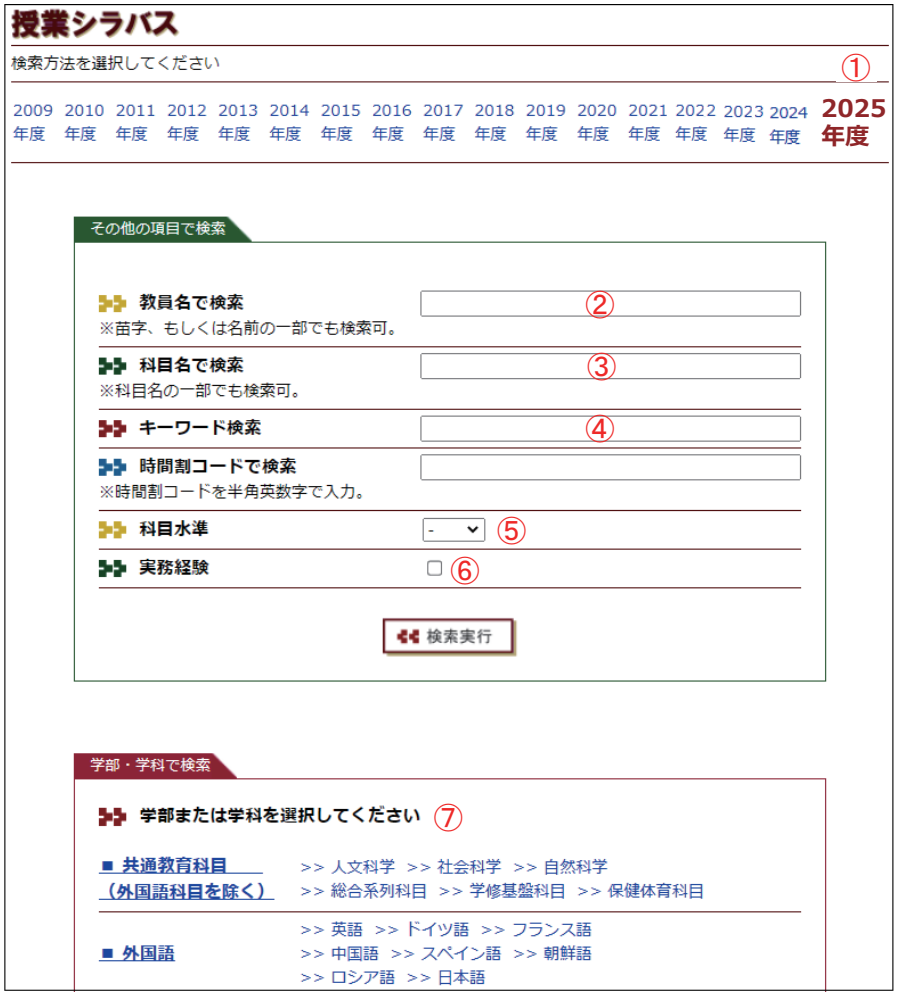
URLをクリックすると、 スタートアップ授業の動画を閲覧することができます。

スタートアップ授業とは、 第 1 回目に行われるシラバスの丁寧な説明を含んだ授業です。

本学の学生は全てのスタートアップ授業を 3 月上旬から 1 年間、 いつでも閲覧することができるため、履修登録前に視聴することで、 より主体的な履修選択ができます。

※スタートアップ授業を行う科目では、 第 1 回目の授業はスタートアップ授業で行われます。
必ず第 1 週目の授業開始までに視聴してください。

〔シラバス閲覧検索画面〕



① 閲覧したい年度をクリックしてください。

② 教員名で検索　▸苗字、または名前の一部でも検索が可能です。

③ 科目名で検索　▸科目名の一部でも検索が可能です。

④ キーワードで検索　▸入力したキーワードを元に検索します。

⑤ 科目水準で検索　▸科目水準（1：入門、2：初級、3：中級、4：上級）ごとに検索します。

⑥ 実務経験で検索　▸実務経験を有する教員による、実務経験を活かした授業科目を検索することができます。

⑦ 学部・学科で検索　▸選択した学部・学科に開講している科目が表示されます。

付録④　休講・補講情報の確認方法

休講や補講は、FUポータルで確認できます。なお、補講については原則として、補講日の一週間前にFUポータルで、日時・教室等をお知らせします。また、休講・補講の情報は大学から入学時に付与されたメールアドレスにお知らせが届きます。

〔休講・補講情報の確認〕

◆ 「FUポータル」画面にある「授業関連」メニューを選択すると「休講・補講」が表示されます。
休講および補講の情報はこちらのメニューから確認することができます。



◆ 休講情報照会



◆ 補講情報照会



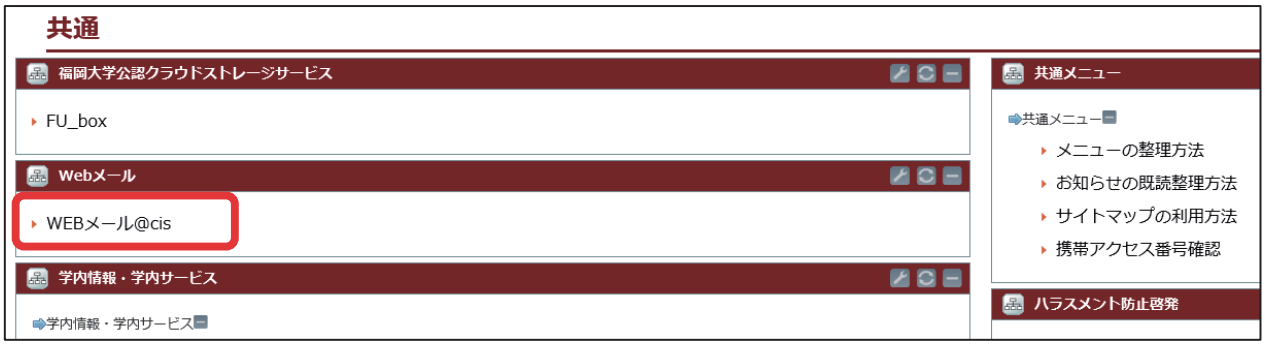
〔メールについて〕

大学から次のようなメールアドレスが付与されます。メールアドレスの一部となる学籍番号の部分は、福大IDのアカウント名と同様に、学部や学科名称を表すアルファベットは小文字となります。

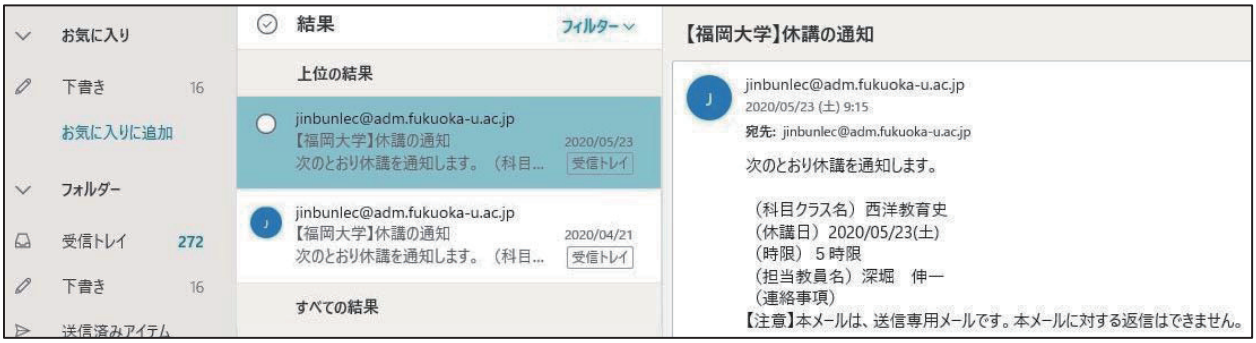
アカウント名＠cis.fukuoka-u.ac.jp

学籍番号（小文字）：例　ee250001

◆　「共通」メニューに「Web メール」が表示されているので、こちらでメール確認ができます。



【休講の通知メール】



【補講の通知メール】



Microsoft Outlook のアプリをスマートフォンに入れ、大学のメールアドレスを設定すると、都度ログインすることなく、メールを確認することができます。

休講・補講の通知メールは担当教員からの連絡事項がある場合がありますので、必ず確認してください。

Microsoft Outlook

付録⑤　よくある質問Q＆A

Q.パスワードがわからない（忘れた）

A.学生証を持参のうえ、文系センター棟 3F の情報基盤センター利用者受付か、所属学部の事務室で手続きしてください。なお、パスワードは新入生の学生証交付時または対面の履修ガイダンスで配付しています。

Q.履修申請画面がでてこない

A.履修登録の日時は、学部・学科別に指定されています。「履修登録の手引」P2 の履修登録スケジュール表を確認してください。なお、履修申請画面は指定の日時のみ表示されます。

Q.履修登録した科目が登録されていない

A.［申　請］ボタンは押しましたか？［申　請］ボタンを押すことによって科目が登録され、登録科目のチェックが自動的に行われます。

※履修登録中にエラーになることがあるので、［申　請］ボタンはこまめに押しましょう。

Q. パソコンの画面が固まって、全く操作できない

A.［申　請］ボタンを押して保存をした時点まで戻ります。再度ログインし、登録科目を確認してから、履修登録をすすめてください。

※画面が止まったままのパソコンは電源ボタンを5秒以上長押しして電源を切り、再度起動してください。

Q.履修登録のボタンが押せない

A.「Web プロフィール」は登録済ですか？「Web プロフィール」を入力しなければ、履修登録はできません。

※「Web プロフィール」の入力方法の詳細は「Web プロフィール」登録画面右上の 入力マニュアルはこちら をクリックして確認してください。（本書P29 付録②を参照）

Q.授業科目確認表の印刷方法がわからない

A.本書の P23 を参照してください。

Q.履修登録が学部・学科の指定日時に終わらなかった

A.学部学科の指定時間以外に、「全学部利用可能時間」を設けています。履修登録が完了しなかった場合は、この時間を利用し、必ず登録作業を完了させてください。

全学部利用可能時間（新入生のみ）	・4 月 5 日（土）　20:00～25:00 ・4 月 6 日（日）　16:20～17:50

個人情報の取扱いについて

本学では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、「学校法人福岡大学個人情報保護規程」を定め個人情報の保護に努めています。「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づく、「個人番号」および「特定個人情報」に関しても同様です。本学学生の個人情報に関する基本的な姿勢と取扱いについてご説明いたします。

1．法令の遵守と学内規程の整備

本学は、「個人情報の保護に関する法律」その他法令の規定を遵守すると共に、個人情報の取得、保管、利用など取扱いに関する必要な事項を定め、個人情報の適切な保護に努めます。

2．個人情報の取得

本学は、本学の学生から個人情報を取得する際には、あらかじめ利用目的を特定し、その利用目的の達成に必要な範囲内において、公正な手段により取得します。また、思想、信条及び宗教に関する個人情報は取得しません。

〈主な利用目的〉

○学生募集、入学試験に関する業務
○履修・成績管理に関する業務
○入学、卒業、退学、休学等の学籍管理に関する業務
○課外活動、健康管理に関する業務
○奨学金に関する業務
○授業料その他納付金等の収納・督促に関する業務
○就職・進路支援に関する業務
○教育改善のための教学情報の活用に関する業務
○個人番号関係業務
○一般社団法人福岡大学同窓会有信会の運営に関する業務
○福岡大学父母後援会の運営に関する業務
○その他学生生活、修学指導に関する業務

※詳しくは、大学ホームページに掲載している「学校法人福岡大学個人情報保護規程別表」等をご覧ください。

3．個人情報の利用

本学が保有する個人情報を本人の同意を得ないで、定められた利用目的以外の利用や、第三者への提供は行いません。ただし、法令等に基づくもののほか、次の場合は当該個人データを提供するものとします。

①在学生の父母及び学費負担者に対して学籍情報、履修・成績情報、出席情報、課外活動情報の提供
②一般社団法人福岡大学同窓会有信会に対して卒業後の住所、進路・就職先情報の提供
③福岡大学父母後援会に対して学籍情報、履修・成績情報、出席情報、家族情報の提供

4．個人情報の管理

本学は、個人情報の管理体制を整備し、個人データについては利用目的の達成に必要な範囲内において正確かつ最新の内容に保ち、漏えい、滅失又は毀損の防止など安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。

なお、個人情報の取扱いを外部に委託する場合は、委託先が個人情報の安全管理のために適切な措置を講じるよう監督し、その内容を委託契約に明記します。

5．個人情報の開示等

本学は、本人からの当該保有個人データの開示、訂正（追加、削除含む）、利用停止の請求を受け付けます。

6．個人情報に関する問合せ先

本学の個人情報に関する苦情やご質問は、個人情報の内容によって受付窓口が異なります。大学公式ホームページの個人情報関連のページをご覧いただくか、下記あてにお問い合せください。

【問合せ先】　福岡大学　総務課



Faculty of Commerce Evening School